

モ其性質ハ國ノ地位高緯度ニ在ルヲ以テ差々北方ノモノニ類似スル所アリ○低地ニハ普通ノ穀物ヲ耕種シ其收納多クシテ利ヲ得ルコト少ナカラサレドモ高地及附近ノ島嶼ニ産スル穀類ハ只燕麥及ビク一種ノ二種ノミ○紅鹿ノウ一鹿ノ野猫ノ如キ獸類及鳩コロースタルミンガンウードコックブレッキ、コック以上共ノ如キ鳥類ハ北部ノ丘陵ニ産ス○此國ニハ河魚ノ種類甚ク多シト雖モ狗吐魚石斑魚ビイック魚ノ如キハ英倫ニ比スレハ甚多シ又鯨類青魚鱈魚ホワイト、ヒスノ如キ海魚ハ夥多ナレドモヒルチヤルド魚ホワイト、ヘイト一種ノ如キハ甚稀ナリ

人民、人口

蘇格蘭ノ人民ヲ大別シテ二種トス一ヲ低地ノ民即蘇格ト云ヒ一ヲ高地ノ民即塞爾達ト云フ蘇格人ハ英倫人ノ如クチニョートニョックノ苗裔ニ屬スレトモビイック種搬運種ダニス種スカンジナビアン種ノ混和シタル種族ニシテ低地及高地ノ東岸ニ住シ言語モ亦英語ト異ナレリ蓋シ此種族ハ身長大ニシテ筋骨強壯英倫人ニ比スレハ容貌圓形溫和ニシテ頭蓋長大ナリ高地ノ住民ハ之ニ反シ塞爾達ノ苗裔ニシテ言語ハ漸ク低地ノ語ニ化

スレドモ其他百般ノ風俗ハ尙ホ古態ヲ存セリ

總テ蘇格蘭人ハ精神剛毅ニシテ堪ヘ難キヲ堪ヘ忍ヒ難キヲ忍フ性アリ若シ此性ナクンハ荒蕪ノ國ヲ開墾シテ農業ヲ盛大ニシ且製造及貿易ヲ繁盛ニシテ英倫ト其榮ヲ競フニ至ルヲ得ザルコト必然ナリ又此國民ハ節儉ヲ守リテ生計ヲ營ムノ性アリ故ニ極テ貧困ノ農民ト雖モ愛爾蘭ノ各處ニテ目撃スル如ク衣服家具日常ノ供給ヲ欠ク可キ醜態ヲ顯ハス者稀ナリ又蘇格蘭人ハ警戒熟考シ先見ヲ立テ、事物ヲ行フノ性アルニ因リ談話遲鈍或ハ之ニ感動セザル者アリ故ニ質樸慷慨ノ心ナキ者ノ如ク見ユレドモ多クハ唯外貌ノミニシテ其實ニ非ズ又此人民ハ國ヲ愛スルノ心深ク且ツ自己ノ生處ヲ戀ヒ常ニ親戚朋友ヲ思慕スルノ情甚深シ○蘇格蘭國民ノ一家ノ繁榮ヲ英倫ニ比スレハ略々同等ナリ然レドモ北部ノ農民ニ至レハ英倫下等ノ人民ニ及ザル所少カラズ彼ノ工人農夫ノ如キハ大概身體強壯勉強正實ナレトモ其營業漸ク衰頽ニ趣キ殊ニ大都府製造所ノ如キハ最モ甚レトス故ニ數十年間僥倖ヲ求ムルノ徒夥シク少年輩ハ毎年此國ヲ去テ英倫ノ都府及印度其他數所ニ遷移スル者甚多シ此等ノ輩ハ其身分ニ比スレハ頗ル教育アリテ堅固誠實忍

耐ノ性ヲ存スレドモ往々其方向ヲ失スルモノアリ又此國ハ文化普クシテ國中書ヲ讀ミ字ヲ知ラザル者少シ

耕作、漁業、製造、貿易

耕作 ○蘇格蘭ハ氣候健康ニ適セズ地味膏腴ナラザレドモ能ク開墾シテ耕作ニ努力スルコト恐ラクハ他ニ比類ナカルヘシ又此國ノ英倫ニ優レル一大美事ハ貸地券期限ノ法ヲ定メテ十九年間ト爲シタルコトナリ○此國ノ農夫ハ常ニ耕作ニ勉勵シ學術ト經驗トヲ以テ善ク農業ノ利害ヲ研究シ培養農具及水ヲ乾涸スルノ法ヲ改正スルニ因リ近世農學ノ進歩セルコト極メテ大ナリ是カ爲メニ國ノ收納地價ヲ増加スルコトモ亦廣大ナリ○千八百五十六年高地農業社ノ統計表ニ從ヘハ耕地ノ廣サ三百五十四萬五千六百一十一畝ニシテ小麥ヲ産スルコト七百五十萬ビュツセルス一ビュツセルハ燕麥ハ三千二萬ビュツセル蕪菁ハ六百五十萬噸馬鈴薯ハ四十一萬四千噸ナリ又馬ヲ産スルコト十八萬頭牛ハ九十六萬七千頭羊ハ五百八十一萬六千五百六十頭豚ハ十二萬七千頭ニシテ物計七百萬頭ナリ

漁業 ○蘇格蘭ハ大貌利頭中青魚第一ノ漁場ニシテ千八百五十五年蘇格蘭及メノ島コテ漁スル青魚ノ量ハ八十九萬七千四百

六十二萬頭ノ名鰵魚及リソグノ類ハ六千三百十六萬頭

ルニシテ漁夫ノ員數六萬四千人且舟網繩等ノ諸費合テ六十一萬八千四百八十四磅ナリ○近年狗吐魚ノ漁獲ハ大ニ衰頽スト云フ

製造 ○蘇格蘭製造ノ進歩ハ極テ迅速ニシテ且盛大ナリ○綿布ノ製造ハ哥羅斯哥及バイスリーノ兩處ヲ第一トス毛布ハハウイックガルアシルスキルマルノックアベルシールノ數所ニテ製造シ麻布ハ邦弗及登壹夫ノ兩處ニテ製出ス紙ハ中部ロゼアン並ニ登壹夫ニテ製シ手套莫大小帽子其他小貨物ハ處々ニテ製造セリ且見今此國ハ鎔鉄ノ術大ニ開ケ其貨物ノ貿易繁盛ナレドモ殊ニ拉拿爾克及斯德爾零ノ兩州最モ盛ニシテ蒸氣機關及其他數種ノ機械ヲ製造シクリード河邊鐵艦製造所ノ如キハ他ニ比類ナキモノトス○ドントル、ストララインシ氏千八百五十五年頃ノ說ニ蘇格蘭西部ノ製鉄所中最モ盛大ナル哥羅斯哥ノ製造所ニテ製出スル貨物ノ價ハ其總計四百八十七萬二千八百五十六磅ニ下ラスシテ職工ノ人員三萬三千九百十二名其給料百九十七萬五千九百七十七磅ナリト云フ

左ノ表ハ千八百三十八年並ニ千八百五十六年蘇格蘭國中製造

所ノ員數機械馬力職工人員ヲ示スモノナリ

製造品	千八百三十八年		千八百五十六年	
	製造所ノ數	馬力	製造所ノ數	馬力
綿布	一九二八	三三〇〇	一五二九	九九七一
毛布	一一二一	八二二二	二〇四三	二六〇一〇
手糸	一八三四	八四五	一六八六	三四六三
麻布	一四八	一四八	一一二二	八三七
絹布	五	五	六	六
總計	四九二一	一五五	四八九二	一〇九

活字鑄造出版ノ盛大ナルコトハ以テ堡ヲ第一トス又國中章革硝子石鹼ノ製造頗ル盛ニテ毛布綿布ヲ晒シ或ハ之ヲ染ムル等ノ化學術大ニ進歩セリ又酒ヲ釀スコトハ廣大ニシテ彼ノ大麥酒エール酒ノ如キハ古來廣ク世上ニ販賣シテ其名頗ル高シ

貿易 蘇格蘭ノ貿易ハ國ノ製造品ニ比スレハ甚盛ナリ○此國ト英倫及愛爾蘭トノ貿易比較ハ左ニ記スル入港船舶ノ數ヲ以テ知ルヘシ千八百五十六年十二月三十一日ノ調査ヲ看ルニ英

倫ノ諸港中ニ碇泊スル船舶ハ帆走船一萬八千五百〇六隻其噸數合セテ三百十八萬五千三百九十六噸蒸氣船千二百七十二隻其噸數合セテ二十七萬五千六百三十五噸ナリ○蘇格蘭ノ諸港ニハ帆走船三千〇八十四隻其噸數五十一萬九千四百四十蒸氣船ハ二百七十隻其噸數七萬三千五百三十四〇愛爾蘭ノ諸港ニハ帆走船二千〇五十八隻其噸數二十一萬四千五百八十六蒸氣船百二十五隻其噸數三萬五千八百六十九ナリ又メソ島及英吉利海峽ノ諸島ニ碇泊スル船舶ハ帆走船八百三十二隻其噸數六萬千〇七十二蒸氣船十隻其噸數千五百二十四ナリ

蘇格蘭ノ各港貿易繁盛ノ比較ハ左ノ表ニ依テ認知ス可シ但シ此表ハ英國船舶ト外國船舶トヲ區別シ千八百五十六年中貿易ノ爲メ英國ノ近海屬地及外國ニ航スル船舶蘇格蘭ノ各港ニ出入シタル噸數並ニ噸數ヲ示スモノナリ

港名	入港		出港	
	英國船噸數	外國船噸數	英國船噸數	外國船噸數
亞北爾摩	一八五五	二八三八三	一〇〇七二	一、一五八
...
總計

品名	製造所ノ數	馬力	製造所ノ數	馬力
アルロア	五九二	四二五五八	三三三	一、一五九
アルブローズ	一三三	七、七九	九四六	三〇八五七
...
總計	四九二一	一五五	四八九二	一〇九

蘇格蘭内地ノ貿易ハ道路溝渠鐵道ニ因テ其交通ヲ便コス但マ千七百五十六年貿易ノ爲メニ設ケタル鐵道ノ長サハ大凡一千二百里ナリ

政治 蘇格蘭ノ政体ハ一千八百七年英倫ト合併シテ一國ト爲リ以テ其綱領ハ英倫ト同一ナレドモ自ラ固有法アリテ行法ノ處分英倫ト異ナルモノ少カラス殊ニ刑法ノ如キハ專ラ自國ノ法ヲ以テ裁決セリ又全國ヲ大別シテ三十三州トス左ノ表ハ伊呂波ノ順序ニ從テ部名ヲ記シ並ニ其廣狹人口ノ調査ニ據ル

ヲ示スモノナリ			
州名	歳數	人口	都府
亞北爾曠	二二六〇六二五	二二、二〇三二	亞北爾曠
亞爾日勃	二八〇三二二六	八、九二九八	インベレイ
哀爾	六五、〇一五六	一八、九八五八	哀爾
安孤斯	四三、九二一九	五、四一七一	安孤斯
北爾維克	三〇、九三七五	三、六二九七	グリインロー
比干德	一〇、九三七五	一、六六〇八	ロイトセイ
該內斯	四五、五七〇八	三、八七〇九	ウインク
加拉克馬南	二、九七四四	二、二九五一	アルロア
當巴爾敦	一八、九八四四	四、五二〇三	當巴爾敦
當非利利	七二、二八一三	七、八一三三	當非利利
以丁堡	二五、四〇〇〇	二五、九四三五	以丁堡
オムン即モルレイ	三四、〇〇〇〇	三、八九五九	イルシオン
發壹夫	三二、二〇四一	一五、三五四六	キニバル
邦弗	五六、八七五〇	一九、二六四	邦弗
合丁敦	一八、五九三七	三、六三八六	合丁敦
音威爾內斯	二七二、三五一	九、六五〇〇	音威爾內斯
キンカルマン	二五、二二五〇	三、四九九六	ストオンハ
見羅斯	四、九五三一	八、九二四	見羅斯
給爾加德里至	六二、〇七三四	四、三二二	給爾加德里
拉拿爾克	六三、一七一九	五、三〇一六	拉拿爾克
林利德厄	六、四三三五	三〇、一三五	林利德厄
內壹爾那	三三、七五〇〇	九九五九	內壹爾那
爾哥內及セトランド	九八、八八七三	六、二五三三	キルク、ウオ
比波勒斯	二二、六四八八	一、〇七三八	比波勒斯
白爾斯	一八一、四〇六三	一三、八六六〇	白爾斯
稜非律	一五、〇〇〇〇	一六、一〇九一	ハイスレイ
羅斯及哥羅馬爾的	二〇、六三三五	八、二七〇七	馬爾的
羅哥斯不爾厄	四六、〇九三八	五、一〇六四	シドロプロ
塞爾給爾克	一七、〇三一三	九、八〇九	塞爾給爾克
斯德爾零	二九、五八七五	八、六二三七	斯德爾零
烏宜病敦	三二、六七三六	二、五七九三	ドルノ
總計	一〇〇四、七四六二	二八、八八七四	烏宜病敦

一一八〇

下白爾斯州

千八百五十七年蘇格蘭ノ人口ヲ計ルニ其總計二百零六萬四千五百六十六人ナリ〇千八百五十六年産生者ト死亡者トノ數ヲ比較スルニ生者ノ死者ニ過クルコト大凡四萬三千人ナリ但シ同年他國ニ遷移スル者一萬三千人アリ故ニ之ヲ除ケハ眞ノ増員ハ三萬人ナリ又千八百五十五年全國ノ死者ト人口トヲ比較スルニ其平均ハ百ト二、零七トノ割合即百人ニ就キ二人零七厘ニシテ千八百五十六年ハ百ト一、九二トノ割合ナリ此平均ノ割合ヲ英倫ノ二、一九九ナリ割合ニ比スレハ甚ダ寡少ナリ又英倫内ニテモ都府ト地方トハ其差異アルコト少カラズ都府ハ百ト二、五五トノ割合ニシテ地方ハ纔ニ一、五一ナリ

勝景奇觀

蘇格蘭ノ地勢ハ概テ凸凹ニシテ地質學者ノ稱スル如ク地質ハ一般ニ第一層岩ヨリ成ル故ニ處々勝景奇觀甚多ク且其名勝ハ國人ノ詩作殊ニシル、ウ、ル、ル、ル、ルノ小説中ニ載スルガ爲メヨ

來遊シテ山水ノ名勝ヲ探ル者多シ又高地ノ如キハ其風景彼此ヲ比較スレハ其差等アルコト少カラザレドモ概スルニ勝景奇觀ニ富ムト云フ又國中秀美ノ景色ハ大概湖河ノ周邊ニシテ其主眼ナル名勝左ノ如シ

蘇格蘭地誌

トロサアーン山ノ路ハタイ河窪谷ノ北部ヨリ山麓ニ循テ彎曲セリ此窪谷ノ凹處ニベナカル及アクレーノ兩湖アリアクレー湖ノ東端ニ至ラズシテ右方ニ轉スル一路アリ之ヲ過ケレハ廣袤十里許ノ曠野ニ出ツ之ヲグレンヒンラスノ窪谷ト稱ス蓋シ此地方ハ昔時國王ノ獵場ニシテ深林鬱茂シ更ニ耕地及住家ヲ見ス其寂寥タルコト旅客ヲシテ古人ノ詩賦幽靜ノ情ヲ回想セシムルニ至ル又此窪谷ヲ流ル、一條ノ河流アリテ橋梁ヲ架ス之ヲチユルン橋ト名ツク

アクレーノ湖頭ニ至レハトロサアーン山ニ近キグレンヒンラス窪谷ノ端末ニ出ツ此窪谷ハ廣サ一里許ニシテカトリン湖ノ

二二八一

後部ニ近接セリ此巖谷ノ凹處ハ峻巖亂立盡ク奇異ノ狀ヲ極メ
喬木灌木處々ニ叢生シ又林木ノ鬱葱タル丘陵高ク其兩側ニ峙
テ風景ノ壯觀ナルコト他ニ比類ナシト云フ

カトリック湖ハトロサトリス山麓ニ位シ其長サ十里許ニシテ
國中勝景ノ一ナリ其奇觀ト稱スルハ山側ニ亂立スル峻巖ト高
ク湖面ニ聳ユル許多ノ小島ナリ島上ハ皆喬木及灌木叢生シテ
綠葉水ニ映シ景色絶佳圖書ノ及ブ所ニ非ス其東岸ニ近ツクト
キハ全景ヲ一望スルコト能ハザレドモ峻巖ノ頂上或ハ樹木ニ
攀登シテ之ヲ望メハ眼界益遠クシテ風色秀美ナリ

イレン湖○此湖ト合併シタル景色ハ白爾斯府ヲ距ル二十里許
ナルコムリーノ村落ヲ始トス此村落ハ英國中地震ノ患最モ多
キ地方ナルコト因リ景色ト共ニ其名高シ又イレンノ巖谷ト稱ス
ルハ即此勝區中ニシテ秀美ノ風景頗ル多シ

イレン湖ハ長サ九里幅一里許ニシテ四周峻巖ノ丘陵ヲ繞ラシ
風景甚美ナリ湖水ノ西端ヲ距ル一里半許ニイナンプルノ城
堡及瀑布アリ其景色ハ殊ニ國民ノ最愛スル處ニシテ其著名ナ
リ

中白爾斯州

ル壯觀ナリ

又タイ河ニ沿テ歩スルコト六里程ニシテ風光秀美ナル有名ノ
村落キンモールニ到ル蓋シ此村落ハタイ湖ノ東端ニ位シ同名
ノ河流ハ源ヲ此ニ發ス且此村落ハ白爾斯州中主眼ノ驛ニシテ
美麗ノ旅館アリ驛ノ四邊ハ丘陵空ニ聳ユ一方ニタイ湖ヲ帶ビ
他方ニブレダル侯ノ居城アリテ其近傍皆良田タリ此城郭
ハキンモールノ東方一里許ニアリテ其宮殿ノ如キハ壯觀美麗
ニシテ實ニ公侯ノ住所ト稱スベシ

タイ湖ハ山脈ノ中間ニ在リ長サ十五里水色清澄ニシテ鏡面ノ
如シ其北西ノ中央ニ直立三百九十四丈餘ノピンローウニル
ス山聳ユリ且キンモールノ近傍ニ一島アリ此島中ニ千百二
十二年歴山王一世創建ノ寺院アリ蓋シ此寺院ハ英倫顯理一世
ノ女ニシテ後ニ歴山王ノ后タリシビラ生誕ノ地タルヲ以テ
其名高シ又タイ湖ハ深サ十五尋乃至百尋ニシテ其南北兩邊ニ
道路アリ共ニ此ヨリ十六里ヲ距ルキルリンノ村落ニ達スル道
ニシテ處々ニ秀美ノ景色少カラス殊ニ南路ピンローウニル
山ノ眺望ハ絶美ニシテ此湖ノ對岸北部ノ全景ヲ一覽スベシ
キルリンノハタイ湖々頭ノ巖谷ニ位スル狭少ノ村落ニシテ風

蘇格蘭地誌

マンキルド府○此小府ハ白爾斯府ヲ距ル十五里キンモールヲ
隔ル二十四里許ニシテタイ河ノ北岸ニ濱シ近傍ノ風景秀美ナ
ルガ爲メニ甚著名ナリ○此府ハ峻巖コシテ林木多キ山下ニ位
レ前面ニ有名ノタイ河ヲ帶フ河流ハ架スルニ美麗ノ橋ヲ以テ
セリ南方ヨリ此府ニ近接シテ之ヲ望メハ景色絶佳一遊目スル
モノ心ニ銘シテ復忘ル、能ハス又此府中ニテ人目ヲ驚スモノ
ハ古代ノ寺院及貴顯アゾール氏ノ邸宅ナリ

此邸宅ノ背部ニ森林鬱茂セル丘陵アリ之ヲクレイヤー、パル
ンスト名ツク蓋シ此丘陵ハ眺望秀美ナルガ爲メニ諸方ヨリ來
遊シテ其景ヲ賞スル者多シ又旅客ハ多ク導者ヲ備ヒタイ河ノ
對岸インベル村落ノ近傍ピランノ景ヲ探ルト云フ

アピルヒルジョーキンモール及キルリンノ二景ヲ探ラント欲シ
イ河ニ沿テ此勝區ニ來遊スル旅客甚多シ○アピルヒルマーハ
一個ノ村落ニシテ此村落ノミニテハ顯著ナラザレドモ其近傍
ニタイ河ノ支流ヨリ奔下スル美麗ノ瀑布及會テモテス氏ノ住
セシ家屋アルガ爲メニ著名ニ屬ス旅客ハ多ク此所ヨリ導者ヲ
備ヒタイ河支流ニ沿テ此村落ヲ距ル一里許ナルモテスノ瀑布
ニ到ル蓋シ此瀑布ハ直流十丈許四邊ニ美麗ノ草木繁茂シテ頗

景秀美ナルガ爲メニ著名ニ屬ス此村落ヲ流ル、河二條アリ一
ヲドクアルトト云ヒ一ヲロキート云フ二流相會シテタイ湖ニ
入ルロキート河巖谷ノ景色ハ殊ニ秀美ナレドモドクアルト河ノ
巖谷ハ遠クナンヂェルム市街ノ街道ニ隔リテ只峻巖荒蕪ナル
ノミ然レドモ市街ニ近接スレバドクアルト河ハ水流數派ニ分
レテ數千ノ瀑布ト爲リ桌子ノ如キ奇觀ノ巖石ヲ奔下セリ此ニ
一橋ヲ架ス旅客ノ度ルモノ自己周邊皆飛流ナルヲ以テ亦絶奇
ト稱セザルハナシ

當巴爾敦州

此州中美麗ナル風景ノ地方ハクリードノ河邊レヴィン湖及ロ
モント湖ノ周邊ナリ蓋シロモント湖ハ英國中最大ノ湖ニシテ
景色極テ美ナリ
クリード河及レヴィン湖相會シテ稜角ヲ爲ス處ニ五十六丈許
ナル柱形石ノ大塊直立セリ此ニ蘇格蘭ノ史上ニ有名ナル當巴
爾敦ノ城堡アリ旅客ハ此城市ヲ歴遊シ道ヲ轉シテレヴィン湖
ノ巖谷ニ赴キ其近傍村落ノ奇景及貴顯邸宅壯觀ノ結構ヲ巡覽
シ此市街ヲ距ル二里許ナルダグハルン氏ノ古邸ヲ一見スベ
シ又此市街ヲ隔ル四里半許ナルロモント湖ノ南端ハルロク

ノ村落ニ至ル迄ハ路傍處々ニ美麗ナル貴顯ノ邸宅數多アリ
 ロモント湖ハ南北長サ三十三里幅南端最廣ノ處五里此ヨリ丘
 陵ノ間ニ介リ漸々狹小トナリ遂ニ細小ノ河流ニ至テ尽ク其面
 積三十一方里即二千畝湖中三十個ノ小島アリ多ク其南端ニ散
 布ス皆湖濱ト同シク樹木鬱茂セリ又此湖ノ深サハ南部二十尋
 許北部及狹小ノ部ハ六十乃至百尋ニシテ最深ノ處ハ嚴寒モ堅
 氷ヲ結ブコトナシ○昔時此湖ノ三奇事ト稱セシハ風無クシテ
 波浪起ル一ナリ鱗無キ魚ノ生スルニナリ浮漂スル島嶼三ナリ
 蓋シ風無クシテ波浪ノ起ルハ一種ノ大氣ノ所爲ニ屬スルモノ
 ニシテ容易ニ詳論スル能ハザレドモキンピルランド湖コモ亦
 此現象アリ鱗ノ無キ魚ト稱セシハ諸島間ニ游泳來往スル蝮蛇
 ヲ魚ト誤認シタルナリ浮漂スル島嶼ハ苔蘚或ハ氷藻ノ凝結シ
 テ大塊トナリタルモノ、碎片ニシテ終ニ自ラコナガン島ノ西
 部ニ固定セシモノト想像セリ
 ロモント湖ノ西邊ニ當リ爾敦ヨリインビレニ一ノ市街ニ達ス
 ル道路アリ湖ノ北端ヨリ行クコト一里許ニシテカメロント名
 クル有名ノ宮殿ニ到ル其風景結構極テ美ナリ此ヲ距ル幾許ナ
 ラズシテ路傍ノ左方ニ突出セルビルンチロ氏ノ邸宅アリ此近

傍ハ道路ノ兩側ニ樹木並列シテ景色甚佳ナリ又此ヨリロモン
 ト湖ヲ眺望スレハ湖水渺茫トシテ島嶼處々ニ散布シ丘陵極テ
 遙ナリ故ニ旅客ハ足ヲ駐メテ皆此景ヲ賞スト云フ
 ルスハロモント湖ノ畔ニ位スル快活ナル村落ニシテ山水ノ勝
 景ヲ探ル者ノ爲メニ便宜ノ通路ナルヲ以テ夏間ハ此ニ來遊ス
 ル者甚多シ○ロモントノ景并ニル村落ノ周圍ヲ眺望スベキ
 勝地ハ北部ノストロン山ニシテ其半腹ニロモント湖ノ全景ヲ
 一目スベキ處アリ此所ヨリ湖中ノ諸島嶼ヲ望メハ瞭々分明ナ
 リト雖モ地圖ノ想像及高處ヨリ目撃スルノ佳キニ如カス又眺
 望ノ美ナルハロモント湖トクレド河トノ中間ニ聳ユル南部ノ
 丘陵ニ過クルモノナシ蓋シ此地方ニハ丘陵多クレドモ皆峻峻
 ノモノニ非ズ
 インベルグラスハルスノ村落ヲ距ル三里半許ニシテ渡船場
 アリ其對岸ハロワルデナン驛ニシテベンロモント山ノ街道ナ
 リ○ベンロモント山ハ斯德爾零州ニ在テ海面ヲ抜クコト二
 丈二尺湖面ヨリ直立スルコト三百十六丈六尺ナリロワルデン
 ナン驛ヨリ此山頂ニ到ルノ路程ハ六里ニシテ漸々昇登シ行程
 大凡三時間ヲ費スベシ頂上ニ到リ四方ヲ眺望スレハ眼界廣大

ニシタルス湖ハ小池ノ如ク湖面ニ散布スル島嶼ハ恰モ小點ノ
 如シ且晴天ノ日ハ遙ニ愛爾蘭ノ海岸及メン島ヲ見ルベシ又東
 方ヲ望メハ斯德爾零及ロセアンスノ兩州并ニロセアンス灣斯
 德爾零及以丁堡ノ兩城依稀トシテ景色甚美ナリ
 亞爾日勤州クリード灣
 此灣ハ深ク内地ニ澳入シ數多ノ島嶼處々ニ散布シ且陸地ノ山
 脈ヲ帶ビ風景秀美ナルガ爲メニ來遊シテ此景ヲ探ルモノ頗ル
 多シ
 クリード灣ハ深ク内地ニ澳入シ當リ爾敦政府ニ至ル其左方ニ
 ハ稜非律州ノ丘陵連亘シテ哥羅斯哥港及グリンノッソノ市
 街アリ右方ニハ亞爾日勤州ノ山嶽高ク聳エタリ總テ亞爾日勤
 州ノ海濱ハ村落陸續トシテ處々ニ哥羅斯哥ノ府民避暑ノ住家
 散布シ又山間ニ數多ノ海灣澳入シテ鋸齒ノ如シ彼ノ長灣ト名
 ックルハ此海灣中ノ一ニシテ長サ二十四里アリホリー灣ト稱
 スルハ前者ニ比スレハ其長サ差々短ナレドモ風光秀美ナリト
 云フ
 トライトハ狹小ノ海峡ヲ隔テ、亞爾日勤州ノ海岸ト相對スル小
 島ナレトモ氣候極テ快爽ナルガ爲メニ著名ニ屬ス故ニ肺病ヲ

患フル者多シ此ニ來遊スト云フ此島ハ長サ十四里幅四里許處
 々ニ平坦美麗ノ地方アリテ其中ニ貴顯グレート氏ノ邸宅アリロ
 セセ一ノ市街ハ東北隅ニ在リテ美麗ノ温泉場及古昔斯手亞爾
 的家諸王ノ居住セシ宮殿アリ○キール、オフ、グレート名ツク
 ルハ此島ト大陸トノ中間ニ在ル狹小ノ海峡ニシテ眺望極テ美
 ナリ
 アルラン島ハグレート島ノ南ニ在リ長サ二里許巖巖タル山嶽全
 島ニ蟠亘シテ海岸鋸齒ノ如ク其眺望極テ壯觀ナリ其最高ノ峯
 ハゴート、ヒール即土人ノゴート、ビヒント稱スルモノニシ
 テ直立二百八十六丈五尺アリ此島ハ彈丸地中ニ蘇格蘭全國地
 層ノ構造ヲ表顯スルニ因リ地質學者ノ爲メニハ甚々貴重スベ
 キ地ナリ全島中ハ細小ノ園圃ヲ除クノ外皆ハミルトン公ノ領
 地タリ蓋シ千四百七十四年惹迷斯二世ノ長女マリー氏ハミル
 トン公ノ祖宗ニ嫁スルノ時國王ヨリ此地ヲ賜リシト云フ見今
 善ク開墾シテ耕種ニ適スル數多ノ園圃及牧場アリ又島ノ北端
 ニ孤立スル高峯アリ之ヲロック、オフ、アルラント名ツクローチ
 ランザハ小灣ナレドモ青魚ノ漁獲頗ル盛ナリ其海濱ノ如キハ
 家屋稀少コレヲ城郭ノ古跡アリ

蘇格蘭地誌

ヒーチハ狭小ノ灣ニシテ其一方コハ海角突出セリ之ヲキンヌ
 イルト云フ他方ハコウエルト名ツクル地方ニシテ風景甚美
 ナリ其最モ著名ナルハ灣頭ノ漁村タルビルトナリ
 亞爾日勒州ノ北部ハ大西洋ニ界シ處々ニ海灣澳入シテ秀美ノ
 景色少カラス○オパンハ其西岸ニ位シ美麗快爽ノ市街ニシテ
 海中ニ注入スル數河ノ相會スル處ニ在リ其前面ニ一島アリ之
 ラキルレフト名ツク此島ハ西部群島征討ノ時歴山王二世ノ死
 セシ地ナリ又オパン北部ノ海岸ニコウノルリート名ツクル城
 郭アリ更ニ遠キ北部ニ昔時カレドニヤン諸王ノ住セシ邸宅
 ハ巖上ニ在リテ海面ヲ目下ニ縱觀スベシ
 リンヒ灣ハロロン及モルゲンノ中間ニ位シカレドニヤン溝
 渠ノ一部ニシテ兩岸ノ景色甚美ナリ灣口ニ狹長ナル一島アリ
 之ヲリスモールト名ツク昔時ハ亞爾日勒州教長ノ領地ニシテ
 加特力宗僧徒ノ學校アリシガ佛國教育改正ノ後此校ヲ廢シ見
 今ハ只多量ノ灰石ヲ産出スルニ因リテ著名ナルノミ
 音威爾內斯州
 西岸ノリンヒ灣ト音威爾內斯州ニ近接スルモルレト灣トノ中
 間ニ廣大ノ縱谷即凹處アリ此凹處ハ山間ヲ貫クコト直線六六十

里ニシテ其下底ハ那處コトモ海面ヲ抜クコト九丈ニ上ラズト
 云フ高地ノ人民ハ之ヲ呼ンテグレン、モールナン、アルピント
 名ツク溝渠ヲ穿開シ運輸ヲ利ス之ヲカレドニヤン溝渠ト稱ス
 蓋シ此溝渠ハ千八百三年工ヲ起シ千八百二十二年ニ至リテ工
 ヲ竣ム其費額ハ八十萬磅ニシテミストルテルホルト氏監督セ
 リト云フ
 此溝渠ハ音威爾內斯州市街ノ外郭シテチヤナ、ハルリーヨリ起
 リ六里ニシテス子湖ニ達ス此湖ハ長サ二十三里ニシテ險峻奇
 觀ノ山中ニ在リ冬間決シ堅氷ヲ結ハサレトモ同時ニ地震ノ難
 甚多シト云フ又此湖中ニ突出スル巖上ニユルカレドノ城址ア
 リ其牙城ハ方形ニシテ外周數多ノ郭壘ヲ繞ラセリ此城ハ千三十
 三年エドワルド一世ノ兵之ヲ圍ミタルトキ固守シテ容易ニ下
 ラサリシカ終ニ陥リテ滅亡シ其後國王ノ所有ニ歸シ見今ハ貴
 族シーヒルド氏ノ所有ニ屬ス
 西部群島
 西部群島ハ地勢概テ凸凹ニシテ此島嶼ニ住スル者ハ皆貧困ノ
 民ナリ景色ノ壯麗ナルハスキューイグノ兩島ヲ最トス又奇觀ト
 稱スルハ柱形石ノ爲メニ著名ナルスタップノ島ナリ其周圍ハ

一里半許ニシテ住民ナク島中僅ニ數頭ノ牛ヲ産スルノミ最高
 ノ處ハ西南ノ部ニシテ高サ十四丈四尺アリ東北部ハ表面稍々
 低クシテ全ク柱形石ヲ以テ建築シタルカ如シ又處々ニ大小數
 多ノ洞窟ハ雷鳴ノ如キ響音ヲ發シテ往々破碎スルコトアリト
 云フ
 ○ドクトルマキニルロツク氏ノ説ニ從ヘハ此地方ノ表面ハ三
 個ノ層岩ヨリ成リ其厚サ皆同一ニシテ大凡九度ノ角度ヲ爲シ
 テ東方ニ傾下セリ其最下層ノ如キハ粗キ砂石類ニシテ中央ノ
 層ハ最下ノ層面ニ直立スル柱形石ナリ最上ノ層ハ細キ柱形石
 ト無形ノ岩石ト錯亂シ其形狀甚不規ナリ此三層ノ一分ハ皆美
 麗ノ綠色ヲ帶ヒ中層ノ如キハ數多ノ空洞窟處々ニ鑿通セリ
 此島ノ東北部ハ岩層傾下シテ甚低ク海水ノ退潮ニ關セス阜頭
 ノ如クシテ上陸極テ便ナリ旅客ハ此ヨリ上陸シ東北ノ地ヲ巡
 見シテカラム、セールノ洞窟ニ到ル此洞窟ハ高サ三丈深サ十
 三丈幅同一ナラス洞口ハ一丈八尺許ニシテ漸々縮小セリ其一側
 ハ柱形石彎曲シテ肋骨ノ如ク内部ノ形狀同一ナラサルコト船
 中ノ結構ヲ見ルニ似タリ他側ハ柱形石ノ尾端現出シテ其形狀
 宛モ蜂房ノ如シ其次ハビニアカイルト稱スル有名ノ巖石ナリ

此巖石ハ平坦ニシテ弓形ヲ帶ヒタル岩層ノ上ニ直立スル圓錐
 狀ノ柱形石ニシテ瀟湖ニ至レハ水中ニ没ス又ワガントコスウ
 ニノ如ク柱形石ノ破碎シタル尾端ニ因テ成リタル廣大ノ平
 面アリ但シ此平面ハ會テ絕壁ノ頂上ニ連接セシト云フユアイ
 ムヒン即通常ヒンガル、ケーフト稱スル洞窟ハ海面ニ面シタル
 四丈二尺ノ洞口アリ退潮ノ時海面ヲ抜クコト高サ六丈六尺ニ
 シテ一側ハ高サ三丈六尺他側ハ一丈八尺深サ二十二丈七尺洞
 内ノ極端ハ幅二丈二尺ニシテ内部ノ周邊皆柱形石ナリ蓋シ此
 石或ハ破碎シ或ハ集合シ異狀千萬故ニ其色モ亦數多ニシテ光
 線ヲ反射シ洞内ノ深處ヲ窺フコト能ハス
 古蹟等
 蘇格蘭ノ各所特ニグイ灣トモルレト灣トノ中間ニ位スル地方
 ニハ區石及彫鏤シタル石ヲ以テ築キタル數多ノ塚アリ蓋シ此
 塚ハ往古戰死人ノ記功標トシテ國民若クハ此國ニ屢々侵入セ
 シダニス人或ハ北邦八民ノ建立ニ係レルモノナラン其最モ顯
 著ナルモノハ斯德爾零州河邊マニニペーンニ建立セル二塚及
 キンカルマン州ヒテルカイルノ塚ナリ又西南ノ地方及其他
 所々ニ一種ノ塚アリ之ヲムート或ハモートト名ツク其形狀概

チ方形ニシテ頂上匾平ナリ蓋シ此塚ハ往古草昧ノ時ノ裁判所
タリシト云フ古物學者ノ説ニ曰ク此塚ハ人造ニシテ當時意匠
アリテ建築シタルモノナラント然レトモ水派ノ爲メニ隆起シ
タル砂石ノ變象ヲ熟知シタル地質學者ノ説ニ此塚ハ往古ノ裁
判所タルヘケレトモ全ク天造ノモノニシテ人工ニ出ル者ナラス
ト云フ抑夫ノ言ニモ二探ニ關スルノ地質論ハチヤン
ブル氏以テ紀行第四百四十四號ニ讓リテ記載セス
彫鏤シタル石碑中最モ著名ナルハフロレスノ市街ニ在リテ大
小許多ノ人像及獸形ヲ刻ミタル者トス邦弗州ノアヒルレムノ
ニ完全ナル奇觀ノ一碑アリ此等ノ碑ハ多ク此邦ノ東北部ニ限
レルモノニシテ皆其墓碑タルヲ疑フ然レトモ其彫刻ハ奇異
ニシテ世界中之ニ類似スルモノ更ニ無シト云フ

蘇格蘭ノ北部及爾哥內州ニハ古代家屋ノ遺蹟許多アリ通常國
民ハ之ヲピクトノ家屋ト稱ス是レ往古ピクト人ノ建築セシモ
ノト想定スルヲ以テナリ其形狀ハ概テ圓形ニシテ低ク屋蓋ハ
天然石ヲ以テ造營シ其形狀皆圓形ナリ内部ハ一般中央ニ圓室
アリテ壁中處々狹小ノ凹處ヲ穿テリ○往古ブリタイニス人及ダ
ニス人ノ建築セシ軍營ノ遺物ハ國中丘陵ノ頂上ニ多シ蓋シ其

ミナトシ城、貴族ドーグラス氏ノ住セシドーグラス城、貴族カ
ルリッキ氏ノ住セシナニルンヒルリ城并ニブート、ウ、セル城、
貴族アンソヨウ氏ノ住セシタンタロン城、貴族マリスカ氏
ノ住セシジョンナル城、羅伯三世ノ同胞フアイフ氏ノ屬セシ
ドウニー城是ナリ又國中四所ノ要害ト稱スルハ以テ堡、エジンボロ、セント
爾零、ダンバ爾敦、ブラクサスノ四城ニシテ現今モ尙ホ公費ヲ以
テ修繕ヲ加ヘ常ニ守兵ヲ置クト云フ

都府、市街諸港

首府以テ堡ハ同名ノ州ニ在リ人家丘陵ニ彌リホルト灣ヲ距ル
近キハ一里半遠キハ三里ナリ府内ヲ大別シテ舊市街新市街ノ
二部トス舊市街ハ狹長ニシテ漸ク東方ニ昇騰セル丘陵ノ上ニ
建築シ其極端高峻ノ巖上ニ城堡ヲ築ケリ新市街ハ北部ノ低地
ニ在リテ其家屋ハ一般ニ美麗ノ砂石ヲ以テ造營シ自カラ其景
象ヲ異ニセリ街區ハ道路端正ニシテ壯觀華麗ノ堂宇少カラス
○舊新兩市街ノ中間及新市街中數區ノ間并ニ主眼ナル街區ノ
中央ニ遊園ヲ設ケ時風ニ効フタ景色ヲ作ル皆美麗ニシテ甚タ
散鬱ニ宜シ此府風景ノ秀美ナルモノハ丘陵起伏シテ大厦高樓
其間ニ出沒シ且城郭雉堞ノ鬱然トシテ絶壁上ニ屹峙セルコ因

蘇格蘭地誌

形狀ハ環形ノ堤ニシテ當時人民危急ノ際逃レテ此場内ニ群居
セシモノト想定セリ又處々ノ丘陵殊ニ白爾斯及音威爾內斯兩
州ノ丘陵ニハ郭壘ノ遺レルモアリ皆石造ニシテ硝子ノ如ク見
ユ往古カレドニヤ人ノ建築ニ係レルカ或ハ天造ニ出シカ未タ
確定セサレトモカレドニヤ人建築ノ説尤信ナルニ近シ

往古土人ノ用サシ石斧及火石ヲ以テ造レル鏃ノ如キ兵器并頸
飾、腕飾等ヲ發見スルヲ往々之レアリ其形狀ハ甚タ粗拙ナレ
トモ頸飾、及腕飾ノ如キハ黃金ヲ以テ造レルモノ多シ又處々
ニドリユイヨカル、シルクルト名ツクルモノアリ是レ上古羅馬
人不列顛人ノ北部ヲ征スル爲メニ築キン道路及軍營ノ遺蹟ナ
リ又ホルト灣トクリード灣トノ中間ニアントニニユース帝ノ
築キン數多ノ壘堡アリ其距離皆同一ニシテ其遺蹟尙存セリ
上世羅馬教ノ勝利ヲ得タリシ時代ニ建築セシ寺院數多アリ其
造構ハ概テコシツク式ナレトモ哥羅斯哥及ギルンオールノ二
大寺ヲ除クノ外皆荒廢ニ屬ス

中古有名ナル人ノ建築セシ城堡ハ概テ荒廢ニ屬スト雖モ尙存
スルモノ數多アリ就中主眼ノ堅城ハ貴族ブワニシイス氏ノ住
セシロクマピン城、有名ナル貴族ソーリース氏ニ屬スルヒル

テナリ

以テ堡ハ昔時此國ノ京城ニ中心政府ヲ置キタリシカ後之ヲ
廢シ今尙存スル者ハ法廳及盛大ノ大學校ナリ文學頗ル盛ニ
シテ國人ハ固ヨリ言ヲ峻ス外國人ト雖モ益友ニ交リ且兒童ヲ
教育セント欲スル者ノ住ス可キ都會ナリ故ニ碩學及大醫ノ輩
甚多シ○府内製造ノ物品ハ麥酒、馬車、鉛字書籍等ナリ且定期
出版ノモノハ北不列顛新報、ブラクウ、ド、氏ノ雜報、理學日
誌、醫學日誌、法教雜誌、チヤンブル氏ノ日誌其他新聞十二種ア
リ又府内銀行數多ニシテ國ノ商業ヲ裨益スルコトハ他ニ負別ナ
リ○イスク河邊一里ノ間處々ニ抄紙場アリテ紙ノ製造頗ル盛
ナリ或ハ内國ノ用ニ供シ或ハ龍動府ニ輸出スト云フ現今此府
ハ鎮道ノ中心ニシテ其線路諸方ニ通達シ電線モ亦此府ヨリ國
内ノ諸部ニ架セリ
此府中ニテ壯觀ト稱スルハ夫ノ城郭ニシテ其城堡ノ大ナルモ
ノハ絶壁ノ上ニ建築シ直立二十丈乃至三十丈アリ其他許多ノ
砲臺、城堡及兵隊屯所アリ此屯所ハ常ニ一大隊ノ兵ヲ屯集ス
ト云フ城中ニ寶庫アリ蘇格蘭諸王傳來ノ冕、笏、劍ヲ藏シ兵隊
常ニ之ヲ守衛ス又女王馬理ノ子慈迷斯一世降誕ノ室アリ○法

廳ハ舊市街ノ中央ニ在リ頗ル大厦コシテ昔時蘇格蘭ノ議事院
 マリ院内ヲ分ク二局トス一ヲ上等裁判局ト爲シ一ヲ勸解局ト
 ス其近傍數多ノ書庫アリ就中法律書庫ノ如キハ藏籍十五萬卷
 以上ニ及ヘリ○ホリ、ルーフ、ホースハ此國諸王ノ宮殿コシ
 テ舊市街中主眼ナル街衢尾端ノ低地ニ在リ其最モ古キ建築ハ
 セームス五世ノ造營セシ處ニシテ女王馬理ノ用キシ謁見室、
 寢室、其他諸房、并ニ國王諸代ノ肖像ヲ集蓄セル室ナリ蓋シ此
 數室ノ如キハ千六百年代ノ頃女王ノ質素ナルヲ見ルコ足ル
 可シ又此宮殿ノ一部ハ查理二世ノ時代ニ築キシモノニシテ千
 八百二十二年查理四世ノ用キシ數室并ニ千八百二十一年ヨ
 リ三年迄佛蘭西ノ查理九世及其親族ニ給與セシ數室アリ又此
 宮殿ノ近傍ニ接シテ故ホリ、寺ト稱セシ加特力教ノ廢寺アリ
 近來國王ノ禮拜堂トナレリ
 此府ノ南部ニ大ナル一校アリ其造構ハ當時ノ式ニシテ形狀方
 形ナリ中ニ教師ヲ容ルヘキ三十三個ヲ設ケ各其等級ニ從テ之
 ヲ區別ス此校ニ屬スル美麗ノ書庫及廣大ノ博物館アリ○大學
 校ハ常ニ生徒數百人ヲ充テリ其醫學及道學ノ如キハ英國中其
 比ヲ見ス○有名ノ歴史家アダム氏ノ設立シタル記録館ハ新市

街ニ在リ其造構甚美麗コシテ館中藏スル所ノ簿冊數多アリ
 著名ノ寺院ハセント、ギイルレス寺セント、ヨオルジ寺、セント、
 ステヘン寺、セント、マソデレウ寺等ナリ其他有名ノ建築ハフ
 リー寺ノ聚會堂、ニューコーレー、囚獄養育院、醫學會院、國
 立銀行及ヒカルマン山ニ設ケタルチルソン氏其他數氏ノ記功
 標、プリンス街衢ノ遊園ナリ此園中ニ在ルシル、ワルテル氏
 ノ碑ハ最著名ニ屬ス○千八百五十一年此府ノ人口ヲ算スルニ
 其總計十六萬三百二アアリ又リート港ヲ算入スレハ十九萬九千
 八ナリ又千八百五十七年以丁堡及リートノ人口ヲ計ルニ以丁
 堡ハ十七萬七千二百六十二ニシテリートハ三萬五千八百七十八
 リ
 リートハ以丁堡ノ海港ニシテ同名小河ノ河口ニ在リ此市街ハ
 道路狹小頗ル雜沓コシテ壯麗ナラサレトモ外郭中ニハ却テ華
 麗ノ街衢アリ又行程一里許ニシテ以丁堡ニ達スル街道アリ之
 フリート、オークト名ツク○港中長サ半里許ノ長堤ヲ築キ此
 ニ數多ノ造船所アリ○千八百五十六年中入港セシ船舶ヲ計ル
 ニ帆走船百五十三隻其噸數合セテ二萬五百七、蒸氣船三十九
 隻其噸數合セテ七千三百六十九ナリ○此港ヨリグラントニ往

來スル蒸氣船ノ設アリテ旅行極テ便ナリ○港内製造ノ物品ハ
 繩、帆、油、酒、硝子等コシテ船舶ノ製造頗ル盛ナリ

哥羅斯哥ハ國中最モ人口多キ都會ニシテ拉拿爾克州クリード
 河ニ濱シ其河口ヲ距ル數里ニ在リ以丁堡ヲ距ルハ二十四里、
 龍動ヲ距ルハ三百九十七里、都伯林ヲ距ルハ百九十六里ナリ
 ○府内美麗ノ宮殿、家屋少カラス全府ヲ分テテ二部トス舊市
 街ハクリード河ノ右岸ニ沿フテ街布ヲ新市街ハ西北ノ部コシテ
 街衢甚々美麗ナリ○クリード河ノ左岸ハゴルハルスト名ツクル
 繁盛ノ地ナリ三橋ヲ架シテ哥羅斯哥ト連續ス其最下流ニ架ス
 ル橋梁以西ハ兩岸ニ長堤ヲ築キテ河底ヲ深カラシムルカ故ニ
 深サ一丈五尺乃至一丈八尺ニ達シ現今ハ千噸以上ノ船舶ニテ
 河岸ニ近接スルヲ得レトモ千八百二十年頃迄ハ船底八尺餘
 水中ニ沒スル船舶ハ此河ニ遊ルル能ハサリシト云フ○又此河
 ノ北岸ニ築キタル堤ハブルミートロート名ツケテ其長サ百丈
 餘アリ
 哥羅斯哥ハ元來寺院附屬ノ地方ニシテ繁盛ノ都會ナラサリシ
 カ此國改革ノ後久シカラスシテ漸ク人口繁殖シ千八百年代ノ
 中頃ニ至リ初テ屬地ノ貨物ヲ輸入シ是ガ爲メニ利ヲ得ルヲ少

カラス爾後此貨物ノ輸入絶サレトモ今ヲ距ル八十年前ヨリ專
 ラ製造ニ力ヲ盡スニ至ル彼ノ細布、法衣、袖及カンブリック布
 ノヲ織ルコトハ千七百二十五年此府ノ發明ナリ當時綿花ノ輸
 入盛ナルカ爲メ綿布製造ノ進步ヲ補助スルヲ少カラスト云
 フ○千八百三十四年蘇格蘭中ニ設立スル綿布製造所ノ數ヲ算
 スルニ總計百三十四箇ニシテ其中百箇ハ哥羅斯哥及其近傍ニ
 在リ又輸入シタル綿ノ量ハ九萬五千七百三三包ニシテ之ヲ以テ
 製スル綿布ノ織機ハ蒸氣ヲ用ルモノ一萬五千餘箇、人方ヲ
 用ルモノ三萬二千箇ナリ又千八百五十年ニハ綿布製造ニ用
 井ル綿ノ量四千五百萬磅即チ二萬包ニシテ蒸氣織機ノ數二萬三
 千五百六十四箇日々製造スル綿布ノ長サハ六十二萬五千ヤル
 ド一ヤルドハナリ又千八百五十六年ニハ綿布ノ製造益盛ニシ
 我三尺餘
 テ蒸氣織機ノ數二萬六千箇ナリ○綿布ニ花文ヲ染出シ綿紗ニ
 織箱スルヲハ共ニ此府緊要ノ職業ナリ
 哥羅斯哥ニテ最モ速ニ進歩シタルハ鍊ノ製造ニ及フモノナシ
 千八百三十年ニハ哥羅斯哥近傍ニ設立スル鍊所ノ數只十六
 箇ニシテ年々産出スル鍊器ノ量僅ニ四萬噸ナリシカ千八百五
 十四年ニハ製鍊所ノ數増加ノ百有餘箇ノ多ニ至リ其製スル鍊

器ノ量七十五萬四千噸ニシテ職工入費ノ總計三百萬磅ナリ○
 造船ノ盛ナルハハリッド河邊ニシテ年々製造スル船艦及蒸氣
 器械ノ價ハ二百萬磅乃至三百萬磅ナリ○哥羅斯哥中ニテ化學
 上製造ノ廣大ナルハセント、ロルロキスニシテ常ニ千人ノ職
 工ヲ使用シ世界中最大ノ製作場ナリト云フ
 茲ニ哥羅斯哥ニテ作セル工業ヲ詳細ニ記載スルコトハ無益ナル
 ヲ以テ今之ヲ略ス○綿花ヲ除ク外、此府ニ輸入スル主眼ノ貨
 物ハ砂糖、糖水酒、茶、烟草、材木等ナリ○哥羅斯哥貿易ノ進歩ハ
 此港ノ輸出入税并ニ千八百一年ヨリ千八百五十五年ニ至ルマ
 デヲ七期ニ分ナテ港内船舶ノ總計ヲ記スル左表ヲ看テ知ル可
 ヲ

年 月	輸出入税(磅)	船舶數	噸 數
一八〇一年、一月五日	四六〇、九三八
一八一一年	三、二四〇、三二四	三五	二、六二〇
一八二〇、	一一、〇〇〇、〇六九	八五	六、六〇四
一八三〇、	五九〇、一三、一七三	二二三	四〇、九七八
一八四〇、	四六八、九七四、一二二	三五一	七一、八七八

一八五〇、	六四〇、五六八、〇七九	五〇七	一、三七、九〇九
一八五五、	六六八、五五六、〇九四	六〇一	一九二、八九五

東半球ニテ河流ニ蒸氣船ヲ浮ベタルハグリッド河ヲ以テ第一
 トス○千八百十二年第一月ミストル、ヘンリー氏三馬力ノ蒸
 氣船ヲ初テ此河ニ泛ヘタリ其後、ライムス河ニ一隻ノ蒸氣船往
 來セシ頃ハ既ニグリッド河ニ二十隻ノ蒸氣船アリト云フ○千
 八百五十六年此河ノ船舶ヲ計ルニ帆走船四百十三隻其噸數合
 セテ十五萬六千二百二十一噸、蒸氣船四百五十五隻其噸數合
 萬三千三百九噸ナリ○哥羅斯哥ハ貿易及製造共ニ盛ニシテ其
 人口速ニ繁殖セリ千七百九十一年ノ調査ニ據ルニ人口六萬六
 千五百七十八アリシガ千八百一年ニハ七萬七千三百八十五、
 千八百十一年ニハ十一萬七千四百九十九、千八百二十一年ニハ十
 四萬七千四百三十三、千八百三十一年ニハ二十萬二千四百二十六、
 千八百四十一年ニハ二十八萬六千八百八十二、千八百五十一年ニ
 ハ三十四萬七千、千八百五十七年ニハ三十七萬四千五百五人
 ニシテ其中六萬ハ愛爾蘭人ナリ
 哥羅斯哥郭外ノ北隅ハイ、ストリッドト名ツクル街衢ニ近來

修理ヲ加ヘシ一大寺院アリ其結構ハゴシック式ニシテ千二百
 年代ノ建築ナリ本堂、唱歌所、教師會館高塔アリテ頗ル壯觀ナ
 リ
 ハイ、ストリートノ東側ニ大學校アリ其結構街衢ニ出ル所長
 サ三十三丈高サ三層ニシテ甚峻麗ナリ背後ニ廣濶ノ遊園アリ
 園中處々ニ樹木ヲ植ヘ或ハ垣牆ヲ繞ラシテ生徒ノ運動及散鬱
 ノ地トス校内常ニ三十科ノ教師其他道學及文章學ノ教師ヲ充
 テタリ又博物館アリテ天然ノ奇物、貨幣、賞牌、古代ノ書畫并ニ
 解剖學ノ大家ドクトル、ウイリヤム、ホントナル氏ノ遺物ヲ聚藏
 セリ
 近代ノ建築ニシテ最モ壯觀ナルモノハ千八百二十九年哥羅斯
 哥府西部ノ商賈商法會議ノ爲メニ造營シタル商會場ナリ其前
 面ハ遊廊ヲ繞ラシ議事堂ハ尤廣大ニシテ二行ニ并列セル圓柱
 ヲ以テ支撐セリ蓋シ此商會場ハ廣濶ノ地ニ孤立スルカ故ニ更
 ニ其美麗ヲ増加スト云フ
 哥羅斯哥ハ千八百三十二年國政ノ改革以來二名ノ議員ヲ以テ
 英國議事院ニ出ス可キ免許ヲ得タリ府内禮拜所、施濟館、養育
 所、諸會社頗ル多ク又教師ヲ教育ス可キ師範學校二個アリ一

ヲ設立者ノ管轄トシ一寺院ノ屬下トス是レ以テ其府民ノ常
 ニ教育ヲ改正セント欲スル熱心ヲ見ルニ足レリ
 哥羅斯哥ハ貿易製造頗ル繁盛ニシテ世界中大ナル貿易場ノ一
 ト稱スル者ハ是其府ノ地位四通五達ニシテ交通ノ便ヲ得ルニ
 由テナリ○大船ノ往來スル河流ヲ除ク外不列顛ノ西岸、愛爾
 蘭、ト亞米利加トノ交通容易ニシテクリッド海并ニジエンダ
 ス港ト連合セルハリッド溝渠アリ此溝渠ハ一派ニ分レ一ハパ
 イスリー及ヨノストオンニ通シ一ハモンクルランドノ石炭
 礦ニ連レリ又二鐵道ノ設アリテ一ハ以テ及蘇格蘭ノ北部ニ
 達シ一ハ蘇格蘭ノ南部及英倫ニ通セリ○哥羅斯哥ト立弗布立、
 都伯林、及愛爾蘭諸港トノ間ニ往復スル數隻ノ蒸氣船アリ皆
 巨大ニシテ粧飾美麗ヲ窮メ馬力強盛ニシテ往來尤迅速ナリ又
 旅客及貨物運送ノ爲メニ哥羅斯哥ト蘇格蘭數所トノ間ニ往來
 スルモノ數多アリ其主眼ナル場所ハ南方グリインノック、マ
 ム、バルトン、ジエヌン、ロセシイ、アルラン、グロックス、トル
 ン、マイル等ナリ北方ハインヴェイリー、カンピルトン、オバ
 ン、スマッファ、アイオナ、マイル、アリセイヨ、スカイ、ストルノ
 エー、インヴェルチス等ニシテ其北方ニ往來スルモノハ皆定期

アル蒸氣船ナリ

バイスリーノ市街○哥羅斯哥近傍ノ地殊ニ其南方ニ繁盛ノ市街及村落數多アリ最モ著名ナルハ稜非律州バイスリーノ市街ナリ此市街ハ哥羅斯哥ヲ距ル七里許ニシテカルトノ小流ニ瀕セリ千百六十年斯亞爾の家ノ祖先ウレ氏此ニ一寺ヲ建ツ之ヲ此市街ノ始トス其他名勝古蹟頗ル多シ○製造品ハ肩巾婦ノ頸肩ヲ 綿絲紗剪絨等ニシテ黃銅ノ鑄造所晒布場絹絲紡局覆フ者 綿絲紗剪絨等ニシテ黃銅ノ鑄造所晒布場絹絲紡局

パイスリーハ元來バロニー名ノ管轄地ナリシカ國法ノ改革以來變シテ議事院ノ管下ニ屬シ國法會議ノ爲メニ議員一名ヲ出セリ市街ノ事務ヲ司ル官吏ハ總員十六名ニシテ知事一名參事四名會計官一名ナリ又法廳ノ設アレトモ囚獄及懲役場ノ如キハ低地ニシテ健康ニ害アリ○千八百五十一年此市街ノ人口四萬七千九百五十二ナリシカ見今ハ四萬八千二百六十九アリ住民ノ風俗ハ善良ニシテ職業ヲ屬シ事務ヲ考究シ智ヲ磨クノ性アリ

又稜非律州ニハグロインノ名シル海港アリ曾テ國中第一ノ良港ニシテ交易繁盛タリ既ニ千八百三十四年ノ如キハ稅

關ノ收金四十八萬二千三百三十八磅ニ及ヘリ然ルニ近來クリーノ河ヲ浚鑿シテ哥羅斯哥府ニ舟楫ノ便ヲ開キシヨリ以來此港ノ貿易甚衰頽セリ蓋シ此港ハ哥羅斯哥ヲ距ル二十四里許ニシテ千七百年代ノ頃迄ハ微々タル村落タリシカ現今ハ美麗ノ市街ニシテ人口三萬八千アリ○千八百五十六年入港ノ船舶ヲ計算スルニ帆走船三百七十二隻其噸數合セテ七萬三千噸蒸氣船二十四隻其噸數合セテ千八百三十九噸ナリ外國ノ貿易ハ東西印度合衆國英領亞米利加ヲ主眼トナシ港内砂糖ノ製作、船體ノ製造頗ル盛ナリ○現今此港ハ議事院ノ管下ニシテ議員一名ヲ出セリ○稅關ハ千八百十八年ノ建築ニ屬スクリード灣ニ臨ミテ造構甚美麗ナリ其費額三萬磅ト云フ又トナンダ、ホテルト名ツクル館ハ主眼ノ街衢ニ在リ造構廣大ニシテ數室ヲ備フ蓋シ此館ハ四百名ノ出金者アリテ各二十五磅ヲ出シ千八百一年之ヲ落成ス其入費ノ總計一萬磅ナリ其他華麗ノ商會場アリ

ハ今一般ニ亞北爾嶼ト稱スル地ニシテジール河ニ接シ其河口ハ即チ此市街ノ港ナリ舊亞北爾嶼ハ古代ノ寺院、有名ノ大學校アリ市街差小ニシテドン河ヲ距ル大凡一里許ナリ○千八百五十一年ノ調査ニ從ヘハ全府ノ人口七萬九千七百七十三ナリシカ千八百五十七年ニハ七萬九千アリト云フ

亞北爾嶼ハ古キ都會ニシテ千四百九十五年舊亞北爾嶼ノ中ニ一大學校ヲ設ク之ヲキングス、コーレージュト名ツク又千五百九十二年ニ至リ新亞北爾嶼ニ一校ヲ建ツ之ヲマリスカル、コーレージュト名ツク○製造品ハ木綿ヲ第一トス其他毛布、及鐵器、船體、棉、繩、紙等ノ製造頗ル盛ナリ又ジール河ノ魚獵并ニ花崗石輸出ノ爲メニ利ヲ得ルヲ甚大ナリ花崗石ヲ彫刻シ或ハ之ヲ研磨スルヲハ府民主眼ノ職業タリ

亞北爾嶼ハ國中第一ノ造船所ヲ建築シ大ニ港内ノ面目ヲ改メリ○千八百五十六年此港ニ屬スル船舶ヲ計ルニ帆走船二百三十一艘其噸數合セテ五萬六千八百六十七噸蒸氣船十四隻其噸數合セテ四千六百七十九噸ナリ

亞北爾嶼ノ街衢ヲ大別シテ二部トス一ヲユナイオン街ト云フ南部ニ在リ美麗ノ家屋楹比シ長サ一里幅七丈許中央ノ凹處ニ

蘇格蘭地誌

橋梁ヲ架ス其長サ十三丈二尺許ニシテ頗ル壯觀ナリ一ヲキング街ト名ツク北部ニ在リ道路幅六丈許ニシテ美麗ノ家屋少カラス此兩市街ノ外、遊園、堂宇、宮殿處々ニ散布シ全府ノ風景甚美麗ナリ就中主眼ノモノハ安孤斯、亞北爾嶼、キンカル、邦弗諸州紳家相謀リテ會議或ハ歌舞集會ノ爲メニ設ケタル宮殿、カストル街ノ會所并ニ十字塔ナリ此十字塔ハ千八百二十二年ノ再建ニシテ國王慈迷斯一世ヨリ慈迷斯八世ニ至ル迄歷代ノ諸王七個ノ像ヲ彫刻シテ其造構甚奇ナリ○マリスカル校ハ元來古代ノ造法ニシテ壯觀ナラサリシカ近來多ク民費ヲ以テ之ヲ改正セリキングス校ノ如キハ高塔アリテ其造構甚美ナリ此二校合セテ生徒ノ員數六百有餘アレトモ其一半餘ハキングス校ニ在リト云フ

ジョーンジーハ知弗州ノ海港ニシテタイ灣ニ濱ス其人口ノ多キト繁盛ナルハ國中第三位ニ居レリ製造品ハ麻布ヲ主眼トス港内處々造船所アリテ船體ノ製造頗ル盛ナリ然レトモ今ヲ距ル百年前ニハ造船所ト稱ス可キ者唯一所アリシノミ○千八百五十六年船舶ノ數ヲ計ルニ帆走船二百八十隻其噸數合セテ五萬三千二百二十五噸蒸氣船七隻其噸數合セテ千五百三十一噸ナリ

又エム、キ、ロ、ク、氏曰ク千七百四十五年此港ニ輸入シタル
 麻ノ量ハ僅ニ七十四噸ナリト當時ヨリ千七百九十一年ニ至ル
 迄港内製造ノ進歩セルヲ甚速ニシテ同年輸入ノ亞麻二千四百
 四十四噸麻二百九十九噸ナリ之ヲ大凡八百ヤルドノ麻布及帆
 布ヲ製シテ輸出セリト云フ此頃迄ハ麻布製造ニ用ケル絲ハ皆
 市街或ハ近傍ノ田舎ニテ手車ヲ以テ紡績シタリシカ其後速ニ
 機械ヲ設ケテ之ヲ紡クニ因リ容易ニ製造スルコトヲ得タリ千
 八百十一年ニハ麻絲製造所ノ數僅ニ四個ナリシカ漸々増加シ
 テ千八百三十一年ニハ三十個千八百五十七年ニハ六十個アリ
 ションジョーニテ製スル麻布ハ大概粗品ニシテ人カヲ以テ製ス
 ルモノアリ或ハ蒸氣ノ裝置ヲ用テ織レルモノアリ手織ノモ
 ノハ最甚粗ナリ麻布ノ商業ニ從事セル人員ヲ計ルニ其總計大
 凡二萬五千アリ又麻布ニ亞キテ盛ナルモノハジョーノ類
 製造ナリ○此港ニテ年々輸出スル麻布ハ其價大凡三百五十萬
 磅ニシテ其一半ハ生麻ノ費用他ノ一半ハ賃錢及利益ナリ其他
 砂糖、蠟燭、繩ノ製造所并ニ造船局アリ○千八百三十一年此市
 街ノ人口ハ四萬五千三百五十五、千八百五十一年ハ七萬八千
 九百三十現今ハ九萬一千ニシテ議事院ニ議員一名ヲ出セリ

ションジョーニテ美麗ノ場所ハ中央ノハイ、ストリートト名ツク
 ル街衢ヲ最トス其他華麗ノ街衢數多アレトモ其主眼ナル家屋
 ノ如キハ郭外別荘ノ趣アリ然レトモ商會場、大學校、小學校等
 ハ當時ノ造法ニシテ頗ル美麗ナリ
 白爾斯ハ同名ノ州中主眼ノ市街ニシテタイ河ニ濱シ景色秀美
 ナルカ爲メニ著名ニ屬ス傘、絹、毛布、手巾、肩巾ノ製造甚盛ニ
 廣大ノ麻絲製造所、鑄鐵所、革製造所アリ且タイ河ノ舟楫市
 街ニ達スルヲ以テ海岸ノ貿易頗ル盛ナリ○千八百五十六年此
 港ノ船舶ヲ計ルニ帆走船五十三隻噸數合セテ四千二百九十四
 噸ナリ又タイ河ニテ漁スル過臘魚ノ量廣大ニシテ利ヲ得ルコ
 少カラス○千八百三十一年此市街ノ人口ヲ算ルニ其總計二萬
 十六ナリ千八百五十一年ニハ二萬三千八百三十五、千八百五
 十七年ニハ二萬七千六百ニシテ議事院ニ議員一名ヲ出セリ
 白爾斯ノ市街ハ道路ニ石ヲ鋪キテ甚潔清ナリクリード河ニ堅
 牢ノ橋梁ヲ架シテ對岸ノ郭外ト連接セリ○市街美麗ノ寺
 院宮殿、學校甚多シ就中セント、ジョーン寺、大學校、聚會所等ノ如
 キハ頗ル著名ニ屬ス其他狂疾院、懲役場及市街近傍ニ二個ノ
 公園アリ蓋シ此公園アルカ爲メニ市街ノ景色ヲ増スト云フ又

鎮道ハ縱橫ニ亘リ南ハ哥羅斯哥及以丁堡ニ至リ北ハワウ
 ーニ達ス

當非利斯ハ同州主眼ノ市街ニシテ人口一萬三千六十六アリ以

丁堡ヲ距ル七十一里、カルリールヲ距ル三十四里許ニシテナ
 イト河ニ濱ス小船ノ舟楫相通シテ風景甚美ナリ○製造品ハ毛
 絲、毛布ニシテ許多ノ製造所アリ又牛豚ヲ畜養シテ之ヲ英國
 ニ輸出セリ此港ニ屬スル船舶ヲ計ルニ帆走船百三十隻其噸數
 合セテ一萬六千二百三十九噸ナリ○市街清潔ニシテ美麗ノ堂
 宇少カラス就中セント、ミカエル寺ノ如キハ其華麗ナルト人
 目ヲ驚セリ

音威爾內斯ハ蘇格蘭北部ノ諸州中最大人口多キ繁盛ノ海港ニシ
 テ此ニ縣廳ヲ置クナス河ニ濱シ海ニ面スル地ハ景色絶佳畫ク
 カ如シ○市街潔正ニシテ其地位クランビヤン山脈ノ内部ニ在リ
 且人口多キカ故ニ往々之ヲ高地ノ首府ト稱ス○千八百五十六
 年港内ノ船舶ヲ算スルニ帆走船二百五十四隻其噸數合セテ一
 萬千二百十二噸蒸氣船四隻其噸數合セテ五百九十一噸ナリ○千
 八百五十一年ノ調査ニ從ヘハ人口一萬二千七百九十三アリ又
 此市街并ニ近郊ノ城堡ノ遺跡多ククロンウエル氏ノ築キタル堡

蘇格蘭地誌

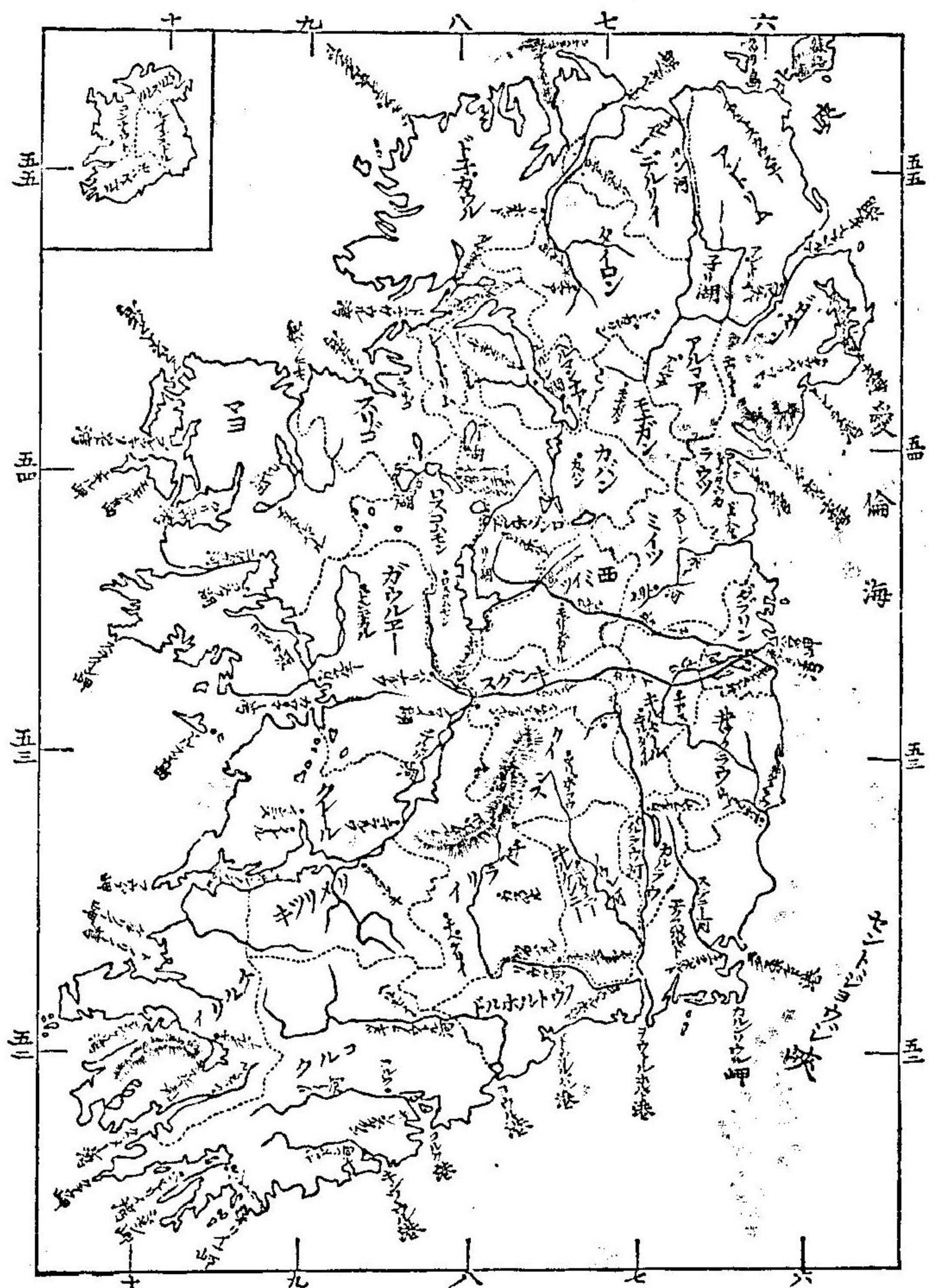
岩ノ如キハ最モ著名ナリ

上ニ記載シタル都會ノ外之ニ亞ク可キ主眼ノ市街數多アリ○
 哀爾州ノキルマルノッハ毛布ノ製造所ニシテ千八百五十一
 年ニハ人口二萬四千四百四十三アリ又哀爾州ノ首府ハ人口一萬
 七千六百二十四アリ海港ニシテ交易繁盛ナリ○斯德爾零州ノ
 斯德爾零ハ人口一萬二千八百アリ曾テ蘇格蘭諸王ノ住セシ城
 郭アリ此城郭ハ著名ニシテ眺望甚美ナリ○ハルキルハ人口
 八千七百五十二アリ繁盛ノ市場ニシテ處々ニ鑛鎮所アリ其カ
 ルロンニアルモノヲ以テ殊ニ著名トス○發達夫州ノジョニヒ
 ルムリーチハ人口一萬三千八百三十六アリ緞子、花布等ノ製
 造甚盛ナリ昔時國王ノ住セシ地ニシテ國王ロベルトノ墳墓ア
 ル著名ノ寺院アリ○キョバルハ郡城ニシテ人口五千六百八十
 六アリ○キルケルカールハ人口一萬四千五十七海港ニシテ製
 造繁盛ナリ此港貿易ノ船舶ヲ計ルニ其噸數一萬噸ナリ又セン
 ト、アンデレウスハ昔時ノ大學校ニシテ甚著名ナリ○邦州
 ノモントロス及アルブロートハ共ニ麻布ノ製造盛ニシテ其石
 坑并ニ海港ハ甚著名ナリ甲ハ人口一萬五千二百三十八ニシテ
 船舶ノ噸數一萬五千二百九十二ナリ乙ハ人口一萬六千九百八

十六ニシテ船舶ノ噸數一萬五千二百五十一ナリ○モレ州ノ
イルマン郡城ニシテ人口六千三百三十七アリ

久保吉人 校

蘇格蘭地誌畢



愛倫地誌

愛倫地誌

海老名晋譯

愛倫ハ貌利顛群島中ノ廣大且ツ緊
要ナル一部分ニ位置西南北ノ三面
ハ大西洋ヲ帯ヒ東ノ一面ハ海峽ヲ隔
テ、大貌利顛島ニ近接ス其海峽ハ地
ニ從ヒテ稱呼各々異ナリ或ハ北峽或
ハ愛倫海或ハセントヨウヨウ峽ト名
ツケテ幅員廣狹均一ナラズ即チ威
斯ノセントダサッド岬ト愛倫ノカ
ンツル岬トノ距離ハ大約四十七里
一里ハ大約我カニシテ威勸其ノホリ
十四丁四十七間
イ岬ト愛倫ノ都伯林府トノ間ハ大約
五十五里ナリ而シテ蘇格蘭ノキン
ル岬ト之ニ對峙セルヘーア岬ノ距離
ニ至リテハ僅カニ十三里ノミ本島ノ
地形ハ大貌利顛島ニ比スレハ稍々漆
合閉結スレモ尙ホ海灣河口等ノ多キ

ヲ以テ海岸犬牙シ恰モ鋸齒ノ如シニテ畫一ナラス其全長ヲ測
 レハ二千二百里ヨ下ラスト云フ又位置ハ北緯五十一度二十六
 分ヨ起リ五十五度二十一分ニ終リ西經五度二十分ト十度二十
 六分トノ間ニ聯亘セリ其最モ長キ所ハ西南角ノクラウ岬ヨリ
 東北隅ノヘーア岬ニ至ルマテ三百〇六里アリ幅ノ最モ廣キ處
 ハマヨ郡ノ西邊ヨリダウ郡ノ東陞ニ至ルマテ百八十二里ニ
 シテ其最モ狹窄ナル處ハガウルエー灣ヨリ都伯林府ニ達スル
 マテ百十里ナリ全島ノ面積ハ三万二千五百十〇方里定法ノ
 「エーケル」^一「エーケル」ハ大約我^カヲ算スレハ二千〇八〇万八
 千二百七十一箇ナリ千八百五十一年ノ實測ニ據ルニ大約千五
 百萬「エーケル」ヲ耕作地トシ五百五十二萬「エーケル」ヲ荒蕪地トシ三
 十萬「エーケル」ヲ樹藝地トシ六十三萬千「エーケル」ヲ水面トス
 而シテ其不耕地五百萬「エーケル」中ニ於テ全ク改良スヘカラ
 サルモノハ二百五十萬「エーケル」ニ過キス其餘ハ悉ク勤力ヲ
 用フレハ牧場若クハ耕地ニ變スルコトヲ得ヘシ

地勢

地勢ヲ論スレハ愛倫ハ凸凹崎嶇ナルヲ以テ概シテ之ヲ丘陵ノ
 國ト稱フヘシ然レモ蘇格蘭ノ如ク高地阻隘ニアラス又英倫東^{エングランド}

部ノ如ク全ク平坦ナルニモアラス故ニ丘陵ハ一般平和ニシテ
 敢テ峻嶮ト云フヘカラス又彼此相分レ群聚シテ山脈ヲ成スト
 云フヘカラス其最モヨク脈ヲ成ス所ノ者ノ一ヲブルウム山ト
 スキンクス及ヒクイ、ハ、ンス兩郡ノ中間ヲ經過シ南チヘラリイ
 郡ノ北部ニ連亘シ殆ント中央ノ地ヲ占有セリ脈中ノ最高點ハ
 千六百九十「フート」ニシテ大約我^カ一尺ナリニシテ即チ世ニ
 「三兄弟」ト稱スルハルラウノウル及ヒソウル三河ノ水源ハ皆
 此山脈中ニ發出セリモラハ山ハダウ郡ノ南隅ニ位シ脈絡
 短小ナレハ形體甚ダ齊整シ其絶頂タルドナルド峯ハ海面上二
 千七百九十六「フート」ノ高サアリ都伯林灣ヨリ南ニ向ヒ井ッ
 クラウ郡ノ南境ニ達スル所ノ一脈アリ形狀錯亂シテ齊整ナラ
 ス其最モ高キ所ハ三千〇三十九「フート」ニ下ラス然レモクロ
 ガン支脈ノ如キハ僅カニ二千〇六十一「フート」ニ過キス本島ノ
 西北部ハ山嶺丘陵相錯雜スルヲ以テ地勢ノ高低最モ甚シ南方
 諸郡ハ各所ノ山脈殆ント平行シテ斷然丘陵ノ地ト稱スヘシ然
 レモキラルニイ府近傍ヲ除ク外ハ一モ甚ダ高キモノナシ此
 ノ地ニ於テハマクツリクツジイリキルト稱スル所ノ山脈ア
 リ其絶峯カラウツウ山ハ三千四百十四「フート」ニシテ即チ

愛倫中ノ最高山ナリ

ケルケンニイナペラリイ及ヒリメリツキ三郡ノ豊饒ナル若干
 ノ良田ヲ除ク外本島ノ平地ハ大抵濕澤ヨリ成レルモノナリド
 クトルケエン君ノ記スル所ニ據レハ濕澤ノ面積ハ二百八十三
 萬「エーケル」アリテ即チ全島ノ面積七分ノ一ニ居ルト云フ其
 最モ大ナルモノヲアレント名ケ本島中央ノ一大廣原ニ在リテ
 キルダールカラルウ、キングス及ヒクイ、ハ、ンスノ四郡ニ跨リ
 各部ノ大半ヲ占有シ其最モ高キ所ハ二百八十一「フート」ニ達シ
 即チポイン及ヒ他ノ數川小流ノ水源ナリ又西ミイツ郡ノ鏡湖
 ニ起リロングホルド郡ヲ經テシヤンソン河ニ注入セルインニ
 イ河ノ兩岸ニ沿ヒテ深淵低下ナル一大濕澤アリ此ノ濕澤ハロ
 ングホルドロスコムモン及ヒキングスノ三郡中數里ノ間シヤ
 ンソン河ノ沿岸ニ密接スルモノト大同小異アリ只其幽閑寂寥
 ノ風景ニ於テハ稍々其下ニ屬セリ抑々此等ノ濕澤ハ硬固柔軟
 ノ度均一ナラサル泥炭ヨリ成レルモノニシテ其最モ漫漶柔軟
 ナルモノハ纖維質ノ體ヲ爲シ其密實硬固ナルモノハ之ヲ刻シ
 テ種々ノ形ヲ製スルニ蓋シ此泥炭ハ粘土及ヒ石灰砂礫ノ上面
 ニアリテ十五「フート」乃至四十「フート」ノ厚層ヲ爲シ而シテ其

之ヲ成形スル所ノ原質ハ昔時現地ニ繁殖セシ水草十中ノ八九
 ニ居ル者ナリ

又茲ニ記載ス可キ一事アリ此等ノ濕澤ハ廣潤ニシテ収容スル
 所ノ水量許多ナリト雖モ健康ヲ傷害ス可キ腐敗氣ノ蒸騰スル
 コトナキハ全ク其タンニン酸ヲ含蓄スルコト多量ナルカ爲メナ
 リ蓋シ此ノ酸ハ諸物ノ腐敗ヲ防止スルノ性強盛ナルヲ以テ多
 量ニ之ヲ保有シタル深澤ニ於テハ沈没スル人体等アリト雖モ
 必ス潰亂スルコトナクシテ其肉恰モモムミイ^{往古埃及國ニ於}
 藥ヲ施シ腐敗ヲ防キテ乾枯スルノ俗アリ^{テ人ノ死體ニ香}
 リ其乾枯セシモノハ即チモムミイナリ^{如シ然レドモ霖雨ノ}
 爲メニ澤水充滿スルルハ其硬固密實ナル部分ノ妨遮スルヲモ
 顧ミテ突進泛濫シテ夥多ノ良田ヲ沈没スルコトアリ今其一二
 例ヲ舉グルルハ千八百二十一年西ミイツ郡ノクラ、澤ブルス
 ナ河ノ空谷ニ暴溢シテ其沃壤數百「エーケル」ヲ損害シ又アン
 トリム郡モ二三年前大ニ同一ノ災ヲ蒙ルルヲアリ

地質

該島ノ巖石結構ハ太古初成ノ越礫石及ヒ板石類ヨリ起リテ概
 テ石炭層ニ終ルモノナリ又火成巖ニハ花崗石、綠石トラス
 ア^{（長石及ヒ角礫閃石等ノ混合ヨリ成）}及ヒ柱石^{（此ノ柱石}
 ア^{（長石及ヒ角礫閃石等ノ混合ヨリ成）}及ヒ柱石^{（此ノ柱石}

愛倫地誌

ハアントリム郡中ザイアントスカウスエーニ於テ發現シ無比ノ奇觀ヲ呈ス其他雲母板石、石英、大理石、葡萄石及ヒ粘土板石等ノ初成岳ハ頗ル廣濶ニシテ且高低アル邊端ヲ本島ノ四周ニ成形シ内地ヲシテ恰モ桶盆ノ如キ形狀ヲ成サシメリ而シテ内地ニ於テハ舊赤砂石、炭酸灰石及ヒ石炭ノ層相次キテ露出セリ又花崗石及ヒ綠石ハ此等ノ初成岳ヲ衝破シテ廣ク本島ノ地面ヲ占有シトラツア及ヒ卓子狀ノ綠石ハ大約第二層岳石ヲ劈裂シテ表面ニ露出ス而シテザイアントスカウスエーニ現出セル柱石ハ白堊屬即チ第三層ノ上部ニ在ル諸岳ノ痕迹ヲ剩存スト云フ判然タル第三層ノ岳石ハ一モ愛倫ニ現出セスト雖モ泥炭質濕澤ノ大厚層アリ本島地質ノ最モ顯著ナル者ノ一ヲ炭酸灰石ノ發現トス此ノ岳石ハ殆ント本邦地面ノ三分二ヲ占有シテ地味ノ豐饒ヲ増シ濕澤ニシテ且柔和ナル氣候ト合シテ世ノ了知セル綠色ヲ其植物ニ附與スルモノナリ故ニ本島ノ詩人乃チ其詩中ニ此ノ國ヲ稱贊シテ「鮮明ナル綠色嶋或ハ大西洋中ノ綠島」ト曰ヘリ各國ニ滞在セル愛倫人モ亦深ク此ノ名ヲ愛シテ常ニ之ヲ誦スト云フ

有用ノ礦物ハ都伯林郡ノ南部ニ產出スルモノ、如キハ性質優

美ナル花崗石コテ又キラウ及ヒワレンシヤヨリ出ス處ハ屋瓦用ノ板石ト又探盡ス可カラサル所ノ灰石類アリ其他ヘルマシナアノ斑色ナルカウルエーノ綠色ナルキルケンニーノ黑色ナル性質秀美ノ大理石ト又家屋建築ニ用ユベキ數種ノ石カトラウ、キルケンニー、リメリツキ、タイロン等ニ於テ出ス所ノ無燻質及ヒ瀝清質石炭及ヒ陶器製造ニ用ユル粘土擁布泥且ツ二三ノ寶石アリ金屬ノ主腦ナルモノハ銅鉛無量ノ鐵鉛ニ混淆セル銀少許ノ晏地磨尼及ヒ滿俺ナリ而シテ井ツクラウ郡ニハ一時金石發出シタレトモ現今ニ至リテハ既ニ其採掘ヲ廢止セリ本島地質ノ零解之ニ終ハルト雖モ更ニ又左ノ一言ヲ附録スヘシメクルウ君曰都伯林ベルハスト及ヒ其他北部ノ製造所ニ於テ賈ス所ノ石炭ハ大抵英倫ノ產ニシテ且ツ北部ニ限ラス凡ソ石炭ヲ用フルノ地之ヲ英倫ニ賈ラサルモノナシ思フニ愛倫人ハ數世ノ間其薪料ヲ近傍ノ泥炭澤ニ仰キシモノ大半ハ居リシナランカ

水勢

本島ノ港灣及ヒ支海ハ許多ニシテ海岸屈曲迂廻スルコト甚ク而シテ貿易上ニ大切要ノ處今其最モ重要ナルモノヲ擧ケン

ニ東岸ニ在リテベルハスト支海ハ長サ十三里幅六里乃至八里ニシテ船艦ノ出入シ易キ好碇泊所ナリ然レハ灣奥淺沙ナルヲ以テ洪水ニ際スルニ非サレハ船舶直ニベルハスト府ニ達スルコト能ハスストラングホルド支海ハ大約長サ十五里幅五里乃至六里ニシテ灣口狹窄危險ナリカイリンホルド支海ハ大約長サ十一里幅二里アレハ一淺洲ノ妨害スル所トナレリドングウク灣ハ廣大ナレハ大抵淺沙ニシテ航行ノ便甚ク乏シダブリニ灣ハ灣内大ニ廣濶ナリ近況灣内ヲ阻礙スル所ノ砂堤ヲ除却セシカ爲メニ長堤數箇ヲ兩岸ニ築キタルヲ以テ恰モ變シテ船廠ト爲レリエクスホルド港ハ邊岸錯雜犬牙ヲ殆ンド陸地ニ包裹セラルト雖モ亦一淺洲ノ之ヲ障礙スルモノアリ南岸ニ在リテハラウトホルド港即チバルラウノウル及ヒソウル河口灣曲シテ内地ニ入り且其深淵ナルヲ以テ巨艦ト雖モ海口ヲ距ルコト十五里ノヲウトホルドニ至ル同クドンガルバン及ヒヨウル港ハ並ニ甚ク切要ナラコルシノ名港ハ廣大ニシテ小嶼星羅シ港口狹隘ナレハ尙悉ク英國ノ海軍ヲ容ル、コ足レリキシクウル港ハ安全便利ヲ兼有セル灣澳ナリ西南隅ニ在リテワングルケンマイル、パントリイ、ドンマナス及ヒシルウクハ

ブンノ五大灣ハ皆容易ニ進入ス可ク且ツ好佳ナル碇泊所ナリ西岸ニ在リテトラリイ灣ハ稍々危險ナル小灣ナリシヤンノ河口ハ大且便ニシテ八百噸以下ノ船舶皆ウルフ岬トケルリイ岬トノ中間即チ河口ト大洋トノ交接點ヨリ七十餘里ヲ隔テダリメリツキニ達ス可クガウルエー、シリユウ、ブレツキツツド、キラ、及ヒスリゴ灣ハ悉ク廣濶深淵ノ灣澳ナリ而シテドチガウル灣ハ開豁ナル一支海ニシテ周圍ニ數箇ノ小隈及ヒ小港アレハキルリベグス港ヲ除クノ外一モ甚ク緊要ナルモノナシ又北岸ニ在リテスルリイ支海ハ長深淵邊岸迂曲シテ内地ニ嵌入スルコト二十五里ナリホイル支海ハ廣大橢圓ニテ稍々淺近ナル港灣ナリ大約長サ十五里幅九里ナレハ灣口ノ幅員ハ僅カ一里ニ充タス

本島ノ崎岬ハ大抵懸崖絕壁ニシテ其形狀齊整ナリ故ニ往來船舶ノ目標トナリ或ハ燈臺ノ位置ト爲ルモノ頗ル多シ東岸ニ在リテハ其最モ斗出スル者ヲセントジョンス、ドナリイ、クラウホウルハウツ井ツクラウ、カホウル、グリインナウル及ヒカルソソウルノ諸岬トシ南岸ニ在ル者ヲフウクヌウエル、アノドモウルキシソウル有名ノキリエア及ヒミセンノ諸岬トシ西岸

ニ在ルモノヲラウドンモウルシヤノン河口ニ臨メルルウ
 ア及ヒケルリイニ基ノ燈臺ヲ設ケタルスライアンチル及ヒ
 エルリスノ諸岬トシ又北岸ニ在ルモノヲラツヂイホウルラ
 ンド本島ノ極北タルマリヤン登石階及ヒ石柱アリテ畫圖ノ景
 色アルザイアントスカウスエーベンガウル及ヒヘーア岬トス
 此ノヘーア岬ハ海面上六百三十一「フート」ノ山嘴ニシテ屈曲迂
 廻セル數條ノ石路及ヒ傾欹聳直錯雜シテ林立セル石柱アリ俱
 ニ上面平坦ナル巖成岬ヨリ成レルモノナリ
 島嶼ハ大概狭小ニシテ樞要ノ地ナク其東岸ニ在リテ最モ大ナ
 ルモノヲラムベート名ツク都伯林郡ノ海岸ニ里半許ノ海中ニ
 在リテ兎、海鳥、牡蠣、蟹及ヒ海蝦ノ類夥多ナルヲ以テ有名ナリ
 南岸ニ在リテハ面積二千「エーグル」ニシテ高低崎嶇ナルキリ
 イア島アリカルソソウル岬ヲ距ルコト八里許ノ海上ニ兀立シ
 高さ二十「フート」ノ危岬ニシテエツヂイストオン燈臺ニ模擬
 セル燈明臺ヲ掲ケル所ノトスカルツロシアリ又サルナイト名
 クル所ハ危險ナル數箇ノ暗礁アリテ陸ヲ距ルコト八里許浮燈
 ヲ以テ之ヲ標示セリ西岸ニ在リテスケルリグト名ツクル所ハ
 ガンテット鵝ノ一種ノ常ニ往來スル一群ノ小島ナリ又ワレンシ

ヤト名ツクル所ハ面積九千六百「エーグル」アリテ地味沃饒ナ
 ル一大島ナリアラスケットト名ツクル所ハガウルデット海鳥
 ノ最モ好ミテ群集スル小群島ナリアルラント名ツクル所ノ三
 島アリ合計六千八百二十三「エーグル」ノ廣土ヲ有セリインニ
 スポヒンインニストルク及ヒクールト名ツクル所ハ皆クリユ
 ウ灣中ノ小嶼ナリエキルト名ツクル所ハ面積大約二万三千
 「エーグル」アリテ高さ千五百三十「フート」ナリ一名ハ鷲島ト稱
 ス又インニスキイト名ツクル一群ノ小嶼アリモレルツトト名
 ツクル形狀奇異錯雜不齊ノ半島アリ而シテコンナウト州ノ海
 岸ヨリ此等ノ島嶼ヲ經過シテ遠ク大洋ニ斗出セル沙洲數箇ア
 リ大口魚及ヒリ大口魚ニ似テ軀
 體稍々軟弱ナリ等大ニ群聚シ常ニ此ノ處
 ニ出沒ス又北岸ニ在リテアンモウルト名ツクル所ハ面積二千
 「エーグル」アリトトリイト名ツクル所ハ地味沃饒ナルヲ以テ有
 名ナリラツリント名ツクル所ハ面積三千三百「エーグル」ニ越
 ヘテ火成石ヨリ成レリ土地ニ適應セル秣草及ヒ穀類等ヲ産シ
 或ハ一時許多ノケルア葎子ノ製
 造ニ用フヲ産出スルコトアリ
 江河ノ首要ナルモノヲホイル及ヒパン河ト爲シ並ニ北峽ニ流
 注スボインリヘー及ヒストラニイ河ハ共ニ愛倫海峽ニ傾注スバ

ルラウ及ヒノウル河ハソウル河ニ入り三流合シテ終ニラウト
 ウホルド灣ニ注入スプレツキヲウトル河ハヨウル港ニ走下シ
 リイ河ハコルク港ニ進出スシヤンソノ河ハ支流甚多シ就中
 大ナルモノハボイルインニイサツクブルスナ及ヒメーグナリ
 以上載スル所ノ江河ハ總テ通航ノ便宜ニ乏シ然レトモ特リシヤ
 ソノ河ハ所々ニ氷閉及ヒ支溝ヲ設ケテアレシ湖水ニ達セリ
 パルラウ河モ亦其法ヲ用ヒテエザイ府ニ達シボイル河ハ溝渠
 ヲ穿テテストラパン府ニ達スソウル河ハクロンメル府ニ至ル
 マタ天然舟行ノ便宜アリ其他各地ノ運送セルラガソニユウリ
 一ウルトストル、ロヤル、グランド及ヒエザイ等入造溝渠ノ便ニ
 由リテ相接合セル河流モ亦若干アリ
 湖水ハ前文ニ記載セル地勢ニ由リテ推知ス可キガ如ク衆多開
 豁ニシテ四十五万五千四百「エーグル」ノ地面ヲ掩塞ス其最モ
 大ナルモノヲナート名ツク此ノチー湖ハウルストル州ニ在リ
 テ大約長サ二十里幅十里乃至十二里ニ達シ面積凡ソ十萬「エ
 ーグル」アリ湖水深淵ニシテ航行甚便ナリ而シテ其水面ハ
 僅カコ四十八「フート」ノ海準上ニ在リ同州ノエルン湖ハ四方
 「エーグル」ノ地ヲ占メタル二箇ノ水面ヨリ成ルモノトスチー

及ヒエルンノ二湖ハ小嶼水面ニ羅列シテ殆ソト畫圖ノ風景ア
 リ又同州デルグ湖ハ狭小ナレトモ許多ノ小嶼ヲ包含シ就中セン
 トバトリツキスボルゲトリイト稱スル所ノ狹窄ナル孔洞アリ
 久シク巡拜靈場中ノ一地タリキコンナウト州ノコンマヌク及
 ヒコリプハ灣曲不齊整ナル大湖ニシテ海水準ヲ出ツルコト僅
 カニ二十乃至三十「フート」トスシヤンソノ河流中ニ就テ湖ノ
 首長タルモノヲアレソリイ及ヒデルグトスアレソハ海準上百
 六十「フート」ニシテ而シテデルグハ九十八「フート」ナリ又キ
 ラルニイ湖ノ世ニ名アルハ其大小ニ關スルコト少クシテ其景
 勝ニ由ルコト多キハコンブレランドノ諸湖ト同シ蓋シ本湖ハ
 ケルリイ山脈ノ中心ニ位セル三水水面ノ相接合スルモノニシテ
 小嶼水面ニ周密羅列シ沿岸ノ線屈曲迂回歩々其景色ヲ變換ス
 ルコト實ニ千態萬狀アリト稱スヘシ
 氣候
 本嶋ノ氣候ハ甚タ温和ニシテ且ツ濕氣ヲ包含セリ此等ノ結果
 ハ二箇ノ原因アリテ然ルナリ即チ第一位置西南北ノ三面ハ大
 洋ニ對シテ東ノ一面ハ海峽ヲ帶ベリ而シテ内地ハ海面ヲ距ル
 コト最モ遠キモノト雖モ五十里ニ過キズ陸地ハ一般低下ニ屬

スルコト是レナリ
 氣候ノ温和ナルハ本島ノ極北トテガウル郡ト雖モ亦楊梅ヲ
 ウラスナナスノ一種 常盤灌木 百子連及ヒフウクシヤ 花園通常ノ上ノ
 類能ク露天ニ成長シミルトルハ 八[フート]乃至十[フート] 十分
 ニ暢茂シ屋壁ヲ掩蓋シテ第二層樓マデニ達スルコトアルヲ以
 テ之ヲ證トス可シ濕氣ハ素ヨリ濃厚ナレド地方ニ由リテ大ニ
 其分量ヲ異ニセリ故ニコルソ府ニ於テハ降雨ノ量年々平均四
 十一[インチ] 約我ガ八分四厘 大ナルニ都伯林府ニ於テハ三十一[イ
 ンチ]ニ過キス而レテ全島年々平均ノ降雨ハ二十六[インチ]ナ
 リト云フ
 本島風ノ起ル所ハ西風及ヒ西南風ヲ以テ常風トナス而シテ西
 風ノ多キコトハ毎年殆ソト四分ノ三ニ居レリ抑々此ノ兩風ハ
 大西洋ノ温暖ナル瀛流ニ混化セラレ十分ニ其水蒸氣ヲ吸收シ
 來リテ西南地方ノ風氣ヲ暖和セシム然レド之カ爲メニ時氣ノ
 變換ヲ作興スルモ亦甚シ山岳最高頂上ニ於テスラ甚テ稀レニ
 シテ到ル處綠色ノ發生ヲ督促セリ然レド蕭颯ノ秋氣亦夙ク催
 ヲテ其成熟ヲ損害スルコト之ヲ英倫ニ比スレハ所謂冬ト稱ス可
 キ氣候ヲシテ轉テ永カラジム氣候ノ差異ハ稍々感覺シ難シト

雖モ尙尋常ノ功カヲ保有セリ故ニ南方ノ諸郡ニ在リテハ春先
 ヲ來リテ莫實成熟スルコト十四日計リコシテ百穫取穫ノ期早
 シ到ルコト北方ノ諸郡ニ比スレハ三十日前ナリ中央ノ諸郡ニ
 比スレハ大約十四日前ニ在リ寒暖ノ平均北郡ハ華氏寒暖計ノ
 四十八度ニテ中央ハ五十度南方ハ五十二度ナリ
 植物及ヒ動物
 愛倫天然ノ動植物ハ大抵大貌利類ニ類似シテ樹藝スル所ノ植
 物及ヒ繁養スル所ノ動物モ亦悉ク同一ニシテ小異アルコトナ
 シ然ルニ本島ニ限リ現存スルモノ別ニ數種アリ今其著名ナル
 モノヲ左ニ掲クキラルニイノ楊梅樹ハ赤色ナル菓實枝上ニ滿
 ナテ特ニ美麗ナリ愛倫薔薇ハペルハスト近傍ニ産シ愛倫刺鷹
 瓜ハヤウンニ於テ偶々見ル所ノモノニテ其尋常刺鷹瓜ニ異ナ
 ル所ハ直長シテ傍蔓セザルト其結構ノ軟弱ナルトニ在ルノミ
 愛倫樺樹即チフロレンカウルト樺樹ハ亦直長シテ傍蔓セス綠
 葉深濃トシテ杉樹ニ似タリ愛倫メンタイシヤ 灌木ノハ紫色ナ
 ル大花薔アリテガウルエトノ寂寥タル地方ヲ裝飾セリ又コル
 シカ及ヒ西班牙其他地中海諸島ニ生スル所ノヒイツノ一種
 數種アリ而シテ愛倫苔即チカリヨイン苔ハ貿易上ニ於テ稍々

切要ナル海草ナリ

方今愛倫ハ樹木蕃盛ノ國ト稱シ難シ故ニ現今廣ク樹藝ヲ施シ
 其調典ヲ補ハシコト計レリ然レド吾輩ハ歴史上ノ明証確實ナ
 ルモノニ據リテ通常山林ニ於テ成長スル巨樹大木ノ繁茂シマ
 ル許多アリシハ今日ヲ距ルコト遠カラサルヲ知ル即チモルリ
 ソン(千五百九十六年)マイス(千六百〇五年)ノ二氏著ハス所
 ノ書中ニ於テ宛テナル愛倫人ノ各地山林ニ逃匿セシコトヲ記
 セリ又スベンセル氏ノ妖魔女王ト題セル書中ニ載スル所ノ風
 景ハ都テ之ヲバンドン河畔ニ取ルモノナルガ其書中ニ「快樂
 ナルバンドン樹林ヲ冠スル」ノ語ヲ用ヰテ今日マデモ存スル
 所ノ實況ヲ述ベリ且ツ又バウト氏(千六百五十二年)著述セル
 博物書中ニ於テ當時現存セシ樹林ノ廣大ナリシコトヲ記載セリ
 是等ノ事實ヲ以テ確証トナスヘシ然レド後世屢々衆庶ノ私有
 ヲ強奪シ之ヲ他人ニ讓與セシヲ以テ人民各々怠慢ノ心ヲ生レ
 只目前ヲ過シテ後來ノ利害ヲ顧ミサルニ至リシコトハ固ヨリ論
 ヲ俟タス又地主タルモノモ其墾ル所畢竟栽培ノ勞ヲ償ハサル
 ヲ察知シ墾勉樹林ヲ開拓シテ田圃ヲ増加スルコトニ汲々タル
 ハ是レ自然ノ勢ヒナリ然レド幸ヒコト少計ノ殘餘ヲ得タル地ニ

於テハ猶往昔ノ橡樹及ヒ槐樹ノ森林ヲ存スル所アリ乃チキラ
 ルコイ府傍近バンドン湖ヲ距ルコト遠カラザルグレンガリ
 ツフ傍近コンチマラ地方ヲツラウ郡中若干ノ地及ヒド子ガ
 ウル郡ノ美麗ニシテ且狹小ナルバンドン湖傍近等是レナリ而シテ
 此ノ樹林ニ於テハ今日ニ至リテモ猶往昔ノ赤鹿ノ小群ヲ成スヲ
 見ルコトアリ
 動物ヲ記録スルルキハ鹿ハ其骸骨及ヒ角肢ヲ濕澤中ニ遺シテ其
 巨大ナルコトヲ後世ニ示ス一証トシテ絶滅スルハ英國共和
 政治ノ時代ヨリ其跡ヲ屏匿シ狼犬ハ時トノ猶人目ニ觸ル、
 アリ赤鹿ハケルリイ郡ノ寂寥タル山間ニ徘徊シ鷺ハコンナウ
 ト州ノ西岸ニ住シ從來ノ愛倫鷹ハ其種ヲ絶セリガウルデット
 島ハブラスケット諸島ヲ以テ特別ノ巢窟ト爲セリ其他シラル
 ウ、ドルカル二種鱒魚ノ在ル所ハ獨リチー湖ニ限レリ家畜ハ
 大抵其種類ヲ混淆スト雖モ愛倫ニ限リテ他國ノ有セザルモノ
 數種アリ則チ愛倫馬蓄愛倫種及ヒケルリイ種ノ刺牛鏡線様
 ニノ價位ナキ毛ヲ備フル羊四肢長大ニシテ而シテ体軀疲瘠ナ
 ル豚是レナリ世ノ信スル所ニ據レハ地味氣候共ニ濕氣ヲ帶フ
 ルコト深キヲ以テ蝮蛇ナク又蟻ヲ生セス然レド蠟蟻及ヒ蟻蜂ノ

類に至リテ珍奇ナラザルハ大ニ世人ノ思想ニ反スル所ナリ
人口

愛倫人ハ大率セルツ種類ノ支派ニシテ始メテ本邦ヲ占メタル
人民ナリ全島ノ農民ハ頗ル此ノ種族ニ属シ今日ニ至ルマデ諸
郡ノ農民往々セルツ語(今之ヲ愛倫語ト稱ス)ヲ用フルモノア
リ此ノ例外ニ出ルモノハ北部ヲ以テ第一トス此ノ地方ニ於テ
ハ中等以下ノ人多クハ蘇格蘭人ノ苗裔ニシテ其先人ハセルツ
種族ヨリ稍々降リテ此ノ地ニ移住セシモノナリ又コンナウト
州ノ人民ハ西班牙國ニ出ルモノ稍々多シガウルエー郡ニ於テ
特ニ其然ルヲ覺フ英倫系統ノ家族ハ其數ノ衆多ナルニ比スレ
ハ本島ノ力役社會中ニ在ルモノ甚々稀少ナリ然レハ上中社會
ノ種族ハサクソノイ系統ニ属スルモノ其半ニ過キタリ
メシルウ君言ヘルコトアリ「本島人民ノ性質ハ地方ニ從ヒテ
頗ル差異アリト雖モ英倫及ヒ蘇格蘭ノ血脈ヲ混淆セルヲ以テ
一般ニ他國ノ人民ト殊別アリテ誤認スヘカラサル一種ノ品性
ヲ備具セリ概シテ之ヲ論スレハ愛倫人ハ愛情甚ク深クシテ信
用ヲ易ク誇大ニシテ人ノ己ニ倣スルヲ好ミ暴怒シ易クシテ不
意ノ刺衝ニ感應シ易ク心思一定セシテ其情意常ニ事物ノ極

點ニ僻ナル所アリ元來愛倫人ハ全ク先見ト謹慎トヲ缺クノミ
ナラス英倫人及ヒ蘇格蘭人ノ如キ果斷ト忍耐力トヲ保有セス
故ニ勇猛ニシテ能ク事ヲ起スト雖モ當初ニ於テ失誤スルキハ
氣力挫折シテ其志望ヲ失フコト甚々多シ然レハ機智及ヒ慈惠
ニ富ミテ大ニ交際ヲ好メリ或ハ客當ニ涉ルコトアレトモ浪費
ヲ厭ハザルハ其著明ナル事跡ノ一端ナリ又輕浮ニシテ且満足
シ易キヲハ其陋劣ナル性質ニシテ往々迂闊ニ陥ルコトアリ故
ニ利益ノ照々タルモノニ於テモ奮勵力シテ改良ヲ謀ルニ意
ナシト然ルニ又愛倫人ノ品格ニ就テ前者ニ比較スルハ更
ニ一層頑惡ナルモノアリ蓋シ法令ヲ亂サント欲スル意見著明
ノ者乃チ是レナリ彼等ハ犯人ノ捕縛國法ノ施行ヲ補助スル意
ナキノミナラス其最モ惡ム可キハ人ヲ殺ス者ヲ庇蔭シテ法網
ヲ漏脱セシメント謀ラント欲スルノ勢アリ
愛倫人ノ最モ甚シキ不品行ノ原因ハ近世ニ至ルマテ連綿壓制
暴虐現出シタル宗教ト政治トノ史乘ニ於テ明瞭ナリ何如ソ
愛倫人ニシテホルン君カ左ノ如ク名狀シ得タル法律ニ服從ス
ルコトヲ得ンヤボルク氏曰羅馬教徒ヲ壓制センカ爲メニ本邦
(愛倫)ニ於テ設立シタル所ノ政法ト殘酷ニシテ殺戮ヲ好ムコ

ト響キニ羅馬教ヲ奉セシ君主及ヒ邦國ニ於テ作爲セシ所ノ者
ニ殆ント過キタリ縱令ヒ殘酷好殺ト云フニ至ラズモ實ニ緩慢
殘虐ニシテ哲人君子身ヲ容ル、ノ地ナク困迫戮辱至ラサル所
ナカラシムト云フ見今立法ノ事業暢達スルニ隨ヒ此ノ弊害稍
々改良ニ赴クト雖モ從來人民ノ胸臆ニ浹浴セル怨恨疑惑ハ數
世ヲ經過スルノ後ニ非サレハ決シテ消滅ス可カラス抑々愛倫
ノ大半羅馬教徒ニ關涉セル所有地罰則ハ全國中ニ其餘毒ヲ流
セシテ殆ント疑ヲ容レヌ如何トナレハ之ヲ設爲シ之ヲ寬宥ス
ルノ際ニ於テ人民各不安ノ心ヲ抱キ其職業ニ直接ノ障礙ヲ致
セハナリ故ニ此罰則ハ卑視スルハ土地ヲ分割貸與シ或ハ細分
讓與スルノ二法ヲ助成シ以テ本島ノ全面ニ半食半餓ノ人民ヲ
生センコト是レ亦疑フ可カラサル所ナリ當時人民ノ大半外部
ノ景況本島ニ於テ人目ニ觸ル、所ノモノハ最モ卑陋ナルモノ
ナリ故ニ千八百三十八年ノ議院公告書ニ之ヲ詳載シテ曰「此
等人民ノ食トスル所ハ只馬鈴薯ノヨシテ固ヨリ麵粉ノ類モ
ナク時トシテハ牛乳スラ缺クコトアリ其室ハ矮陋ナル茅舎ニ
テ其褥ハ單冷ナル草芥ナリ工銀ハ低下ノ極度ニシテ毎日得ル
所僅カク六ペニョイ」一「ペニョイ」ハ「過キス」ト云フ人口ハ

耕地一万里六百四十每二百三十五人アリ是レ恐クハ支那
ヲ除クノ外ニ於テ人口ノ稀少ナル國ニ專ラ耕作ヲ業トスル
地方人口ノ割合ト租々相類似シタリ然レハ壓力ヲ減省スルノ
事業起リシヨリ爾來全國ノ品位稍々上進スルヲ見ルニ至レリ
此ノ逼迫ノ大ニ減少セシハ即チ救助ヲ受ケシ究民ノ公報ニ由
リテ之ヲ證トス可キナリ千八百五十三年ニ於テハ其數十四
万千八百二十二ナリシカ同五十七年ニ至リテハ五万六千〇
九十四人ニ減セリ(英國制度國貨篇ヲ參考スヘシ)
左ノ表ハ數回ノ計算ニ依リテ知り得タル愛倫ノ人口ヲ揭示シ
タルモノナレハ千八百十一年始メテ政表ノ制行ハレシヲ以テ
其以前ハ只概數ヲ知ルニ足ルノミ

年	人口	増	減
一六五二	八〇、〇〇〇	、、、、、	、、、、、
一六七二	一三三、〇〇〇	四七〇、〇〇〇	、、、、、
一六九五	一〇三、四、一〇二	、、、、、	二八五、八九八
一七二六	一三〇、九、一〇六	一二七、五〇四	、、、、、
一七五四	一三七、二、六三四	六三、五二八	、、、、、

一七六七二、五四四、二七六	一七二、六四二
一七八八四、〇四〇、〇〇〇	一、四九五、七二四
一七九二四、〇八八、二二六	四八、二二六
一八〇五五、三九五、四五六	一、三〇七、二三〇
一八一一九、九三七、八五六	五四二、四〇〇
一八二二六、八〇一、八二七	八六三、九七一
一八三二七、七六七、四〇一	九六五、五七四
一八三四七、九四三、九四〇	二〇九、五七五
一八四一八、一七五、一二四	二三一、一八四
一八五一六、五五一、九七〇	一、六二二、一五四

表中示ス所ノ如ク千八百四十一年ヨリ同五十二年ニ至リテ人口ノ著シク減少セシ原因ハ千八百四十五年以來頻年馬鈴薯ノ凶歉ナリシニ由リテ起リシ處ノ饑饉災害ノ致ス所ト爲ス人多シト雖モ死亡公報ニ據レハ此ノ十年間ノ死亡殊ニ多カラザリシト明瞭ナリ然ルモハ斯ク衰頹スル原由ハ全ク海外へ移住スルト出生ノ減損スルトニツノ者ニ關係アル可シ抑々英倫通常ノ死生割合ニ比スレハ千八百五十一年愛倫ノ人口ハ海外移

住ノ數ヲ加ヘテ九百〇一万八千七百九十九人ナル可キニ現數二百四十六万六千八百二十九人ノ不足アリ蓋シ此ノ十年間ニ於テ海外ニ移住セシモノハ百二十四万〇七百三十七人ナリシヲ以テ大約不足ノ半ヲ補フニ足ルト雖モ自餘ハ出生ノ衰凋ニ基クモノナリ或曰「此ノ衰頹ハ農事製造及ヒ尋常ノ商業ニ從事セシ所ノ力役社會ニ發生シタル變遷ノ影響ナリ此ノ種ノ人民ハ一旦全國ニ散布シテ速カニ繁殖ヲ致シタリト雖モ此ノ變遷ノ爲メニ從前ノ地位ヲ失ヒ全ク力作ニ依頼シテ其生ヲ遂ケサル可カラザルノ景況ニ至レリ是ヲ以テ人口ノ繁殖大ニ其機會ヲ失フト云ヘリ

此ノ減少ハ猶モ底止セズ次ノ表ハ千八百五十年三月三十一日ヨリ千八百五十六年一月一日ニ至ルマテ海外移住ニ由リテ生セシ所ノ減損ヲ預算シタルモノナリ

上	年	月	日	人	口	生	死
一八五	一	三	三	一六、五五二、三五八	一五八、五二五	一〇九、二〇六	一八五二一
一八五	二	一	一六、四二二、一九七	二〇七、一六八	一四二、七二五	一八五三一	
一八五	三	一	一六、二九六、三二八	二〇三、一〇七	一三九、九一八	一八五三一	

一八五四一	一六、一八六、三六九	一九九、五六〇	一三七、四七五
一八五五一	一六、一〇七、八九九	一九七、〇二九	一三五、七三一
一八五六一	一六、〇七七、二八三	、、、、、	、、、、、
一八五一一	四九、三一九	一七九、五〇七	一三〇、一八八
一八五二一	六四、四五三	一九〇、三二二	一二五、八六九
一八五三一	六三、一八九	一七三、一四八	一〇九、九五九
一八五四一	六二、〇八五	一四〇、五五五	七八、四七〇
一八五五一	六一、二九八	九一、九一四	三〇、六一六
一八五六一	、、、、、	、、、、、	、、、、、

家屋ノ區分法ハ僅カニ一室ヲ有スル土製ノ茅廬ヲ以テ第四等トシ土製ニシテ室數共ニ二箇以上四箇ヲ備ヘテ稍々上等ニ屬スル小舎ヲ以テ第三等トシ田舎間ニテ佳麗ナル農家若クハ郷邑ノ小巷ニ在リテ室數共ニ五箇以上九箇アル家屋ヲ以テ第二等トシ前ノ三種ニ勝レルモノヲ以テ第一等トスルナリ此ノ方法ニ照準シテ千八百四十一年ト千八百五十一年ノ家屋ヲ區分スル所左ノ如シ

但シ千八百五十一年ノ死生及ヒ移住ハ只九ヶ月ニシテ即チ四月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ルマテノ數ヲ擧ルノ

人口ノ變遷ニ付テ只一點ノ喜悅スヘキモノハ次ニ載スル所ノ千八百四十一年ト千八百五十一年ニ現存セシ家屋差等ノ比較表ニ由リテ見ル可キカ如ク人口ノ減少スルコト上中同等ニ在ラズシテ貧民社會中ニ在ルコトナリ當時政表委員ノ採用シタル

千八百四十一年	千八百五十一年	增	減
第一等	四〇〇八〇	五〇、一六四	一〇〇八四
第二等	二六四、一八四	三一、七五八	五四、五七四
第三等	五三三、三九七	五四、七二二	八、四一五
第四等	四九一、二七八	一三五、五八九	、、、三五、六八九
住總計	一、三二八、八三九	一〇四、六二二	、、、二八、二六六
落成	五二二、〇〇八	六五、二六三	、、、一〇、五五五
建築中	三、三三三	一、八六八	、、、一、四四五
合計	一、三八四、一六〇	一、一三三、五五四	純減數二七、一〇六

是ニ由リテ之ヲ觀レハ千八百四十一年ヨリ同五十一年ニ至ルマテ滿十年ノ間ニ減少シタル土製ノ小舎ハ三十五万五千六百八十九戸ナリ第四等ノモ此クノ如キ減損アレハ自餘三等ノ家屋ニ於テハ却テ増加ヲ致セリ即チ第一等ハ一万〇〇八十四戸第二等ハ(田舎間ノ好佳ナル農家モ此ノ中ニ在リ)五万四千五百七十四戸第三等ハ(二室以上四室アル土製ノ家屋類此ノ中ニ在リ)八千四百十五戸ヲ増加セリ

又公報ニ據ルニ千八百五十一年ニ於テハ全國ノ人口中愛倫語ヲ解スルモノ百五十二万四千二百八十八人ナリト雖モ其中英語ヲ兼用シ能ハサルモノハ僅カニ三十一万九千六百〇二人ナリト云フ之ニ由リテ考ヘ計ルトキハ全國人口ノ中愛倫語ヲ解スルモノハ每百僅カニ二十三人ニシテ愛倫語ノミヲ解スルモノハ每百五人ニ滿サルカ如シ蓋シ平常愛倫語ヲ用フル人民ハガウルニ郡中ニ最モ夥シ此ノ地ニ於テハ其數殆ント每百七十八ニ當ルト云フ

國民ノ職業及ヒ貿易

農事。メクルウ氏曰農業ニ就テ善長ナル方法ヲ設クルキハ愛倫ハ必ス歐洲中第一ノ生産多キ富國ト爲リテ往昔羅馬ノ著述

家ガシ、リイノ沃饒ヲ讚美開陳シタル所ヨリモ超越スルニ至

ルヘシ故ニ愛倫ニ來リテ其地味ノ膏腴無双ナルト住民ノ貧困ナルト農具ノ粗惡使用ノ拙劣ナル等ヲ比較スル所ノ人ハ皆謂ヘラク若シ物品ヲ所有スルノ權安全ニシテ而シテ土地ヲ保存シ且之ヲ使用スルノ方法其宜キヲ得ルキハ國產ノ増殖繁茂測知スヘカヲサルニ至リテ恐クハ今日ヨリ五倍ノ利益アルト容易ナル可シト云ヘリ夫レ斯クノ如ク地味ノ豊饒ナル所以ノモノハ畢竟地皮下ノ土壤石灰質ナルト氣候ノ和柔濕潤ナルトニ由ルモノニシテ地皮ノ厚薄ハ大ニ關スルモノニ非ス蓋シ本島ノ地皮ハ大抵淺薄ナレハナリ

愛倫農事景況ノ甚々拙陋衰廢スルハ種々ノ原因アルコトナリ地主ニシテ遠ク隔絶ノ地ニ住スルモノ多キト或ハ負債ニ困迫スルモノ許多ナルト又仲人土地ノ貸借ヲ媒介スルニ於テ數人ノ中人地主ト借主ノ間ニ入りテ妨害ヲ生スルト且ツ園圃ノ穢小ナルト此ノ四箇條ヲ以テ大原因ノ一トス抑々此園圃穢小ナル所以ハ父之ヲ其子ニ分テ與フル習慣ト又之ヲ佃戸ノ貧農ニ分割貸與スルノ法ヨリ起リシ者コト風土ノ事情斯ノ如クナルヲ以テ地主タルモノハ資財ヲ永久ノ改良ニ抛タント欲スル者

甚ク少ク或ハ偶々其意アリトモカヨク之ヲ辨スルモノ鮮ナシ而シテ借主ハ赤貧ナルヲ以テ僅カニ租惡ナル農具ヲ調度スルコトヲ得ルノミ從來地主及ヒ借主ノ習慣ハ後來ノ利害得失ヲ顧リミ慮ラス只本年ノ收穫ヲシテ最多クナラシメントテ專ラ勉メト大加之ナラス人民懶惰ニシテ且ツ無智ナルヲ以テ耕耘ノ勞ヲ増スルハ何等ノ効驗ヲ生ス可キヤヲ覺知セサルカ故ニ其困難益々甚シキニ至ルナリ

本島ニ於テハ地主ト借主人ノ關係未ダ曾テ十分満足ノ有様ヲ得タルコトアラズ貸借ノ期限ハ長短均一ナラズト雖モ又期月ナキモノ半ハニ過キタリ地主ハ園圃ノ倉廩其他農事ニ切要ナルモノト雖モ一切建設修補セズ況ンヤ永久ノ改良法ニ於テ一物ヲモ費消セサルヲ以テ此等ハ悉ク借主ノ本務ト爲レリ是レ則チ本島ノ各地就中盛ニウルク州ニ「借主ノ通義」ト名クル習慣法ノ起リシ所以ナリ此ノ法ノ起リシヨリ借主人其園圃ヲ辭スルキハ新借主ニ就テ「エーシ」毎五磅一磅ハ「二」以上二十磅以下ノ金ヲ出サシメタリ蓋シ其改良ノ費消ヲ償ハシムルノ意ニ出テシモノナラン然レハ今日ニ至リテハ全ク改良セザルノ地モ亦猶之ヲ要求セリ甚シキハ無定期ノ借主

愛倫地誌

コシテ之ヲ要求スルモノモアリ斯ノ如キ不條理ノ風習ハ農業ノ外ニ於テ生活ノ方便ナキ國ニノミ行ハル、コトヲ得可キモノナリ是ニ於テカ一旦人ノ保有セシ土地ハ一人モ之ヲ承受スルモノナキニ至レリ

然レモ方今愛倫農事ノ功業將ニ一新セントシ農民ノ景況モ亦隨ツテ一變セントスルノ機ニ會セシトハ世人モ共ニ許ス所ナリ蓋シ廢地條例起リテヨリ改良ス可カラサルノ景況ニ陥リシ許多ノ土地ヲ興復シテ之ヲ資財アル人ニ讓與セリ千八百四十九年以來委員ノ賣却セシ土地九千三百二十九箇所ニシテ收得シタル金額ハ千八百二十三万磅ナリ而シテ其八分ノ七ハ愛倫ノ人之ヲ購求セリ加之國民教育ノ法定リテヨリ農民一般ノ智力モ亦大ニ進歩シ且ツ學事委員ノ專ラ農事ニ關涉セル事件ニ注目セシトハ眞ニ智識アルト謂フヘシ三十五ノ模範農學校アリテ全國ニ散布シ稼穡耕耘ノ理論及ヒ實業ヲ教導セリ左ニ掲クル所ノ表ハ各等借地ノ受ケタル變遷ヲ示スモノナリ

千八百四十一年及ヒ同四十九年ヨリ同五十五年ニ至ルマテ八ヶ年ノ借地數及ヒ其大小等ヲ記載ス

上 年	「エーケル」以下		「エーケル」以上五「エーケル」以下		五「エーケル」以上十五「エーケル」以下	
	實 數	百分ノ	實 數	百分ノ	實 數	百分ノ
一八四一	1,111	31.0	3,775	44.9	2,578	36.6
一八四九	3,198	49.9	9,179	151.1	3,897	57.9
一八五〇	3,532	56.6	9,161	146.1	3,331	50.4
一八五一	3,772	62.2	8,803	145.5	3,154	47.4
一八五二	3,505	59.5	8,156	133.9	2,808	42.9
一八五三	3,579	61.1	7,941	133.6	2,870	43.5
一八五四	3,816	65.5	8,097	137.1	2,791	42.3
一八五五	3,642	62.2	8,121	137.8	2,789	42.3
下 年	十五「エーケル」以上三十「エーケル」以下		三十「エーケル」以上		總計	
	實 數	百分ノ	實 數	百分ノ	實 數	百分ノ
一八四一	793	11.5	4,863	77.0	6,911	104.1
一八四九	1,501	23.0	15,696	241.1	6,511	97.5
一八五〇	745	11.1	15,256	243.3	6,283	94.2
一八五一	411	6.2	14,909	245.2	6,080	91.2
一八五二	1,391	21.6	15,140	245.7	5,894	89.1
一八五三	1,381	21.6	15,140	245.7	5,894	89.1
一八五四	1,376	21.6	15,140	245.7	5,894	89.1
一八五五	1,376	21.6	15,140	245.7	5,894	89.1
總計	15,140	245.7	15,140	245.7	30,280	491.4

前表ニ據レハ「エーケル」以上五「エーケル」以下借地ノ比較數ハ千八百四十九年以來漸ク減少シ五「エーケル」以上十五「エーケル」以下ノ者ニ於テモ亦然リ十五「エーケル」以上三十「エーケル」以下ノモノハ其比例ノ數ニ於テ此ノ數年間ニ甚ク僅少ノ變化ヲ生ゼリ然レモ三十「エーケル」以上ノモノハ千八百四十九年ノ百分ノ二十四ト一ヨリ漸次増加シテ千八百五十五年ノ二十六ト三ニ至レリ

次表ハ各等借地ノ數及ヒ數種ノ人民土地ヲ分領スルノ景況如何ヲ示スモノナリ十五「エーケル」以上二十「エーケル」以下ヲ有スル農民ノ所有地ハ本島全面積ノ半ニ過キ十五「エーケル」以下上三十「エーケル」以下三十「エーケル」以上五十「エーケル」以下五十「エーケル」以上及ヒ五十「エーケル」以上百「エーケル」以下ヲ有スル三種ノ農民耕地及ヒ秣場ノ廣狹ハ大抵各々相平均ナリ而シテ二百「エーケル」以上ヲ有スル人ノ土地ハ合計五百〇二万九千百十五「エーケル」ナレバ濕澤及ヒ荒蕪ノ地二百三十七万二千五百六十九「エーケル」アリテ殆ント其半ニ居レリ耕地ハ僅カニ四十七万九千九百〇九「エーケル」ニシテ秣場ハ二百〇二万〇五百二十一「エーケル」アリ千八百五十五年ニ於テ各等中一人ノ保有セシ

土地平商ノ廣狹モ亦左ノ表ニ就テ明瞭ナルヘシ

上 年	「エーケル」以下		「エーケル」以上		總計	
	實 數	百分ノ	實 數	百分ノ	實 數	百分ノ
一八四一	3,664	56.6	8,121	137.8	11,785	194.4
一八四九	8,121	137.8	15,140	245.7	23,261	383.5
一八五〇	7,453	114.1	15,256	249.3	22,709	373.4
一八五一	4,111	63.5	14,909	245.2	19,020	318.7
一八五二	1,381	21.6	15,140	245.7	16,521	277.3
一八五三	1,376	21.6	15,140	245.7	16,516	277.2
一八五四	1,376	21.6	15,140	245.7	16,516	277.2
一八五五	1,376	21.6	15,140	245.7	16,516	277.2
下 年	「エーケル」以下		「エーケル」以上		總計	
	實 數	百分ノ	實 數	百分ノ	實 數	百分ノ
一八四一	3,664	56.6	8,121	137.8	11,785	194.4
一八四九	8,121	137.8	15,140	245.7	23,261	383.5
一八五〇	7,453	114.1	15,256	249.3	22,709	373.4
一八五一	4,111	63.5	14,909	245.2	19,020	318.7
一八五二	1,381	21.6	15,140	245.7	16,521	277.3
一八五三	1,376	21.6	15,140	245.7	16,516	277.2
一八五四	1,376	21.6	15,140	245.7	16,516	277.2
一八五五	1,376	21.6	15,140	245.7	16,516	277.2
總計	15,140	245.7	15,140	245.7	30,280	491.4

（表中「エーケル」ヲ示シ「ル」ハ「ル」ナリ）
 示シ而シテ「ボ」ハ「ボ」ヲ示スモノナリ
 千八百五十一年ニ於テ各等地主ノ總耕地一人所有平均ノ廣狹ハ九「エーケル」ニシテ「ル」ハ「ル」ナリ
 「ボ」ハ「ボ」ナリ但シ秣場ハ此ノ限ニ在ラス
 次表ハ數年間諸種ノ收穫物ヲ耕種セシ坪數及ヒ其產物ノ多寡ヲ示ス
 千八百五十一年ヨリ千八百五十五年ニ至ルマテ五年間ノ諸種收穫物ヲ耕種セシ年々ノ總面積及ヒ千八百五十二年ヨリ千八百五十五年ニ至ルマテ四年間年々ノ產物ヲ合計ス

愛倫地誌

上 收穫物	耕種地ノ面積											下 收穫物	合 計								
	千八百五十年	千八百五十一年	千八百五十三年	千八百五十四年	千八百五十五年	千八百五十六年	千八百五十七年	千八百五十八年	千八百五十九年	千八百六十年	千八百六十一年			產物							
														カウルトル	カウルトル	カウルトル	カウルトル	カウルトル	カウルトル	カウルトル	カウルトル
小麥	五〇四二四六	三五三五六六	三三六八六六	四二一、二八四	四四五七五五	二〇、一九一	一、九〇八九	一〇、九七九	一、〇九七九	一、〇九七九	一、〇九七九	千八百五十一年	千八百五十三年	千八百五十四年	千八百五十五年	千八百五十六年	千八百五十七年	千八百五十八年	千八百五十九年	千八百六十年	千八百六十一年
燕麥	二二八九七七五	二一八三四四九	二一、八三四四九	五七、八四九二〇	四、四五七五五	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八	二、八八五八
大麥	二六二六二七	二四九四七六	二七、二六四四	三三、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三	二、六三九三
裸麥	五三三三四七	四〇九三三三	二八、三三八〇	一六、九三三〇	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五	一、一八五五
大豆	一九六九七七	一一九三三三	一一三、三七六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六	一一、三三三六
蠶豆	二八、三三五	三三、三六四	三三、三六四	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇	一、四七六〇
豌豆	二二、一二二	一一、二五五	一一、二五五	七、八一五	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八	五、三六八
總計	三〇、九六四〇	二二、七六六〇	二一、八三三、三八七	七、四七三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六	二一、八三三、七三六
馬鈴薯	八六、八七〇	八七、六三三	八八、八七三	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六	九八、九六六
蕪菁	三三、三五四	三三、三七〇	三三、九三七	三九、九七〇	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三	三六、九三三
自餘青菜	七、四四九	七、一三二	七、〇七九	六、四三三	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九	六、一八九
總計	一一、五九五	一一、二八三	一一、二九二	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三	一一、二八三

マシクル 自餘青菜	マシクル			
	千八百五十六年	千八百五十一年	千八百五十三年	千八百五十四年
總計	五七、七三三	五八、八九八	三六、六四二	四〇、九一八
亞麻	一〇、七五七	一一、九八一	四〇、二九〇	四六、六一九
乾燥草	三六、〇六六	三五、二八八	一一、三三三	一一、三三三

百五十一「エークル」ヲ増殖セリ

千八百五十六年ニ於テ最モ貴重ナル收穫物ノ產出額ハ法定一「エークル」毎ニ平均小麥ハ五苞二分ヲ、燕麥ハ七苞零二トシ、大麥ハ七苞五分トシ、馬鈴薯ハ三十一苞九分トシ、蕪菁ハ十二噸九分トシ、而シテ亞麻ハ二十八「ストオン」三分トシ、蓋シ小麥及ヒ馬鈴薯ハ二十「ストオン」、燕麥ハ十四「ストオン」、大麥ハ十六「ストオン」ヲ以テ一苞ト爲スナリ、而シテ亞麻ハ十四斤ヲ以テ一「ストオン」トス。一「ストオン」ノ量種々ナリトシ、雖モ十四斤ヲ以テ法定トス。

左ノニ表、千八百五十二年ヨリ同五十六年ニ至ルマテ愛倫活動物ノ數及ヒ其價格ノ進歩ヲ示スモノナリ

活動動物ノ數				
年	馬	牛	羊	豚子
千八百五十二年	五、五八〇八八	三、〇九五〇六七	二、六二二、九四三	一、〇七三、六五八
千八百五十一年	五、三九、七八五	三、三八三、三〇九	二、一四二、六五六	一一、四四、九七五
千八百五十三年	五、四、九二九	三、四九七、九〇一	三、七二二、二一九	一一、四、五四九
千八百五十四年	五、五、二九七	三、三、四、四〇〇	三、六〇二、三三三	一一、一、七、六〇五
千八百五十五年	五、七、三二六	三、五、八、四七三	三、六八八、二四三	九、一、五、九三三

愛倫地誌

レハ活動産ノ價位左ノ如シ馬一頭ヲ一磅トシ牛ヲ六磅十
 「シルリング」十二「ペンニイ」ハトシ羊ヲ二十二「シルリン
 グ」トシ而シテ豚子ヲ二十五「シルリング」ト定ム

年	馬	牛	羊	豚子	總額
一八五二	四二〇〇七〇四	二〇一七九三五	二八七五三三七	一三四〇八三三	二八五三四七九
一八五三	四三三二八二八〇	二一九九一七〇九	三四五六六三二	一四三二一八二	三二一九七八九二
一八五四	四三六七四三三	二二七三三六三	四〇九四四四一	一六七八一八六	三二八七六四一六
一八五五	四四五〇二九六	二二二六八八〇〇	三九六二五七六	一四七二〇〇六	三三、一五三四七八
一八五六	四、五八六二二八	二二二〇〇七〇〇	四〇五六九五七	一、四四九一六	三三〇八八七〇一

家畜ハ千八百五十六年ニ於テ總數殆ンド九百万ニシテ一羽ノ
 價六「ペンニイ」ナリシガ此ノ家畜及ヒ驢等ヲ加フルキハ本年
 活動産ノ價直ハ合計三千三百七十五万四千九百八十五磅ナリ
 然ルニ千八百四十一年ノ總價直ハ千九百三十九萬九千八百四
 十三磅ナルヲ以テ僅ニ十五年間ニシテ千四百三十五萬五千百
 四十二磅ノ増加ヲ致セシヲ知ル可シ若シ又方今ノ高價ヲ以テ
 之ニ加フレハ其差異益々大ナラン五「ユーシル」以下ノ地ニ産
 出スル活動産ノ價直ハ僅少ニシテ且逐年減少シ千八百五十五

年ニ於テハ九十三万八千五百七磅ナレドモ翌年(千八百五十
 六年)ニ至リテハ減シテ八十九万五千五百五十磅ト爲レリ
 愛倫ノ農事政表ニ關係スル吏員本島耕種ノ大開典ナル雜草ノ
 蔓延ヲ芟鋤セントシテ大激爭論ヲ起セリ蓋シ芟鋤ノ切要ナル
 コトヲ學校ニ於テ教諭シ又道路溝渠及ヒ鐵道ニ關スル吏員ニ
 ハ傳染ノ邪毒ヲ掃フカ爲メ此ノ三者ヲ清潔ニシテ以テ其職ヲ
 盡ス可キコトヲ勸諭セリ爾來園圃及ヒ道路ノ雜草榮枯盛衰アル
 一ハ則チ平常農事政表ノ一部ト爲レリ然レテ猶未タ許多ノ成
 功ヲ見ルコトナシ何ントナレハ最後ノ公報ヲ見ルニ全ク雜草ヲ
 芟除セザル園圃半ハ過キテ道路ノ景況ハ更ニ又甚シキモノ
 アルヲ以テノ故ナリ
 漁業 漁業ニ關シテ愛倫ハ殆ント盡ス可カラサルノ財庫ヲ保
 有スレド未タ之ニ注意セサルモノハ甚タ奇怪ト謂フヘシ魚類
 ハ大口魚、リノグ、ヘーキ、大口魚ノ一種ニシテ背鰭
 コツド、青魚ニ似テ肉多ク下短シ等四邊ノ海中ニ群集充満セリ然レテ尙
 ホ鰻魚類ノ蘇格蘭及ヒマン島ヨリ愛倫ノ市場ニ來ルモノ數フ
 ルニ勝ユベカラス千八百五十五年ニ於テ漁業ニ供用セシ所ノ
 舟船千二百五十艘アリテ之ニ從事セシ丁男及ヒ男兒合計四万

九千七百五十四人アリ爾後其數漸次減少シタルハ蓋シ人民陸
 續トシテ海外ニ轉移スルト水手ノ需用盛ナルトニ因レリト
 云フ

製造 メシルウ氏曰愛倫ハ古來製造盛大ノ國ト稱スヘカラス
 蓋シ國勢定マラス動モスレハ擾亂ヲ生シ易ク且ツ人民一般專
 ハテ農事ニ勤勞スルヲ以テ動かカス可カラサルノ障礙アリ故ニ
 邦内各所ノ大製造所開設スルノ機會ヲ誤ルニ至レリ且石炭ノ
 資金及ヒ良工ニモ乏ク又各種ノ製造ニ於テハ上流ニ位スル所
 ノ英倫及ヒ蘇格蘭ノ近隣ニ在ルヲ以テ本島ハ此科ニ於テ決シ
 テ卓越スルコト能ハサル可シト一本島第一ノ製造品ヲ麻布及
 ヒ亞麻ヲ以テ爲ス最モ盛ンニ之ヲ製造スル地ハウルストル州
 テ之ヲ製ス
 ノヘルハスト及ヒ其近傍ニシテ現今愛倫ヨリ大貌利頗及ヒ外
 國ニ輸出スル所年々ノ價額ハ大約四千四万磅ニ至レリ又毛
 布ハダブリン、コルン、キングス、ヲウトルホルド、クイ、ンス及
 ヒキルケンニイ等少許ノ地方ニ於テ之ヲ製造シ絹布ハ只ボア
 リン毛糸ト絹線トヲ一品ニ限レリ其他ハルハスト府及ヒヲウ
 トルホルド郡ノホルトヲウヲ以テ中心トスル所ノ綿布製造ハ
 漸次昌盛ニ赴クカ如シ

千八百五十六年第八月ニ於テ本島ニ現存セシ所ノ製造所概
 表左ノ如シ

製造所ノ性質	製造所ノ數	紡績器ノ數	織機ノ數	動力		年
				蒸氣	水	
綿織	一二	一五〇五二	一、六三三	五二四	二五〇	十三年以下ノ兒童
毛織	二七	一、四七九	六二	二八	四〇四	
毛糸織	六	五〇八六	二	三	九六	
亞麻織	一一〇	五、七九八	一、六九一	五、二一九	二、一一三	一一三
總計	一五五	七、三八七	三、三三八	五、七七四	三、八六三	一一四
製造所ノ性質	年	齡	從事人總數	男	女	男女
綿織	四二四	二、一一二	七九九	一、二二三	二、一一二	三、三四五
毛織	七四	三、三八	二六八	三、四三	三、三八	六八一
毛糸織	一四	一、七五	二〇	三、四	一、七五	二〇九
亞麻織	三、八四四	三、九七四	五、〇五三	八、九四九	一、九八〇	四、二八七
總計	四、三五六	二、三七八	六、一四〇	一〇、五四九	二、四三九	三、二八八

子ニ適當ナル一大事業ヲ發明セリ之ヲ製スルノ地ハベルハ
 ストヲ中心トシテウルストル州ノ各郡及ヒ其他諸州ノ數郡ニ
 延及シ此ノ業ニ從事スル者大約三十万人アリ而シテ十ノ八九
 ハ婦女子ナリ其製造ノ會社ハ大約四十箇アリ就中若干ハ愛倫
 人ノ會社ナレトモ餘ハ悉ク蘇格蘭商社ノ支店ナリ毎年製造スル
 額ノ價額大約百四十万磅ナリト云フ

蒸溜業ハ一時甚ダ流行セシカ千八百三十八年ニ於テ消費セシ
 所ノ總額ハ千二百二十九万六千三百四十二「ガロン」ニ「ガ
 大約我が二ナリシモフアザルマチコウ君ノ盡力ニ由リテ同四
 十二年ニ至リテハ五百廿九萬〇六百五十一「ガロン」ニ減シタ
 リレガ千八百五十五年ニハ再ヒ増加シテ八百二十七万九千五
 百七十四「ガロン」ニ昇レリ而シテ最後ノ三ヶ年ニ愛倫ノ費
 消セシ火酒ヲ平均スレハ毎年八百三十六万七千七百八十四「ガ
 ルロン」ニシテ其稅額ハ合計百三十一万八千七百十七磅ナリ
 然ルニ蘇格蘭ノ人口愛倫ノ半ニ至ラサレトモ一年ノ費ス所大約
 六百五十萬「ガロン」ナリト云フ

貿易及ヒ船舶 從來愛倫ハ農産物ノ輸出ヲ以テ貿易第一ノ事
 業ト爲セリ而シテ其之ヲ行フ所ハ大體大貌利頓ニ在リテ外國

ニ關スルモノハ甚ダ少シ千八百二十五年ニ至ルマテハ議院ノ
 報狀ニ由リテ其進歩ヲ追迹ス可シ

年	大貌利頓ヨリ愛倫へ 輸入セシ價額		愛倫ヨリ大貌利頓へ 輸入セシ價額	
	磅	磅	磅	磅
一八〇一	三、二七〇、三五〇	三、五三七、七二五		
一八〇五	四、〇六七、七一七	四、二八八、一六七		
一八〇九	五、三二一、五五七	四、五八八、三〇五		
一八一三	六、七四六、三五三	五、四一〇、三二六		
一八一七	四、七二二、七六六	五、六九六、六一三		
一八二一	五、三三八、八三八	七、一一七、四五二		
一八二五	七、〇四八、九三六	八、五三一、三五五		

然レハ千八百七十五年ノ冬季ニ至リ更ニ一法ヲ設ケ大貌利頓
 ト愛倫トノ通商ヲ以テ英倫諸港ノ間ニ行ハル、所ノ沿岸貿易
 ト混同セリ爾來全ク其景況ヲ知ルニ由ナシ今ヤ吾輩ハ穀類中
 一品ヲ除クノ外(蓋シ之ニ關涉セル記録ハ舊ニ依リテ之ヲ保
 存セシコトヲ立法官ヨリ冀望セシナリ)一モ愛倫ヨリ大貌利

額ニ輸出シ或ハ大貌利頓ヨリ愛倫ニ輸入セシ貨物ノ分量若ク
 ハ價位ヲ認知ス可キ官廳ノ記録ヲ保有セズ然レモ此ノ貿易ノ
 大ニ繁盛ニ赴キシコトハ疑ヲ容レサル所ナリ蓋シ此ノ繁盛ニ
 赴キシハ即チ千八百二十五年マテ施行シタル制禁ノ條目ヲ
 廢止スルニ基クト雖モ恐ラシクハ漁船ノ使用盛大ニ至リシコト
 ルモノ多シトス千八百五十六年ニ於テ諸外國ヨリ輸入セシ貨
 物ノ價額ハ三百五十二万三千七百七十六磅ニシテ而シテ其輸出
 品ハ僅ニ二十三万二千八百六十磅ナリ

千八百四十九年ヨリ同五十五年ニ至ルマテ毎年愛倫ヨリ大
 貌利頓ニ輸出セシ家畜ノ數

年	割牛牝牛 及ヒ牝牛	犢	羊及ヒ羔	家猪
一八四九	二〇一、八一	九、八三一	二四一、〇六一	六八、〇五三
一八五〇	一八四、六一	四、四六二	一七六、九四五	一〇九、一七〇
一八五一	一八三、七六〇	二、四七四	一五一、八〇七	一三六、一六二
一八五二	一九七、六四四	三、八二六	一五八、〇二〇	一五一、八九五
一八五三	一八〇、七八五	五、二八一	二二四、五〇〇	一〇一、三九六
一八五四	二〇四、〇〇四	七、五一四	三五六、七八〇	一七〇、一八八
一八五五	二一四、六三六	八、一六二	四八九、四九四	二五四、〇五四

愛倫地誌

愛倫ヨリ大貌利頓ニ輸出セシ穀類ノ分量

年	小麥及ヒ 麵粉		大麥及ヒ 大麥粗粉		燕麥及ヒ 燕麥粗粉		穀類各種 ノ總計
	カウルトル	カウルトル	カウルトル	カウルトル	カウルトル	カウルトル	
一八二二	四〇〇、〇六八	一九、二七四	一〇、四八七	一、五二八	一、五三		
一八三三	八四四、二一一	一〇、一七六	一、七六二	五、三〇	二、七三七	四、四	
一八四三	四、一三、四六六	一、〇、四九二	六、四八〇	三、三三	二、〇六	二、八四	
一八五五	一、七、〇三〇	五、八、六二八	一、九、六四	六、五五	二、二二	六、二八九	

此ノ表ハ實際上ニ於テ愛倫ノ大ニ進歩セシコトノ証トスヘシ
 何トナレハマトヒ穀類産出ノ全額ハ増加セシモ之ヲ輸出スル
 ノ量大ニ減シ小麥ニ於テハ時ニ然ルヲ以テノ故ナリ今日ニ於
 テモ家禽及ヒ卵ノ子ハ尙本島ト大貌利頓トノ間ニ用ヒル所ノ供
 食品貿易ノ最モ貴重功ナル者ナリ

大貌利頓トノ通商ニ關シテ千八百五十五年中貨物ヲ載セテ本
 嶋ヲ解纜セシ船舶ハ一萬九千八百〇一艘ニシテ其噸數ハ二百
 六十四万六千二百六十六噸ナリシガ千八百五十年ニ於テハ其
 船數一萬八千二百六十八噸噸數ハ二百三十五万五千六百六
 六ナリ然ルニ千八百五十五年本邦諸港ニ於テ檢査シタル船舶
 ノ總數ハ二千八百八十三艘ニシテ噸數ハ二十五万三千七百七十

一噸ナリ而シテ水手ハ一万三千四百三十人アリ又同年ニ製造シタル船舶四十二艘ニシテ其噸數ハ一万〇百二十三ナリト云フ

次ノ表ハ千八百五十五年愛倫貿易ノ全額ヲ表シ併セテ諸港輸物ノ多寡ヲ比較スルモノナリ

千八百五十五年ニ於テ沿岸貿易植民地貿易若クハ外國貿易ノ爲メニ本島諸港ヲ出入シタル船舶ノ數及ヒ噸數ヲ掲ケ且又大貌利頓ト外國ノ船舶噸數トヲ區別ス

港名	入港		外國		港名	出港		外國	
	船數	噸數	船數	噸數		船數	噸數	船數	噸數
バルリナ	七四	四、九四九	、	、	ドンダウク	六九三	一〇三、〇八五	五	七六五
ベルハスト	五、八七四	七四八、三四四	八六	一七、一七五	ガウルエー	九四	一〇、七五九	七	一、六四〇
コルレイン	二七五	二九、九四三	九	二、三三五	リメレツキ	五六〇	七三、四五五	四一	一〇、一三〇
コルク	二、五八八	三二一、八一三	一五一	三〇、二八五	ロンドンデルリ	一、一九一	二〇七、〇九四	三三	七、八九六
ドロヘダ	八〇六	一二九、二八四	五	七七五	ニコウリイ	九三三	八三、三五二	一六	三、一三〇
ダブリン	六、四〇四	八八九、〇五七	一二七	二、一三三六	ロス	五五四	四七、〇七九	一九	三、六三六
					スキペリイ	二四七	一二、三八六	二	五八八
					スリゴ	二九五	四二、八〇三	二	三七五
					ストラングホルト	五二五	二二、五九五	、	、
					トラリイ	二六四	一六、九三一	一〇	一、八八六
					チロトルホルト	一、五四七	一九、三〇二	五四	一、二六七
					エストホルト	一一九	七、三〇五	二	二四四
					エクスホルト	六五六	四六、八七二	五	一、〇九九
					總計	二、三、六、九、九、二、九、九、〇、一、三、一、五、七、四、一、二、四、五、六、二			

港名	入港		外國		港名	出港		外國	
	船數	噸數	船數	噸數		船數	噸數	船數	噸數
バルリナ	八〇	五、六〇四	、	、	エクスホルト	四一四	三二、一三〇	、	、
ベルハスト	二、二五八	四七〇、七三三	三五	六、四九五	總計	一、三、三、六、〇、二、〇、六、〇、六、四、三、二、一、一			四、三、四、七、五
コルレイン	五三	四、七六〇	三	五六九					
コルク	一、七九〇	二一五、〇三六	四九	七、三二八					
ドロヘダ	六〇一	一二九、二二六	一	一三八					
ダブリン	三、六二二	五八八、九一一	九二	一七、五二五					
ドンダウク	三五一	七、七八〇	、	、					
ガウルエー	六二	七、一六八	五	一、二二九					
リメレツキ	四四八	五八、二八五	六	二、〇二四					
ロンドンデルリ	七五二	一六八、九九七	七	二、四五一					
ニコウリイ	四二〇	五〇、八六七	二	五八三					
ロス	三六五	三三、四八三	五	一、〇四三					
スキペリイ	一九八	一〇、〇五六	、	、					
スリゴ	二二一	三五、五〇六	、	、					
ストラングホルト	一九四	八、〇九四	、	、					
トラリイ	二二九	一八、二二六	一	七九七					
チロトルホルト	一一九	一三八、四五三	一四	三、一三六					
エストホルト	一〇〇	七、四一七	一	一三七					

千八百五十六年ハ實ニ赫著ナル進歩ヲ長スルモノト謂フ可シ何トナレハ大貌利頓船ノ入港シタルモノ總テ三万四千三百九十六艘ニシテ其噸數ハ三百〇六万四千四百六十一噸ナリ而シテ自餘ノ船舶ハ皆之ニ準スルヲ以テノ故ナリ

愛倫ハ溝渠及ヒ江河ノ漕運ス可キモノ大約六百里ヲ有セリ且ツ夫レ千八百五十六年ニ於テ既ニ開場シタル鐵道ノ長サハ千〇五十六里ナリ

政治

行政及ヒ其他各事ニ便センカ爲メ全島ヲ大別シテウルストルレインストルモンストル及ヒコンナウトノ四州ト爲シ又全島ヲ三十二郡ニ分チ郡中ヲ細分シテパロニイホンドレット及ヒ許多ノ小區ト爲ス次表ハ定則ノ「エーケル」ヲ以テ算セシ各郡ノ面積最長ノ年報ニ照準シタル人口及ヒ首府ヲ示ス者ナリ

郡名	面積	人口	各郡首府
アントリム	七六一、八七七	三六〇、二〇四	カルリック
アルマ	三二八、〇七六	一九六、〇八四	アルマ
カルラウ	二二一、三四二	六八、〇七八	カルラウ
カバン	四七七、三六〇	一七四、〇六四	カバン
クレール	八二七、九九四	二二、四四〇	エンニス
コルク	一、八四六、三三三	六四九、三〇八	コルク
ドナガウル	一、一九三、四四三	二五五、一五三	リホルド
ダウ	六一二、四九五	三二〇、八一七	ダウ
ダブリン	二二六、四一四	四〇五、一四七	ダブリン
ヘルマンナア	四五七、一九五	一一六、〇四七	ダブリン
ガウルエー	一、五六六、三五四	三二一、六八四	ガウルエー
ケルリイ	一、一八六、一二二	二三八、二五四	トラリイ
キルダール	四一八、四三六	九五、七二三	キルダール
キルケンニイ	五〇九、七三二	一五八、七四八	キルケンニイ
キングス	四九三、九八五	一一二、〇七六	タルラモウル
レトリム	三九二、三六三	一一一、八九七	タルラモウル
リメリッキ	六八〇、八四二	二六三、一三二	リメリッキ

郡名	面積	人口	各郡首府
ロンドン	五、一八、五九五	一、九二、〇二三	ロンドン
ロングホルド	二、六九、四〇九	八二、三四八	ロングホルド
ラウツ	二〇一、九〇六	一〇七、六六二	ドンダウク
マヨ	一、三六三、八八二	二七四、四九九	カステルパール
ミイツ	五七九、八九九	一四〇、七四八	トリム
モナガン	三一九、七五七	一四一、八二三	モナガン
クイ、ハンス	四二四、八五四	一一一、六六四	マリボラウ
ロスコムモン	六〇七、六九一	一七三、四三六	ロスコムモン
スリゴ	四六一、七五三	一一八、五一五	スリゴ
チペラリイ	一、〇六一、七三一	三三一、五六七	クランメル
ダイロン	八〇六、六四〇	二五五、六六一	オマア
チットルホルド	四六一、五五三	一六四、〇三五	チットルホルド
西ミイツ	四五三、四六八	一一一、四〇七	モルリンガール
エクスホルド	五七六、五八八	一八〇、一五八	エクスホルド
キツクラウ	五〇〇、一七八	九八、九七九	キツクラウ
總計	二〇八、〇八、二七一	六、五五、二三八	

本島ノ政治ハ千八百〇一年ニ於テ大親利頓ト併合セシヨリ後

其政治ト同一ニ歸シ上院ノ代議士三十二人下院ノ代議士百〇五人ヲ英國ノ議院ニ送ル行政ノ權ハ英王自代一人ノ掌握ニ在リテ内閣議官及ヒ一等書記官之ヲ補翼セリ審判ハ司法長官一人司法副官一人クイ、ハンスヘンチコムモンプリイズ及ヒエグスナニツクルノ三上裁判所ノ裁判官十二人ノ管轄ス府郡及ヒ警察ノ事務ヲ處置スル方法ハ大概英倫ト同一ナレハ別ニ兵士一万二千八百三十一人ヲ以テ編成シタル巡查隊アリテ常ニ兵器ヲ携帶シ居ルカ如キハ特リ英倫ニアル所ナリ此ノ軍隊ノ經費ハ屬吏七十八人ノ俸給ヲ加ヘテ合計十萬磅以上ヲ要ス而シテ其全額中十ノ八九ヲ以テ合併公債証書一種ノ英書ナニ賦課スルヲ法トナス

宗教 人民中羅馬教ヲ奉信スルモノ夥多アレハ國教ハ僧正管理英教ノ一派ナリ千八百三十一年一般教育委員ノ總數ヲ合計シタル所ニ據レハ宗教ノ最モ盛ナルコト左ノ如シ國教ハ八十五萬二千〇六十四人羅馬教ハ六百四十二萬七千七百七十二人會長撰立教ハ六十四萬五千三百五十六人前シテ自餘ノ新教ハ二萬千八百〇八人ナリ國教ニ於テハ全國ヲ分テテ二大僧正ノ管轄地ト爲シ又之ヲ區分シテ十僧正ノ管轄地トナセリ而シテ

一定ノ歳入アル寺院ハ大約千五百六十箇ナリ猶地料十分一稅及ヒ寺領等ヨリ生スル所ノ歳入全國ハ大約六十万磅ナリ羅馬教ノ總理官ハ大僧正四人及ヒ僧正二十四人ヲ以テ之ヲ擔任ス千八百五十四年ニ於テ愛倫貴僧ノ總數ハ二千二百一十八ナリト云フ而シテ尋常僧侶ハ全ク宗徒ノ寄贈ヲ以テ生活ヲナセリ蓋シ此ノ寄贈物ハ大抵婚禮及ヒ浴禮等ノ謝儀ニ係ルモノナリ僧正ハ羅馬法王ノ命ヲ以テ職ニ就キ各寺ノ住職ハ僧正ノ囑任ニ由ルヲ法トス會長撰立教ノ宗徒ハウルストル州ニ於テ最モ多シ千八百五十六年ニハ本島ニ於テ五百十箇ノ教會アリ之ヲ合併シテ教長ノ管轄地三十七箇ト爲シ又大合シテ愛倫會長撰立教總會ト爲ス此ノ宗派ノ僧侶ハ「王賜」ト稱スル議院ノ扶助金ヲ以テ生計ノ一助ト爲ス其股分ニ由リテ各人年々得ル所ノ金額ハ大約七十五磅ナリト云フ此ノ外會長撰立教ノ小會數圓アレハ亦此ノ「王賜」ノ股分ヲ受ケリ其他新教中ニ就テ最モ盛ナルモノヲ嚴肅教トス此ノ教徒ハ總數大約一萬九千人アリ

教育 本島ニ於テ數箇ノ大學校アリ千五百九十一年ニ女王以利沙伯ノ設立シタル都柏林大學校ハ平均一萬五千ノ生徒アリベルハスト、カルレツ「カルレツ」ハ大コルク、カルレツ及ヒ

ガウルエーノクイ、ス、カレレハ千八百四十九年ノ起業ニ
 係レリ現今相聯合シテ一大學校ト爲レリ又羅馬教ノ貴僧ヲ養
 成センガ爲メニ設立シタルメーヌイツ、カレレハ全ク官費
 ヲ以テ之ヲ保護セリ而シテ羅馬教徒ハ其子弟ニ普通教育ヲ施行
 センコトヲ欲シ千八百四十九年都伯林府ニ於テ一大學ヲ開キマ
 リ其他倫敦ノ大學校ト聯合セル愛倫語學校及ヒ醫學校數ヶ所
 アリ而シテ小學校ハ大抵「國民教育委員」ノ所轄ナリ小學ノ制度
 ハ千八百三十三年ニ於テ制定シタル所ニ其本旨三條アリ曰
 學校ハ須ク各宗派ヲ信スル所ノ其督宗徒ノ爲メニ開設スヘシ
 決シテ彼我ヲ區別ス可カラズ曰總テ生徒ノ父母稱揚セザル宗教
 ノ所業ヲ爲シ若クハ其教誨ヲ受ケンコトヲ生徒ニ誣ユ可カラズ
 曰各宗派生徒ノ爲メニ若干ノ時間ヲ與ヘ以テ其父母若クハ後
 見人ノ可トセル宗派ノ教育ヲ受ク可キ機會ヲ得セシム可シ
 次ノ表ハ此ノ小學學制ノ大進歩ヲ示スモノナリ

年	校 數	生徒ノ數	議院ノ扶助金
一八三四	一、一〇六	一四五、五二一	三五、〇〇〇
一八四〇	一、九七八	二二二、五六〇	五〇、〇〇〇
一八四六	三、六三七	四五六、四一〇	一〇〇、〇〇〇

一八五〇 四、五四七 五一、二二九 一四〇、〇〇〇
 一八五五 五、一二四 五三、五九〇 二二七、六四一

千八百五十二年ニ於テハ小學校ノ名簿ニ上リシ所ノ兒童總計
 四十九萬三千〇十八人アリ而シテ之ヲ區分スルキハ羅馬教ヲ
 奉スルモノハ四十二万四千七百七十八人會長撰立致ヲ奉スルモ
 ノハ四萬〇六百八十八人國教ヲ奉スルモノハ二万四千六百八十
 四人ナリ其餘ハ異派ノ新教ニ屬シ或ハ遺漏シテ其奉セル宗派
 ヲ區別セサル所ノモノナリ又寺院教育社會ナルモノアリテ盛
 ニニ學校ヲ建設セリ千八百五十二年ニ至リテハ校數千八百二
 十七箇ニテ生徒ノ員數九万〇五百七十二人アリ而シテ其一万
 七千人ハ羅馬教ヲ奉セシ者ナリ

古物等

愛倫ノ古物ハ種類ヲ區分スルコト左ノ如シクロムリイック、ケイ
 ルン、ソルクル、圓柱石、バルラウ 土ヲ盛リタル小ド、リス、ラ
 ツ及ヒ石瓦ノ古風ナル家屋壯構佳麗ナル圓形ノ高樓等ナリ而
 シテクロムリイックハ即チクロムレックノコトニテ直立セル三四
 ノ鹿石上ニ平扁ナル不琢ノ一大石ヲ冠シタルモノニシテ蓋シ
 墓標ト爲セシモノ、如シ(古物學篇ヲ參考スヘシ)

ケイルンニ二種アリ一ヲ埋葬ケイルントシ一ヲ尋常ケイルン
 トス皆許多ノ塊石ヲ以テ疊積シタル上面扁平ノ高臺ナリ此等
 ノ人造高臺ハ悉ク丘陵ノ頓ニ在リテ諸祝日特ニ五月ト十一月
 トノ第一日ニハ此ノ地ニ於テ燦火ヲ點シ「ヘル神」ヲ祭ルヲ
 以テ定例トナス祭日ニハ毎次悉ク各戸内ノ火ヲ燦滅シ靈燦ノ
 餘燼ヲ取リテ更點スルノ風ナリシガセントパトリツキノ苦心
 ニ由リテ此習俗終ヒニ殄滅セリ斯ノ如キ築丘ハ本島ノ各部ニ
 往々之レアリ又ケイルント密ナル關係アリテ通常ドロイド宗徒
 ノ石環ト名ツクル許多ノ直立セル石ノ環狀ヲ爲スモノアリ
 大抵ミイツ郡ノユウグランツニ於ケルモノ、如ク一箇ノケ
 イルンヲ圍ミ亦往々一箇ノ圓柱石ヲ環繞スルモノアリ
 圓柱石ハソルクル、ケイルン、シロムリイック及ヒ靈林ト連亘ス
 ルモノ甚タ多キヲ以テ行人ノ石邊ヲ通過スルモノ賛歎セザル
 コト能ハサルニ至レリ傳ヘ云フ往古ノ人ハ此ノ類ノ石ヲ環繞
 シテ禮拜セリト蓋シ愛倫人ガ常ニ「此ノ石ニ行ク」ノ語ヲ以テ
 「寺院ニ賽スル」ノ言ニ代用スルヲ見レハ乃チ其確實ナルコトヲ
 知ルヘシ

リオス即チリスハ守備アル家屋ノ義ナリ其形狀精圓ニ類スル
 モノモアレハ通常ハ圓形平頂ニシテ其周邊ニ土製ノ胸壁ヲ設
 ケタル所ノ人造丘陵ナリ此ノ胸壁内ニハ家屋一宇アリ現今
 シルカシア人ノ習俗ト爲スガ如キ堅牢ナル編籬ヲ以テ之ヲ衛
 レリド、即チツウハ、崑崙石帽壁ノ地ニ築キ巨石ヲ以テ幅員廣
 闊ナル胸壁ヲ設ケタル所ノ堡砦ニシテ其石壁ニハリスド、
 トヲ區別スヘキノ一點アリラツハ村里或ハ植民地ト云フ義ナ
 リ本島ノ各部ニ許多アリテ且大小ノ數種ヲ分テリ或ハ孤立シ
 或ハ相聯絡シ而シテ酋長ノ居住セシ一大本砦ト從者ノ家宅ト
 リシ數箇ノ小砦トヲ見ルコト往々之レアリ
 本島上古ノ珍奇ナル古物ノ中ニ石ヲ以テ覆フヘル矮屋上ニ椽
 狀ノ高屋脊ヲ冠セシモノアリ其少シ許リハケルスギルダール
 アルトモウル及ヒキラルウ等ノ地ニ於テ今猶現存セリ又中古
 ノ遺物ニ於テ最モ著名ナルモノヲ圓形ノ高樓トス其完全ナル
 モノト破壊ニ屬シタルモノト往々邦内各部ニ現存スルコト總
 計一百十八箇ナリ建築ノ趣向皆畫一ニシテ些少モ相異ナラサ
 ルハ實ニ驚愕スルニ堪ヘタリ而シテ此等ノ高樓ハ皆直徑短小
 コシテ高ク登ル圓形ナリ大抵地ヲ距ルコト數尺ノ所ニ於テ戶

ヲ設ケ周圍各所ニ於テ小筒眼ヲ穿テ以テ光明ヲ各階階下ニ引
 キ通シ而シテ最上層ノ所ニ於テハ稍大ナル四窓ヲ穿テテ圓錐
 形ノ高屋脊ト相連接ス然レモ又全ク最上層ノ窓隔ナキモノモ
 アリ當時坊工ノ巧妙ナリシコトハ數年前頗覆シタルマヘテノ
 高樓ヲ以テ一證トナスヘシ此ノ高樓ハ曾テ其下面ヲ鑿開シタ
 ルヲ以テ偶々大風ニ逢ヒテ傾仆シ全ク地上ニ横ハリタル形狀
 ハ恰モ巨炮ヲ架シタルカ如クナリシカ之ヲ製造シタル煉石灰
 基ヲ堅牢ニシテ且緊着シ少シモ破碎セザリシハ實ニ愕然スル
 ニ堪ヘタリ蓋シ此等ノ奇異ナル家屋ヲ建築シタル目的ニ於テ
 ハ諸説紛々アリト雖モ往古基督教ノ始メテ愛倫ニ入りシ時ニ
 建設シタル所ノ寺院ナリト云フ説アリテ其他ハ一モ信據ス可
 キモノナシ而シテ此等ノ高樓通常ハ高サ三十五「フット」乃至
 百二十「フット」ニシテ内面ノ直徑八十「フット」乃至十六「フ
 ート」ニテ外面ノ周圍ハ四十六「フット」乃至五十一「フット」ナ
 リ而シテ皆圓錐形ヲ爲シ昇登スルニ從ヒテ漸ク細窄ナルモノ
 ナリ

本島ノ各部土中ニ於テ屢々古來ノ武器及ヒ金製ノ飾具ヲ掘リ
 得タルコトアリ就中青銅製ノ刀劍同質ノ大小數種ノ鎗尖及ヒ
 形狀ノ奇怪ナル青銅環ヲ見出シコト最モ多シ蓋シ此ノ環ハ
 往古ノ貨幣ナリト云フ又本島所々ニ於テ種々ノ金器ヲ發見セ
 リ即チ薄片ノ純金ヲ以テ製シタル半月狀ノ碟子金線ヲ編ミジ
 ル大頸飾管鐙胸飾指環稱錘形ニシテ相連接セル金片及ヒ青銅
 製ノモノト同一ナル形狀ノ金環ナリ然レモ未タ曾テ此ノ金片
 ノ用ヲ知ルモノアラズ

宗教ノ古物 本類ニ屬スル者ハ外教時代ノ遺物ヲ除ク外最モ
 古ク且ツ形狀殊異ニシテ他ノ各地ニ殘存スル所ノモノト全ク
 其性質ヲ異ニスル寺院ノ類ナリ然レモ多クハ朽廢ニ屬シテ其
 現存スルモノハ甚々稀少ナレバダブリン府近傍ニ在ル石瓦ノ
 セントダウラ寺ハ就中最モ古キ遺物ノ一ニシテ而シテ結構風
 格並ニ異常ナルモノトス今日ヨリ之ヲ見ルニ其風格ハノルマ
 ノ風ノ最古ナルモノニ粗々似タリト雖モ少ク鄙陋ナルカ如シ
 其結構卑矮ニシテ太々堅牢ナリ本堂ハ低下ナル弧形ヲ以テ區
 畫シ而シテ狹窄ナル奧室平常僧侶ノ禮拜
 ノ二部ニ分カル又牀席ノ高低種々アリテ齊一ナラサル小室ノ
 羅列スル者アリ是レ僧侶ノ居室タリシテ疑フ容レス寺中ノ一
 部ハ今尙ホ之ヲ區寺ノ用ニ供セリ又高樓ノ上ニハ從前鐘堂ア
 六シクモナリ

リタリ是ヲ以テ當時坊工ノ巧妙ナリヲ察スルニ足レリ其他
 カスシルノ美麗奇異ナルノルマツクスタヤベルノ殿寺等ハ其
 造構ノノルマン風ナリ蓋シ英倫人入寇ノ前ニ於テ此ノ宗區ノ本
 寺 僧正住職ノ寺ニシテ一宗 塔リシナラン傳ヘ云フ曾テ愛倫
 區ヲ統轄スルモノナリ 王位ト大僧正職トヲ兼有セシノルマツク氏ノ第十紀中ニ建設
 シタル所ナリト同氏ハ耶蘇紀元九十九年ヲ以テ終リシ人ナリ
 此ノノルマツク及ヒセントダウラノ二寺ハ各其屋背ニ於テ隱
 密窺測ス可カラザル室ヲ設ケリ此ノ如キ風格ハ獨リ愛倫ニ限
 ルコトナリ各國ノ寺院ニ於テハ皆之ヲ床下ニ設ケリ此ノ異常
 ナル愛倫ノノルマン風ヲ有スル遺物ハキルケンニイ近傍ノエグ
 ハヅウエクスホルド郡ノクロチイゼン同郡ノパンナウ近傍及
 ヒ一舊府中ニ於テ殘存スルモノアルノミ蓋シ此ノ舊府ハ往古
 砂塵ニ埋沒セシヲ數年前ニ至リテ發見シタルモノナルガ久シ
 ク砂塵ノ保護ニ由リ却テ古昔ノ形狀ヲ保存セリ以上述フル所
 ノ諸寺院ノ保有セシ奇異ノ風格ハ上ニ記載セシ高樓時代ニ比
 スレハ較々遲ク英倫人ノ入寇ト共ニ輸送セシモノヨリモ早ク
 愛倫ニ行ハレタル風格ノ例ナルコトヲ證ス可キナリ本島ニテ
 宗教ニ關セル家屋ハ不費ノ金ヲ糜費シ若クハ壯麗ニ誇ルコト

能ハサレレ其尊敬スヘキ觀ヲ爲スモノハ數箇アリ即チダブリ
 ン府ノセント、パトリック及ヒクライスト、チヨウナ二本寺ノ
 如キ其内面ハ之ヲ卑視スルトモ又上品ト稱ス可クガウルニ
 ノ大本寺及ヒリメリツキノ本寺ハ並ニ建築輪奐ナリ而シテキ
 ルケンニイノ本寺モ亦然リ此ノ四本寺ハ皆其舊形狀ヲ保全シ
 テ破壊ニ屬スル所ナリ今日ニ至リテモ尙ホ日ニ之ヲ用フ又數
 多ノ破壊シタル諸種ノ僧院及ヒナイテムプラル教會所轄ノ
 家屋アリ其著稱ナルモノヲガウルエー郡ノキルコンチルエビ
 イクレール郡ノコルコムルウチベラリイ郡ノホリイクロスカ
 スシル崑島ノ舊本寺エクスホルド郡ノグンブロードーエビイ及
 ヒチンタルンエビイキルケンニイ郡ノセルボイントダフリ
 郡ノルストト爲ス蓋シキルコンチル及ヒルコムルウハ愛倫
 ノ最モ華美ナル古蹟ニシテ而シテキルコンチル及ヒルコムル
 ハ其建築セシ所ノ石面ニ於テ埃及國ノ書文字 古昔埃及ノ貴僧ハ
 テ其經典ノ符號ト爲シ或ハ之ヲ木ニ刻シ似セル賤陋低下ナル彫
 石等ニ彫刻セリ是レ則書文字ナリ 畫ヲ保有スルヲ以テ著名ナリ此等ノ寺院ハ今日ニ至リ尙ホ其
 腐蝕セル石面ニ此ノ彫畫ノ形迹ヲ存留スルモノ多シ而シテ
 ポリイクロス寺ハ保存ノ最モ多量ナルモノナリ

兵器ノ古物 愛倫ヲ周遊スルモノハ無數ノ小城國中ニ點在スルヲ見テ皆驚愕セサルコトナシ蓋シ女王王以利沙伯在位ノ比本嶋ノ野蠻ヲ壓服センガ爲メ王命ヲ以テ建設シタルモノ多シ其製高聳方形コノ各隅ニ皆樓櫓アリ又此ノ保壁ノ外ニ於テ大ナル古城數箇アリ世以テジョン王ノ時築ク所ト爲ス但シ其設立何ノ世ニ在ルヲ詳ニス可カラズト雖モ亦以テ其年代ヲ經ルノ久キヲ察スルニ足レリ就中ミイツ郡中トリムノ廣闊ナル古城ハ最大ナル者ノ好摸範ニシテ是ヨリ先キ屢々英王目代ノ邸宅ヲリレコト之レアリ又會テ議院ヲ置キ或ハ貨幣ヲ鑄造發行セシコトモ亦此ノ壁中ニ於テセリ其他古來貴族ノ舊家ト稱スル者ノ所属コシテ今尙ホ貴族ノ居住スル所ノ古城ハマラハイド侯ロルドタウルボットノマラハイト城ホウツ侯ノホウツ城(並ニダブリン郡ニ在リ)オチイル侯ノ邸タルシヤンス城シヤソノ河畔ニアルロルドクランリカルドノボルトムナ城及ヒオルモンド侯ノキルケンニイ城等ノ數ヶ所アリ

レインストル州

本州ハ愛倫中第一ノ大州ニシテラウツ、ミイツ、ダブリン、井ツク、ラウ、エクスホルド、カルラウ、キルケンニイ、キルダール、ク

イ、ハンス、キングス、西ミイツ及ヒロングホルドノ十二郡ニ分チ本嶋東部ノ一大地方ヲ占領シテ而シテ東岸ノ中央ナルダブリンヲ以テ其首府ト爲ス本州ノ景色ハ種々アレトニ畫圖ノ勝景ヲ以テ贊稱セラル有名ノ地ハダブリンノ南少許里ニアル井ツクラウ郡ノ地ヲ以テ最トナス此ノ地ハ丘陵巒疊及ヒ平地ニ至ルマテ悉ク天然ノ樹林ニ富ミ又開豁ナル大洋ノ眺望アリテ殆ント無比ノ美觀ヲ呈セリ其他勝遊者ノ最モ心ヲ寄スル所ハブレー湖ト樹林森鬱ナルダーグル洞及ヒ廣大限リ無キ一遊場ナル樹林中ノエボク原是レナリ又南ニ進ミテエクスホルド郡モ亦大ニ畫圖ノ勝景ト地味ノ豊饒トヲ兼有セル地ト稱スヘキ所ナリミイツ郡ハ大抵平坦ニシテ山水ノ景ニ乏シケレトホイン及ヒブレツキヲウトル河畔ノ所々ニハ美觀アリテ少シク闕ヲ補ヘリ其樹林多ク綠蔭井然トシテ羅列シ殆ント英倫園圃ノ趣ヲ爲スモノ半ニ過ク西ミイツ郡ノ著名ナルハ數箇ノ大湖ト及ヒ全郡中ノ地面ヲシテ殆ント斑色ヲ爲サシムルカ如キハ乾燥沙丘ノ星羅散布スルカ爲メナリクイ、ハンス郡ハ濕澤多キヲ以テ大ニ其風景ニ損スレトアブベリイク及ヒドンモウルニ於テハ天然櫟樹林ノ數里ニ亘レル壯觀アリ以上數郡ヲ除クノ

外郡中一般ノ景色ニ於テハ更ニ妙景奇觀ヲ呈スルモノナシ本州農事ノ景況ハ遙ニ他州ニ超越スルモノト謂フヘシ而シテカルラウキルダール及ヒエクスホルドノ三郡ニ在リテハ英倫及ヒ蘇格蘭ノ専ラ農事ニ服スル地方ト殆ント同等ノ熟練ヲ以テ耕種スルノ地往々之レアリ井ツクラウ及ヒエクスホルド二郡ノ人民ハ勉強ニ由リテ繁榮ヲ得ルモノ頗ル多シ是ヲ以テ其借ル所ノ土地ハ他郡ノ人民ト同フシテ而シテ非常ナル借料ヲ出スコトヲ得タリ井ツクラウ郡ノ農民ハ世界第一ノ善良ナル農民中ニ列シテ容貌ノ美ナルト骨格ノ羅馬人ニ似テ清雅ナルヲ以テ稱譽セラル且ツ夫レ性質ノ沉静ニシテ尊敬ス可ク品行ノ端正ニシテ摸範トスヘキハ特ニ世人ノ稱贊スル所ナリミイツ郡ハ地味甚ダ豊饒ナレト雖圍ノ地廣闊ニ過クシラ以テ地味ノ豊饒ニ比スレハ人口甚ダ寡ク且ツ寂寥ナル地ト謂フヘシキルダールカルラウ及ヒクイイノ三郡ハ井ツクラウ郡及ヒエクスホルド郡ト殆ント同等ノ繁盛ヲ致セリ全州家屋ノ建築ハモンストル州若クハコンナウト州ニ比スレハ遙ニ之ニ超越シテ居住セル紳紳ノ數モ亦二州ニ優レリ而シテ此等ノ紳士ハ大ニ其所屬農民ノ利益ヲ謀レ

リ故ニレインストル州ハ百事皆本島中ノ最モ進歩セル地方ト稱スヘキ地位ニ達セリ

首要ノ都府

本州中最モ貴重ナル都府ハダブリン、キルケンニイ、トロヘダ、エクスホルド、マリホラウ、モルリンガール、カルラウ、ビル即チバルンヌスタウン及ヒドリム等ナリ而シテダブリン府ハ本州第一ノ都府ニシテ又愛倫ノ首府タリ風景佳絶ナル海灣ニ臨ミ地勢大約平坦ニシテリヘー河其中央ヲ貫流ス是ヲ以テ許多ノ人民貿易ヲナシ及ヒ交通ニ遇ヒタル地ト謂フヘシ其廣狹ハ倫敦トエモンボルフノ中間ニ位スレト其外觀壯麗旅人ヲシテ驚愕感喜ノ情ヲ發セシムルニ足ルヘシ家屋ハ悉ク清淨方正ナル煉瓦製ニシテ實ニ英倫ノ一都府ナルカト疑フヘシ而シテシリイ府及ヒ自餘ノ歐洲大陸諸府ヲ裝飾スルモノハ最モ緊切ナルモノニ類似スル所ノ上品ナル石造ノ公館頗ル多シリヘー河ハ西ヨリ東流シ殆ント本府ノ中央ヲ截斷シテ大ニ全府ノ壯觀タリ河ノ兩岸ニ沿ヒテ家屋及ヒ馬頭ノ東西ニ連亘羅列セル大線アリ而シテ其下流ハ自ラ一港ヲ成シテ許多ノ船舶港内ニ輻湊ス一大街衢ノ此ノ大線ト十字形ニ交互セルモノアリヤツク

ワイルエストモウルランド及ヒグラフトンノ二街ヨリ成ルモノニシテ而シテ其第一街ト第二街ヲ接続スル所ノモノハ此ノ河ニ架設スル九橋中ノ最下流ニアルカライスル橋ナリ又南岸ニ於テ此ノ馬頭ノ線ニ並列セル一街アリ前者ニ比スレハ稍短街ナレドモ亦甚ダ要地ニシテ而シテコレヲ緑地ダム街カツスル街及ヒマウマス街ヨリ成リ東ハ大學校ニ至リテ止ムモノナリ從來本府ハ河ノ南岸ヲ占有レタリ然レモ今日ニ至リテハ上ニ述ル所ノ如ク二部ニ分レテ而シテ各部ニ高等ナルモノト卑賤ナルモノトヲ混同セリ重モニ富豪ノ居住セル街衢ハ一般ノ定則ニ異ナリテ多クハ府ノ東北東南兩隅ニ在リ而シテ大街衢ト稱スヘキモノハ總ベテ高等ノ大樓ニシテ大約商賈ノ住居スルモノトナス此ノ如キ壯麗ナル肆店ノ駢列スルコトハ萬國中多ク見難キ所ナリサツクワイル街ハ長サ百「ポルチ」(一「ポルチ」ハ「ポルチ」ニシテ其中央ニ卓然挺拔シタル標柱ヲ設ケ加フルニ世界第一トモ稱スヘキ華麗ナル公館數箇ヲ建築スルヲ以テ觀客皆一大都會ノ感ヲ起サハルモノナシ而シテ貴族居住ノ區域ニ於テ方地十字街頭ニ設ケタル廣闊ナルコト亦實ニ同一ノ感ヲ起スニ足ルモノナリメリオン方地ハ其周圍半

里アリセントスタヘン^{草芥ノ叢生セ}緑地^{草芥ノ叢生セ}空地ナリ其周圍殆ント一里アリテ中央ニ十七「エーケル」ノ遊園ヲ設ケタリ凡ソ旅人ノ始メテダブリン府内ヲ徘徊スルモノ車馬行人ノ絡繹奔走スル外一モ奇異ナルモノヲ見ルコトナシト思フナルヘシ然レモ乍チ上等ノ馬車ニ駕セル華奢者流及ヒ中等ノ衣服ヲ着テ人路ヲ奔走セル人民ノ外他ノ都會ニ於テ罕レニ見ル所ノ卑賤貧窶者ノ頗ル夥シキヲ認知スルナラン是レ則チ本府ニ於テ旅人ノ第一ニ發見スル殊異ノ景況ニシテ本府ノ瑕瑾トスル所ナリ本府ノ事情ニ通スルニ至レバダブリン府ノ住民中大貌利頓ノ中等社會ニ比スヘキモノハ僅ニ四分ノ一ニ充タザルヲ了解スヘシ故ニ本府中ノ最モ繁華ナル街衢及ヒ街衢中ノ最モ壯麗ナル家屋ハ點々他ノ貧賤飢餓ノ中ニ散在スルコトヲ見ルノミ
公共ノ館舍ハ本府一般ノ品格ニ比スレハ遙カニ高等ナリトス今河流ヲ溯航スルニ當リテ第一人目ヲ驚ス所ノモノハ稅關ニテ是レ世人ノ了知セルアマムス風ニ倣ヒ北岸上ニ築造シ且屋脊ニ一閣ヲ冠シテ巍々タル壯麗ノ大廈ナリ第二ヲサツクワイル街ノ驛遞局トス稅關ニ比スレハ少ク威風アリテ稍近況ノ時

好ヲ得タルギリイキ風ニ建築シ前面ノ長サ二百「フート」餘コシテ其中央コハベチメンドト稱スル三角形ヲ冠セシ所ノ威嚴ナル芝關ヲ設ケタリ又之ト相對シテチルソノ功ヲ頌セル標柱アリ頂上ニハ同氏ノ像ヲ安置ス而シテ本街ノ北端ニハ結構美麗ナル分婉醫院アリ之ニ密接シテ更ニ有名ナル圓形館及ヒ廣闊ナル附屬ノ一園アリ又大ニ西スレハ河ニ臨メル四箇ノ裁判所アリ結構巍々トシテ威風甚ダ盛ナリ已上陳說スル所ハ北部ノ大廈巨館ノ大畧ナリ南部ニ於テハ記載ス可キ物品ノ數愈多アリテ第一ニ大學校(千五百九十二年女王^{エリザベス}ノ建設ニ係ル)ハ上文記載シタル大横街衢ノ最モ要衝ナル地ニ位シ其高尙ナルギリイキ風ノ前面ハ長サ三百「フート」ニシテ中ニ一箇ノ複道ヲ設ケ以テ邸中數箇ノ大方地ニ通達セシメ邸内ハ大概煉瓦製ノ人家ナレハ亦學力試驗場、博物館、禮拜堂、養氣室、文庫及ヒ其他教育ニ必需ナル諸室ヲ全備セリ而シテ博物館ニ藏スル古琴一張アリ傳ヘ云フ第十紀ノ有名ナル愛倫王^{ハルプ}グレインボロイムヘ手澤ノ存スル所ナリト本館ヲ距ルコト僅ニ街路許ニシテ愛倫銀行アリ即チ曾テ愛倫ノ議院タリシ所ニシテ其前面ノ圓柱密羅セル支關ハ貌利頓所領ノ建築物中美麗

ノ第一等ニ屬スル者ノ其一ナリ響キニ下院タリシ時曾テグヲツトンコルラン及ヒフルウドノ達辨ヲ揮ヒシ嘗院ハ銀行必要ノ局ニ適セシメンカ爲メ其形狀ヲ變換セリ然レモ其上院タリシ所ハ偶々銀行支配人會議ノ用ニ供スルノミヲ以テ全ク本院議士ノ退去セシ當日ノ面目ヲ現存セリ
次ニ記載スヘキモノハダブリン城ナリ城ハ本府中河ノ南部ニテ少ク隆起セル地位ニあり往時英王代理ノ政事堂ニシテ而シテ恐怖セル間諜若クハ白首人ヨリ屢々不軌謀反ノ確報ヲ得シ所ナリ城中ヲ二部ニ分チ一ヲ若干ノ官署トシ一ヲ英王代理ノ公務局トス而シテ官署中ニカツスルナヤペルト稱スルモノアリ即チ四方磅以上ノ金ヲ費シ總テ本島ノ產物ヲ以テ近世ノゴス風ニ建築シタル羅馬^{バウナ}教ノ禮拜堂ニシテ其結構營繕及ヒ室內ノ器具ニ至ルマテ一トシテ善美ヲ盡サハルモノナシ英王代理ノ公務局ハ第十八紀ノ中葉ニ行ハレシ風格ニシテ結構高尙ナレハ威風ハ赫灼ト稱賛スルニ足ラス局中千七百四十五年ニ於テ英王ノ目代タリシチエスタルヒールド氏ノ半身像ヲ安置セル一室アリ又最モ著名ナルハセントパトリック^{セントパトリック}ニスホウルト稱スル廣闊高聳ノ舞廳室ニシテ而シテ愛倫歴史中ノ實事ヲ模寫セ

ル諸喬ヲ以テ裝飾シタル承塵ハ室内ニ就テ特ニ人心ヲ感動セシムル所ノモノナリ

本島ノ古寺舊院ノ中稱スヘキモノハ其美麗コアラステ歴年ノ久シキニ在リ故ニダブリン府ノ兩本寺タルセントパトリック及ヒクライストナヨウナノ外觀ハ新ニエヌストミニストル寺若クハメルラウム寺ノ美觀ヲ目撃シ來リシ者ノ眼目ヲ悅ハシムルニ足ラザルニ似タリ然レヒセント、パトリック寺ニ在リテ常ニ禮拜祈禱ヲ行フ與室ノ承塵高敞ナルト室内陳列スル所ノ壯嚴ナル祈念碑及ヒ幽暗ナル佛壇上ニ懸シセントパトリック派ノ武士ノ兜冑及ヒ旌旗ヲ觀ルニ及テ其心ヲ動カサハルモノハ幾ント希レナリ蓋シ此ノ舊寺ニ詣ル者ハ皆終始其思想ヲ名僧スサツト君ニ傾注ス故ニ人ノ其近傍ニ到ルヤ必ス先ツスサツト君ノ舊居ヲ求メ其門ニ入ルヤ必ス先ツスサツト君ノ墳墓ヲ拜スア、偉ナルカナ秀才ノ力ヲ以テ世人ノ思想ヲ此ノ如ク有形物ノ中ニ蒐集シテ萬古變換スルナキヲ且又副僧正ノ官邸ハ今猶セントケビン街ニ存シ館中ニハスサツト君ノ畫像ヲ藏セリ是レ乃チ世ニ同君ノ彫像アル所以ナリセントパトリックノ四周ニ接スル所ノ街衢ハ本府中最モ卑陋貧困ナルモ

ノニシテ家屋壞敗シ質ニ懸然タル景況ヲ現ハセリ而シテ其家屋前ノ石路ニハ困迫ノ貧民群集會合ス
本府ノ西陲河ノ北邊ニホイニツク公園ト稱スル人民公共ノ有名ナル遊歩地アリ廣サ大約千「エーケル」ナリト云フ此ノ公園ハ其廣大ナルヲ倫敦ノ諸公園ニ超越スルノミナラス倫敦第一ト稱スル所ノセントス公園ヲ裝飾スルトモ之ト美觀ヲ競フ可キヤ否ヤハ未タ知ル可カラサルナリ此ノ公園ハ極メテ平坦ニシテ清麗ナル古樹灌木ノ叢林殆ント其全面ヲ蔽ヒ中ニ英王目代及ヒ屬官ノ首領數名ノ官邸其他數箇ノ公館並ニエリリントン侯ノ軍功ヲ頌セル方形ニシテ高ク聳ユル標柱ヲ設ケタリ又近年ニ至リ園中ニ動物園ヲ開キ益々人心ヲ歸向セシムルノ觀ヲ増加セリ

本府ニ於テ施濟館ノ設ケ鮮カラズ其結構モ亦頗ル大ナリ又宗教及ヒ教育ニ關涉セル種々ノ社會アリテ其功德全國ニ普及セリ本府ノ貿易ハ大抵内國用ノ物品ニシテ而シテダビツト即チホプリンヲ除クノ外一モ製造品ノ世ニ名アルモノナシ故ニ本地ノ輸出品ハ僅少ナレトモ各國ヨリノ輸入物ハ甚々多シ第一ハルチツク海岸ノ諸國ヨリハ木材魯西亞ヨリハ獸脂麻及ヒ吧

嗎油佛蘭西西班牙及ヒ葡萄牙ヨリハ葡萄酒及ヒ菓實類和蘭ヨリハ烟草、幾那及ヒ香料西印度諸島ヨリハ砂糖ヲ輸入ス又其年々收入スル所ノ税金ハ大約百萬磅ナリ

本府貿易ノ最モ緊要ナルモノハ大抵リバプルト聯合シテ行フ所ノ英倫貿易ナリ而シテリヘー河ノ下流ハ本府ノ港口ヲ成形スレトシ汽船及ヒ大風帆船ハ特ニ好ミテ此ノ灣口ノ南岸ナルキングストン(舊名ドレーリー)ノ海港ニ到ルノ故アリ蓋シ此ノ海港ハ規模壯大ニシテ且ツ接近ノ地方ニ於テ清潔ナルキングストン府アリ加之晝夜ノ別ナク鐵路ニ由リテ容易クダブリン府ヨリ來ルコトヲ得ヘシ千八百五十六年ニ於テ船舶ノダブリン港ヲ出入セシモノハ風帆船四百五十四艘ニシテ噸數三万二千二百七十九噸汽船四十七艘ニシテ噸數九千四百二十一噸ナリ
本府ニ輕便ナル私有馬車ノ數多アルトハ其最モ顯著ナル事實ノ一端ナリ蓋シ此等ノ馬車ハ通常一馬ヲ駕シテ各邊ニ一席ヲ設ケ外方ニ面シテ各兩三人ヲ容ルヘキモノナリ本府ノ商賈ハ一輛ノ馬車ヲ蓄フルヲ以テ最上志願中ノ一ト爲セリ抑々本府ノ人口ハ千八百三十一年ニ於テ二十万〇四千五百五十五人ナリ

シガ同四十一年ニハ二十三万二千七百二十六人トナリ同五十年ニ至リテハ又増加シテ二十五萬八千三百六十一人ト爲レリ本府周年ノ氣候平均ノ溫度ハ大約四十八度半ナリ

キルケンニイハ同一ノ名稱有ル郡ノ首府ニシテノウル河ノ岸上ニ位セリ本郡ノ地ハ首府ノ外更ニ二十六方里 一方里ハ六百里「ナ」ノ外郊ヲ占有スルノミ往時本府ノ世ニ大關係ヲ有セシコトハ方今尙現存スル所ノ古城箭眼ヲ穿テ爾殘壁及ヒ諸寺院等ヲ以テ之ヲ証スヘシ舊時ハ毛布及ヒフランクットヲ製シテ盛ニ貿易ヲ行ヒシガ爾來大ニ衰凋シ今日ノ事業ハ僅ニ本府人民ノ需要品ヲ販賣スルト其近傍ノ農產物ヲ鬻クトニ止マルノミ府内數箇ノ好街衢アリ而シテ其家屋ニハ肆店アリ及邸宅アリテ各々賤シカラサル活計ヲ爲スニ邊陲ニ至リテハ實ニ懸然タル景況ヲ顯ハセリ府中第一ノ壯觀ハノウル河ノ岸上ニ元立シタルオルモント侯所領ノ名城ナリ其他千二百〇二年ノ建築ニ係レルセントカニス本寺ハダブリン府ノセントパトリック及ヒクライストナヨウナヲ除クノ外本島中ノ古寺舊院其右ニ出ルモノナシ又許多ノ尊敬ス可キ學校諸種ノ廢疾院及ヒ賑恤所ノ設ケ頗ル多シ其他府ノ近傍ニハ一ノ大理石坑アリ本

地方ノ爲メニ大ニ緊切ナルモノト云フ千八百三十一年ニ於テ本府及ヒ其屬地ノ人口ハ合計二萬三千七百四十一人ナリシガ同四十一年ニハ二萬三千六百二十五人ニ減少シ同五十一年ニハ復タ減シテ一萬五千八百〇八人トナレリ

ノ地ヲ占有セル一小郡ニシテ而シテ郡中亦只一府アルノミ千八百四十一年ニ於テ本地ノ人口ハ一萬七千三百人ナリシガ同五十一年ニ至リテハ一萬六千八百四十五人ニ減少セリドロヘダニ於テハ僧正管理教ノ寺院三字アリ即チセントペートルセントマリイ及ヒセントマインコシテ而シテセントマインクハセントペートル所屬ノ區寺ニシテ羅馬教ノ本寺二字庵室二字支庵一字尼庵二字其他會長撰立教及ヒ嚴肅教ノ會堂各一字アリ此ノ地ハ貿易及ヒ人民ノ職業頗ル繁昌ノ地ニシテ大漁船ノリバアウルニ往復スルモノ陸續トシテ絶エルコトナシ而シテ本地ノ海港ハ海ヲ距ルコト僅ニ四里ナルボノ河氷ヨリ成ルモノニマテ其馬頭近傍ノ水量ハ十六(フート)乃至十八(フート)ナリ物産ハ棉布及ヒ麻布ノ製造行ハレ又三箇ノ麻布製造所アリテ千人ヲ使役シ又一大製鐵所アリテ三百人ヲ服用セリ其他酒

類ノ釀造及ヒ蒸溜製革石鹼製造ノ工業ヲ亦大ニ行ハル

モンストル州

本州ハシレル、コルク、ケルリイ、メリツキ、チペラリイ及ヒヲウトルホルドノ六郡ヲ包括ス而シテ全島中最モ能ク愛倫人ノ愛倫人タル性質及ヒ各種ノ習慣ヲ保全スル地ナリ本島中八民最モ稠密ナル地所數箇ハ本州ニ屬セリ即チコルク、ヲウトルホルド及ヒメリツキ三府ノ如キ是レナリ又名境勝區ハ甚タ多シト雖モ特ニ世人ノ島絶佳ヲ以テ評スル所ノ一地アリ即チキラルニイノ盛名ナル湖水是レナリ

キラルニイ湖水ハ山嶽衆多ナルケルリイ郡ノ中央山間ニ在リテ本島ノ各郡及ヒ隣國人民ノ常ニ來遊スル所ナリ此ノ湖水ハ大小三湖ノ相聯續スルモノニシテ風景ノ品格ハ粗朴ナル山水タルコトヲ免レスト雖モ周邊各所ノ風景ニ至リテハ甚タ差異多シ中ニ就テラウレイン(即チ下湖)ハ其大ニ遙カニ他ノ二湖ノ上ニ在リテ一方ハ快樂ナルキラルニイ村ヲ環繞シテ平坦ナルコト水面ノ如ク耕耘充全シテ一雜草モ存セザルノ曠野ニ接シ一方ハグレナ及ヒトミイ山ノ麓ニ達セリ湖中ニ樹木ノ繁茂セル小嶼數箇アリテ其一ハ一寺院ノ舊跡ヲ存シ一ハ古城ノ

舊跡ヲ殘セリ又東岸ニハモツクロスエヒイト稱スル美麗ナル寺院ノ舊跡アリ又中湖ハ樹木森鬱トシテ秀麗ナルモツクロス岬ニ由リテ下湖ト相分ルト雖モ水面齊一ナルニ峽水之ヲ連貫スルコトアルヲ以テ下湖ヨリ舟行スヘシ其岸上ノ山名ニ由テ亦之ヲトルク湖ト稱セリ此ノ二湖水面ノ斯ル美麗ヲ呈スル所以ハ固ヨリ湖中小嶼ノ星羅セルニ關スルト雖モ抑々此等ヲ圍ム所ノ岬端山側ノ形狀亂雜ニシテ樹木其上ニ叢生スルト巍々タル秃山ノ其岸上ニ聳立スルトニ由ルモノアリ而シテ此ノ勝景中二三ノ方隅ニ在リテハ上等ナル邸宅ノ湖上ニ枕ムアリ又他ノ方隅ニ在リテハ瑩晶ナル溪水小瀑布ヲ爲スモノアリ三湖中ノ最モ小ナル上湖ハ中湖ヲ距ルコト三里ニシテ其地稍々高ク全ク丘陵ノ中ニ包括セラル而シテ本湖ヨリ中湖ニ注ク所ノ細流ハ小舟ヲ通スヘシ而シテ半途其地ニ到ルキハ喇叭ヲ吹カシメ丘陵中ニ發スル所ノ數回反響ヲ聞クヲ樂ムヲ以テ行客ノ常トナス上湖ハ左右ニ樹木森鬱タルデリクニ丘ト頂上圓形ナルボルブル山ヲ帶ヒ其上流ハ童禿ニシテ斑色ナルマシヨリクツツイリイキス險山ノ麓ニ達シ綠色ノ小嶼其水面ヲ裝飾スルヲ以テ絶妙殊勝ノ景色ヲ現セリ又旅客ノキラルニイ湖勝景

愛倫地誌

ヲ探クル者ハ此ノ外更ニ必到ノ地アリ即チ此等ノ湖水ト連接シテドソルウト稱スル所ノ狹隘コシテ且高低アル一山谷是レナリ自餘本州ノ地ニ於テ其勝景中ニ列スベキモノハ只バントリイ灣奥ヲ距ルコト遠カラザル地ニアリテ最モ圖畫ニ類似シタルグレンガンツフ谷リスモウル府トヨウル港トノ中間ナルブレツキヲウトル河岸コルク府以下ノリイ河リイ河ノ注入スル天然ノ佳港即チ(セカウブ)コルク(今ノシイ、ンス)及ヒ全面密石ニシテ且峭壁削立シ各地非常ノ勝景ヲ有スル所ノシレイル海岸アルノミ

リメリツキケペラリイ二郡ノ南部ハ其地味ノ豐饒ナルコト恐クハ歐洲中ノ第一等トモ稱スヘシリメリツキ郡ノコルクカス地方及ヒチペラリイ郡ノガウルデンエールハ地味甚タ沃饒ナルヲ以テ有名ナリ此等ノ地方ニ於テハ主トシテ食用牛ヲ牧養ス其他チペラリイシレル及ヒメリツキ三郡ノ石灰質ナル地方ハ悉ク小麥ノ播種ニ供シタルリイ及ヒヲウトルホルドノ山地ニ於テハ搾乳牛ノ牧養ヲ事トシ而シテ夥多ナル人民必需ノ馬鈴薯ハ全州悉ク之ヲ種樹セリ蓋シ本州ノ人民多クハ馬鈴薯ノ一品ヲ食スルコト毎歲其半ニ過クル事實ニ至リテハ眞ニ悲

歎スヘキ所コレヲ而シテ又大ニ牛酪ヲ産スルノ地ハコルクナ

首要ノ都府

本州ノ最モ緊要ナル都府ヲコルクリメリツキ及ヒヲウトルホ

テ廣袤二百四十一エーグルノ牆壁ヲ環ラシ以テ湖水ノ衝突ヲ

防キ而シテ府ノ近傍ニ一埋葬地アリ其趣向ハ都テ之ヲベール

ラチューズ 佛國巴里西郊ノ有ニ摸擬セリ

本府ニ於テ盛大ナルロヤル、コルク、イノスチ、ユウシヨソ及

ヒ文學技術ニ關涉セル種々ノ社會ヲ保有スルコトハ實ニ誇稱

スルニ足ルモノアリ其他教育ニ關涉セル館舎モ亦甚々多シ且

廢疾院ニ字分醫院ニ字疫病院一宇婦女教育院ニ字アリ而シ

テ府民ノ慈惠ニ厚キコトヲ証ス可キモノハ頗ル衆多ナリ

本府第一ノ貿易品ハ穀類牛酪及ヒ種々ノ食用物ニシテ而シテ

製造品ハ製革蒸溜物釀造酒類鑄器具及ヒ手套ナリ

本府ノ人口ハ千八百四十一年以降五千〇二十五人ヲ増加シ同

五十一年ニ於テハ八万五千七百四十五人ニ到レリ千八百五十

六年本港ニ於テ檢査シタル所ノ船舶ハ帆船船三百七十九艘ニ

シテ其噸數ハ四万四千九百五十八箇ナリ汽船三十七艘ニシテ

其噸數ハ五千七百八十六噸ナリ

愛倫ノ西岸ニ就テ第一等ナルリメリツキ府ハ景色秀麗ナル

シャンソソ河ノ開拓シテ一海湾ヲ成形シタル所ノ地ヲ距ルコ

ヲ全有シ而シテ河流ニハ五橋ヲ架セリ其一タルエフスレー橋

ハ結構甚タ壯麗ニシテ府中ノ新府ハ即チ愛倫府又ハベルリイ新

府ト稱スル部分ニテ愛倫第一ノ高尚ナル都會中ニ列スヘキモ

ノナレハ其舊府ハ狹窄汚穢且敗壞ニ屬シテ至極劣乏ノ人民住

居スル所ト爲レリ本府ハ其舊府中ニ於テ結構壯麗ナル中古創

建ノ本寺一字ヲ有シ又僧正管理教ノ寺院五宇會長撰立教自主

教及ヒフレンド教派ニ屬スル所ノ會堂數字羅馬教ノ禮拜堂五

宇支庵三字及ヒ尼庵一字アリ又府民ニ屬スル尋常ノ公館數字

ヲ設ケ其中若干ハ壯麗巨大ナルモノアリ其他救恤ノ爲メニ設

立セシ所ノ館舎頗ル許多アリ

本府ノ麻布製造ハ一時殆ント滅絶セシガ近年ニ至リテ再ヒ舊

ニ復セリ手套製造ハ笹線及ヒ釣鈎ノ製造ニ均シク久シク本府

製造中ノ貴重ナル事業タリシガ今日ニ至リテハ大ニ衰廢セリ

其他蒸溜物釀酒類製革及ヒ造船モ亦皆本府人民ノ職業トスル

所トナレリ千八百五十六年ニ於テ本港ニ屬セシ所ノ船舶ハ風

帆船七十二艘ニシテ其噸數ハ八千四百三十噸汽船六艘ニシテ

其噸數ハ二千四百〇六噸ナリ千八百五十一年ニ於テ本府ノ人

口ハ五万二千四百四十八人ナリ

ヲウトルホルド府ハソウル河口ヲ距ルコト數里ノ上流ニ位シ

テ一大海港ヲ成シ同一ノ名稱ヲ有セル郡中首要ノ都府ナリ而

シテ八百噸以下ノ船舶ハ大英聯邦中第一等ノ一ト稱スル所ノ

本府ノ馬頭ニ來リテ直ニ其貨物ヲ載卸スルコトヲ得タリ千八

百五十六年ニ於テ本港ニ屬セシ所ノ船舶ハ帆船船百六十艘ニ

シテ其噸數ハ一万五千七百九十八噸汽船二十四艘ニシテ其噸數

ハ千六百八十六噸ナリ輸出品ハ悉ク農産物ニシテ千八百五十

三年ノ金額ハ二百萬磅ナリシト云フ本府第一ノ製造品ハ砂糖

及ヒ麥酒ナレハ亦金屬ヲ鑄造シ麵粉ヲ製スル所ノ屋舎數箇ア

リ本府ハ華麗ナル本寺一字其他數字ノ寺院及ヒ人民公共ノ館

舎ヲ設立セリ而シテ千八百五十一年ノ人口ハ二万三千三十九

人ナリ

ウルストル州

四州中ノ最北ナルウルストル州ハ分チテアントリムアルマア

カバンドチガウルズウンヘルマンナアデルリイモナガン及ヒ

ダイロンノ九郡ト爲ス丘陵居多ニシテ其風景畫クカ如クナル

ト特ニデルリイベルハルト及ヒアルマアノ三首府傍近ニ於テ

然リトス又アントリム郡中グレナルム府トベンガウル岬トノ

中間ニ絶勝ナル風景ノ聯綿タル一地アリ此ノ奇觀中ニ就テ最モ顯著ナル形象ハ夥多ノ柱石集合シテ奇怪狀ヲ成セルモノナリ蓋シ排列ノ位置最モ判然タルモノハ「ア岬」及ヒ「ザイアン」トスカウスエーニ於テ見ルベシ而シテカウスエーニハ數港アリ其一タルベンガウル岬ハ乃チハルリイカツスルト稱スル一小府ヲ距ルコト七里許ノ西方ニ在リ諸書ノ記載スル所ニ據レバ只一箇ノ山嘴ナルカ如クナレハ決シテ然ラス許多ノ小岬及ヒ小灣ヨリ成レルモノニシテ各自固有ノ名稱アリ就中形狀ノ最モ整齊ナルモノヲ「アリスキン岬」トス本岬ノ頂上ニハ草芥繁生シテ分裂碎劈スル 壘石上ニ彌蔓セリ巔ヲ降ルコト十一「ア」ト「若クハ十二」フート「コ」シテ 壘石直立シテ漸次ニ柱狀ヲ現シ恰モ六十「フート」ノ 壘石上ニ壯麗ナルコロソチード 同一ノ以テ柱ノ密羅ス ヲ建ルカ如シ「アリスキン岬」ノ東大約八里カウスエーノ東邊ニ於テ「ア」岬アリ本岬ハ柱狀ヲ爲セル巨大ノ 壘石塊ヲ呈露シ而シテ之ヲ構成スルノ 壘石ハ其質粗惡ナレハ高サ二百「フート」以上ニ至ルモノ頗ル多シ此等ノ巨壘若干ハ曾テ山頂ヨリ墜落セシモノナルベシ然レハ今ヨリ之ヲ見レハ恰モ敗壞セシ巨屋大厦ノ群ヲ爲セルガ如シ又「ザイアン」トス

カウスエー 巨人ノ築ケルニ就テ其名稱ノ最モ適當セル部分ニ於テハ峭壁ノ麓ヨリ海中ニ斗出スルコト百「フート」許ナル一種ノ馬頭ヲ成形セリ蓋シ此ノ馬頭ハ夥多ノ柱石頭端相密接シタル六角若クハ七八角ノ石盤ニシテ其狀殆ント蜂房ノ窠穴ナキモノニ似タリ其柱石ハ各數箇ノ交節アリ而シテ一節ノ凹端毎ニ必ス他ノ凸端ト相嵌接スルコトハ實ニ不測ノ奇怪ト謂フヘシ

本州ノ地味ハ各所甚タ不同アリアンマアウントンリームデルリイ及ヒモナガンノ五郡ニ在リテハ地皮深厚沃饒ノ粘土ヨリ乾燥シタル土砂若クハ砂礫ノ粘土ニ混和シタルモノニ至ルマテ其種類數等アリ然ルニドチガウルタイロンヘルマンナア及ヒカパンノ四郡ニ在リテハ地味多クハ寒冷濕潤ニシテ且ツ漫漶ナリ農事ハ概シテ進歩ノ景況アリ故ニ僻遠ノ地ニ在リテハ今日ニ至リテモ尙ホ往々愛倫舊來ノ犁鋤及ヒ樞車ヲ用フルコトアレハ新製ノ農具ヲ用フル所モ亦多シ「ウ」及ヒ「アル」イ郡ニ於テハ特ニ然リトス通常ノ收納品ハ燕麥大麥及ヒ少許ノ小麥ナリ「デル」イ郡ニ於テハ其收穫ノ大麥ヲ以テ借地料ノ一半ヲ償ヒ其亞麻ヲ以テ他ノ一半ヲ辨スト云フ馬鈴薯ハ貧富

ノ別ナク盛ソコ之ヲ栽培セリ而シテ豪農ハ之ニ加フルニ蕪菁及ヒマングルウルズル 蕪菁ノヲ以テス内地ニ於テ用フル所ノ通常糞料ハ石灰及ヒピイト 植物質ノナレハ沿海諸郡ノ用フル所ハ此ノ二品ノ外ニ海中ノ土砂諸種ノ海草及ヒ碎粉シタル諸種ノ貝類アリモナガン郡ノ北部某ノ地ニ於テハ其土壤一般ニ濕潤ナルヲ以テ糞料ヲ運搬スルニ車類ヲ用ヒス之ヲ「バルド」ト稱スル所ノ籃筐ニ盛り驢背若クハ貧婦ノ肩ヲ以テ運搬スルヲ常トナス

英王ゼームス一世在位ノ前ニ在リテハ本邦製造ノ業盛衰如何ヲ知ラスト雖モテ「エド」ル朝ノ時ニ當リテ政府ト地方會長トノ争闘久シカリシヲ以テ此ノ業遂ニ地ヲ掃ヒテ滅絶セリ爾來本島ノ北部ニ移住シタル蘇格蘭人及ヒコルン 侯ボイル君ノモンストルニ携ヘ來リシ英倫人等ハ則チ今本邦ニ現存スル所ノ各種製造ノ創業者ト稱スベキ者ナリ「チャ」レス一世及ヒ二世ノ時ニ至リテ大ニ製造ニ注意シ而シテ麻布ノ製造ハ本邦不朽ノ盛業ト爲リシヲ即チ「ロ」ド「スト」ラツ「ホ」ルド「ソ」ル「井」レム「テ」ム「アル」及ヒ「オル」モン「ド」侯ノ相次キテ盡力シタルヲ以テナリ抑々「オル」モン「ド」侯ハ之ヲ獎勵センガ爲メニ種々ノ事業ヲ企テテ而

ノ其許可ヲ得タルノミナラス愛倫人ヲ「フ」ランド「ル」スニ遣フ亞麻布製造ノ秘術ヲ學バシメ且ツ「ダ」ブリ「ン」府ノ近傍ナル「チャ」ベ「ル」ヨウ「ド」及ヒ「カル」リツキオン「ソ」ウルノ二府ニ麻布ノ製造所ヲ建設セリ爾後「ル」レム三世ノ時ニ至リ英愛兩國ノ商人毛布ノ貿易ヲ廢斥シテ麻布ノ貿易ヲ勸奨セン「フ」約セシヨリ麻布ノ職業ハ益々緊切ナル地位ニ進歩セリ此ノ目的ヲ以テ兩國ノ商賈ハ本島ノ毛製貨物ニ税金ヲ增加スル一法ヲ設ケンコトヲ請求シテ其願望ヲ達シタリ蓋シ愛倫ニ於テ毛布職業ノ繁榮ハ其英倫ニ於ケル者ノ福祉ト兩立シ難シトノ嫉妬心ヨリ此ノ議ヲ起セシナリ又佛王「ヘ」ヌリ四世ノ有名ナル「ナ」ントノ詔勅ヲ發セシ「イ」佛國製造家遊ケ通レテ本島ニ移住セシモノ許多ナルヲ以テ麻布ノ職業ニ又一ノ刺戟ヲ生シ製造家ノ主領タル「ル」イン「ロ」ム「リ」ン君ハ此ノ工業ヲ改進シ之ヲ實行スルノ許可ヲ得テ大ニ其功ヲ奏セリ女王「ア」ーンノ第九年ニ當リ麻布製造ノ事務局ヲ置キ輸出麻布ノ稅ヲ免セリ「ヨ」ウ「シ」一世ノ第八年ニハ麻布ノ會所ヲ建設スルコトヲ許可シ又人民ヲ獎勵シテ亞麻ヲ蕃殖セシムルコトヲ許容セリ千七百七十八年以前ニ在リテハ日ヲ期シテ市場ヲ開キ晒布ヲ賣買セリ而シテ其晒布人ハ即

製造人ナリシガ製造漸次盛大ナルニ及ビテハ則チ晒布ヲ以テ専ラ業トスル人アルコ至レリ後年ニ至リ此ノ製造方ヲ維持セシガ爲メニ時々議院ヨリ許多ノ資金ヲ給與スル事ト爲リタリ第十八紀ノ始メヨリ此工業幾々トシテ大ニ進歩セシガ米國ノ革命兵亂起ルニ會シテ甚ク障礙ヲ蒙レリ然レトモ兵亂鎮定ノ後其景況ハ亦恢復シタリシガ扶助金ニ至リテハ全ク之ヲ亡失セリ然リト雖モ尙ホ昌盛ナル職業中ニ其地位ヲ保存スルコトヲ得タリベルハスト府ハ只ウルストル州ノ麻布ノモニ限ラズ亦本邦ノ西部ナル織布ヲ以テ業トセル地方ノ麻布ヲ賣買スル所ノ大中心ナリ又本州ハ愛倫ノ綿布製造所創業ノ地ニシテ而シテベルハスト府ハ常ニ此ノ工業ノ先導タリ

本州ヲ概論スレハ其農民ハ島内各部ノ農民ヨリモ一層多量ノ自信心ト勉強力トヲ并有セリ而シテ其生計ヲ上進セント欲スルノ念モ亦頗ル他ニ超越セリ實ニ本州ノ農民ハ他ノ三州人民ニ比スレハ稍々善良ナル教育ヲ受クルヲ以テ一般ノ景況一層上等ニ進歩セリ而シテ本州農民ノ情態ハ斯ノ如クナルヲ以テ其家政及ヒ園圃ノ事ヲ慮スルニモ必ス後來ノ快樂ヲ以テ目的トナス故ニ州内ニ於テ舊習ヲ脱セザル山間ノ人民ヲ除ク外社

ントスル所ノ西岸ニ在リテ位置甚ク宜シキヲ得タリダブリン府ヲ距ルコト八十五里ナリ府中地勢ハ平坦ナレトモ豐饒美麗ナル西郊ヲ隔テ、後面ニハ好景畫シカ如キ山脈連接シ前面ニハラガン河長大ノ石橋ヲ架ス市街ノ前岸ニアルモノト往來ヲ便ニシ又之ヲ經テ本府ヨリドナハダインニ出ツベシ本島ニ於テ此ノ部分ノ地ハ多ク蘇格蘭人若クハ其子孫ノ居住スル所ナレトモ獨リ本府ハ亦夫ノダブリンノ如ク家屋煉化石ヲ以テ之ヲ建築シ街衢清潔方正ニシテ且ツ往々佳麗ナル肆店ヲ駢列シ形状宛モ英倫ノ市街ト異ナラス抑々本府ノ繁昌ハ千六百八十八年ノ革命ヨリ起レリ本府ノ愛倫ニ於ケルハ恰モグラスガウノ蘇格蘭ニ於ケルリハアウルノ英倫ニ於ケルガ如ク方今ニ在リテハ麻布木綿等ノ一大市場ニシテ其最上等ヨリ最下等品ニ至ルマテ一切製造ノ方法悉ク市中ニ全備セザルナシ亞麻紡績所ノ府中ニ在ルモノハ三十三區ニシテ三万二千人ヲ役使シ木綿製造所モ亦五區アリテ其他工業ノ緊要ナルモノハ麻布及ヒ木綿織工、盛大ナル鑄工、晒布工、印花布工、舎密工、麵粉製造、解木塲、釀酒、五區ノ大船廠、網工等ナリ本府ノ貿易ハ甚ク洪大ニシテ千八百五十年ノ輸入ハ六百九十三万三千〇六十八磅ニ至レ

會中中等ノ地位ヲ占有スルモノト稱スルモ亦不可ナラズ江河ノ漁業ハ其長法ヲ得タリトハ云フコ足ラスト雖モ州内各所ニ於テハ甚ク利益アル職業トナレリ而シテ湖水及ヒ江河ニハ鱒子魚、鱒頭、鏡尖ナルヲボルチ鱒ノ種及ヒカアル種ナリ甚ク多クシテバン河、ホイル河及ヒドチガウル郡ノバルリヤンノ河ノ如キハ鱒漁最モ昌盛ナリトス

首要ノ都府

本州ニ於テ緊要ナル都府ハアントリム郡ニ於テハベルハストアントリム、ロンドンデル郡ニ於テハロンドンデル郡一名デイルイコルレインドチガウル郡ニ於テハ同名ノ府タイロン郡ニ於テハストラバンアルマ郡ニ於テハアルマ郡、アントリム郡トドウ郡トニ於テハニユウリイリスボルン及ヒダウパトリツキナリ郡境ヲ問ハズシテ之ヲ概論スレハベルハストリスボルンニユウリイアルマア及ヒ之ニ次ケル二三ノ都府ハ俱ニ一國ノ社會ニシテ多クハ麻布ノ製造ニ從事セリ是レ等ノ人民ハ數世ノ間其勉勵ト平穩ノ習俗トニ於テ名譽ヲ得タリベルハストハ本州中第一等ノ都府ニシテ海港ヲ兼テ愛倫全州ニ於テ第二ト稱スラガン河ノ將ニベルハスト支海ニ注入セ

リ千八百五十六年本港ニ於テ検査スル所ノ船舶ハ帆船四百四十八艘ニシテ噸數七万〇〇七噸、汽船二十一艘ニシテ噸數四千五百八十六噸ナリ

ベルハストノ人口ハ千八百三十四年ノ検査ニ據レハ六万〇八百十三人ナリシガ其中一萬六千三百八十八人ハ僧正管理教ヲ奉シ一万九千七百十二人ハ羅馬教ヲ奉シ二萬三千五百七十六人ハ會長撰立教ヲ奉シ剩餘ノ千百三十七人ハ他ノ教派ヲ奉セリ千八百五十一年ニ至リテハ人口十万〇〇三百人ニ上レリ寺院ハ其數甚ク多クシテ會長撰立教ニ屬スルモノ十九區國教ニ屬スルモノ十二區羅馬教ニ屬スルモノ四區アリ教育所ノ記スベキモノハロヤル、アカデミカル、インスタン、ユウシヨン、ベルハスト中學及ヒシイ、ハンス、カレルレナリ又數區ノ文庫及ヒ諸種ノ賑恤會社アリ

ロンドンデル郡ハベルハスト府ノ次ニ位ス本府ハ甚ク緊要ナル海港ニシテ且僧正所在ノ地ナリホイル河ノホイル灣ト相接スル一點ヨリ上流ニ溯ルテ四里ノ西岸ニ在リテダブリン府ヲ距ルテ百四十六里ナリ舊府ハ千六百〇三四年ノ際ニツルヘリ、ドエラノ創立セシモノナリシガ千六百〇八年ニ至リ

ル、カヒル、オドルヘルチイ焼所トナリ現今存スル所ノ府ハ此ノ災厄ニ次キテ倫敦ヨリ植民セシ者ノ創立ニ係ルモノナリ
 ハインナル氏ガデメリイノ城壁ヲ記スル語ニ曰「築造精巧妙絶ニシテ周圍凡ソ二百八十四、ポルチニ及ヒ高サ二十四、フート」
 厚サ六「フート」アリト二百餘年ノ星霜ヲ經ルト雖モ猶依然トシテ昔日ノ形狀規模ヲ保存セリ而シテ北西ノ壁ハ千八百二十四年市場ヲ開設セシカ爲メニ毀撤セラレ又西方内面ノ壁ハ千八百二十六年ニ往昔本府ノ知府タリシレヘント、シヨウジ、ヲウクル氏ノ攻圍ヲ受ケテ本城ヲ嬰守シメル 千六百八十紀念標ヲ樹ツルノ地ヲ設クルカ爲メニ毀壞セラレタリ然レト圍城中ニ用ヒシ所ノ砲礮ハ尙ホ城中及ヒ外部ニ現存シテ其數凡ソ五十門アリ當時其聲響ノ大ナルヲ以テラウリンゲメグ 吼ユル義ト名ツケタル一門ハ現ニ今會議所ノ庭前ニ在リ此ノ砲ハ最大所ノ周圍四「フート」ニ「六」インチ「コ」シテ長サ十二「フート」アリ而シテ「千六百四十二年倫敦魚醫社中」ト記銘セリ
 宗教ニ屬スル家屋ノ首要ナルモノハ千六百三十三年ニ倫敦府民ノ築造セシ本寺ナリ此ノ舉ヤ左ノ對句ヲ以テ額面ニ記シ元ハ本寺ノ玄關ニ掲タリシガ今之ヲ移シテ鐘樓ノ戸上ニ在リ

石若シ能ク言語セハ此ノ寺院及ヒ此ノ都府ヲ開創シタル倫敦府民ノ名譽ハ自カラ照然タラン

其府中ニ十二ノ寺院アリ半ハ會長撰立教ニ屬セリ其他公共ノ館舎ニテ首要ナルモノハ僧正ノ宮殿ホイル、カクレシ、クイ、ソス、インスチ、ユウシヨ、共同書籍新聞展覽所、狂病院獄舎、會議所等ナリ
 小學校及ヒ賑恤所ノ數モ亦他所ト相頡頏セリ亞麻紡績ノ機械二區、麵粉製造所數區釀酒場三區蒸溜所三區及ヒ製革所五區アリボイル灣ノ鮭漁ハ莫大ノ收穫ニシテ毎年百噸ニ過キタリ又海外ニ移住スル人ノ本港ヨリ發スルモノ頗ル許多アリ本港ハ五百噸以下ノ船舶直ニ馬頭ニ來リテ其貨物轉運スルコトヲ得ベシ千八百五十六年檢査シタル所ノ船舶ハ風帆船二十二艘ニシテ噸數五千噸船六艘ニシテ噸數千七百三十七噸ナリ千八百五十一年ノ人口ハ一万九千八百八十八人ナリ
 アルマア府ハ本邦ノ内地ニ在リテ切要ノ地方ナリ而シテ沃饒美麗ナル土地ノ中央ニ位シ四邊平原ノ中ニテ丘陵各所ニ突起スルヲ以テ更ニ一層ノ美景ヲ増セリ中ニ就テ往々其高サ千「フート」ニ越ユルモノアリ斯ノ如キ地勢ハ北方ノチー湖ヨリ

起リテ南方ニイツ郡ノ西北部ニ達シ灌溉ノ利十分アリテ木材モ亦甚タ豊富ナリ本府ハ一丘陵ノ上ニ在リテ舊本寺其巔ヲ占メ四周漸次ニ降殺シテ市街ヲ爲セリ近來ニ至リ往々研磨石ヲ以テ前面ヲ建築シ此ノ本寺モ亦近來三萬磅餘ノ資金ヲ費シゴスノ銳尖法ヲ以テ再建ヲ經頗ル風趣ヲ成セリ其用フル所ノ樂器ハ甚タ精良ニシテ樂人モ亦巧妙ナリベルハスト及ヒヒユウリイヨリ湖氷溝渠ノ永利アリ以テ本府ヲ距ルコト四里ニ充メザル地ニ至ルベシケルストル鐵道アリ亦ベルハスト府ノ通路ヲ便ニセリ五十年ノ頃ニハ人口僅ニ千人ナリシガ千八百四十一年ニ至リテハ一萬〇二百四十五人ニ増加シ千八百五十年ニハ九千三百〇六人トナレリアルマアノ大僧正ハ全シ愛倫ノ總管理ニシテ本寺ニ附屬スル許多ノ僧侶ト共ニ本府ノ傍近ニ住居セリ其外貴重ナル紳士モ亦此ノ間ニ住居セリアルマアノ近傍ニ總管理ロヒンソンノ築造寄附セシ觀象臺アリ此ノ總管理ノ寛仁ナルコト大ニ所轄中ノ文學改良ニカアリシト云フ

ハ地勢多ク山地ニシテ沃饒ナラスガウルエー、マヨノ二郡ニ至リテハ最モ甚シトスガウルエー郡ノ西邊ニ在ル半島ハ名ヲコンチマラト稱シ景色甚タ佳絶ニシテ稍々アルザイルシヤイルニ似タリ而シテコンチマラニハ僅少ナル古風質朴ノ人民散在シテ多クハ封建時代ノ迷誤ノ説ヲ帯ヘリ
 エストホルト傍近ノ高地ヨリ遠望スレハクリユウ灣アリ此ノ灣中ニハ島嶼多クシテ四圍高山ヲ環ラシ就中クラウパトリツキヲ以テ最モ高シトス傳ヘ云フ此ノ山ハ往古愛倫ノ人民ヲ教化セシ聖僧ノ常ニ說法シタル所ナリト故ヲ以テ大ニ土人ノ尊敬スル所ト爲レリ
 本州ノ廣大ナル荒蕪地中ニ就テ一種無類ノ好景ヲ呈スルモノ往々之レアリ即チシヤンソン河源ナルアレソ湖四邊ノ地及ヒコルリユウ山麓ノボイル河傍近ノ風景ハ極メテ勝絶ナリ又スリゴ府傍近ニ在リテキラルニイノ上湖ニ彷彿タルギル灣及ヒバルリセタル瀑布注入スル所ノアルドナグラス小灣ニハ一種無類ノ勝景アリ而シテガウルエーノ地ハ概チ平坦ニシテ三「フート」乃至十一「フート」ノ距離ヲ以テ相平行シタル高サ三「フート」許ノ胸壁狀ヲナス狭小ナル石灰岩續々トシテ二十里ノ

愛倫地誌

間ニ駢列セリ間隙ノ地ハ忽然之ヲ見レハ崑石ヨリ成レル荒蕪地ノ如クナレト合衆王國中最良ノ牧羊場ヲ供セリ

本州ノ耕種力ハ未ダ十分ニ至ラスト雖モ所有法ノ大變革アリテヨリ新ニ英氣ヲ生シ其大改良期スヘキニ至レリ亞麻ノ耕種モ亦漸次盛大ニ起ク勢アリ

州内製造品甚々稀レニシテ農民ノ景況ハ一般ニ貧困ナリ土人漁ヲ以テ業トスルモノ甚々多クシテ近來海上漁業會社ヲガウルエーニ設立セリ時アリテハサン魚日輪魚ノ義ナリ圓形ニシテ名ヲ得及ヒ大沙魚多クガウルエーノ海岸ニ來ルコトアリ以テ精製ノ油ヲ製スヘシ然レハ此ノ魚ハ往來定處ナキヲ以テ其漁業少シモ依頼スルニハ足ラス

首要ノ都府

西方ノ首府ト稱スルガウルエーハ乃チ同名ノ灣トニルリテ湖トノ間ニ在リテ經歷久シキ舊府ナリ大小ノ衙衛ハ便ト不便ヲ問ハス一所ニ群聚ス夙シ西班牙ト往來セシ故ナルヤ全府頗ル西班牙都會ノ形狀アリテ馬頭ニ近キ一小空地ハ今尙ホ西班牙探練所ノ名ヲ存セリ宗教ニ屬スル建築ハ千三百二十年ニ開基シタルセントニコラスノ區寺會長撰立教及ヒ嚴肅教ノ會堂數

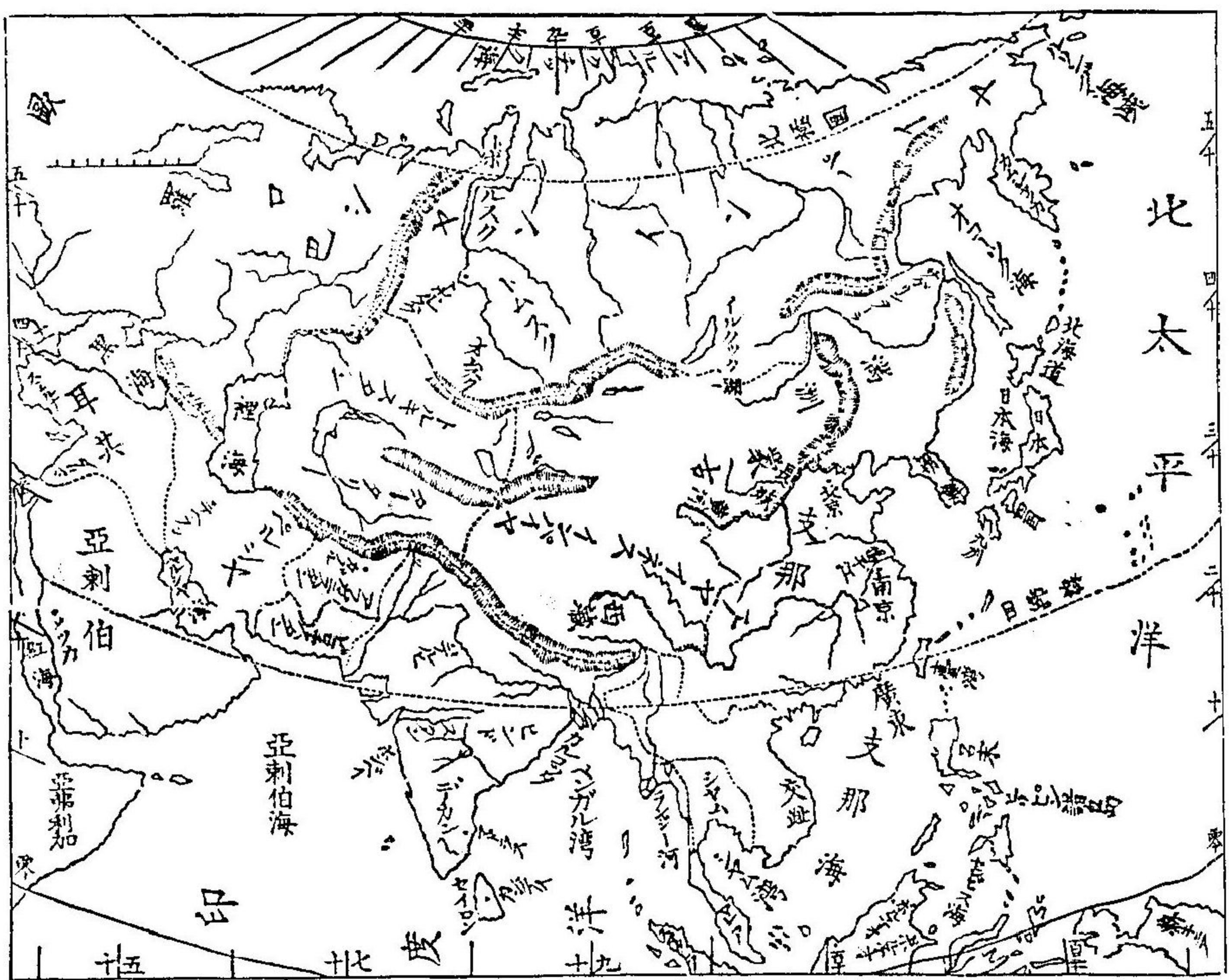
區羅馬教ノ寺院三區アリ教育所ノ首長ナルモノハ千八百四十九年ニ開業シタルクイハンス、カレレヲナリ都伯林府トノ鎮路ハ千八百五十一年ヨリ開通セリ

ガウルエーノ製造ニテ盛ナル者ハ麵粉ナリ府中又三區ノ鑄造場及ヒ廣大ナル製紙場數區ノ釀酒場、蒸溜所等アリ鯨魚多ク海上ノ漁業頗ル盛ナリガウルエー灣ハアルラン諸島ヲ以テ大西洋ノ鯨濤ヲ防キ大ニ外國貿易ノ便ヲ爲セリ其海港ハ大ニ改良シ五ニエーケルノノアラクケング、ドック水力若クハ機船所ナリ浮フル修アリ輸出品ハ農産物獸毛及ヒ大理石ナリ千八百五十六年本港附屬ノ船舶ハ十四艘ニシテ噸數ハ千二百二十九噸ナリ人口ハ千八百四十一年ニ於テ三万二千五百一十八ナリシガ千八百五十一年ニハ二万〇六百八十六人ニ減シタリ

北ニ向ヒ陸地ヲ橫斷シテ海岸ニ出レハスリゴ灣澳ニ同名ノ一都府アリガウルエーニ比スレハ人口甚々寡少ナレハ實買上ニ於テハ大ニ緊切ナル地ナリ此ノ地數多ノ美麗ナル公共館舍アリテ郊外ノ風景美ナルコト畫クカ如シ麻布ノ製造及ヒ精粗ニ等ノ麵粉、大麥酒及ヒ麥酒ノ製造アリテ鯨魚ノ利益甚々多シ本港所屬ノ船舶ハ千八百五十六年ニ於テ三十五艘ニシテ其噸

數ハ四千三百五十二噸ナリ人口ハ千八百四十一年ニ一萬四千三百十八人ナリシガ千八百五十一年ニハ一萬五千五百〇四人ニ減セリ

西坂成一 校



亞細亞地誌

四屋純三郎譯

亞細亞大洲ハ北緯一度二十八分ヨリ崛起シテ七十八度ニ迄リ、東經二十六度ヨリ百九十度ニ聯延ノ止ム、世界中最も廣大ナル地方ニシテ其表面甚々雜糅ナリ、太古人事ノ史乘ヲ談スルニ當リテ各大洲中最モ善ク人心ヲ攪動感發スル所ノ事件ニ富メリ、抑此大洲ハ、東半球ノ陸地ノ強半ヲ占メテ北ハ北氷洋ニ臨ミ東ハ太平洋ニ循ヒ南ハ印度洋ニ濱シ西ハ亞弗利加歐羅巴ニ近接ス、而シテ亞弗利加トハ紅海蘇士地峽ヲ隔テ歐羅巴ハ地中海黑海高加索山、裡海烏拉山ヲ以テ其境界ヲ分割ス、此地ハ全面連續シテ一帯ノ布帛ノ如ク境內ノ支分突出スルモノハ獨東南瀕海ノ灣澳半島相出入シテ錯牙狀ヲナスアルノミ、表量ノ最モ長キモノハ第四十平行線ノ地方ニシテ五千五百マイルナリ、一マイル大約我九十、廣量ノ最モ濶キモノハ巫來半島ノ羅馬尼亞岬ヨリ直截シテ諾斯威士岬ニ迄ル第百四子午線ノ地方ニシテ五千三百マイルナリ、乃チ其面積百六十萬平方マイル、一エーケルハ六百四十二エーケルナリ、ニシテ歐羅巴洲ノ全地ヲ四倍セシモノヨリモ大ナリ

地勢

亞細亞大洲ノ地勢ハ千狀萬態ニシテ江河ニ浸灌スル所ノ沃野、氷雪ニ埋没スル所ノ寒地、炎天ニ暴露スル所ノ燥地、草樹ノ鬱澤、高山、大陵、叢原、砂漠ノ錯雜スル所ナレハ固ヨリ之ヲ包括シテ一様ニ解説スヘカラス、爰ニ地理學者ノ區畫スル所アリ左ニ掲載スヘシ、

第一 北亞細亞ト稱シ又俄羅斯亞細亞ト稱ス此地方ハ亞爾泰山興安嶺山、以北ノ陸地ヲ占メ大河殊ニ多ク住民太々稀疎氣候寒冽ニシテ地質礫瘠ナリ、其狀ヲ察スルニ實ニ天然改良スヘカラサルノ國土ナリ、葉尼塞河ノ西ニ循フテ一帯ノ叢原アリ樹木疎生シ其地質砂礫粘土ヨリ構成セル低坦ノ地方ナリ、然レドモ額河ノ土地ハ或ハ緩ニ矮小ノ灌木莽草ヲ生シテ夏日粗齒ノ牧地タルヲ得ヘシ、又無數ノ池澤、鹹沼アリテ諸處ニ散布ス獨リ阿爾泰山麓ハ稍耕耘スルニ足レリ葉尼塞勒拿二河ノ間ニ介スルノ地方ハ其表面平坦ナラス滿地松樺ノ叢林ニ掩覆セラレテ較好良ナル牧地タルヘシト雖モ寒氣涼冽ナルカタメニ耕耘ノ便利ヲ失ヘリ、此ヨリ以東ハ土地崎嶇峻險ニシテ寒氣涼冽ナリ而シテ幽深隱蔽セル

一二五〇

土地ニ於テ纔ニ矮弱ナル杉、樺、水楊ノ生スルヲ見ルノミ、北極環ヨリ北スレハ都テ一面ノ蘆苔、葉色白クシテ薄ク赤シテ湖水其間ニ列鋪ス、一歳ノ間凍合シテ漣漪ヲ揚ケサルヲ十閱月盛夏ノ時ト雖モ氷ヲ融漸シテ地下ニ滲入スルヲ八インチ或ハ十インチ一インチハ大約ニ過キスト云フ

第二 中部亞細亞ト稱ス、此地方ハ大畧第三十第五十ノ平行線ノ間ニ位シテ北ハ阿爾泰山、興安嶺山ニ接シ南ハ喜馬拉山興都哥士山、ニ達シ東ハ興安山、イェンリン山ヨリ西ハ鞏固嶺ニ至ル、其占有スル所ハ蒙古戈壁沙漠、西藏、韃靼ノ一部ナリ、其地勢ハ漸次ニ崑崙山所ノ一帯ノ高陵ナリ而シテ險山幽谷ノ起伏出沒スルモノアリテ其表面ヲ分斷ス、蒙古戈壁ノ地方ノ如キハ全面齊ク二万フット一フットハ大以上ニ聳峙シ險山峻峯ハ崑崙トシテ一萬フットニ過クルト云フ、而シテ支那西藏ノ疆界ニ至レハ地位益高峻ニシテ山谷ノ高低尤モ多ク天際ニ聳立スル險山アリ又地下ニ陷刻スル幽谷アリ、凡ソ西藏國ノ地形ハ分レテ數段ト爲リ其太タ低キモノト雖モ一萬フットニ下ラス其尤モ崢嶸ナルモノニ至リテハ一萬二千フットヨリ一萬六千フットノ間ニアリ

穀、縱橫雜糅シテ其表面ヲ寸截分斷ス、然レトモ高陵ノ中部ハ悉ク渺茫タル不毛ノ砂漠ニアラス、崇峻ナル山脉ハ常ニ

皚雪ヲ被リテ多クハ礫礫荒蕪ノ地ナレドモ其間往々良美ノ牧場トナルベキ平地アリ、又穀物、木綿、葡萄、其他數種ノ菓實ヲ生スル所ノ深谷陰地アリ、

第三 東亞細亞ト稱ス此地ハ滿州支那本部其他近島ノ日本國ヲ統合ス、本地固ヨリ世界ノ大河アリト雖モ全局ヲ以テ之ヲ論スレハ低坦ニシテ乾燥ノ地ナリ、但シ滿州ハ丘陵多シシテ沙漠アリ就中西北ノ部分岡陵最モ夥シ、東海岸ハ海水ニ臨ミテ直立セル險山嶮岫トシテ堤埠ヲ築キタルカ如シ、内地ニ入レハ叢林森鬱嚴冬四月ノ久キヲ彌リテ能ク米穀木綿蠶糸ヲ產出スヘシ、支那ハイユンリン山ペーリン山其他諸山脉ノ縱橫繼續スル所ノ地方ヲ除ケハ地面較平衍ナリ、東方黃河揚子江ノ河口ニ向フテ第三十ノ平行線ヨリ長城ノ下ニ至ルマテ袤量七百マイル廣量一百マイルヨリ一百五十マイル若シハ三百マイルニ廣狹伸縮スル所ノ地方ハ沙地ノ性質ヲ有セリ、此曠土ハ泥濘ニシテ沼池多シト雖モ全部ヲ

概スレハ米、麥、砂糖、木綿、蕪草、其他ノ產物ヲ生殖スル良田沃壤ナリ、

第四 南亞細亞ト稱ス其占有スル所ハ溫都斯坦、安頓河内ノ印度、安頓河外ノ印度、又前印度ト云フ、縮旬、暹羅、老撾、安南、巫來亞、安頓河外ノ印度、ナリ此地ハ亞細亞洲中ノ良國沃壤ニシテ其表面ハ小丘ノ連脈及ヒ流水滾々タル隘谷ノタメニ縱橫分斷セラル、氣候ハ温度高シト雖モ溽暑ノ人ヲ苦ムルヲナク冬日一期ノ雨節アリ旱魃ノ災荐至スルコトアラサルハ行ク處トシテ綠葉ノ蔚然タラサルハナシ、安頓河外ノ印度ハ丘陵幽谷交錯並馳シテ無比ノ奇觀ヲ具ス而シテ其丘陵ハ北地ニ至ルコトアラサレハ甚タ突起セシ隘谷ハ狹隘ニシテ雨淹泛溢ノ患ヲ免レスト雖モ甚タ沃饒ナリ、安頓河内ノ印度ハ其表面千殊萬異ナリ印度安頓ノ二河ニ循フ所ノ平原ハ本若シテ注流スル所ノ地方ナリ、サンデルバンド沙地ナリ、兩地方ヲ包含シテ正ニヨク回歸線内ノ蔚蒼タル地景ヲ寫出シ又ヨク其沃饒ナル模樣ヲ現出スレト、其間往々全ク荒蕪不毛ノ砂原礫野ヲ交ヘヌリ、是ヨリ以南ハ丘陵滿地ニ起伏シ德干地方ニ入リテ地位較高峻ニシテ終ニ乾燥ナル岡陵トナリ、既ニシテ東古都西古都ノ兩山此地

ノ兩畔ヲ圍繞シ尼爾封利等ノ丘陵其中ニ出沒シテ表面ヲ寸斷シ以テ其地ヲシテ變化窮無カラシム、

第五 西亞細亞ト稱ス、其小部分ヲ除クノ外ハ流水ノ浸漑スルヲ太タマシク、鹹湖ノ星列基布セル高燥ノ砂原ナリ、今其全部ヲ概スレハ溽暑炎燥ノ地ト謂ハンモ必不當ニアラス、即チ亞拉比亞、土耳其、比耳西亞、皮路直坦、亞加業坦、シナルヲア、西土耳其ノ丘脈多キ地方ヲ謂フナリ、西韃靼、ナル砂礫ノ叢原ハ峻崇ナラスシテ全ク裡海ノ水涯ヲ環圍ス而シテ此叢原ハ漸々低下シテ別ニ歐洲俄魯斯ノ部ニ記載セル砂礫ノ地方トナル、比耳西亞ノ陵地ハ到處其形狀ヲ異ニセリ、即チ其北東ハ高峻五千フットニシテ岨峯天際ヲ穿テ寒氣凜冽ナリ少ク南スレハ二千フットニ低下ス中部南部ニ於テハ其高千二百フットヨリ二千フットノ間ニアリテ直ニ砂礫ノ平原ニ連絡ス、西部ハ纒ニ狹隘ナル谿谷ノ横切縦斷スル所アリ而シテ東部ハ乾燥輕鬆ナル皮路直坦ノ砂漠ニ連續ス土耳其ハ本洲中ノ他邦ニ比スレハ其表面更ニ細截寸離シ山脈ハ嶠岑聳崎シテ雪際線ノ内ニ兀立レ沃饒ナル溪谷アリ凜冽ナル岡陵アリ、南部ニハ砂礫充塞シテ礫礮耕耘スヘカザサルノ

地方アリ東南ニハ地革利斯河由非刺底河ニ循フテ廣漠ナル阜濕ノ沙地ナリ亞拉比亞ハ嶢然子立セル高陵ニシテ其強半ハ焦土砂礫ノ荒地ノミ然レドモ陵脈ノ間ニ縱横切斷スル所ノ狹隘ナル潤谷ハヨク灌木ヲ蕃生ス、此地固ヨリ幽僻ノ境タレバ漂泊流寓シテ纒ニ生命ヲ保スル所ノ流氓ニ非ルヨリハ曾テ世人ノ厥涉探討セサル處ナリ、

地質

亞細亞大洲ノ地質ハ未タ其精駁ナル説ヲ得サレハ土地構造ノ順序徑路ハ其畧説ト雖モ曾テ之ヲ作ラント欲スルモノナシ是レ蓋シ智識ノ淺薄ナルカタメニ之ヲ作ラントスルモ能ハサル故ナルヘシ、故ニ今我輩ノ解示セントスル所ハ左ノ條款ニ過キス第一亞細亞洲ノ大原多クハ極近代ノ構造ニ屬ス、第二其域内今尙餘燭ヲ噴出スル所ノ火山アリ、第三此地方ノ第三地層後三層ハ近世噴火力ノタメニ變動ヲ生セリ、第四許多ノ遊歴者ハ絶エテ緣故ナキノ地方ニ於テ太古構造ノ諸物ヲ發見スルヲ數ナリ、即チ叙利亞ノ曠野ハ後三層ノ粘土砂礫ヨリ成リテ當今此地ニ於テ見サル所ノ象犀等大動物ノ遺骨ヲ出スト勝テ數フヘカラス、支那ノ曠原ハ眞ニ砂地ニシテ今日

水勢

亞細亞大洲ニ渙入シ若クハ基布スル所ノ海水支那海灣ハ一種固有ノ狀態ヲ存スト雖モ其顯著ナルヲ歐羅巴大洲ヲ粧飾スル所ノモノ、如クナラス北部ニ於テ最大ナル海灣ハ一個ノ烏瀾灣アルノミ海底ハ潤然タレドモ表皮淺近ニシテ一歲中十箇月間ハ海水凝結シテ解釋スルヲナシ東部ニ於テハ海灣科海アリ一大水ナルヘシト雖モ未ダ詳ニ其實況ヲ知ラス日本海アリ羣島之ヲ環圍セリ諸島ノ濱岸ヲ細觀スルニ都テ噴火ノ性ヲ現セサルモノハナシ黃海アリベチリ一灣之ニ隸屬ス海底尤モ淺ク濱岸ヲ距ルコト一百マイルノ遠キニ至ルモ尙ホ六フツム一フツムハニ達スルモノ少シ又東京灣暹羅灣アリ南部ニ於テハマルタバン灣孟加拉支海アリ此支海ハ淺々淵深濱涯ニ沿ヒテ彎曲シ安頓ノ河口ニ至リテ止ム其河口ハ數多ニシテ皆船ヲ泊スルニ足レリ比耳西亞灣アリ廣量三十マイルノ海岬ヲ過キテ注滿ニ連合ス此灣ハ廣量凡ソ五百五十マイル廣量一百五十マイルノ間與珠ヲ採ルコト甚タ多キヲ以テ大ニ名アリ紅海アリ島嶼巖多ク廣量ハ一千四百二十マイル廣量ハ之ヲ概算スルニ一百三十五マイルニ過キス其内地ニ向ヒテ屈曲渙入スル

亞細亞地誌

尙方ニ之ヲ疊積構造スルコトヲカム、安頓河印度河ノ砂地モ亦全ク其類族ナリ亞刺比亞及ヒ西方ノ砂地ハ樹木ノ化石、錢貨灰石、ノ多キニ由リテ之ヲ考フレハ稍近代洋底ヨリ隆起セシモノナルコトヲ知ルヘシ死海裡海カツチ海ノ陷リテ深淵トナリタルモ亦近代此地方ニ於テ地質上ノ一大變遷アリシ確証ナリ然レトモ天爲地學ノ篇ニ登錄セシ所ノ山脈岡陵ハ數百萬ノ間轉遷變動セシコトナシ恒久持重シテ噴火ノ力ニ感セサルモノ、如シ

人生日用ノ必需ナル物品ヲ以テ地質ヲ考フルニ石炭ハ支那ノ北部叙利亞、溫都斯坦ヨリ出テ食鹽ハ支那、溫都斯坦、西叙利亞、比耳西亞、亞拉比亞、土耳其ヨリ産シ、大理石ハ土耳其ニ生シ地松香ハ叙利亞、比耳西亞、裡海ニ在リ金ハ日本、支那、緬甸、暹羅、巫來半島ニ採リ水銀ハ支那、西藏、日本、溫都斯坦、錫蘭ヨリ來リ銅ハ日本、西叙利亞、西藏、土耳其、印度、比耳西亞ヨリ供シ鐵ハ烏拉、印度、支那、暹羅、日本、土耳其、比耳西亞、亞加業坦ヨリ輸シ鉛ハ支那、烏拉、土耳其、シオルシア、比耳西亞、暹羅、日本ニ産出シ、金剛石其他諸種ノ寶石ハ、印度、烏拉、支那帝國、比耳西亞ノ所産ナリ

ハ蘇士亞加婆ノ兩灣ニ至リテ窮マル蘇士灣ハ袤量一百八十マ
イルニシテ廣量二十二マイルナリ亞加婆灣ハ袤量凡ソ一百二
十マイル廣量十三マイルナリ

亞細亞大陸ニ接近スル所ノ島嶼ハ北氷洋ノ利亞吳布羣島地察
加海ノ亞呂斯羣島日本島支那國近海ノ查加連羣島瓊州忠山印
度洋ノ錫蘭安陀滿尼若婆爾群島レブエント灣ノ塞布羅斯等ナ
リ日本帝國ト稱スル所ノ一島ハ日本蝦夷九州四國古利爾諸島
ヲ統合シ土地ノ面積二十六萬六千六百平方マイルナリ但シ噴
火ノ力ニ由リテ湧出噴起セシ國土ニシテ常ニ危險ノ震災多シ
務メテ中算ヲ取リテ其地味ヲ論スルニ沃饒ニシテ耕耘ニ適シ
又礦物ニ富メリ住民ハ精勵不撓ニシテ才智アリ錫蘭島ハ天然
ノ美質ヲ備ヘテ現今英國殖民地中ノ帝王ト稱ス面積二萬四千
五百平方マイルノ土田ヲ統轄ス其植物動物鑛塊等ハ自餘ノ英
領地方ト對比スルニ皆他ニ優ルコト數等實ニ英國所領中最モ
貴重ナル一島地ナリ

東印度諸島ト稱スル蘇門答臘爪哇婆羅西里伯等ノ地方ハ巫來
諸島ノ篇ニ於テ之ヲ登錄スヘシ

亞細亞大洲ノ湖水即チ内地ノ洋海トモ稱スヘキモノハ此洲特

別ナル地形ノ一項トナス湖水多クハ鹹ニシテ其水ヲ灌溉スヘ
キ溝澮ヲ見ス而シテ其水面ハ大洋ノ水準ニ比スレハ太々低下
ナルモノアリ即チ裡湖ヲ以テ第一トス袤量七百六十マイルニ
シテ廣量ハ其中算ヲ取ルニ二百マイルナリ保爾俄烏拉ノ水ヲ
吸吞スレドモ之ヲ注瀉スルノ路ナク鹹氣尤モ烈ニシテ其深キ
コト測ルヘカラス水面ハ之ヲ黑海ニ比スルニ又低キコト八十
四フットナリ亞拉海之ニ次グ面積ハ大察裡海ノ五分一ニシテ
海水ハ鹹中ニ苦味ヲ帶フ而シテ能クシホンノ河水ヲ容受シテ
之ヲ決スルノ江河ナシ中央ノ高陵ニ星布基峙スル所ノ稍狹小
ナル湖水テソヒズカスツルバツスウーブサコーコ、ボステン
等ノ如キ又西亞細亞ノ少フン、ウールミヤ、コスヒスサル、死海
其他ノ湖水ハ昔前者ト同一ナル景況ヲ有セリ中ニ就テ死海ノ
水面ハ之ヲ地中海ニ比スルニ其低キコト千三百十二フットニ
下ラスト云フ

澮水ノ溝路ヲ有スル淡湖ニシテ最大ノ名アルモノハ叙比利亞
ノ具加爾湖ヲ以テ第一トナス袤量四百マイル廣量ハ四十マイ
ルヨリ六十マイルノ間ニ在リ、而シテ海豹魚類其内ニ充物ス
之ニ次クモノヲチャングケ湖ト謂フ義爾知斯河ノ注瀉蓄積スル

所ナリ、亞爾美尼亞ノイリフン湖之ニ次キ支那ノトントン
ボイヤンハイ亦又之ニ次ク而シテ叙利亞ノタハリ湖一名チマ
リアスト稱スルモノ是又其次ナリ、此湖ノ水面ハ地中海ヨリ
低キト三百二十八フットナリ

亞細亞大洲ヲ注流疏通スル所ノ江河ヲ見ルニ世界中第一等ノ
位ニ居ルモノ多シ否ヲサレモハ短小ナレトモ其史上ニ關係ア
ルヲ以テ大ニ人心ヲ感動シテ快樂ヲ覺ヘシム、即チ北部不毛
ノ地方ヲ截斷スル所ノ江河ハ阿爾、葉尼塞、勒拿、インシギルカ
ノ四大流ナリ而シテ阿爾河ハ義爾知斯、德波爾、ニ支流アリ
河水皆共ニ北氷洋ニ注入ス、然レトモ寒氣凜冽ナルカダモノ
河水凍合シテ解ケサルコト連月ニ隔レリ是ヲ以テ其流大ナリ
ト雖モ内地運搬ノ便ヲ致スコト太々少ナシ、東亞細亞ニ入り
テ黑龍江、黃河、揚子江、珠江、アリ四水皆注然タル緩流ニシテ遙
ニ内地ニ進行スベシ、安頓河外ノ印度即チ後印度地方ニ於テ
ハ其名未甚ク世ニ顯ハレサルモ、東亞細亞、海南、伊犁、瓦地、一名ノ
三澮水アリテ幹流ス温都斯坦ハ布蘭布塔河、及ヒ神河ト稱ス
ル有名ノ安頓河、又之ト並ヒ聖名ヲ馳スル印度河ノ灌溉注流
スル所ナリ、而シテ印度河ハ古代聖經上ニ載セテ其名ヲ馳セ

シシトレワ、ラーヴ、キーチナブセルムノ支流ヲ澮合セリ安頓
河ハ每歲澮水暴漲シ又海嘯ニ激襲セラレテ河水隆騰シ瞬間ニ
曠土ヲ氾濫ノ不測ノ患者ヲ生シ其兇猛實ニ畏ルベシト雖モ許
多ノ支流ト共ニ船舶ヲ浮載シテ直ニ山下ニ投錨スルノ便利ア
ルヲ以テ世界中最モ貴重スヘキ河江ノ一流ナリ、印度河モ亦
狭小ナルニアラサレトモ往々砂積泥土ヲ堆積シ沙地ヲ作シテ
大ニ航行ヲ妨ケ幾ニ一小漁船ヲ以テ航スルヲ得ルノミ、故ニ
便益得失ノ何如ニ至リテハ安頓河ニ劣レルコト數等ナリ、西亞
細亞ハ地葦利其由非刺底ノ二江ノ注流スル所ナリ由非刺底
河ハ平底ナル漁舟ヲ以テ航スレハ波爾ト稱スル地方ニ至ルマ
タ漕運自在ナルコトヲ得ベシ

氣候

氣候ノ變換ニ從ヒテ發スル所ノ狀態ハ各地方ノ篇ニ於テ既ニ
其概略ヲ陳ヘタリト雖モ尙注意スベキ綱領ヲ遺却セリ、亞細
亞大洲ハ其全体ヲ綜綴搜羅シテ議論スレハ歐羅巴洲ノ如ク外
物ノ刺衝挑撥ニ由リテ氣候ノ變換スルコトナシ、其土地概チ
極圓ノ内ニ位シ又峻崇ナル地位ニ建スル處甚ク多キカ故コ之
ヲ他洲ニ比スレハ海水ノ灣曲滲入スル所頗少ナシ、而シテ此

洲ノ南方ニ當リテハ會テ焦灼セル沙漠ノ暖風ヲ輸送スルコト
夫ノ亞非利加地方ノ熱風吹來リテ歐洲ノ氣候ヲ暖和ナラシム
ル者ノ如キアルナシ加之南部回歸線内ノ地方ハ白晝々タル中
央ノ岡陵ヨリ掩襲急下スル氣流ノタメニ冷却セラル、ニアリ
蓋シ此大陸ハハンホルド氏カ所謂背背激烈ノ氣候ヲ被レル
處ナルヘシ乃チ夏日ハ炎熱焦灼ニシテ冬日ハ寒冽列ナリ或
ハ一歲中ノ平均溫度ヲ準則トナシテ其一熱ヨリ寒熱ノ上下ス
ルヲ尤モ愕クヘシ故ニ裡海ノ水涯ニ於テハ能ク甘美滋液ノ葡
萄ヲ成熟スレドモ冬日ニ至レハ華氏溫度器二十八度ニ降レリ
亞利比亞ノ多羅ニ於テハ七八月頃厚氣ノ溫度ヲ驗スルニ實
ニ八十二度ニ上騰スレトモ地ヲ穿テハ未タ三インチナラシシ
テ常ニ其凝結スルヲ見ル

孟買ニ於テ千八百四十四年ノ溫度ノ平均ヲ測ルニ八十一度半
ヲ得タリ即チ其詳細ハ第一月七十五度第二月七十六度第三月
七十九度半第四月八十四度第五月八十六度第六月八十五度半
第七月八十二度第八月八十一度第九月八十九度第十月八十
三度半十一月八十度半十二月七十九度半ナリ、中ニ就テ
最モ炎熱ナリシハ第一月ニ在リテ五十五度半ニ下降セリ、其
最モ寒冽ナリシハ五月ニ在リテ九十二度半ニ上騰セリ、同
年同處ニ於テ第六月ヨリ第七第八二月ヲ閱シテ第九月初旬
ニ至ルマテ霖潦季節ノ雨水ヲ測ルニ六十六、イノチ以上ナルコ
トヲ知レリ

植物及動物

亞細亞大洲所産ノ植物ハ千類萬種ニシテ他洲ノ未ダ曾テ其比
ヲ見サル所ナリ、是皆本洲ノ氣候地味地位其他天然ノ形狀ノ
然ラシムル所ニアラザルハナシ其地勢ノ如キハ全洲ヲ區劃シ
テ數域ノ地方トナシ以テ之ヲ概論略説セリト雖モ今更ニ各地
ノ特別ナル事情ヲ詳誌スルコト左ノ如シ

材木ハ麻栗樹、柏樹、檉樹、羅漢松、セグイン、葉濃青ニシテ好ク繁
シ又實ニシテ其種ハ枝頭ニ在リテ既ニ發芽ノ力ヲ見ル外
ヲ結フマンノローヤ、殼ハ赤棕色ニシテ内ニ軟肉ヲ有ツ味甘ニ

亞細亞地誌

シテ食フベシ樹皮ハ竹、榕樹、蕉樹、椰子、パルム、棕櫚ノ數種
柔草ヲ作リテ用ヰルニシテ、ア、ク、マ、ハ、ニ、ヤ、ニ、ケ、ニ、コ、ニ、ケ、ニ、コ、
會鳥木、鐵木、花梨樹、檀香樹、其他數樹ノ菓實ハ葡萄、橙子、柚子、
檸檬、ライム、檸檬、酸味太シ、李子、花栗、榛子、橄欖、石榴子、核
桃、巴旦杏、椰子、麩、菓子、楓、椰子、鳳梨、甜瓜、萬壽果、
寶洋桃、其他歐洲ニ産スル所ノ數種ノ菓實アリ
香料及ヒ其類ノ樹木灌木ハ肉桂、肉豆蔻、丁香、樟腦、加酒哇、茶、
珈琲、棉樹、甘蔗、西穀樹、等ナリ
穀物菜根ノ類ハ米、麥、印度粟、玉蜀黍、大麥、小豆、大豆、扁豆、其他
菜豆類ナリ、又馬鈴薯、大薯、蓮根、蕪粉アリ
藥料染料ヲ生スル植物ハ青蒿アルナト、赤色黃赤白ヲ染ム
酪等ヲ裝飾ス、泊夫藍、藤黃、五倍子、罌粟、大黃、蓖麻油、金剛刺、人
參其他數種ナリ、

コシテ尋常羊ノ如キモノニアラ、毛皮乳色コシテ快
ス、狐其角中ニ住ムコアリト云、背後ニ反曲スル大モフロン、三
等ノ裝飾物ヲ製ス、アイベキ、角ヲ戴ク山羊ナリ、角
形ノ角有ル山羊ナリ、或曰、羊、蒙、猪、セルボア、地中ニ
動物ノ種元ト家羊ニ屬ス、フランドル、トル、部ニ移居
躍ル故ニ之ヲ躍免ト稱ス、怪、土撥鼠、ミン、部ニ移居
スル時群棲相率テ行キ川ヲ渉リ海ヲ泳テ溺死スルモノ、海狸
多シ其移居スル定期アリテ十年ゴトニ一回ナリト云フ、海狸
ニルマイン、冬ノ夏ハ毛皮棕色ニシ、熊、狸、狸、時
シテ止マス、是其名、海狸、海狗、海馬、海牛、其他ノ海獸ナリ
アルニ云ナリ、

亞細亞洲ニ殊別ナル禽獸中胎生獸ハ南部ノ猿、長尾猿、印度ノ
象、犀、南部西部ノ獅子、虎、レノバ、ト、全身黃色ニシテ脊ヨリ肋
リ背被花ノ如シ、豹、似テ毛皮厚シ斑ニシテ尾細シ、其他猫屬、狼
腸部ハ白色ナリ、フ、ニ、似、テ、毛、皮、厚、シ、斑、ニ、シ、テ、尾、細、シ、其、他、猫、屬、狼
ヤンソ、狼、頭、尖、リ、尾、短、シ、色、狐、狐、狗、屬、亞、拉、比、亞、地
方ノ馬、野馬、マ、ン、ケ、ナ、リ、馬、屬、ニ、テ、象、牛、水、牛、羊、牛、香、牛、象、比
利亞地方ノ鹿、快鹿、金錢鹿、アルカリ、山、羊、種、屬、角、ノ、長、四、フ、一
ト、其、周、圍、十、四、フ、一、ト、肥、大

ニシテ其危險毒惡厭フヘキモノハ蠱蟲毒尾蟲蚊ナリ

人口職業等

今夫レ宇宙ノ人族血統ヲ揀擇排陳スルニ當リテ亞細亞大洲ノ住民ノ定有スヘキ位階ハ那邊ニアルカヲ知ラントセハ宜ク人種學ニ就テ見ルヘキナリ、蓋シ其人位ヲ分ツハ彼學科ノ如ク精密ナラスト雖モ、國語ノ異同開明ノ優劣ニ據リテ著明ナル國体ヲ別ツニ七箇ノ區域ヲ檢察歴擧スルコトヲ得タリ、第一支那人及ヒ其族類ノ人民即チ日本朝鮮西藏安南暹羅緬甸等ノ人ヲ謂フ、第二韃靼人此種族ハチンガンアン莫歐爾人土耳其人ヲ併合ス而シテ、土耳其ノ一種ハ砂漠住民奇耳義斯都魯機阿西曼利斯等ノ類屬ヲ包含ス第三叙比利亞人即チサモゼ、イ等ノ烏革利亞人種ヲ謂フ第四帖木兒人帝耳我斯、眞俄利斯其他南印度ノ諸人種ナリ、第五温都斯坦、亞加業坦比耳西亞ノ人種ナリ古代ノ梵字ニ就テ考フルニ其言語ハ歐羅巴地方ノ邦言ニ緣由アルコトヲ見ル、第六シラルマアン、シルカシアニス其他高加索人種第七セミテツク即チ古代ノチャルデー、猶太、非尼西亞、近世ノ亞拉比亞人ヲ謂フ

拉比亞、比耳西亞、亞加業坦、皮路直坦、印度地方ノ一部分ニ於テ衆庶ノ信心渴仰スル所ノ婆羅門教釋教支那帝國、緬甸、暹羅其他東方ノ釋教東西比利亞ノ偶像教即チ多神教土耳其西叙比利亞歐洲印度ノ耶蘇教是ナリ

往古隆盛ヲ極メ榮名ヲ轟カセシ叙利亞比耳西亞印度其他諸州ノ狀態ヲ目撃スルコトヲ得ハ必近世人ヲシテ眩惑絶倒セシメンコト疑無シト雖モ今日開明ノ壇場ニ在リテ亞細亞大洲ハ僅々二二三ノ地方ヲ除ケハ強半皆蠻俗夷風ニシテ疎慵緩慢愚弱疲瘥ノ景況ヲ寫出セリト謂フベシ、即チ西比利亞ハ俄魯斯ノ助力ニ資リテ纔ニ收獲ヲ得ルコトヲ致スト雖モ未タ以テ飽食暖衣ノ境ヲ望ム能ハス是多クハ地勢ノ然ラシムル所ニシテ八力ノ移動スヘカテサル遠隔ノ僻地タルニ由ルモノナリ、韃靼、西藏蒙古、中央亞細亞全地ノ、人民ハ偏ニ畜類ヲ視テ資財トナシ又以テ營生ノ重資トナシ、之ヲ率テ諸處ニ漂泊シ未タ曾テ定居ヲ求ムルコトヲ知ラス支那日本ハ文學頗行ハレ律法教法ノ設アリテ人民ハ都邑市衢ニ定居シ農夫ハ專ラ東作ヲ力メテ田畝ヲ耕耘セリ、且日用ノ技術ニ至リテハ殆ント精工秀妙ナリト雖モ謂ユル開明ノ父母ナル揀擇取捨ノ識見ト不撓忍耐ノ資

性トニ乏キカ故ニ今且意ヲ枉ケテ之ヲ開長進歩セリト思惟スルモ其數百年前ノ狀態ヲ脱出シテ約變スル所ノ微々タルハ固キリ明ニ之ヲ知ルヘシ安頓河外ノ印度ハ開明ノ度復ニ數等ヲ下タリ文明諸國ト對列スヘカヲサルハ論ヲ俟タス温都斯坦ハ人種甚ク雜糅シテ往昔ハ獨立國ナリシカ今英國ニ屬シテ既ニ全ク其權力ニ服セリ然レトモ城內曠濶ナルヲ以テ其權力猶普及セサル所アリテ道德工業政治未ダ改進セズ、此三條ヲ以テ之ヲ評スレハ死國ト稱セザルコトヲ得ス、亞加業坦、皮路直坦ノ人民ハ纔ニ蠻俗ヲ脱シテ漸ク開明壇階ノ第二級ニ登リ得シノミ故ニ其俗暴戾ヲ嗜ミ殺伐ヲ好ミ而シテ其民ハ牧畜農事ヲ兼テテ業トセリ、亞拉比亞、比耳西亞、ノ開明ハ退歩スルコトアラサルモ數百年ノ間往再トシテ進行セサルコト明ナリ土耳其ノ如キ地味沃饒氣候温和ニシテ昔時民口富庶ヲ極メ濶々タル君主國及ヒ共政國ノ割據鼎立セシ地方モ今日ニ在テハ纔ニ寥寥タル半開人ヲ養フニ困セリ

叔シテ他邦ニ輸出スルヲナスノミ、是ヲ以テ西叙比利亞ハ採礦ヲ第一ノ工業トシ支那ハ茶、木綿、絹、米、穀、ヲ樹藝シ、絹、布、棉布、陶器、火器、彈藥、書籍、斷具ヲ製成シテ頻ニ沿海ヲ往復シ以テ廣ク交易ノ業ヲ營メリ、日本ハ漆器ヲ作りテ名ヲ四方ニ傳ヘ印度ハ絹、木綿、米、青黛、鴉片、珈琲其他ノ天生品ヲ作り、鶴絨巾、縐紗、肩巾、等ヲ織成シテ其美ヲ擅ニス、克什米爾ハ精良ノ肩巾ヲ製シ比耳西亞ハ絨氈ヲ造リ亞拉比亞ハ珈琲其他ノ香料ヲ產シ土耳其ハ大ニ許多ノ天生品ヲ生シ刀劍、鍔子、ヲ作り又商隊ヲ結ヒテ交易ヲ務ム其他各地皆世ノ名聲ヲ得ルモノ多シ

國土及ヒ政府

亞細亞大洲ニ行ハル、所ノ政体ハ宗教及ヒ祖先傳授ノ習慣アリテ之ガタメニ其暴虐ヲ寬和スル所多シト雖モ概シテ主政者擅權ノ政治ト謂ハサルヘカラス而シテ施政上ノ區域アリト雖モ未ダ確定セサルヲ以テ其集散離合スルヤ殆ト朝ニシテタラコ當リテ唯其地方ノ幅員人口首府等ヲ揭誌スルニ過キサルノミ、然レトモ本洲諸國ノ中最モヨク英國人ノ情意ヲ感動スル所ノ國土タル東印度ノ情實ニ至リテハ之ヲ後ニ揭録スルコト

ヲ要ス

亞比利亞 幅員五百二十萬平方マイル

人口五百六萬人

首府 德波爾斯科

支那帝國 幅員五百三十萬平方マイル

人口三億六千八百萬人

首府 北京

日本國 幅員二十六萬二千平方マイル

人口二千六百萬人

首府 江戶 今東京

土耳其斯坦 幅員六十七萬二千平方マイル

人口六百萬人

首府 布加刺

土耳其 幅員六十六萬平方マイル

人口千六百五萬人

首府 士麥拿

亞拉比亞 幅員百五萬平方マイル

人口八百萬人

三三〇

首府 麥加

比耳西亞 幅員四十六萬平方マイル

人口一千萬人

首府 第希蘭

亞加業坦 幅員二十二萬五千平方マイル

人口五百十二萬人

首府 加布爾

皮路直坦 幅員十六萬平方マイル

人口五十萬人

首府 基拉

温都斯坦 幅員百四十六萬七千平方マイル

人口一億八千一百萬人

首府 甲谷他

後印度 幅員六十九萬平方マイル

人口二千萬人

首府 阿瓦

總計 幅員千六百十四萬六千平方マイル

人口六億四千五百七十三萬人

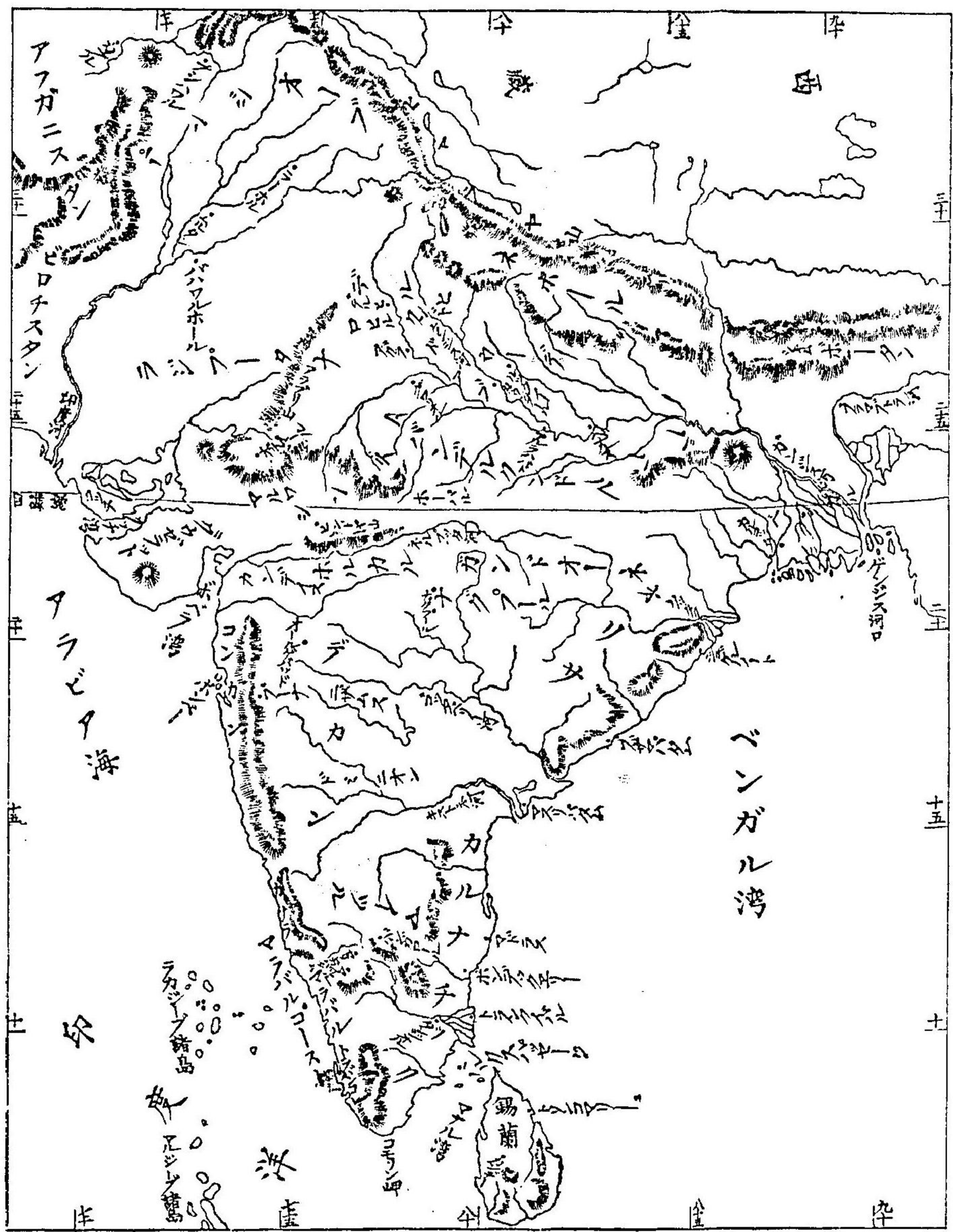
歐羅巴洲中ノ國ニシテ亞細亞大陸ノ地ヲ有スルモノアリ即チ
 西北利亞全土ハ魯西亞ニ屬シ魯國政府ハ此地ヲ以テ採鑛交
 易ノ要所トナシ又罪人ヲ貶謫スルノ地トナス温都斯坦ハ全地
 殆ント不列顛國ニ屬ス其他錫蘭アササム、チッタゴング、緬甸
 沿海地及ヒ巫未由沿海ノ殖民地馬刺加海峽ノ太饒ナル新嘉坡
 島支那國廣東河口ノ香港亞拉比亞國峴嶼ノ半島ナル亞丁等ノ
 地アリ、皆公然其版圖ニ入リタルニアラサレトモ不列顛ハ既
 ニ其領主タルノ權ヲ固クセリト謂フヘシ、温都斯坦ノ瀕岸地
 方ボンチエリー、ウルレノル、チヤンデルチゴア、ゴンシヤム、
 アリコール、マヒー等ノ小國及ヒ其地方ニ建設セル塵舎ハ佛
 蘭斯ノ有スル所ナリ、航海上ニ於テ太々便利ナルダモーン、ヂ
 ウ、ゴリア、マルガランハ今尙葡萄牙ニ屬ス、丁株ハ初メ此間ニ
 殖民地有リシガ、千八百四十六年悉ク之ヲ擧ケテ英國ニ讓與
 セリ

亞細亞地誌 畢

亞細亞地誌

一一六一

東印度



東印度地誌

四屋純三郎 譯

印度ハ温都斯坦又東印度ト稱ス即チ圖中ニ示スカ如ク荒漠曠
 闊ナル三角形ノ地方ナリ其南陲ハ尖角銳出シテ印度洋ニ突入
 ス世人此地ヲ東印度ト稱スルハ以テ西印度諸島ニ別ツノミ
 其地位ハ北緯八度ト三十五度ノ圍線内ニ在リ北部ヨリ南隅ニ
 至ルノ至長ナル袤量ヲ測ルニ凡ソ千九百マイルナリ而シテ東
 陲ヨリ西陲ニ至ル所ハ千五百マイルニ近シト云フ其面積ヲ
 算スルニ百四十六萬六千五百七十六平方マイルナルコトヲ知
 ル北界ハ喜馬拉山脈嶺南嶺トシテ之ヲ環繞シ喜馬拉トハ
 ノ義ニ峯巔ハ皆殆ド一萬六千フートニ聳立シテ常ニ積雪タル氷
 雪ヲ被リ山脈ノ兩端ヨリ二條ノ大河注流シ來リテ印度國東
 西ノ境界ヲ畫定ス其東ナルモノヲ布蘭布塔河ト呼ヒ其西ナ
 ルモノヲ印度河ト稱ス蓋シ此地ヲ印度ト號セシ原因ハ斯河名
 ヨリ來レルモノトス本地ノ沿岸ノ東西兩河ノ海ニ注入スル
 所ヨリ起リテ南方ニ蜿蜒シ兩濱共ニ一點ニ向ヒテ斜ニ走り
 コモリンノ海角ニ到リテ終ニ相連結ス此ヨリ海ヲ隔テ直
 ニ錫蘭島ヲ見ルヘシ其屬嶼漸次ニ拓開延蔓シテ本島ト爲リ

赤道ヲ距ルコト僅カニ六度ノ近キニ達ス前コ掲誌スルカ如ク
 印度ノ大國ハ地面ノ區分駁雜シテ或ハ曠漠ナル砂地アリ或ハ
 陸土ヲ浸漑シテ水利ヲ助クルノ河江ニ富ミ沃饒ニシテ起伏隆
 低測ルヘカラサルノ岡陵アリ或ハ地位ノ海面ヨリ挺出スルコ
 ト甚シキカヌメニ氣候爽涼温和ナル岡陵アリ或ハ國內ノ大河
 及ヒ其支流ノ旋注澆灌スル所ノ無邊ナル沃野アリ又低卑濕
 溼ノ地方ハ常ニ泥濘莽叢ニシテ耕耘スヘカラス號シテ駁澤ト
 謂フ本國陸土ノ區分此ノ如ク多シト雖モ各區必固有ノ形勢
 狀體アリテ其分界自カラ判然タリ加之動植物ノ如キ天生物ヲ
 以テスルモ亦其界域ヲ辨スルコトヲ得ヘシ西方ノ印度河東
 方ノ布蘭布塔河ヲ除キ其他許多ノ大川長江アリテ或ハ水源ヲ
 喜馬拉大山ニ發シ或ハコト連岡ヨリ迸出シ各東西ノ沿岸ニ
 達シテ而後海ニ入ル其中最大ナルモノヲ安頓河トス數條ノ支
 流ト共ニ相助ケ東北地方ノ濕水ヲ吸翕シ來リ布蘭布塔河ノ積
 水ト同シク孟加拉ノ境内ニ於テ海ニ注入ス蓋シ安頓河及ヒ
 其支流旁近ノ溪谷平原ハ温都斯坦中良美沃饒第一ノ地ナリト
 云フ

土地ノ區劃

東印度地誌

州郡ノ分域ハ舊來傳稱セル温都斯坦及ヒ摩哈麥ノ名アリ、是今日青史ニ記載スル所ニシテ又世人談話ノ際ニ普ク行ハル、モノナリ、故ニ直ニ其名稱ニ就テ州國ノ區畫ヲ示ス

第一北部印度ト稱ス、濶大ノ荒土ナリ其占有スル所ハストルジ、ジ、ユムナア、二河間ノ地方、グウォール、又セーリナ、アン、河水源ノ地方、シマオン、パインクハン、シ、不丹、尼伯爾ノ七所ナリ

第二温都斯坦本部ト稱ス、荒曠沙漠タル一區域ニシテ印度國ノ中央ヲ横斷ス、往昔印度ノ摩哈麥帝ノ所有タリシ時青史ニ載スル所ヲ見ルニ太々隆盛ヲ極メ美名ヲ擅ニセシ地方ナリ、南陸ニテルブツダ河、ヴィンドヤア山ヲ帶フ、此ヨリ以南ハ即チ德干ノ疆内ナリ其占有スル所ハ孟加拉、ビ、アアラハ、烏納、アーグラ、デルヒ、ラーホル、克什米爾、アズミール、ムルタン、クツナ及ビグウセラット、モルブ、ノ十二所ナリ

第三德干ト稱ス、此地ハ温都斯坦本部ノ南ニ直接シ北方ハチルブツダ河ヨリ起リキイストチ河ニ至リテ窮マル、チルブツダハ西濱ニ出テ、海ニ注キキイストチハ東濱ニ達シ

ヲ孟加拉灣ニ入ル、此二流盤曲旋回シ德干ヲ圍ンテ境界ヲナス、其地味ハ温都斯坦ノ本部ニ比スレハ美良ナラス故ニ印度國中稍瘠瘠ナル一區域トスルモ不可ナキニ似タリ、西濱ニ對スル所ノ一小嶋孟買ハ是區域ノ一國タルオ、ルンゲハットノ版圖ニ屬ス今德干疆内ニ在ル地方ノ一部分ハ昔時勢盛赫然タリシ馬刺他帝國ノ封土ナリ其占有スル所ハガンドウオーチ、ブーリスサ、イルカアズ、カアン、デーシ、ベエロ、ビーデル、海德把巴、オ、ル、ゲバッド、ビセ、ア、アノ九所ナリ

第四キイストチ河以南ノ印度ト稱ス、此地ハ印度半島ノ南陸ヲ構造シテ其占有スル所ハケンエレ馬刺他帝國ノ交趾トレ、グ、ン、コ、ア、ベルニゴ、ツ、マ、ン、ル、コ、ム、ム、ベ、ニ、ツ、ウ、ル、セ、ト、レ、ム、及、ヒ、ア、ラ、マ、ラ、ル、カ、ア、チ、チ、ン、馬、刺、他、ノ、九、所、ナ、リ

印度國ノ全地ヲ見ルニ英國政府ノ直轄ニ屬スルモノ強半ニシテ餘ハ土著人民ノ統治スル所ニ係ルト雖モ或ハ貢金ヲ英國政府ニ納メテ其保護ヲ蒙ランコトヲ約シ或ハ全ク之ニ隸屬ノ國家ノ衛護ヲ託シ或ハ特ニ守衛ノ恩助ヲ受ケ或ハ尼伯爾ノ如キ陽ニ

獨立國ノ名稱ヲ存スルモノ二三アリ、然レモ其實ヲ舉グレハタトヒ輕重疎密ノ別アルモ皆ナ英國ノ權威ニ制セラレサルモノアラサルナリ、是ニ於テカ外寇ヲ扞禦シ内治ヲ、綜理スル等ノ大事ハ悉ク之ヲ英國政府ニ委託シテ、國人復肯テ顧ミス其百般ノ事務卓然不羈ニシテ自治ノ權力アルヲ見ルコトナシ、夫レ暗ニ英國ノ權威ニ畏服スル此ノ如クナリシヨリ其國家ノタメニ歸着スル所ノ利害得失ヲ考フルニ毫モ安富ヲ助クル者ナクシテ反テ危難ノ淵源ヲ構成セリ、土著君主ノ相殺戮吞噬スルカ如キノ事ハ之ヲ禁防セリト雖モ一朝國ニ草寇暴亂起ルアレハ必英國政府ノ鎮定スル所タルヲ以テ其君主等ハ毫モ紙旗竹槍ノ變ヲ恐ル、ノ意ナク麾下ノ兵勢ヲ恃ミテ恣ニ國民ヲ虐制シ重課厚歛以テ民心ノ離叛ヲ念トセス其狀ヲ見ルニ土著ノ君主ハ國ノ利害民ノ苦樂ヲ圖ルコトナシ唯一身ノ榮利安便ヲ貪婪シテ極マル所ヲ知ラザルカ如シ、故ニ之ヲ近事ニ實スルニ烏納ノ如キ英國政府ヲレテ遂ニ其政務封土ヲ併合占取セシムルコトヲ致セリ

其收稅區ナルモノハ前ニ記セシ古代ノ摩哈麥諸州ト同シキモノナキニアラサレトモ其稱號ニ至リテハ現今用キラレサルモノ多シ、今ヨリ數年前新ニ孟加拉領ノ一部ヲ擧ケテ副領司ヲ置キ之ヲ東北州ト稱シ副領司ノ統管スル所トナス、而シテ其他ノ領域ハ各領司アリテ之ヲ管理シ孟加拉領司ヲ以テ剛度全地領司ノ棟梁トナス、又三領域ノ外ニ近來占有セシ疆外ノ邦土アリ即チ緬甸帝國ヨリ掠奪スル本若烏納ナグホア、アト、德那薩靈皮、五州及馬拉加海峽中ニ在ル殖民地ナリ此等ノ地皆議院ノ輔佐アリテ領司棟梁ノ綜括スル所ナリ

一千八百五十七年ノ公報ニ據ルニ各領州ノ面積人口左ノ如シ

疆外英領

幅員二十四萬六千五百平方マイル

人口二千三百二十五萬五千九百七十二人

孟加拉領

幅員二十二萬一千九百六十平方マイル

人口四千八百五十五萬二千三百九十七人

東北州

幅員十萬五千七百五十九平方マイル

人口三千三百六十五萬五千九百九十三人

馬喀喇領

幅員十三萬二千九百平方マイル

人口二千二百四十三萬七千二百九十七人

孟買領

幅員十三萬五千五百四十四平方マイル

人口千七百七十九萬四十二人

總計

幅員八十三萬七千四百七十二平方マイル

人口一億三千九百九十九萬九百一人

土民ノ統治スル所ノ地方内著明ナル州國ノ數凡ソ六十五其中最大ナルモノハ德里ニ在テハ海徳把巴即チ尼撒爾克什米爾ニ在テハゴララ、シング領、尼伯爾、ラシプート州、中央州ノグワリヲル、南印度ノマイソル、ナリ、又土地ノ面積ハ未ダ詳カナラサレドモ人口二十萬三千八百八十七人ヲ有ツ所ノ佛蘭斯領地及ヒ土地一千六十六平方マイルニシテ人口三十一萬三千二百六十二人ヲ住スル所ノ葡葡牙領地アリ

概計

英領

幅員八十三萬七千四百七十二平方マイル

人口一億三千九百九十九萬九百一人

土人領

幅員六十二萬七千九百平方マイル

人口四千八百三十七萬六千二百四十七人

外國領

幅員千二百五十四平方マイル

人口五十一萬七千四百九十九人

總計

幅員百四十六萬六千五百七十六平方マイル

人口一億八千八百八十八萬四千二百九十七人

近世史記

現今英領印度帝國ト稱スル廣大ナル地方ニ於テ昔日行ハレシ所ノ政事ノ狀態ヲ詳誌細録スルハ蓋シ不急ノ事ダレハ唯其概略ヲ示サン、抑此地ハ自餘亞細亞洲諸國ト同シク風ニ上世人民ノ住居セシ國土コシテ其進奉スル所ノ諸神ハ宗派多端コシテ其常用スル所ノ言語ハ種類雜駁シ民俗ハ夷風野蠻ノ甚キ

モノアリ又稍文明ニ赴キタルモノアリ然レドモ民間最モ尊重スル所ノ宗教ハ温都教ナリ蓋シ温都斯人民ノ往日既ニ開明ノ高點ニ上達セシハ固ヨリ明徴スル所アリ然レトモタトヒ此民ヲシテ開明ノ高點ニ達セシコトアラシムルモ進取ノ氣ニ乏シク其屬精勤力スル太々切ナラスシテ只管素樸ノ風ヲ尙ヒ大ニ争鬪殺伐ヲ畏忌セシコト亦以テ知ルヘキノミ、今史上ノ事跡及其人民ニ關係スル所ノ沿革ナル公報ニ由リテ之ヲ考フルコト此民ハ他國人來リテ之ヲ統理スルモ其古代ヨリ傳ヘシ所ノ宗教ノ法式ヲ紊亂セス且地方政府ノ故制ヲ存シ一小社會ヲ結ハシメ其營生ノ舊規ヲ失ハス苟モ村邑ノ政制ニ關涉スヘキノ處置ヲ施サレハヌトヒ何如ノ國王其上ニ君臨シ何如ノ王朝ニ遷革スルモ少クモ之ヲ顧念スル者ナキナリ夫レ印度國土人ノ政治上ニ於ケル此ノ如クノ魯鈍ナルカ故ニ其自作スルノ結果ニ至リテハ蓋大ニ言ニ忍ヒサルモノアリ史乘ニ據ルニ印度住人ハ邈然タル太古ヨリ近世ニ至ルマテ常ニ時變ヲ逐フテ其國土ヲ攻奪掠奪セル異邦人ノ政治ヲ甘受シテ敢テ抗抵排擯スルコトヲナサズ、自視ルコト猶一種ノ收稅物タルカ如シ、間頗快活奇抜ノ性力アリテ他ノ凌轢ヲ扞禦セントスルモノアルモ亦

怯懦ナル衆人ノ妨害スル所ト爲リ怨ヲ飲ミ手ヲ束テテ空ク外人ニ默從スルニ至ル
印度國上世事跡ノ方今ニ傳ハルモノハ眞ニ僅少ニシテ左ニ記スル所ニ過キス、希臘人羅馬人ノ華美貴重ナル物品ノ内數種ハ温都斯坦ヨリ運輸シテ之ヲ給與シ、又亞細亞歐羅巴兩大洲ノ僻陬ニ住シテ未ダ開化進歩セサル所ノ人民ハ皆數百年ノ間此地ヲ以テ寰宇中最モ富饒美良ナル樂地ナリト思量セリ
馬哈麥酋長ハ印度國ノ雄壯殷富六合ニ超越スルコトヲ聞クニ及ヒ狼貪ノ欲ヲ逞シテ以テ榮名ヲ震耀セント欲シ遂ニ此地ヲ侵掠セリ此時ニ當リテ猛將維十林ノ如ク皆其標悍剛暴ヲ資シテ以テ功績ヲ奏ス而シテ印度國北西ノ一王國ナルギズニ一即チ亞加業坦ノ君主マード實ニ之カ率先タリ紀元一千年ノ頃印度ニ往來シテ始テ丕業ヲ建テ一千二十九年ニ至ルマテ二十九年ノ間歲トシテ軍ヲ興シ來リ侵略セサルナク許多ノ王國ヲ降服セリ當時其口實トスル所ハ財寶ヲ攘奪シ威權ヲ定立スルニ在ラスシテ諸神教ヲ撲滅スルニ在リ然レトモ後復其言ヲ願ミス金銀貨寶貴重ノ物ヲ搭載シ巨大ナル調貢ヲ攫取シ去リテ靦然耻ルナキニ至レリ、マードノ嗣ヲマホメットト云フ

亦印度ノ諸國王侯ト干戈ヲ交フルコト多年一千九百九十二年遂ニ
 大舉シ親ヲ將トシテ印度ヲ侵シ以テ盡ク抗敵スル所ノ者ヲ芟
 殄シテハヒノ王戰没スルコト及ヒ其舊都ニ進テ總督府ヲ開シ、
 是ニ於テマホメットノ威權始テ印度ノ中央ニ震ヒ一大市街ヲ
 創建シテ其盛昌ヲ極メ爾後亞不瀾王即チ巴坦王世々此地ニ君
 臨シ其王朝ヲ創開セリ此朝ハ三百年間隆盛ヲ極メテ連綿統緒
 シタリシガ一千五百二十五年頃ニ至リテ太祖マホメット
 ノ如ク回教ヲ崇信シテ當世ニ胆略無双ノ聞アリシ婆伯爾ノ討
 滅スル所ト爲リ巴坦朝忽チ頓覆シテ其實祚ヲ失ヘリ婆伯爾ハ
 英名救灼タル豪將帖木兒、安頓汗ノ後裔ニシテ精悍即チ蒙古
 ノ種族ナリ、既ニシテ温都斯坦ニ建國ス之ヲ莫臥爾帝國ト稱
 ス一千五百二十六年以來馬哈麥帝ノ一統ハ都府ヲアルヒニ開
 キ實祚ヲ固クシテ印度國中ノ廣大ナル良田美壤ヲ占有シ新ニ
 此地ヲ區分シテ若干州ヲ置キ各州ニ藩屬王ノ政府ヲ設ケ以テ
 温都斯坦侯ニ代リテ各地ヲ統理セシム此國歴代帝王中アハハル
 ハ其人トナリ英邁ニシテ才識大ニ前後諸王ニ卓絶シ一千五百
 五十六年ヨリ一千六百五年マテ在世シテ勵精治ヲ圖リ大ニ疆
 土ヲ撫養ス中央諸州ノ安定ナルヲ得タリシハ實ニ此君ノ明策

智謀ニ頼レリ既ニシテ又ガセラット孟加拉及ヒ德干ノ一部分
 ヲ獲テ大ニ其封疆ヲ恢弘ス是ニ於テ國富庶ニシテ家給人足
 リ民殆ト鼓腹ノ風アリト云フ此時ニ當リテ印度國ノ諸帝王ハ
 各其威權ヲ皇張シ之ヲシテ堅確ナラシムルコトヲ得タリ
 當時歐羅巴洲ノ君主皆温都斯坦ノ安富ヲ欣羨シ其貨寶ヲ攫奪
 センコトヲ謀リテ權謀術策施サ、ル所ナキニ至レリ、然レト
 モ其國土ニ垂涎シテ之ヲ略取セントスルモノハ未曾テ之アラ
 サルカ如シ
 抑印度地方ノ貨物ヲ歐羅巴洲ニ運輸セント欲スルモノハ當時
 尙悠遠ノ陸路ヲ經歷シ又纒ニ紅海ヲ航シテ來往セサル可ラス
 故ヲ以テ途上往々鞏韌土耳其等ノ夷蠻ニ奪掠セラル、ノ危
 險ニ遭フコトヲ免ル、能ハス、故ニ印度ニ通スルノ安全ナル別
 路ヲ探得セシハ實ニ鴻益偉績ト謂フヘシ、其之ヲ開キヤハ一
 千四百九十八年ウァスコ、デ、ガマヲ首長トナセシ一隊ノ葡萄牙
 人苦辛百方僅ニ始テ喜望峯ヲ回航シテ印度ニ直達スルノ素志
 ヲ達シ温都斯坦中馬拉巴爾ノ港灣ニ上陸セシニ創マル而シテ
 葡人ハ隨時其地ニ殖民シタリ爾後殆ト一百年ノ間東印度ノ商
 業ハ全ク葡人ノ專占スル所トナリ外邦ハ敢テ與リ知ラス而シ

テ時正ニ葡國隆盛ノ極ニ當リ其首府リスボンハ印度地方ヨリ
 輸入スル所ノ貨物香料ヲ蓄積シテ自カラ一大市場トナリ貿易
 日ニ盛ニシテ大ニ繁昌セリ傍國之ヲ見テ皆羨マサルナシ既ニ
 シテ和蘭陀モ亦自ラ印度地方ニ往來シテ直ニ之ト交易シ英人
 モ亦其轍ニ依倣セリ、蓋シ葡人ノ其虐威ヲ印度地方ニ逞フス
 ルヤ政治教法ノ二事ニ波及シ且貿易事務上ニ至リテハ誦詐欺
 僞尤モ甚シク衆庶皆目ヲ側ツ弊惡ノ積ム所一敗復タ拾收スヘ
 カラス遂ニ自ラ其威權名望ヲ併セテ悉ク之ヲ失フニ至レリ、
 是ニ於テ英國二國ノ民ハ大ニ其便ヲ得テ會社ヲ創立ス一千六
 百二年和蘭人立ツル所ノモノヲ東印度會社ト號シ商業ノ盛前
 日ニ倍セリ和蘭人ノ印度國ト交通スルノ手段ハ敢テ葡人ノ覆
 轍ニ倣ハス別ニ計畫スル所アリテ毫モ温都斯人ノ教法上ニ干
 預スルヲナサス強テ地方ノ人民ヲシテ耶蘇教ヲ信奉セシメン
 カ爲メニ教事裁判院ノ如キモノヲ設立スルコトナク唯其要旨
 トスル所ハ特ニ貿易ノ利益何如ノ一點ニ在ルノミ此術正ニ其
 正鵠ヲ貫キ得テ忽チ印度地方貿易ノ權ハ強半之ヲ統括スルニ
 至レリ、而シテ瓜哇島ノ伯帶庇亞ヲ占有シ一千六百四十年ニ
 於テ葡萄牙所轄東印度ノ都府ヲ馬拉加ヲ略取シ又喜望峯ニ

殖民地ヲ開キテ其地ヲ掠有セリ、蘭人ノ此處ニ殖民地ヲ開キ
 シコトハ歐羅巴諸州ト印度地方ノ交通往來ヲ便ニシテ之ヲ前
 日ニ比スレハ兩地方ノ間頗縮近セシモノ、如キヲ覺ヘシム然
 レトモ蘭人ハ漸々東方ノ沃土良壤ヲ占有シテ其勢力此ノ如ク
 熾ナリシト雖モ之ヲ有シテ其利ヲ永遠ニ傳フルコト能ハス後
 年ニ至リテ多クハ英人ノ掠奪スル所ト爲レリ
 我輩請フ英國ノ威名ノ印度國ニ行ハレシ源由ヨリ以テ其盛昌
 ヲ極ムルニ至リシ頃末ヲ記セン、(千五百五十二年第四世エド
 ワードノ時英國人民既ニ印度ト通商ノ路ヲ開カント欲セリ然
 レドモ獨奈何セシ當時地學ノ知識淺近ニシテ之カマメニ誤マ
 ラレ遂ニ其素志ヲ達スルコトヲ得ス既ニシテ印度ニ航行スヘ
 キ便路ノ開クルヲ聞キロンドンノ商賈結社協同シテ女王エリ
 カベスニ請ヒ十五年間不動ノ赦免狀ヲ得大ニ氣勢ヲ奮起シテ
 東方通商ノ偉業ニ着鞭セリ、乃チ最第一行ノ一隊ハ六百噸ヲ
 首トシテ百三十噸ニ至ルマテ大小ノ船舶五隻ニシテ旅行ノ全
 費六萬九千九十一ポンドナリ一ポンドハ二百四 其搭載セシ貨
 物ハ金、銀、鉄、錫、棉、羅紗、刀刃、玻璃ヲ以テ第一トナス而シテ今
 回ノ通商互利ヲ得タルカ故ニ爾後毎歲同艘ノ船ヲ遣リタリ

然ルニ往々葡人ノタメニ其通路ヲ妨礙セラル、コト甚クシテ
 禦ノ術ニ困ミ已ムヲ得スシテ莫臥爾帝ノ親睦ヲ請ハサルヘカ
 ラサルノ情勢ニ馴致シ六百七年莫臥爾帝ノ管地ニ通商ヲ開カ
 シカタメ本社ヨリ船將ウケルリアム、ホーキンズヲ遣リ百方盡
 カシテ條款ヲ結ハシコトヲ謀リシニ又葡人ニ妨害セラレ織絲
 ヲ以テ岩石ヲ繫シカ如キノ危険ニ遭遇セシコト其幾回ナルヲ
 知ラスト雖モ終ニ能ク之ヲ振奮シ去リテ本書中既ニ其大名ヲ
 掲誌シタルアシバルノ子孫セハンギール帝ノ許ニ達スルヲ
 得タリ、然レドモ不幸ニシテ葡葡牙セシユニト宗人ノ紹介ニ
 依頼セシヨリ更ニ妨害ヲ醸シ來リテ幾日ノ苦辛全ク徒勞ニ歸
 シテ寸功ヲ見ス其後一千六百十五年英國王又使節サ、ソ
 マス、ローヲ遣ル前日ニ比スレハ頗莫臥爾帝ノ懇篤ヲ得ルモ
 ノ、如シト雖モ亦要領ヲ得ル能ハスシテ罷ム當時ノ事情蓋シ
 此ノ如シ然レトモ會社ノ商業ハ日月ニ繁盛シテ大ニ印度國諸
 處ノ港灣ニ處舍ヲ建設セリ、而シテ此處舍ハ地方所産ノ物品
 ヲ蒐集累積シ亦英國輸送ノ諸貨ヲ蓄藏シテ以テ大ニ其便ヲ相
 通セシムルカ故ニ會社ニ在テ一日欠クヘカラサル必需ノ舍屋
 タリ、此舍ニ居宿スル監守者代理人及ヒ其隸僕ハ與ニ盜民ノ

襲掠ヲ虞ルニ由リレカ或ハ之ヲ以テ口實トナシタルカ明知ス
 ヘカラスト雖モ務メテ妨礙ノ備ヲ嚴ニシ終ニ其處舍タルノ体
 裁ヲ失フテ戎器ヲ携帯セシ戍兵ノ營所タル体面ヲ現出スルニ
 至レリ然レドモ印度國土著ノ君主ハ未曾テ一人モ憤然挺身シ
 テ英國殖民ノ逆意ヲ詰責シ其謀畧ヲ破壞セントスルモノアル
 ヲ見ス、是レ蓋シ其八民ハ外客ニ交ルコトヲ好ミ而シテ其君
 主ハ皆猜疑恚憤ノ念深ク互ニ爭鬪シテ他ヲ顧ルニ暇アラサル
 ニ由レリ而シテ英人ノ伶俐ナル此機ニ投スルニ巧詐ノ術ヲ以
 テシ初メ甲君ヲ視ルコト仇敵ノ如クニシテ以テ乙君ノ歡情ヲ
 得甲乙ヲシテ格闘セシメ其終ニ共ニ衰斃スルヲ待テテ半鵠ノ
 利ヲ收ム是其慣用手段ニシテ遂ニ鴻益大利ヲ占取スルヲ致ス
 所以ナリ然レトモ其始ヲ原スルニ英人ハ土地ヲ畧取シテ其國
 ノ權威ヲ伸張セントスルノ謀圖アルヲ晦匿シ務テ謹飭篤實ノ
 虛貌ヲ裝飾シ事變アルニ當リテハ毎ニ必士著君主ノ決議ニ默
 從シタリシト云フ
 抑夫ノ創立ノ東印度會社ハ政府ノ議論ニ因リテ或ハ勅許狀ヲ
 拒マレ或ハ更ニ之ヲ與ヘラレ一千六百年代ニ在リテハ故ノ如
 ク東印度ト交通シテ利益莫大ナル商業ヲ營ミ其建設スル所ノ

處舍ハ瓜哇蘇門答臘婆羅洲萬島西里伯巫來加暹羅馬拉伯ノ
 海濱及ヒ噶魯曼泥ノ濱岸ニ充塞シ、一千六百四十年印度地方
 諸國ノ許可ヲ受ク馬噶喇ニ於テセント、セオルヲ堡ヲ構造シ
 一千六百四十五年處舍ヲ安頓河口ノ一支流布具利河ノ邊ニ營
 造セリ是乃チ往日甲谷他ト稱スル市街ノ基礎ナリ、孟買島ハ
 一千六百六十四年ヨリ同五年マテノ間其他ノ領主タリシ人ト
 戰テ之ニ捷チ遂ニ英國ノ殖民地ト稱シテ版圖ニ加ヘタリ印度
 地方ニ於テ英國威權ノ熾ナル此ノ如シト雖モ會社ノ商業ハ却
 テ盛昌ナラス一千六百八十八年ノ沿革後國帝ヨリ會社ニ與ヘ
 タル勅許狀ノ實際ニ利益アルヤノ疑問俄ニ起リ加之ナラズ擾
 亂相尋テ官吏ノ私莊奢侈等ノタメニ耗損スル所甚ク多シシテ
 會社ハ遂ニ其責任ヲ辨了スルコト能ハサルニ至ル是ニ於テ一
 千六百九十八年更ニ議院ヨリ許狀ヲ下シ東印度新會社ヲ興シ
 直ニ二百萬ポンドヲ政府ニ貸與スルヲ定約セシム、政府ハ
 此金額ヲウケルレム王ノ軍費ニ給シ以テ其業ヲ保護セシメン
 カタメナリ、已ニシテ舊新兩社ノ間相和セズシテ形勢阻格シ
 紊擾甚シキヲ以テ未タ幾ハシナラサルニ又之ヲ併合セサルヘ
 カラサルノ勢トナリ乃チ一千七百二年議院ノ令ニ由リ二社ヲ

合シテ東印度商業聯合會社ヲ創立セリ、此ノ會社ノ資金加入
 ノ券狀ヲ發賣シテ之ヲ募リ始メヨリ一定ノ限界ヲ設ケ其定
 額ニ達セシメ金主ニハ監督ヲ撰舉スルノ權ヲ與フルヲ以テ法
 トス、抑又印度地方ニ於テ會社殖民地ノ頓ニ盛大ニ赴キシハ
 當時英人醫術ノ土人ニ勝絶セシニ由リテ補助セラル、コト少
 ナカラズ一千七百十五年商事ヲ以テ使節ヲアルヒニ遣リシ時
 偶醫師ハミルトンナルモノ行中ニ在リシガ國帝フエロクセル
 ノ篤疾アリテ地方醫師皆ヒヲ投シ治メサルニ會スハミルトン
 爲メニ療シテ常ニ復セリ而シテ又醫ラス所ノ重賞美麗ナル土
 物ノ贈貽アリテ以テ大ニ國帝ノ歡心ヲ得タルカ故ニ會社ハ
 孟加拉地方ニ於テ甲谷他ト共ニ三十八處ノ市街ヲ購求スルヲ
 フ聽サレ尙且商業上最要ナル特別ノ權利ヲ付與セラレタルヲ
 以テ甲谷他ヲシテ一朝ニ熱鬧繁華ノ殖民地タシムルコトヲ得
 タリト云フ
 一千七百年代ニ於テ東印度會社ノ勅許狀ヲ得シコトハ往々困
 難ナキニアラサレトモ常ニヨク抗論異議ヲ排拒シ僅ニシテ其
 志ヲ達スルコトヲ得タリ斯困難ノ時ニ際シテ會社ノ委頓セサ
 リシハ嚮ニ政府ニ貸付セシ金額勢援ノ力ニ頼リシモノナルヘ

ノ提徑ヲ得タリト云フ

此時ニ當リテ會社ハ其貪婪ノ情益深ク國政商業ノ二事ニ關シテ詭計黠謀至ラサル所ナク其橫暴ヲ肆コシテ全ク本地君主臣民ノ權義ヲ剝奪シ又常備兵ヲ設ケ而シテ凡ソ此兵備アル地方ハ悉ク印度國君主ノ權義ヲ破壞セサル所ナシ蓋シ會社ノ兵制ハ本防禦ヲ主トスルコト在リシカ是ニ於テ忽チ其圖ヲ變シテ攻擊侵略ヲ本旨トナスニ至レリ抑印度國ハ遠絶ノ異域ニシテ其人民ノ法律ヲ論スルモノ毎ニ歐人ノ説ト柱柱相合ハス是適ニ以テ會社ヲシテ新募ノ兵力ヲ實際ニ施スノ好機會ヲ得セシムルニ足ル且印度人回教人英人ハ各其僻スル所アリテ案案ノ原理ヲ異ニスルカ故ニ世嗣繼續ノ公義君民親戚ノ權義ヲ談スル毎ニ拗論執議シテ紛然決スル能ハス終ニ請託シテ會社ノ裁決ヲ仰クヲ常トナシ知ラス裁判ノ權ヲ以テ此會社ニ與ヘタリ試ニ思フニ此一事若シ英國政府ノ詰責ヲ蒙ルアルモ凡ソ遠隔ノ絕域ニ在テ一雜事アルコトニ必之ヲ本國ニ訟ヘテ其判決ヲ待テハ實際行フヘカヲサルヲ以テ各自衛護ノ爲メコ欠クヘカヲサルコトタルノ由縁ヲ陳述シテ裁判廳ヲ本地ニ設立セシ旨ヲ説キ其正理ニ背反セサルコトヲ辨解シ又政法上ヨリ匡

ノ提徑ヲ得タリト云フ

一千七百四十四年ニ至リ會社ハ其已ニ得ル所ノ專權ヲ紹繼シテ之ヲ一千七百八十年ニ至ルマデ保持セシコトヲ欲シ爲メニ定期前毎百三ノ利子ヲ以テ一百万ポンドヲ政府ニ納メタリ我輩ノ所見ニ由レハ是ヨリ先會社ハ專ラ印度通商ノ事ニ全力ヲ竭シテ他ヲ顧ミサリシモノ、如シト雖モ今頼ニ記事ノ一局面ヲ改メ國政上ニ波及セシ權カノ起源ヲ開説セサルヘカラ

一千七百四十八年ニ於テ東印度會社ハ自ラ兵務國政ノ二權ヲ掌握シ得テ殆ト將ニ其威カヲ全印度ニ肆コセントシタリニ適佛蘭斯人ノ印度地方ニ入りテ貿易ノ利ヲ搶取シ又土地ヲ掠奪シテ大利ヲ分クコトヲ謀ルモノアルカ爲メニ新ニ一隊ノ勅敵ヲ得テ其初謀ヲ阻格セラレ一朝頗ル其鋒ヲ挫折セリ、是ヨリ先一千七百四十六年佛蘭西ノ兵カナルナチツ侯ノ兵ト戰テ之ヲ破リシ後遂ニ歐洲ノ兵制ヲ以テ印度國土民ヲ訓練スルコトニ着手シ幾モナクシテ能ク其目的ヲ達シ土民ヲ壓リテ歐洲ノ兵ニ對當セシムルニ敢テ非常ノ取極ヲ取ラサルニ至レリ因テ叙敵兵ト稱シテ歐羅巴諸州ニ顯著ナル兵ヲ訓練調習スル

諫セラルコトアラハ隱秘與妙殆ト解スヘカラサル所ノ法學ノ深義ニ依據シテ其正理ニ反ラサルコトヲ明証セシコト亦太々難キニアラサルナリ

エドマンド、ホルンガ該社東方ノ事務長ウアルレン、ヘスチングスノ罪狀ヲ舉ケタル案ニ曰ク印度諸國ノ王侯ヲ欺キ定約書ノ條目ニ背キ以テ付託ノ國土ヲ殘壞衰耗セシメタル大罪人ナリト

會社ノ本地ヲ掠奪セシハ一千七百四十九年ニ於テカルナチツク内ノマンツルト稱スル美國ヲ占領セントスル所ノ姦人ヲ援ケ之ヲ累有セシメタルヲ以テ始トス其手段ハ初メ當時在位ノ君主ヲ不正統ナリトシテ之ヲ放逐シ以テ若干ノ地ヲ收メ既ニシテ再ヒ此君ノ舊位ニ復スルヲ許シ之ヲ要シテ更ニ他ノ土地ヲ讓與セシメタリ、此ヨリシテ會社カ其領土ヲ開拓スルノ術ニ鍊達シテ鬼算神謀其形迹殆ント測ルヘカラサリシハ一千七百五十七年ニ至リテ孟加拉侯シニラザ、ドーラノ位ヲ奪ヒ徒手ニシテ其所領タル廣大ノ沃土ヲ掠奪セシヲ算成シ反テ姑ク此侯ト締盟セシ條款ヲ見レハ愕然一驚ヲ喫セサルモノアラシヤ

ノ提徑ヲ得タリト云フ

カルナチツク地方ニ跋扈シテ橫肆無極ナル佛人モ亦英人ノ故轍ニ倣ヒ土人ヲ誘惑欺瞞シテ以テ其領國ヲ增加シ遂ニ英佛相共ニ其境界ヲ接スルニ至リ兩國人乍チ爭端ヲ開キテ殺伐殘酷ナル景況ヲ此地ニ現出セリ抑モ此戰鬪ノ由原スルニ無道ノ賊名ハ到底孰レニ歸スヘシトスルモ、其負フ所ノ汚名醜聞ハ兩國共ニ決シテ之ヲ免ルヘカラス而シテ謂ユル失フ所多クレテ得ル所小ナルノ爭鬪アルニ過キサルノミ是ニ於テ兩國ヨリ各使節ヲ遣リ合議シテ其條目ノ支吾スルモノヲ調和セシメ且爾後妄ニ印度國ノ地方ヲ侵掠略取スルコトヲ禁セリ

然レトモ時勢氣運ハ人力ノ能クスル所ニアラス夫ノ使節ノ公正ナル調停モ畢竟秋毫ノ功績ナキ冗事徒勞ニ屬セシコトヲ知レリ、假令其功ニ頼リテ一朝其侵土略地ヲ交替セシモ未タ幾ハクナラサルニ忽チ前日ノ如キ鬪争ノ狀ニ復シ其勢龍虎ノ風雲ヲ興シテ雌雄ヲ決スルニ異ナラス、今其戰狀ヲ詳記スルハ急要ニアラサレハ結局佛人ハ英人ノタメニ其領地ヲ掠奪セラレタリト略誌スルヲ以テ足レリトス

一千七百六十一年佛軍取劔シテ其威權ヲ失ヒシヨリ英人獨リ此地方ニ在リテ其雄威ヲ肆張スルコト猶飛龍ノ中天ニ矯々々

ルカ如ク復タ一箇ノ障礙ヲ爲ス昔日佛人ノ如キモノアルナシ
 加之當時莫臥爾帝國ノ綱紀弛頽シ内訌荐ニ興ルノ機ニ乘シテ
 大ニ其素志ヲ遂クルコトヲ得タリ
 顧テ莫臥爾帝國ノ史ヲ閱スルニ一千六百五十八年アケバルノ
 後胤ラーラングセバハ位ヲ繼ギ治世四十九年一千七百七年ニ
 歿セリ、此君ハ回教ノ信徒ニシテ名望尤モ高ク莫臥爾帝國ノ
 隆盛ハ此時ヲ以テ極度トス、曾テラーラングセバ、德干ノ諸國
 ヲ略定吞併スルニ及テ其封土温都斯坦全半島ニ彌リ又隣國基
 布爾アササムヲ窺食シテ其封境ヲ開拓セリ、此ノ如ク人口稠
 密ニシテ肥腴豐饒ナル地方ヨリ取ムル所ノ歲入額ハ三千二百
 萬ポンドニ至レリト云フ
 此時ニ際シテ莫臥爾帝國ハ猛雄ナル比耳斯亞帝ナシルノ剽略
 スル所ト爲リ加之德干城內ノマルグマカーンデイス、オ、ルン
 グバンド、ベチャポールノ數國ヲ領有シテ騰天蔽日ノ勢アル
 マーラ、マスノ土寇蜂起セリ已ニレテヲ、ラングセバ帝殂ス
 ルニ及ヒ比耳斯亞帝ナシル及ヒ其後嗣アームド、アブダラ
 ノ來寇慮日アルナク國力爲メニ弊エテ後、遂ニ比耳斯亞ノ隸
 屬國トナルニ至レリ

是ヨリ綱紀弛頽シ政權地ニ墜テテ復行ハレズ是ニ於テ地方土
 民大ニ心ヲ生シ莫臥爾全帝土ヲ蹂躪シテ以其梟雄ヲ逞フセン
 ト欲スルモノ現出セリ即チ其西北ノ一國民アフガンス及ヒマ
 ーラ、マスノ二國崛起シテ全土ヲ分拆割取セリ、然レドモ虎
 狼ノ性貪饒飽クコトヲ知ラス二國遂ニ仇讐ヲ相爲シ奮闘激戰
 干戈日ニ尋キ、一輸一贏アフガンス僅ニ其全局ヲ收拾スルヲ得
 テ前朝ノ胤ヲ索メ陽尊シテ莫臥爾大帝ト稱シ以テ國基ヲ固ク
 セリ、今其國帝ノ狀ヲ觀察スルニ恰モ此首府ヲ略取セル有力
 者ノ四虜ノ如ク又其航弄物ノ如シ
 是ニ於テ莫臥爾帝國ノ威名湮滅シ其會テ隸屬タル諸侯ハ巨象
 ノ鞞ヲ脱却スベキ機會ニ遭遇スルヲ喜ビ又其大志ヲ懷ケル
 巨酋ハ皆踴躍シテ新ニ王國ヲ肇建スルコトヲ得タリ
 回教人ハイデル、エリーナルモノ、人ト爲リ胆大ニシテ勇悍ナ
 リ卑賤ヨリ起リ兇徒ヲ囂集シテ地方ヲ掠略シ攻城野戰機ニ投
 シ勝ヲ制セサルナク遂ニ南部ノ地方ヲ橫斷スル丘脈ノ一陵
 マインルニ達スルノ地ヲ得國ヲ開キ號ヲ立テ以テ王業ヲ創建
 セリ一千七百八十二年ハイデル殂シテ其子チ、ポール位ヲ襲ク
 亦勇胆父ノ風アリ然レドモ輕躁寡謀ニシテ數奇ナリ英人ハ此

梟雄無双ナル二主ト兵ヲ構スルコト連歲止マズ互ニ勝敗アリ
 シガ一千七百九十二年英將ノマルクイイス、コルンウォーリス精
 兵ヲ率テマイソルノ首府セリンガバタムヲ圍ムナツポール大
 ニ懼レ防守ノ計ヲ爲サスシテ降狀ヲ送リ約スルニ封土ノ半ヲ
 割キ之ニ加フルニ金塊三千五百萬ポンドヲ贈ランコトヲ以テ
 シ其二子ヲ質シテ誓フ此ニ於テ和成ル一千七百九十四年約了
 リテ二子共ニ遣リ歸ルヲ得タリ後復英人ハ抗敵シテ爭端ヲ開
 キ一千七百九十九年英將セチラルバイルド軍ヲ率テ其首府
 ヲ襲ヒ終ニ之ヲ陷ル、初英軍ノ城中ニ入ルヤ殺戮尤モ甚シク
 流血川ノ如ク伏屍丘ヲ成ス君臣チ、ポールモ亦諸兵ト共ニ炮殺
 セラレテ而シテ人ノヲ知ルモノナシ事平ラクノ後其尸ヲ閱シ
 テ始メテ其君主ノ遺骸ナルコトヲ認メタリト云フ、此國ハ封
 內ノ廣狹大小政治ノ巧拙優劣ヲ以テ者フレハ固ヨリ論スルニ
 足ルモノナシト雖モ莫臥爾帝國ノ支離節解セル片塊ヨリ勃興
 セシ王國中ノ倏録タルモノニシテ治畧モ亦頗其宜キヲ得タル
 コト炳然トシテ疑フヘカラス然レドモ是ニ至リテ亡滅シテ英
 人ノ占有スル所トナリタリ
 爾來東印度會社ノ干預セシ兵事ノ尤モ大ナルモノハマーラッ

タスノ流民ヒンダリーストノ戰鬪ナリ、此人ハ預メ我カ能ク
 問罪ノ師ヲ興スノカアルナキヲ懼ルヤ常ニ弱國ノ資財ヲ掠奪
 スルヲ以テ生業ト爲セリ、夫レ斯ノ如キ野蠻ノ頑民ヲ掃蕩ス
 ルハ英軍ノ苦辛固ヨリ非常ニシテ將士皆風雨ニ淋漓スルコト
 數年一千八百十七年ニ至リテ僅ニ之ヲ殄滅シテ以テ其治安ヲ
 得タリ、既ニシテ緬甸ト兵ヲ構シ一千八百二十六年英人戡克
 シテ鬪戰ノ事始テ畢ル此ニ於テ會社ハ布羅布喀河以東孟加拉
 灣頭ノ曠曠タル土地ヲ領有セリ、是ヨリ前一千八百十四年ニ
 當リチポールレスト戰テ封域ヲ擴メシコトアリ
 英人ハ或ハ干戈ヲ執リテ土著侯伯ノ國土ヲ奪取シ或ハ價金ヲ
 贖フテ之ヲ買得シ或ハ和談熟議シテ之ヲ收領シ或ハ佛蘭二國
 ノ殖民地ヲ購求シ或ハ地方ノ國君自ラ好ミテ其封國ヲ分與ス
 ル等ノ一アリテ、遂ニ其權威ヲ殆ト印度全半島ニ皇張セリ
 輓近ニ至リテ英領印度ノ變事ト云フヘキモノハ第一一千八百
 三十九年ヨリ同四十二年ニ至ルマテ三年間ヲ歷タルアフガン
 ノ戰鬪其次ハ一千八百四十三年シンデノ攻略又其次ハ一千八
 百四十五年シンノ合戰及ヒ一千八百四十九年ニ至リテ本若ノ
 沃壤ヲ併吞マテ永ク英國ノ領地トナセシ一役其次ハ一千八百

五十二年再ヒ緬甸ト戰ヒ戰克シテ後遂ニ皮求ノ大國ヲ占領シ
 一千八百五十六年烏納國ヲ版圖ニ歸セリ而シテ最後ハ孟加拉
 屯軍ノ叛逆ナリ、此亂ハ一千八百五十七年五月ヲ以テ暴發シ
 其勢猖獗ニシテ當ルヘカラス妖氛ノ向フ所一時ハ印度全國ニ
 行ハレタル英人ノ權威ヲ撲滅セントスル急迫ノ景況アリ
 設ヒ孟加拉ノ逆徒ヲ剷除スルノ功ヲ奏セシ日ヨ及ヒ必其舊態
 故俗ヲ更革センコトハ萬々已ムヘカラス事情ニシテ早晚應
 ニ其改進アルヲ見ルヘキナリ然ラハ則此ニ掲記スル所ノ條件
 多クハ舊故ノ制法情實タルニ過キサレハ以テ昔日ノ事ヲ知ル
 ヘント雖モ決シテ後來ヲ証スヘカラス、其中或ハ後日ヨ至リ
 尙其成規タルヲ得ルモノアラソモ固ヨリ僅々二三ニ過キサル
 コト明亮ナリ
 一千八百五十八年第一月エジソボル、レビウト稱スル新聞紙
 ニ載セテ曰此帝國ハ土地ノ面積一百四十萬平方マイルニシテ
 佛蘭斯全國ニ比スレハ之ニ七倍セリ人口一億八千萬八中英國
 民ト稱スヘキモノ一億三千萬人ナリ今之ヲ佛蘭斯ノ人口ニ比
 較スルニ其四倍ナルコトヲ知ル、常備兵ハ英國女王ノ兵二萬
 五千人會社ニ屬スル所ノ歐洲人ノ兵士數千人及ヒ英國人ノ士

官三千五百人アリテ統括スル所ノ士民兵アリ、東印度會社ノ
 事ヲ擔任セル七百五十餘人ノ志士ハ此ノ如キ兵威ノ援勢ヲ得
 テ此地ヲ管轄統御スト云
 全地ヲ分チテ三領トナシ領司三人アリ各其任國ニ在リテ文武
 ノ官ヲ設ク其上ニ總領司アリテ百般ノ事務ヲ統攝ス其名義ハ
 會社監督ノ撰擧スヘキモノト雖モ其實ハ英國政府ノ任スル所
 ナリ、又別ニ全地ノ兵權ヲ握レル大將軍アリ、一千八百五十二
 年印度國ノ兵員ヲ總算スルニ二十八萬九千五百二十九人其内
 英國王ノ兵歐洲人二萬九千四百八十八人會社ノ兵歐洲人一萬九
 千九百二十八人土民二十四萬百二十一一人ナリ而シテ土民ノ兵
 ト稱スルモノハ多クハ孟加拉ノ屯軍ナリシカ故ニ今蓋シ英人
 ニ背キテ兵籍ヲ脫セリ、其他印度國諸侯ノ實兵三萬二千人皆
 英國土官ノ麾下ニ屬シ常ニ結盟セル條件アリテ大ニ英國政府
 ノ便利ヲ助ク、印度諸侯ノ兵員ハ總計四十萬人ナリト云フ
 印度國收稅法
 上ニ記載セシ兵卒及ヒ諸般ノ文官ヲ扶助養育センカ爲メニハ
 固ヨリ重大ナル稅額ヲ募收セサルヘカラス、一千八百五十七
 年ノ費額ヲ算スルニ其總費三千三百三十二萬六千二百二十二ポンド

ナリ其明細簿ヲ見ルニ軍需ニ供スルモノ一千二百五十萬ポ
 ンド收稅費及ヒ諸雜費ニ充ルモノ七百萬ポンド會社借ル所ノ資
 金ノ利子及ヒ印度株金ノ分配金ニ供スルモノ三百萬ポンド行
 政事務ノ用ニ給スルモノ二百五十萬ポンド裁判事務及ヒ警察
 費ニ屬スルモノ二百五十萬ポンド公有諸物ノ營繕費二百二十五
 萬ポンドナリ、此費額ヲ辨了スヘキ收稅額ヲ計ルニ二千九百
 三十四萬四千九百六十ポンドニシテ殆ド二百ポンドノ不足ナ
 リ、而シテ公債ハ其額五千萬ポンドニ上レリ、抑モ此地ニ於テ
 稅ヲ課スル所ノ物品ハ全ク土地、鴉片、食鹽ノ三箇ニ限レルガ
 如シ、地稅ハ千六百六十八萬二千九百八ポンド鴉片ハ四百四
 十八萬七千二百六十九ポンド食鹽ハ二百三十六萬二千三百八
 ポンドナリ是ニ由リテ之ヲ觀ルニ地稅ハ政府ノ資財ノ基本ナ
 リト謂フヘシ、夫レ收稅配稅ノ法及ヒ其之ヲ實際ニ施行スル
 ノ何如ヲ尋釋スルハ大ニ印度地方ノ政圖ト人民ノ營生上ニ關
 係スル所ナレハ我輩ハ力ヲ極メテ其解說ヲ作ラサル可ラス
 往昔莫臥爾帝ノ世ニ在テハ國君ヲ以テ全陸土ノ主ナリト思
 做シ其ノ地主タル耕農夫ハ貢稅或ハ借地稅ノ定額ヲ納ムルノ
 公務ヲ能ク辨了スルノ間ハ永ク其地ノ住人タル公權ヲ得ルト

雖モ一朝之ヲ忘ルアレハ則チ忽チ其公權ヲ失ヘリ、借地稅ハ
 收稅ノ三分一ヲ以テ定法トシ或ハ其半額ヲ以テ定法トスルモ
 ノアリ、配稅ノ額ヲ定メテ之ヲ募收スルガ爲メニ命セラレタ
 ル僚官ヲ郡吏ト云フ
 一千七百九十三年總領司ロールド、コルンウォーリスハ全國ノ人
 民ニ便利ナル良法ヲ立テテコトヲ謀リ從來門閥ノ收稅官タル
 ガ如キ体裁アル郡吏ヲ更メテ地主トナセリ、然レドモ政府ノ
 タメニ借地稅收募ノ事務ヲ擔當スルハ之ヲ變スルコトナシ
 テ故規ヲ用キタリ、是ニ於テ窮乏自ラ存スル能ハサルノ徒一
 朝ニ出來リ往々舊地ヲ離散スルモノ千ヲ以テ數フ故ニ一隅ニ
 就テ之ヲ考フレハ損スル所大ナルカ如シト雖モ刮目シテ其全
 局ヲ視ルニ及ヒ始テ其大ニ利スル所アルヲ知レリ、蓋シ前日
 ハ僅々數年間ノ定期ヲ以テ耕農夫ヨリ收稅セシ稅額ヲ改更シ
 テ確乎タル萬世不易ノ借地稅トナシ其十分一ヲ地主即チ郡吏
 ニ與ヘテ十分ノ九ヲ會社即チ政府ニ收納セシメタリ此制ノ一
 定セシヨリ多年荒廢シテ纔ニ牧場タリシ陸土ノ忽チ變シテ沃
 壤良田トナリシモノ甚々多ク、其實際施行ノ情狀ハ耕農夫ノ
 荒地ヲ墾闢スルモノハ初三年間全ク稅ヲ免シ其後數年ノ間適

宜ノ輕稅ヲ收メシム是ヲ以テ農民各奮力シテ荒蕪地ヲ墾闢シ以テ肥沃ノ耕地ヲラシムルコトヲ得大ニ田圃ヲ増廣セリ、郡吏中或ハ因テ以テ大ニ富豐ヲ得タルモノアリト雖モ其人抵テ思慮淺近ナルカ故ニ斯重大ノ事業モ永シク之ヲ保存スルコト能ハス相傳ル統ニ一二世ニ過キスシテ覆滅スルモノ最モ多ク、郡吏擅權ノ政体ヲ創ムルカ如キノ基業ヲ成立スルニ至ラザリシナリ

會社ハ夙ニ此ニ見ル所アリテ大ニ郡吏ノ富強ニ進ムヘキ行歩ヲ退却セシムルノ畫策ニ苦思セリ而シテ郡吏ハ固ヨリ其才淺短ニシテ條約ヲ定ムヘキコトノ何如ヲ知ラス、又之ヲ遂クルノ氣力ニ乏カリシカ故ニ往々違約ノ罪ニ坐シテ其所領地ヲ沒收セラレ會社ノ有トナルモノ其數ヲ知ラス、此事アルコトニ會社ハ務テ故ノ耕農夫ヲシテ其地ニ復住セシメ或ハ年期ヲ限リ或ハ永世不易ナル借地稅ヲ定メテ其田地ヲ耕耘スルコトヲ許セリ、是ニ於テ會社ハ自ラ郡吏ニ代リテ所領ヲ綜括シ各地ニ代理人ヲ派遣シテ直ニ耕農夫ニ就テ借地稅ヲ收入スルコトヲ爲シタリ

郡吏ノ制ハ多ク孟加拉、ベハル、ブリスサ、ベナルスノ地方ニ行

ハル、馬喀喇領モ亦少シク行ハレタル所アリト雖モ多ク其功ヲ見ズ、南印度ノ二三國ニ於テハ其制ヲ小變シテ永ク之ヲ採用施行セリ、此地ニハボリカルト稱スル門閥ノ酋長アリテ孟加拉ノ郡吏ト同一ナル地位ヲ有セリ

此外尙借地稅或ハ地稅ヲ收募スルノ法ニアリ其一ヲ耕農收稅法ト謂ヒ其二ヲ村區收稅法ト謂フ耕農收稅法トハ一千八百二一年有名ナルサーソーマス、マンロカ馬喀喇ノ領司タリシ時始メテ施行セシモノナリ

其法ハ郡吏ノ手ニ由ラスシテ耕農夫直ニ借地稅ヲ政府ニ收納スルモノナリ、若シ所領或ハ耕地ノ廣狹ト其代價ヲ定メントスルトキハ、先ツ費用ヲ慳マス勤勞ヲ顧ミスシテ村地ヲ實測シ更ニ其村區從來ノ納稅簿類ヲ參考シ、各村長及ヒ村保ノ意見ヲ取リテ之ヲ斟酌シ然後配稅吏ノ決意ヲ以テ收稅ノ虛額ヲ假定シ、其百分ノ四十五ヲ以テ借地稅ト定ム是乃チ借地人ヨリ上納スヘキ數額ノ定規ナリ、上納ノ期日ハ一ヶ月ヲ以テ一期トナス而シテ歛收ノ法最モ簡易ナリ

此法ヲ施行スルニ當リ不平ヲ懷キ苦情ヲ訴フルモノ多クシテ大ニ民心ヲ失ヒ不測ノ難ヲ挑發シタリト雖モ其之ヲ釀成セシ

所以ハ配稅法ノ不良ナルコト原スルニアラサシテ只稅額ノ過度ナルニ由レルモノナリ夫レ村長、村保、僧侶、天文士、教師其他一村內ノ吏胥ニ供スヘキ給料ノ全額ハ耕農夫ノ收稅百分ノ十ナリ、然ラハ則年正ニ豐饒ナリト雖モ政府ニ納ムル所ノ百分ノ四十五ハ實獲ノ半數ナリ豈之ヲ過度ナリト謂ハサルヘケンヤ既ニシテ人民ノ苦訴甚シキヲ以テ非常ノ減稅ヲ施セリ、是ニ於テ此法今日尙廣ク馬喀喇領內ニ行ハレテ頗ル其公平ヲ得タリ

第二村區收稅法蓋シ印度國ノ村里ハ一個ノ地方ニ家屋隣次セシモノニアラスシテ亞米利加ノ市領ト稱スルモノニ似タリハミルトン曰ク印度國ノ村里ハ沃壤磽确ヲ混合シテ數千エーノルノ闊大ニ達スルモノナリト

政治上ヨリ之ヲ見ルトキハ同盟領又市領ニ類似セリ、而シテ其官吏隸民ノ如キハ數等ノ階級アリ、第一ヲ村長ト謂村內ノ事務ヲ統括シ人民ノ爭議ヲ鎮定シ警察ヲ擔當シ又收稅ノ重任ヲ司ル能ク此職任ニ堪フルノ器度ハ細ニ民情ヲ諳知シ洽シ人民ノ名望信任ヲ得ルヲ以テ最要トス、之ニ亞クモノヲ村保ト謂フ耕作上ノ會計ヲ監督シテ之ニ關スル一切ノ事務ヲ統理ス

次ヲ監吏ト謂フ罪跡犯形ヲ觀察シ又本村ヨリ他村ニ旅行スル所ノ人民ヲ警保スルコトヲ掌ル、衛吏ト謂フ專ラ領內ノ警察ヲ司リ且收稅ヲ守衛シ之ヲ算測スルコトヲ掌ル、守疆ト謂フ常ニ村里ノ境界ヲ固守シ若シ之ニ關スルノ爭論紛議アルトキハ確証ヲ揭示スルコトヲ掌ル、日ク守水耕作ノ便否ヲ計リテ水利ヲ分配スルコトヲ掌ル曰ク僧侶村內ノ宗教ヲ督ス曰ク教師砂上ニ畫シテ讀書作文ヲ教フ曰ク天文士播種收穫ノ期限ヲ示ス、其他工具ヲ作り家屋ヲ營スルノ鑄師工司アリ家畜ヲ監護スルノ牧司アリ娛樂歡宴ヲ備クルノ舞女アリ又醫師樂人詩人陶工漁夫髮工アリ是レ乃チ通常一村區ニ居住營生スル所ノ人民ナリ、然レドモ土地ノ風俗ニ從ヒ一人ニシテ數業ヲ兼ヌルモノアリ、或ハ上文ニ歴記セサル所ノ職業ヲ營ムモノアリ

テ村里領內ノ廣狹大小一様ナラス

本地ノ住民ハ混沌タル太古ヨリ若キ簡易ナル市制政法ノ下ニ生活自得シテ未甚シシ村里ノ境界ヲモ變セシコトアラサス、不幸ニシテ偶戰爭飢饉若クハ疫癘ノ災禍ニ罹リ困憊疲瘡シテ殆ト亡滅ニ至ラントスルノ土地ト雖モ尙且數百年間依然トシテ其名稱境界民族ヲ改ムルモノ少ナシ、又王國ノ顛覆分裂スル

東印度地誌

カ如キノ大事アルモ荷モ村治ノ政令ヲ毀壞スルニ至ラサレハ何國ノ隸屬トナリ何王ノ管轄ヲ受クルモ恬トシテ人民ノ與リ知ル所ニアラサルモノ、如ク村内ノ政治ハ毫モ變革スル所ナク村長ハ舊ニ依リ村民ノ首領ニシテ微力ノ裁判司タリ又兼テ收税司タリ、是ヲ以テ政府若シ郡吏收税法ヲ施ストキハ英國ノ郡邑ニ齊キ廣大ナル一地方中ノ一人ナル郡吏ト詢リ、村區收税法ヲ舉クルトキハ全國中ノ村長ト謀リ耕農收税法ヲ行フトキハ普ク耕農夫ト謀ルヘキノ別アルコトヲ見タリ蓋シ印度地方ノ耕農夫ハ皆一家ノ眷屬ヲ奉ケテ耕耘收穫スルニ足ルヘキノ田圃ヲ有スルモノ、ミニシテ大ニ土田ヲ有シ備夫ヲ役使スルモノハ甚タ少ナシ、故ニ佃夫ト稱シ他人ノ傭フ所ト爲リテ土田ヲ耕耘スルモノアラサルナリ

前ノ三法ヲ考フルニ郡吏收税法ハ稅額ヲ收ムル甚タ多キモ人民ヲ疾苦スル亦多シ村區收税法ハ政府ノ煩擾ヲ省キ且耕農夫ノ喜フ所ナリ、耕農收税法ハ巨費ヲ耗損シテ困難甚シク稅額尤モ些少ナリ、蓋シ此法ハ收稅事務ヲ委託セラレシ土人ノ姦詐惡弊多キカ爲メニ便良ナラスト雖モ若シ能ク此弊害ヲ除去スルヲ得レハ最モ公平ニシテ便利ナル良法ト謂フヘシ

此地ニ於テ地稅ト稱スルモノハ通常ノ稅ナルモノニアラス、人民ノ所有ニアラサル地方アリテ政府ノ所有物ト看做シタル土田ヨリ收入スル所ノ貸地料ナリ、故ニ印度地方ノ人民ニ賦配スル所ノ正稅ハ獨食鹽稅ノミ凡ソ食鹽ハ此地ニ於テ製造スルモノ外國ヨリ輸入スルモノヲ論セス共ニ一ポンド一ポンド百二十一匁ノ課稅三ツアルシテ一ツアルシテハ大約我今職工一人ノ一年間ニ消費スル所ノ食鹽ヲ十二ポンドト算スレバ其稅額ハ工銀百分ノ一五ナリ、是レ乃チ職工一人ヨリ政府ノ費額ニ供スル所ノ科額ナリ

鴉片ハ專ラ輸出ノタメニ生産スル物品ニシテ内地ニ於テハ少モ之ヲ用サルコトナシ、全ク之ヲ嗜ム所ノ外邦人ニ賣買スルモノナレバ英領印度ノ會計部ヨリ課賦スルノ代價ハ支那國中ニ住居スル人民ノ償贖スル所ナリ

一千八百五十三年印度國ノ輸入ヲ計算スルニ總額一千六百九十萬二千二百三十九ポンドノ内六百八十三萬三千七百七十七ポンドハ財貨ニシテ剩額一千萬ポンドノ貨物中英國ヨリ輸入スルモノ七百萬ポンド以上ニ至レリ、其輸出ハ總額二千五百五十一萬九千八百六十二ポンドニシテ其英國ニ送ルモノ八百五十

萬ポンドトス一千八百五十六年英國ヨリ搬輸スル所ノ貨物ハ價額一千一百萬ポンドニシテ鐵塊ノ數凡ソ七百萬ポンド以上ナリ、其内銀塊最モ多シ、同年支那國ニ輸出スル所ノ貨物ノ價額ハ六百六十萬ポンドト云

歲入總額中道路橋梁溝洫其他ノ公費ニ供スル所ノ金額ハ既ニ累巨萬ナルモ猶未會社ノ當ニ構造スヘキ事業ヲ成立シ了ラサルハ衆人ノ知ル所ナリ、當今ゴダマエリ河畔ニ於テ已ニ其功ヲ竣リシ一大工事ノ如キハ從來荒蕪ニ附シテ不毛ナリシ一百二十萬エーカーノ曠土ヲ浸灌シ以テ豐饒ノ良壤ヲラシメタリ、其他ノ諸川ノ如キハ今方ニ工役ニ盡力セリ、其最モ壯大ナルハ安瀾チヨムナ二河ノ間ニ介スルドーブヲ浸灌スルガ爲メニ近來開鑿セシ一大溝洫ナリ、其長サ五百二十五マイルニシテ其最モ廣キ所ハ百七十フットニ達ス其營作ノ巧妙ナル取テ開化國ノ作事ニ愧ナサルモノアリ、之ヲ他國ノ溝渠ニ比スルニ蓋量ハロンドンワール及ヒ埃及國中ノ溝渠ヲ排列接續セシヨリモ長ク航行ノ狀ヲ形スレハ佛蘭斯國ノ四大溝ヲ聯結セシト同一ナリ、此溝洫ハ全其支溝ヲ成竣スルニ及ハバ蓋量ハ九百マイルノ間ニ蜿蜒シテ一百萬半エーカーノ曠原ヲ浸灌スルニ

足ラン、又鐵路ハ其尤長大ナルモノハ今現ニ構造ニ從事ス電信線ハ一千八百五十六年ニ於テ其已ニ架設スル所ノモノ四千マイルニ達スルヲ見ル、且人民教育ノ爲メニ費用スル所ノ金額ハ每歲増加シテ其業駁々乎トシテ日ニ上進セリ

一千八百十三年議院ノ議定セシ布令ニ據ルニ從來東印度會社專占スル所ノ商業中支那貿易ヲ除クノ外ハ都テ本社ノ擅權ヲ奪ヒ以テ印度ト英國トノ通商ヲシテ自由ニシテ少モ箝制スル所ナカラシメ、又地方事務商業事務ノ二科ヲ設ケ萬般ノ事ヲ以テ皆此二科ニ附托ス、且英國王ハ印度地方ノ教主一人及ヒ教會執事三人ヲ命スルノ權ヲ得タリ、而シテ其給料ハ皆之ヲ會社ノ府庫ニ取レリ、此布令ハ印度ノ通商ヲシテ未ダ全ク自由ナラシメザルモ頗ル世人ノ素願ヲ達スベキ徑路ニ向ヒ以テ大ニ東方ノ通商ヲ改進セリ、是レ實ニ一千八百三十四年四月二十二日ニ至ルマテ遵奉セシ所ノ法令ナリ

東印度會社ト謀リ一千八百五十四年四月三十日マテ遵守スベキ條約ヲ定メ英國國王殿下ノ印度領地ヲ統括スルノ良法ヲ求ムル法令ト號シテ一千八百三十三年八月第四世ウイレムノ布告セシ法令第八十五章第三節第四節ニ據レバ會社ハ支那地方

互商ノ專權ヲ褫奪セラレ且公命ニ由リテ全ク商業事務ヲ廢絶
 シ凡ソ商事ニ關スル所ノ物品商舖貨財ハ悉之ヲ賣却セリ、而
 シテ會社ノ負債ハ皆印度地方ノ歲入額ヨリ之ヲ償辦スルコト
 ヲ要ス、但シ全額中百分ノ十ヲ省減シテ會社ノ費用ニ給シ、而
 シテ之カ爲メニ省減セシ金額ハ英國議院ヨリ特ニ之ヲ償却ス
 ヘシ、會社ハ身元引請金トシテ千二百萬ポンドノ金額ヲ政府
 ニ委託スルマテハ每歲必英國銀行ニ二百萬ポンドヲ納ルヘレ
 其印度領地ヲ括スル所ノ委員ハ英國自ラ之ヲ銓撰シテ派出
 スヘシ、孟加拉領ハウイールム堡即チ甲谷他トアグラノ二領
 ニ分割スヘシ印度ノ政權ハ文武ノ事共ニ總領司并ニ議官ノ干
 豫スル所タルヘシ

其八十一節ニ曰英國王殿下ノ領内ニ生レシ無罪ノ良民ハ印度
 領内既ニ税關ノ設アル地方ナレバ海路直ニ其地ニ抵リ或ハ其
 地ニ居住スルトモ自由タルベシ、又一千八百零一年一月ニ於テ
 既ニ會社ノ管轄スル所ノ地方、カルナナツク侯ヨリ讓與セシ
 地方、カッタック州、新嘉坡殖民地及ヒ巫來加殖民地、ノ諸處ハ何
 レニ居住シ何レニ經行スルモ決シテ公文ヲ要セサルヘシ、若
 シ上ニ掲グル地方ノ人民ニアラスシテ自餘ノ諸邦ヨリ此地方

ニ到ルノ英國人アラハ皆其姓名ヲ實シ預メ居住セント欲スル
 所ノ地名并ニ營業ノ目的ヲ詳記シテ各地方ノ稅關長若クハ適
 當地方官吏ニ報スヘシ

其八十六節ハ英人ノ印度領内ノ地方ヲ買得スルヲ許ル
 其八十七節ハ印度領内ノ土民英國管下ノ人民ヲ論セテ、宗教、
 出產ノ地血統人種ノ差別ヲ以テ會社ノ役員若クハ其職務ニ與
 ルコトヲ拒ムヲ禁ス

其百十二節ハセントヘレナ島ノ英國王ノ管轄タルヘキコトヲ
 定ム

右ノ法令ヲ案スルニ温都斯坦并ニ大英國ノ便益利潤ヲ計畫ス
 ル所ノ緊切ナル條款若干アリ、以後印度ハ英國人ノ移住遷居
 スルコト自在ナル國土トナリ印度支那ノ通商ハ益開達意ノ如
 ニシテ少モ妨碍ナク行政文武ノ職目ニ關シテハ印度英吉利斯
 半生ノ人印度人英人相婚嫁シテ 印度人其他ノ土民モ皆英國人
 民ト均一ナル權義ヲ得テ會テ偏頗アルナシ、然レトモ我輩ノ
 所見ニ從ヘハ土民ハ多クハ卑官ニ在リテ貴顯ノ官位ニ昇ルモ
 ノ甚タ少シナリ

歐羅巴人ノ地度地方ヲ購買スルノ甚タ少ナキハ蓋シ氣候ノ好

カラサルニ因ルモノナルヘレ、總領司ハ會議マテ印度地方ノ
 便否ヲ計リ且英人士人外邦人ヲ問ハス凡ソ其地ニ居住スル人
 民ノ爲メニ法律ヲ撰定スルノ權アリ、然レドモ其撰定スル所
 ノ法後日若シ英國顯官ニ非斥セラル、モノアレハ總領司更ニ
 廢止ノ旨ヲ布告スヘキ定規ナリ、之ヲ以テ考フルニ印度領ハ

假令全國ノ狀態ハ改良ニ赴クモ衆民皆少モ立法行法ニ關涉ス
 ルノ權ナクシテ暴政虐治ノ迹ヲ存スルコト尤モ多キヲ知ルヘ
 シ開明ナル歐洲人民ヨリ之ヲ見ルトキハ其不便甚タ堪フル能
 ハサルモノ、如シト雖モ全印度國ノ無智蒙昧ナル人民ニ在リ
 テハ恬然自得セリ蓋シ此ノ如キ地方ニ寬政公治ヲ施スハ假ヒ
 禍害ヲ致スノ患ナキモ却テ其民情ニ適セサルヘシ

一千八百五十三年ニ至リテ會社ノ條約書ヲ更改セリ、其大旨
 ハ一千八百三十三年ノ條約ト同一ナリ

一千七百八十四年ヒットノ布告セシ法令ハ會社ノ政治事務ヲ
 定立スルカ爲メニ六人ノ密議官ヲ命ジテ議政院ヲ設クルコト
 ヲ創メタリ 今日英國大臣ノ印度領地ヲ管轄スル方法ハ密ニ
 其地ノ長官ニ指麾傳令スル所ノ印度議政院ノ力ニヨレリ、新
 定ノ法令ニ據レハ議政院ノ員數ハ十八人ニシテ其中六人ハ英

國王ノ選任スル所其他ノ十二人ハ衆財主ノ職任スルモノナリ
 此議政官ハ印度地方ノ武官ニ撰舉セラル、ノ特權アリ而シテ
 文官ノ職任ハ衆庶士ノ才德ニ因リテ之ヲ拔擢セリ

印度國土民 温都斯

印度國人民其強半ハ世界中最遠古代ノ人種タル温都斯人ニシ
 テ亞細亞地方ノ之ト隣居セル人民ハ猶未文明ノ初級ニ昇ラサ
 リシ時其文學技藝皆既ニ開明精良ノ域ニ進メリ、此名聲藉甚
 ナル人民ハ永ク他邦人ノ管下ニ服スレドモ數百年間國體ヲ維
 持保續シテ之ヲ更メス今日ニ至ルマテ其國語、文學、宗教、風儀、
 習俗、地方ノ政事、營生ノ慣習ヲ固執偏愛シテ新奇ニ遷ルコト
 ヲナス、其庶民ノ顔色ハ黃赤色ナレトモ貴顯ノ人ハ白哲ニ
 シテ殆ド歐羅巴人種ノ如シ、軀幹中体骨格整理シ剛健剽悍儉
 約ニシテ節度アリ好シテ他人ヲ崇敬シ厚ク更憫ヲ示ス然レト
 モ情弱堅吝ヲ以テ人ノ蔑視スル所トナルヲ免レス、善ク之ヲ
 訓練スルトキハ以テ精銳ナル兵卒タルヘシ

一千八百五十七年ノ暴舉前ハ會社ニ向テ毫モ會テ不服ノ狀ナ
 ク其常ニ忠實ナリシハ衆口ノ齊シク歎賞シテ已マサル所ナ
 リ、從來此人民ハ天稟ノ才力ニ富メリト雖モ常ニ耕耘牧畜捕

魚獵獸採鑽ヲ業トシ爲メニ其發達伸暢ノ機ヲ掠奪セラレテ好時會ヲ得ルコト能ハス、間或ハ大ニ製作通商ニ盡カスルモノアリ、其製造輸出スル所ノ織物ハ棉布絹布ノ數種ニシテ高價ノ良品アリ、其中精良ノ棉紗、肩巾、蕉、西班牙皮等ハ絶品ト稱スヘシ其顔色ノ如キハ他邦ノ敢テ企及スル所ニアラス、奏樂謳歌ハ未熟セズ踊舞彫刻建築ノ術ハ頗進歩セリ、又算術星學曆術ヲ解了シテ大ニ詩學ヲ好メリ

印度國ニ於テ最奇異ナルハ人民ヲ數等ニ別チテ相容レサルノ習俗ナリ、是レ蓋シ太古ヨリ現存セル社會人衆ノ殊異ナル階級ナルヘシ、乃チ古代宗教上ノ原理ニ基ツキ人衆ヲ分チテ四級ノ類屬トナス、第一ヲ婆羅門ブラフマント稱ス、第二ヲ刹帝利シャトリート稱ス、第三ヲ吠舍ワイシャト稱ス、第四ヲ旃陀羅ジャンダラト稱ス、第一ノ婆羅門ハ祭司ヲ犧牲ヲ奠シ人民ヲ教訓シ時ニハ陪審者トナリ、亦參政者トナリ、以テ人事ノ要路ニ當ル、若シ貧困ニシテ活路ヲ失フコトアレハ、他人ノ惠德ヲ仰キテ生命ヲ保全ス、而シテ尙生存スル能ハス窮困ノ極ニ至ルニ及ヘハ乃チ其身ヲ辱メ以テ或ハ兵務ニ關シ或ハ商業ヲ營ス、此類族ハ聖神ヨリ特別ノ恩惠ヲ蒙リシ者ト爲シ又神ノ苗裔ナリトシテ頗ル夸負ノ色アリ、第二ヲ刹帝利シャトリート稱ス君主貴族ハ皆此類族ニシテ人民ヲ保護スル

ヲ以テ其職任ト爲ス第三ヲ吠舍ワイシャト稱ス耕耘牧畜商賣ヲ以テ業ト爲ス是ニ三族ハ皆特別非凡ノ人民タルコトヲ自許シテ他ノ一族ト區別ヲ限ルコト尤モ嚴ナリ第四ハ旃陀羅ジャンダラト稱ス三族ノ下風ニ居テ其勞役ニ服スルヲ職務ト爲ス即チ奴隸ナリ、上ノ三者若シ此類族ニ在ルモノヲ打毆毀傷シテ終ニ之ヲ殺スニ至ルモ容易ニ其罪ヲ贖フコトヲ得ヘシ、又旃陀羅ハ高貴ナル宗教ノ禮祭ニ與ルヲ得ス又其賞賚ヲ蒙ルヲ禁セラル甚シキハ維太ヲ此族人ニ讀授スルヲ以テ罪科ナリトスルニ至レリ上ニ列舉セシ四種類族ノ外ニ其相婚嫁シテ產生スル所ノ中間ノ人衆若干アリ時トシテハ公認セラレテ四族ノ間ニ列スルコトアリ是レ必已ムヲ得サルノ情實ト一時ノ權宜ニ由ルモノナリ、而シテ其每種族必別格ノ職業技藝ヲ定メテ之ヲ爲サシム、是ニ於テ全ク人ノ思想ヲ以テ作爲セル駁雜ナル一社會ヲ現出セリ

祭式法例ノ如キハ間二三ノ舊制ヲ存スルモノアリト雖モ、其他ノ職業ニ至リテハ決シテ制限アリト謂フヘカラス、見ルヘシ夫ノ僧侶ナルモノハ或ハ兵士トナリ或ハ庖人トナリテ人ニ服事シ而シテ現今印度ノ侯伯ト稱スルモノハ多クハ古代卑賤ノ類族ヨリ出テタリ、且夫レ尋常何等ノ職業モ只其一人之ヲ爲スヘクシテ他人之ヲ爲スヘカテサルモノアルヘキノ理ナシ固ヨリ當ニ各人ノ好惡ニ從テ取捨スヘキノニ豈ニ之ヲ制限スルヲ得ンヤ今印度ニ行ハル、所ノ類族ノ制ハ一饗宴ヲ開キテ上下貴賤混同會食スルヲ禁スルノ功アリ、夫レ類族ノ秩序ヲ錯亂スルハ道德上ノ罪咎ニアラスト雖モ之ヲ禮式ヲ紊亂スルノ罪科ナリト謂フヘシ、但其咎ムヘキ者ハ卑賤者ト席ヲ交ヘ不潔ノ食ヲ共ニスルノ一點ニアルナリ、此慣習法ニ背キテ社會ノ交ヲ攪絶セラル、者ヲパリアスパリアスト稱ス、夫レ類族ヲ分

ツ習俗ノ印度國人ノ必裏ニ浸徹スルコト甚タ深ク卑賤者ノ中ニ在リテ亦自カラ許多ノ種別ヲ設クト云フ、然レドモ現今毫モ舊故ノ類族ニ肩々タラサル所ノ教派多ク此地ニ勃興シ今ヨリ數百年前温都斯坦ヨリ放逐セラレシ佛教ノ要旨モ亦之ニ合符セリ、又サイクストサイクスト稱スル一派アリ類族ノ區域ヲ打毀セン

トスルノ主論ニシテ佛教ニ比スレハ一層盛大ナル黨徒ナリ此教派ノ隆盛ニ進ムヲ以テ之ヲ考ノレハ印度國ハ其故制中尤モ厭フヘキ類族區別ノ弊風ヲ掃蕩スルニ至ランコト足ヲ跋テ、而シテ待ツヘキノミ

全國中大ニ民間ニ行ハル、所ノ教法ハ温都教即チ婆羅門教ナリ、怪奇異様ノ肖像ヲ刻造シテ之ヲ崇敬ス、世ニ多神教ト稱スル教法ノ一派ニシテ其体裁ノ駁雜ナル實ニ此ニ類似スルモノナシ、今我輩ガ記スル所極メテ粗畧ニ屬ス之ガ詳記ヲ得ント欲スルモノハ宜ク別記ニ就テ看ルヘシ

印度ノ如キ廣大ナル地方ニ於テ其國語ノ一定ナラサルハ固ヨリ已ムヲ得サル所ナリ、北印度ノ國語ハ現今不通ナル梵語ニ類似シテ南方ノ語ニ比スレハ甚タ殊ナルモノ多シ而シテ土言ノ古梵語ヨリ轉化シ來ルモノ、多キハ人皆之ヲ知レリ

北部即チ温都國語中著明ナル土音ハ非回教人民ノ多ク文壇上ニ用サル所ノ言語ナルヒンヂヨ語、亞拉比亞語及ヒ比耳斯亞語ノ混合セシガ爲メニ轉訛セル一種ノヒンヂヨ語ニシテ回教人ノ談スル所ノヒンヂヨ語ニ即チウルヨ語ニ加テ本若語馬刺他語ガセラ、チー語、等ナリ德干即チ温都斯坦半島ノ

南部ヨ行ハル、所ノ言語ハ梵語ノ僅ニ轉化セシモノヨシテ太
タ韃靼語ニ近シ、之ニ屬スル所ノ土音ハタルグ語、タミール語、
カナリース語、シンガリース語、即チ錫蘭語等ナリ

回教人及他宗ノ人民

回教ヲ信奉スル所ノ人民ハ全國人口ノ十六分ノ一ニ居ル此徒
ノ情態ヲ視ルニ八百年前神ト預言者トノ名目ヲ宣揚シテ其教
法ニ歸セサル多神教ノ人民ヲ虐殺セシカ如キ殘酷不道ナル頑
狂ノ醜風ヲ解脱シテ今ハ則薄良ノ人民ナリ、且彼假令何等ノ
殘暴ヲ爲シ得ルモ忍耐剛毅ナル温都斯人民ノ如キモノニ對シ
テハ嘗テ其影響ヲナスニ足ラサルカ故ニ遂ニ意ヲ屈シテ好義
ヲ温都斯ニ締ヒ混同一和シテ共ニ生計ヲ營ムコト數百年間ノ
久シキニ迄ヘリ然ルニ温都斯人民ハ未曾テ其持論風格ヲ變セ
シコトナキニ回教人民ハ却テ爲メニ浸潤セラレテ其風儀習俗
ニ慣レ既ニ百年前ヨリ頗其狀態ヲ更メシモノ、如シ、且大ニ
其民間ノ禮儀ニ感スル所アリテ之ヲ賞揚セリ、蓋シ印度ノ回
教人民ハ温都斯人ニ比スレハ智能多ク力量闊略也卓絶スレ
ドモ性質傲慢ニシテ妬忌ノ情甚タ深ク且貪婪飽クコトヲ知ラ
ズ其忠實何如ニ至リテハ英國政府モ亦大ニ疑懼スル所アリト

云、或ハ地方ニ從ヒ回教人民ノ數温都斯人民ト折半シテ過不
及ナク互ニ懇睦親和ノ体ヲ爲スニ至ルモノアリ
此二種人民ノ外特別殊異ノ人種アリテ滿地ニ散布シ或ハ往々
山地ニ定息ス、願テ古代ノ事跡ヲ追察スルニ現今印度ノ國民
タル温都斯人ハ必他邦ヨリ侵入シテ之ヲ奪取セシモノナルヘ
シ、世ノ公議ニ據レハ温都斯人ヲ以テ元來イラン即チ比耳
斯亞國ヨリ興リテ此地ニ侵入セシモノトナスニ似タリ而シテ
夫ノ人口稀疎ナル殊異ノ人種ハ乃チ嘗テ印度國ニ居住セシ正
直ナル國民ノ裔孫ナルヘシ、其内世人聞知スル所ノ人種ハゴ
ンド、ピール、右利カシス、ノ四族ナリ、或曰ク今ガセラットニ停
住スルカシス人種ハ往昔歷山王ノ攻擊闖入セシ時本若地方ニ
據有セルチヤッチーノ裔孫ナラントカンデイニスニ住スルビー
ル人ハ盜ヲ事トシテ生ヲ營ミシモノナリヲ百方勸誘シテ安
穩ナル職業ニ就カシメシコトヲ試ミシニ大ニ其功ヲ奏スルノ
喜悅ヲ得ルニ至レリ
バルシーハ數百年前回教人ノ比耳斯亞國ヲ據奪セシ時其地方
ヨリ印度ニ遁逃セル太古ノプロースタル教ヲ信奉スル比耳斯
亞國人ノ來リテ殖民セルモノ、後裔ナリ、多クハ孟買及ヒ其

傍近ノ地ニ住居シテ土民中富豊ノ一種族ヲナセリ

從來温都斯人ハ頑然舊生計ヲ固守シテ變更セザリシカ今日ニ
迄ヒテ頗ル歐洲ノ風儀ニ薰陶セラレ、所アルヲ見タリ、甲谷
他其他ノ劇市ニ住スル富豪ノ土人ハ其衣服家什ヨリ以テ一家
ノ經理ニ至ルマテ一ニ英人ニ模倣セサルナリ以テ英民ニ締交
セソコトヲ欲スルモノ其半ニ過リ然レドモ倣倣大ナル英人
ト歡情相洽カラシハ實ニ土人ノ得易カラサル所ナルヘシ、此

地ニ於テ英人ノ舉止進退ヲ視ルニ極メテ節度ヲ失ハス信ニ賞
賛ニ足ルモノアリト雖モ其土人ノ歡情ヲ得テ交誼相孚スルニ
着意セサルハ亦爲メニ責言セサルヘカラス、高僧ヘーベル曰
英人ノ漫ニ其生地ノ文明國タルノ品位ニ驕リテ尊大自善スル
モノ、多キハ日夜之ヲ聞見シテ耳目ノ厭忌スル所ナリ、本地
ニ來リテ電勉拮据スル吾儕ノ勞劬ヲ妨クルコト太々輕少ナラ
ズ其舉動實ニ憎ムヘシ、是レ固ヨリ非義不正ノ罪ヲ犯シ刻惡
殘毒ノ暴ヲ逞スルニアラサレトモ土民ヲ蔑視シテ之ト交誼ヲ
結フコトヲ耻テ言語應答ノ間毎ニ尊大倣倣ヲ極メタリト
又英人ト土人トノ間ニ生出セル一種人アリ英人ノ之ヲ賤ニス
ルコト尤モ甚シ通常此人種ヲ印度英吉利ノ半生人ト稱ス甲谷

他住民ノ一派ニシテ日ヲ追フテ蕃殖シ剛膽銳志ナル人民ナリ
スタザム曰印度英吉利ノ半生人ハ強半富豪ナリ且或ハ博識多
才ノ士アリテ近隣歐洲人中學士ノ名聲高キモノト並ヒ立テテ
肯テ下ルヲ見スト雖モ歐洲人ノ此民ヲ輕侮スルコト峻刻ニシ
テ實ニ言フニ忍ヒス、若シ歐羅巴ノ女子アリテ印度英吉利ノ
半生人ト婚姻ヲ結フコトアレハ假令其家ニ巨萬ノ資ヲ累ルモ
即日上等社會ノ交誼ヲ拒絶スヘシト

村里ノ狀態及產物

沙漠無涯ノ沃地ナル孟加拉及ヒ其他凡ソ耕耘スヘキ地方ニ至
リテ農夫ノ技藝ヲ觀ルニ太々粗惡ニシテ曾テ想像セシ所ニ異
ナラス早晚尤モ改更ヲ要ス而シテ之ヲ勸奨シテ好良ニ赴カシ
ムヘキノ捷路ハ才能有德ノ歐人ヲ遣リテ此地ニ移住セシムル
ノ外別ニ其方略アルヲ見ス、孟加拉内泔水ノ陸地ニ汎濫スル
地方ハ稻ヲ以テ雨節收穫物中ノ最ト爲ス若シ夫レ雨水ノ集積
氾濫シテ茫然陸地ヲ沒スルニ當リ稻禾成長シテ其幹已ニ高ク
時方ニ成熟スルニ至ルヘハ農夫ハ小舟ヲ浮ヘ水面ニ循フテ穗ヲ
刈リ以テ之ヲ收穫ス

泔水瀝滌トシテ未低落セサルノ時ニ當リ、農夫ノ市場ニ赴ク

モノハ必老ヲ援テ賦ヲ負ヒ學家相携ヘテ去ル、蓋シ其情ヲ察スルニ船ヲ出スノ後或ハ水量暴漲シテ爲メニ家屋ヲ流没セラシムル、モ亦之ヲ何如スルナシ唯織コ一家相保シテ恙ナキヲ僥倖スルモノ、如シ豈ニ愴然心ヲ動カサ、ルヘケンヤ抑稻ハ多量ノ熱氣ト潤濕ヲ要ス則夏日ノ收納物ニ屬ス故ニ十一月ヨリ四月ニ至ルノ間爽涼乾燥ノ氣候ニ方リ別ニ大小麥豆類ヲ播種シテ之ヲ收穫ス是レ皆潦水ノ陸土ヲ浸灌スルヲ待タスシテ暢茂成熟スルカ故ニ之ヲ早節收穫ト稱ス、稻ハ霜潦集積シテ洪水暴漲シ陸土變シテ江海ヲ爲スノ時ニアラサレハ成長充實セサルカ故ニ之ヲ雨節收穫ト稱ス、乃チ播種收穫ノ期各兩度アル所以ナリ一千八百五十五年印度ヨリ英國ニ輸送セシ穀類ハ米千四百萬クウォートル一クウォートルハ五小麥一百五十萬クウォートルヨリ少カラズ又米麥ノ如キ定期產物ノ外更ニ終歲常期夥多ナル穀類菜蔬アリ常ニ能シ耕者ノ劬勞ニ報イテ未嘗テ一日モ其不足ヲ覺エサラシム

孟加拉ノ農夫ハ上ニ職セル穀類菜蔬ノ外ニ價格貴重ナルモノ、一ヲ青黛ト曰フ是レ一種ノ灌木ナリ樹幹矮小ニシテ花葉ハ英國尋常ノ莠ニ酷肖シ殆ド其眞偽ヲ分ツヘカラス雨節水田ニ

播種シテ之ヲ培生シ花未開カサルノ前ニ數其葉ヲ剪採シテ之ヲ製ス若シ發蕾放花ノ後ニ至レハ其葉乾凋シテ大ニ汁液ヲ咸シ青黛ヲ得ルノ量甚ク少シ其製法先ツ之ヲ桶中ニ入レテ水ニ浸シ極メテ之ヲ舂搗スルノ後布巾ヲ以テ漉過シ汁液ヲ取リテ淺盤ニ盛り陰室ニ置テ水氣ノ揮散スルヲ待ツ、是レ印度ノ如キ燥炎ノ地ニ在リテハ尤モ容易ト爲ス既ニ乾涸スルコト及ヒ青黛ハ盤底ニ沈澱附着シテ一層ヲナセハ便チ成ル能ク此事業ヲ成就セント欲セハ重大ノ器具ヲ供ヘ夥多ノ費用ヲ供セサルヘカラス、故ニ國ニ動亂ノ變ナクハニ安堵ノ念アリテ莫大ノ資金ヲ給與スルモ患害ノ懼ナキ治平ノ時ニアラサレハ其利益ヲ生セントト太々難シ、然レドモ現今之ヲ生スルモノ大ニ利潤アリテ新ニ國富ヲ致スノ一基原ヲナセリ、安瀾河ニ循ヒテ上流ノ地方ハ一年三回之ヲ剪採シ下流地方ハ一回ニ過キス潦水陸土ヲ浸淹スルノ年ハ茂育シテ富實ト稱シ旱乾ニシテ降雨稀ナルトキハ凋枯シテ凶ナリ、每歲輸出スル所ノ總量一百萬ポンド以上ナリ、即チ市場ニ賣買スル青黛總額ノ六分ノ五ナリ、其價額ハ孟加拉領ヨリ歐洲ニ輸出スル所ノ百般物貨ノ價

格ニ匹敵スト云フ

絹ハ孟加拉及ヒブリッソノ内北緯二十二度ヨリ二十六度マテノ地方ニ於テ大ニ蠶種ヲ養テ之ヲ製成ス其賣買ハ今日尙專ラ會社ノ握中ニ在ルモノ、如シ、其品多クハ印度產ノ蠶ヲ以テ製シ其繭ヲ生スルコト一年四次或六次ノ多キニ至ル、五十年前伊多利產ノ蠶子ヲ此地ニ搬輸シテ以來專ラ之ヲ養フモノアリ繭ヲ成スハ一年一次ナレドモ絲質光澤アリテ尤モ艶美ナリ印度產蠶絲ハ歐洲諸國ノ最上品ニ比スレハ粗惡ナルコト甚クシテ以テ國產トナシ難シト雖モ其價格ノ廉下ナルヲ以テ世普ク之ヲ用ケル一千八百五十五年不列顛國ニ輸送セシ量數ハ一百三十四萬四千四百二十二ポンドニ至レリ

木棉ハ三領國中皆古來人民ノ播種製造スル所タリ短棉絲ト稱スル一種最モ多シ其品位粗惡ニシテ且晒曝ノ方長カラサルカ故ニ之ヲ不列顛ノ市場ニ賣買スル儘ニ利米堅短棉絲ノ代價三分ノ二ニ當レリ其内上品ハ孟買ニ生シ中品ハ馬噠ニ生シ下品ハ孟加拉地方ヨリ出ツ、之ヲ播種スルハ全ク土人ノ手ニ委シテ歐洲人ハ絶テ干預セス、是其粗惡ノ甚シキ所以ナリ、蓋シ米利堅人ハ常ニ新樹ヲ播種培養レカメテ其利益ヲ増加スレド

モ未嘗テ印度人ノ此ニ注意スルモノアルヲ聞カス、是ヨリ先會社ノ許可ヲ得或ハ有志ノ士相謀リテ此地未嘗有ノ美質棉樹ヲ培養生殖セルコトヲ欲シ屢實際ヲ經驗セシモノアリシカ皆一跌復振ハスシテ其努力水泡ニ歸シ秋毫ノ成績ヲ見ス、若シ歐洲人ノ資金ト熟達トヲ藉リテ本土棉絲ノ製作ニ從事セシメハ必大ニ其質ヲ改良シテ品位精好ナルモノヲ生シ之ヲ輸出シテ以テ世ノ聲價ヲ得ルニ至ランコト斷然疑ヲ容レサル所ナリ不列顛ニ輸入スル所ノ棉絲ヲ算スルニ每歲其數額ヲ増ス即チ一千八百五十一年ハ一億四千一百四十四萬六千七百九十八ポンドナリシカ一千八百五十六年ニ至リテ一億七千七百七十七萬五千五百十ポンドニ上レリ

甘蔗ヲ培養スルハ孟加拉其他印度諸國ニ於テ利益アル事業ナリト雖モ多クハ内國用ニ給スルヲ主トシテ纔ニ土民ノ之ヲ製スルニ過キス、而シテ其幹ヲ舂搗スルコトノ甚ク精好ナラサルノミナラス、凡ソ製法ノ粗惡ナルカ爲メニ此地方ヨリ出ス所ノ砂糖ハ西印度ノ製品ニ比スレハ下ルコト數等ナリ、印度地方產物ノ景況ヲ通覽スルニ皆精良ナラス砂糖ニ至リテ最其粗惡ヲ極メリ、現ニ其修長ヲ加フヘキ條件ノ多キハ枚舉スル

ニ違アラス、蓋シ甘蔗ヲ培養スルハ其事業ニ鍊達セシモノアリ、厚ク之ヲ保護シテ瞬間モ放下セサルコトヲ要ス而シテ壓搾機械ハ其價太貴キヲ以テ巨萬ノ資本ヲ要スルニアラサレハ購得スヘカラス

西印度産ノ砂糖ハ初メ特殊ノ輸入税ヲ納レテ政府ノ保護ヲ仰キレカ今日既ニ之ヲ廢止セシハ東印度産ノ砂糖ヲシテ精良ナラシムルノ巧ヲ奏スヘキノ秋ナリト謂フヘシ

一千八百五十六年不列顛ニ輸入スル砂糖ハ一百万ポンドレツドウエート一ポンドレツトウエートニ過キタリ

鴉片ハベハアル地方ノ産物ニシテ會社ノ專賣スル所ナリ、又マルウ、其他ノ土人國ノ産品ヲ他邦ニ輸送スルカ爲メニ路ヲ英領ニ假ルモノハ必通路稅ヲ出サ、ルヘカラス、一千八百五十六年印度ヨリ支那ニ輸入セシ所ノ鴉片殆ト千萬ポンドナリ

行ハ專ラ孟加拉領ニ於テ培養生殖ス籐篋ノ一種類ナリ、其最モ高キモノハ四十フートノ上ニ矗立ス、從ヒ二年ヲ歴レハ、全ク成長ス其堅硬ナル木材ノ尤モ堅牢ナル者ニ變ラス、形狀ハ甘蔗籐篋ノ如ク籐節相次テ、其中ハ空洞ナリ擔夫之ヲ取リテ

サルモントス

マルゲアス、ラシカガブスノ如キ人口稠密ノ地ニ於テ全島只椰子樹ヲ栽培シテ他種ヲ作ラサルヲ以テ之ヲ見ルヘシ

印度國內地ニ在リテハ茶木好ク蕃殖茂生ス後來必此國ノ市場ニ於テ茶ノ切要ナル地位ヲ占メント預知スヘシ、北緯二十六度ヨリ二十八度ニ達シ、東經九十四度ヨリ九十六度ニ巨ル所ノ一地方ハ全土茶木蕃生シテ剩地ナシト云フ其品質ハ支那産ト同シ孟加拉西藏ノ間ニ介在セル地方アササムニ於テ茶ヲ培植シ之ヲ製シテ大ニ貿易品ヲ生センコトヲカメ一千八百三十八年其製茶九十箱ヲ倫敦ニ輸送シタルニ上等ノ品價ヲ得タリ、此地ハ支那國ヨリ採茗製茶ノ業ニ鍊達セシモノヲ聘シテ之ニ從事セシム、是ニ於テ一社ヲ結ヒテアササム製茶會社ト稱シ方ニ協力奮勵シテ毫モ其間斷アルヲ見ス後日ノ盛大期シテ待ツヘシ、又北西地方ニハ製茶園ノ數甚多ク土着ノ郡吏モ亦カメテ之ヲ培養スルニ至レリ

首府

英領印度ノ首府甲谷他ハ安額河ノ支流布具利河ノ東岸ニ沿ヒテ經營シ海ヲ距ルコト一百マイルニシテ北緯二十二度二十三

機棒トナシ重量ヲ搬送スルニ絶テ攪折ノ患ナシ又家屋ノ柱梁トナス、體ノ外部ニ漆ノ如キ質アリテ濕氣ノ内部ニ浸潤スルヲ防ク故ニ百年ノ久キヲ經ルモ朽腐スルコトナシ、又以テ橋梁ヲ架スヘク小舟ノ桅竿トナスヘク其供用スヘキモノ勝テ數フヘカラス、加之ニエトクルノ地方ニ栽培シ剪伐賣鬻シテ得ル所ノ利益ト他種ノ樹木ヲ生殖シテ得ル所ノ利益トヲ比較スルニ前者ノ利ハ後者ヨリモ多キコト十倍ナリト諺ニ曰ク千畝ノ竹アレハ其富王侯ニ敵スト亦虛語ナラス

印度ノ産物許多アリト雖モ貧民ノ取テ以テ百般ノ用ニ供シ且其價太廉ニシテ衆庶ノ充用匱乏セサルヲ得ルハ獨リ竹材ノ恩惠ニ如クモノアルナシ、若シ夫レ孟加拉ノ如キ沃饒ナル地方ノ植物ヲ歴舉スレハ只其名ヲ識スモ一小冊子ヲ成スニ足ルヘシ、故ニ今其二三ヲ此ニ錄ス 蔦草油菜 專ラ油 胡椒 瓜 印度 瓢 瓢ノ其他種々ノ植物アリテ許多ノ收納物ヲ生ス、菓樹ハ芒果樹 英 桃樹ノ 棗樹 枸樹 ガブア 柿 似テ 石榴樹 等ナリ、其他暖國ニ蕃殖茂生ノ海濱地方隨在産セサルナキ者ハ椰子樹ナリ、此樹ヨリ生スル所ノ物品種々アリ皆人生ニ切要ナルヲ以テ其生殖スル所ノ國土ニアリテハ實ニ生命ヲ滋養保護スルニ欠クヘカラ

分東經八十八度二十八分ノ地位ヲ占メ、其市街ハ河畔ニ循ヒ

テ四マイル半ニ綿亘セリ西方ハ安額河ニ臨ミ南方ハ原野ニ連リ南ヨリ之ヲ望メハ希臘建築法ノ支柱高臺ヲ構造セル家屋屹立櫛比シテ儼然タル一盛都府ノ壯觀アリ、ウキルレム堡ト市街トノ間ニ潤大ナル空地ヲ存シウエルレスレト侯ノ構造セシ新築ノ政廳其傍ニ巍峨タリウキルレム堡ハロールドクライフノ築造セシ印度國中ノ堅城ナリ、但城内太曠濶ニシテ募兵ヲ以テ守ル能ハス大砲十九門アリ、又市民議院、裁判廳温都斯學校數字、督教主學校、亞細亞會社議院メトカルフエ、ホール、等アリ皆公立共有ニ屬ス其教法ニ附屬スル所ノ舍屋ハ温都斯教ニ屬スルモノ百六十七回教ニ屬スルモノ七十四英國教ニ屬スルモノ新築ノ教聖ポール堂ヲ合シテ八蘇格蘭國教ニ屬スルモノ一自由教ニ屬スルモノ一復洗教ニ屬スルモノ三インデペンデントニ屬スルモノ二天主教ニ屬スルモノ五合計二百六十一宇ナリ、甲谷他ハ英國督教主ノ領地ニシテ五千ポンドノ歲入ヲ收ム、康衢ハ家屋壯麗觀ルヘシト雖モ陋巷隘衢ハ皆土人ノ居息スル所ニシテ暗冥慘慄トシテ一道ノ獄舎ニ異ナラス、街路ハ彎曲屈折シテ冥道陰市ニ入ルカ如ク泥土ヲ塗抹シ以テ曝乾セ

矮舎アリ竹材ヲ屈撓編綴シテ構造セル陋屋アリ粗惡ノ煉化石ヲ以テ構造セシ市場アリ汚水濁椰樹茸蒙トシテ隘陋ナル林園其間ニ錯雜シ一モ矩準アルモノヲ見ス、豪民ノ住屋ハ其工作精好頗見ルヘキアリト雖モ亦汚穢不潔ナルヲ免レヌ世ノ鴻益ヲナセリト稱スルビシヨッブ、ヘベルノ報道書ニ曰縱ヒ倫敦ノ如キ盛都ニ在ルトモ決シテ見ルヲ得ヘカラサル所ノ道路ニ群集スル人民ノ景況ヲ此ニ載録スヘシ、我輩街頭ニ立ナテ四顧觀望スルニ人民ハ絹帛錦繡ヲ服スルモノ稀ニシテ素朴ノ棉衣ヲ着テ腰間纒ニ尺餘ノ布幅ヲ纏ヒ四肢ヲ呈露スルノ黒色人多シ、又髮髮ハ紊亂糾纏シテ黒糸ヲ束テクルカ如ク面ニ白粉ヲ粧ヒ或ハ黃彩ヲ施シ膚色青蒼タル垢手ニ念珠ヲ拈リ哀叫號呼シテ惠徳ヲ得ンコトヲ乞ヒ道路ニ彷徨シテ生命ヲ續ク貧僧アリ、其妻嫁スルヤ新婦ハ必閉鎖シテ外ヲ覩フヘカラサルノ肩輿ニ乘リ新郎ハ必馬ニ跨リ其頸ニ纏ヘル花環ハ累々堆テ成シテ殆ト其面貌ヲ隱蔽セリ、商人ハ種々ノ物品ヲ土上ニ亂攤シ躬ヲ中央ニ坐シ以テ之ヲ鬻キ、老夫問人ハ裸體ニシテ平坦ナル屋上ニ兀坐シ其狀恰モ猿猴ノ樹枝ニ緣リ遊行スルカ如ク車ハ牝牛ヲ輓ヒテ之ヲ牽カンメ御者鞭策ヲ執リテ撻ッ

コト太々烈シク其面貌猛犸ニシテ見ルモノハ必畏怖セサルナシ、是一事ヲ見ルモ婆羅門教ニ説ク所ノ仁慈愛敬ノ意果シテ何ニ在ルヤ益以テ我輩カ考案スル思想ノ誤ラサルコトヲ知ルコ足ル、毎ニ女子ヲ見ル稀ナリ其偶相逢フハ皆卑賤ノ婦トス然レトモ亦重大ノ銀粧ヲ以テ膚色黧黒ナル手足ヲ飾レリ、其從臣銀鞭ヲ執テ車前ニ先導シ人群ヲ叱咤シテ路ヲ辟ラカシムルハ貴顯人ノ來往スルナリ、其深紅ノ幕ヲ周張セル陸車ノ轆轤タルハ城里ニ住スル親ノ遊行スルナリ、此國車轂ニ脂サスヲ知ラス故ニ其聲軋々泣クカ如ク四方ニ響シ其神ヲ拜スルヤ號呼喧嘩ヲ打シ鼓ヲ鳴ラシ其音鐘々鏡々トシテ耳竅ヲ穿ツ而シテ蕊根椰子油酸氣醋濁溝ヨリ騰蒸スル毒氣臭氣ハ街頭ニ充滿セシ、是乃世ニ甲谷他ノ冥街ト稱シテ有名ナル一市ノ真景ナリ讀者以テ其異風奇狀濫聲臭氣ノ何如ヲ略解スヘシ河畔ノ港灣ニロルド、ヘースチングノ築造セシ壯大ナル埠頭ヨリ佇立シテ市中ヲ望メハ耳ヲ抑ヘ鼻ヲ掩ヒ呼吸ヲ屏塞スルノ煩累ナク一目以テ夫奇觀ヲ了スヘシ、港灣ヲ顧眄スレハ大小ノ船舶投錨シテ帆檣林立ス客ハ則亞拉比亞人印度人來由人米利亞人英吉利人アリ、又婆羅門教徒其他ノ教徒雜集シ時

々河水ニ浴シテ真心ニ祈禱ス其聲水ヲ度リテ瓏々聞クヘシ日既ニ没スレハ燭ヲ點シテ河水ニ投シ其能ク漂蕩流水ニ從ヒ晃々トシテ火光ノ滅セサルモノアレハ此ヲ以テ信心ノ篤キヲト敬神ノ深キヲ知ル凡事皆此ノ如ク耳聞目見スル所ノモノ一トシテ奇異ナラサルハナク周搜羅記シテ餘興ヲ盡サント欲スルモ能ハス、是レ實ニ他處ニ在テ見ルヲ願フモ能ハサル所ナリ、近世甲谷他ハ其面目ヲ改良スル所アリテ數澤ハ之ヲ刈割変除シ路側ニ溝渠ヲ穿テテ水路ヲ開キヨク溷濁ヲ浚疏セリ、甲谷他ノ位置ハ固ヨリ四通五達ニアラサレドモ今日既ニ交易場タルノ体裁ヲ成シ河水ノ暴漲スルトキハ其橫潤一マイル餘ノ廣キニ至リ國內輸送ノ便益最モ自由ナリ、其輸入品ハ悉ク安額及ヒ其支流ニ沂リテ温都斯坦ノ西北地方ニ輸送スヘク輸出品ノ内貴重ナル物品モ亦同シシ流水ノ利ニ助ケラル、コトヲ得而シテ平常甲谷他ニ積蓄スル所ノ物品ハ其數殆ト測ルヘカラズ且買賣ノ事務甚ク忽劇ナリ、數戶ノ銀行アリテ交銀ノ便ヲ達シ活版社ハ英語新聞印度語新聞或ハ雜誌ヲ發兌シテ頗ル繁忙ナリ、教法施濟及ヒ教育ノ爲メニ設立セシ建築營造ハ其數

甚多クシテ大ニ國益ヲ興セリ、其市人ノ氣風ハ快活豪邁ヲ以テ稱セラル此地ニ住スル英人ハ頗ニ其敬禮ヲ受ケンコトヲ欲シ且傲慢尊大ナレトモ同國人ヲ款待スルノ良風アリ此地方ノ最大闕典ハ旅館歇家僑家等ノ設ナキ是ナリ故ニ男女ヲ論セス凡ソ此地ニ遊ハント欲スルモノハ知己者ノ介書ヲ得テ本地居住人ニ寄託セサルヘカラス、營生ノ費額ハ益騰上シ且現今ニ至リテハ土著侯公ノ所領ヲ沒收シテ頓ニ貨財ヲ蓄積スルカ如キノ機會ナキヲ以テ、家産ヲ隆興スルコトハ之ヲ前日ニ比スレハ甚ク困難ナリ、又死亡者少キカ故ニ益積財ノ路ヲ閉塞セリト云フ、一千八百五十年ノ人口表ヲ見ルニ甲谷他領ノ人口四十一萬三千一百八十二人コシテ其内歐洲人六千二百三十三人歐洲人土人ノ半生八四千六百五十八米利堅人八百九十二人支那人八百四十七人亞細亞洲諸國ノ人一萬五千三百四十二人温都斯人二十七萬四千三百三十五人馬哈麥坦人十一萬九百八十八人ナリ、一千八百五十年ヨリ五十一年ニ至ルマテ甲谷他ヨリ外國ニ輸出スル所ノ物品七百萬ポンド輸入品ノ價額一千萬ポンドナリ温度ハ十二月一月六十六度三月八十度四月五月八十五度六月

七月八月九月凡三十二度十一月七十四度ナリ、而シテ一年間ノ雨量ハ六十四インチナリ

馬喀喇ハ南印度政廳ノアル所ニシテ北緯十三度五分東經八十八度二十一分ノ地ヲ占メカルナリ、地方ニ在リテ孟加拉灣ノ海濱ニ臨メリ、但近海淺沙ニシテ船舶之ニ近ツクコト尤モ危險ナリ、濱岸ニセント、シオルヲ堡アリ天險ノ要害一夫千兵ニ當ルノ地ニシテ寡兵ヲ以テ之ヲ防守スルコトヲ得ヘシ、北濱ト稱スル街衢ニ税關廳裁判廳其他許多ノ公廩大屋屹立シテ壯觀ヲ極メ之ヲ甲谷他ニ比スレハ其形狀大ニ異ナルモノ多シ、歐洲人ハ皆邸外寬敞ノ地ヲ撰ミ屋舎ヲ遊園碧樹ノ間ニ築キテ其居ヲ占メ土民ノ住地ニ往來シテ以テ商事ヲ營ス、故ニ別ニ歐洲人ノ市街ト稱スヘキモノナシセント、シオルヲ稱スル所ノ寺院ハ馬喀喇中ノ最大ナル厦屋ニシテ其築造ノ壯麗ナルコト殆ト人ヲシテ恍惚昏迷セシム、蘇格蘭教ノ寺院セント、アソドレウト稱スルモノモ亦精造精巧ナルヲ以テ建築術ノ一模範タルヘシ、又施濟館許多アリ、中ニ就テ仁者ノ聲聞顯著ナルドクトル、ベル氏カラカストルノ教育法ヲ採リテ貧困孤獨ノ兒女子ヲ養育教導スル所ノ學校ハ最モ盛大ナリ、馬喀喇ノ

市民ハ甲谷他ノ如ク多種混雜セスト雖モ營生ノ狀態ハ少モ之ニ異ナルモノヲ見ス、市街近郷ノ道路ハ廣濶ニシテ最モ歐洲人ノ車ヲ行リ馬ヲ馳スルニ便ナリ、此地ノ温度ヲ均算スルニ八十度ヨリ八十七度ノ間ヲ昇降ス、人口表未整頓セスト雖トモ千八百五十年ノ官報ニ據レハ七十二萬人トス其土地ノ面積ハ廣漠ナル郭外ノ地方ヲ合計シテ三十平方マイルナリ、孟買ハ北緯十八度五十六分東經七十二度五十七分ノ地位ニ鼎峙シテ溫都斯坦ニ對面スル所ノ島中ニ在リ其面積凡ソ八マイルヲ蔽ヒ大陸ト此島トノ間ニヲ入スル所ノ港濱ヲ圍繞セリ、島中ノ地形ヲ察スルニ二帶ノ連山全土ヲ環周シ並行起伏シ其間ニ凹窪ノ溪谷ヲ挾ム、之ヲ高潮ノ水面ニ比スレハ較低下スト云フ、高潮ハ諸領國中孟買ヲ以テ尤モ不健康ノ土地ヲシムルノ原因ナリ、舊市即チ故城ハ島ノ南邊ニ在リテ公廩等多ク其地ニ建設ス、是レヨリ西北ニ向ヒ凡ソ一マイルヲ隔テ窪地ニ聚麥ナル陰街アリ降雨ノ時ニ至レハ屢水患ヲ蒙ル、歐洲人ハ多ク全島諸方ニ離散シテ相群居セシ、孟買ノ尤モ便捷ナル所以ハ海濱深ク船舶直ニ其涯岸ニ達スヘクシテ普ク航海通商ノ便利ヲ得セシムルニ在リ、且多ク宏大壯麗ナル船槽ヲ

構造シテ船舶搭載ノ便ヲ助シ、此地ハ北方比耳斯亞灣ト通シ又印度ノ南方ニ達シ以テ廣大無比ノ一大市場ナリ、木棉ヲ以テ輸出品中ノ第一國產トナス、一千八百四十九年島中ノ人口五十六萬六千人其内溫都斯人二十九萬七千人マスサルマン十二萬四千人バルシース十一萬五千人耶蘇教宗ノ土人七千人歐洲人五千人印度葡荷牙ノ半生人五千人等ヲ包含セリ、一千八百五十年孟買領ノ輸出品價額ハ六百五十萬ポンドニシテ輸入品價額ハ六百萬ポンドナリ、年間中等ノ温度凡ソ八十度ト云フ、最モ下降スル時ト雖モ七十度ヨリ下ルコトナシ雨量ノ中算ハ八十二インチナリ

雜記

以上ノ略誌ヲ看レハ印度帝國ノ幅員廣濶ニシテ其地形千態萬狀ナルノ概略ヲ了解シ又不列顛國領土中ニ在リテ樞要ノ土地タルヲ亮知スルニ足ルヘシ、凡ソ歐洲人ノ印度國ヲ歴遊スルモノハ往ク所トシテ土地自然ノ壯大沃饒ナルニ昏迷シ爽然自失シテ涎ヲ垂レサルコトナシ、此地人口ノ稠密ナル宗教ニ迷溺セル者ノ建立寄捨セシ殿宇偶像ノ舊跡ヲ見ルニ其異樣ナル昔人ノ心膽ヲ奪フコト足レリ、土民極メテ質素ノ生ヲ營ミ食料

東印度地誌

ハ調理割烹ノ煩ヲ須キス芭蕉菓椰子實冬瓜ノ如キ天生甘美味ヲ具ヘ之ヲ烹煮スレハ却テ其香味ヲ損スルモノ多シ、火食ヲ要スルノ物料ハ米穀ヲ以テ第一トナス屋舎ハ鉋鑿刀鋸ノ工飾ヲ要セサル竹幹ヲ以テ其材料トナシ、竹枝ヲ以テ之ヲ結束シ而シテ粘土盤ヨリ掘出セル泥土ヲ塗抹シ薪ニ刈ル所ノ椰樹葉ヲ以テ屋上ヲ覆蓋ス

舟船ノ機軸ハ竹幹ヲ用キテ圓板ヲ其一端ニ結束ス、帆樫ハ繩索ヲ以テ二三ノ竹竿ヲ編束ス、飲器ハ胡桃殼ヲ石上ニ磨研シテ之ヲ造レリ、飲料ノ最美味ニシテ健康ヲ補助スルモノハ椰子酒ナリ其製法先ツ椰子樹ノ撓折セル條枝ヨリ瀝滴スル所ノ液汁ヲ土壺ニ承ケテ其中ニ充テ而後其葉根ヲ縈纏スル天然篩樣ノ機衣ノ類ヲ取リテ之ヲ濾ス

平民ハ或ハ粗薄ナル衣服ヲ着ケ或ハ全ク被服セサルモノアリ兩日用セル所ノ戴笠ハ棕葉ヲ編ミテ之ヲ作り其狀箕ノ如ク以テ其頭背ヲ被フ、農工ノ術藝ハ都テ粗惡見ルヘキモノナク實ニ我輩ノ財具ト稱スヘキモノアラサルナリ、農夫ハ田畝ヲ耕耨スルコトヲ知ラス、只其上面ヲ爬搔シ又糞料ヲ用キルコトヲナサス、米麥ヲ治ムル時ハ牛馬ヲ驅リテ禾穗ヲ蹂躪セシメ

以テ其穀ヲ脱ス、鑄工ハ庭前ノ石塊ヲ採リテ鉄砧トナシ粗糲ナル山羊皮ヲ以テ風櫃ニ充ツ、靴工ハ客ノ需ニ應ジテ一雙ノ靴ヲ造ントスルトキハ今日生皮ヲ柔ニシ明日即チ之ヲ造ル竣工ノ間毎ニ客ノ門前ニ起居ス、織匠ノ機械ハ簡易ニシテ樹蔭ヲ求メテ輒チ之ヲ遷ス、織工ハ一時間ナラスシテ遷移數回スルコトアリ、凡ソ此地ノ職工ハ皆精練熟達ノモノアルナリ故コ工銀ノ廉ナルハ他處ニ無キ所ナリ、人民多クハ素朴貞實ナリト雖モ間亦偽詐姦惡ヲ事トシテ慧猾老手ナル蠻民夷族ナキニアラス、遊歴者ノ言ニ據ルニ内地ニ入りテ周覽セント欲スレハ必從士或ハ護兵ヲ伴ハサルヘカラスト、古來其逕路ヲ稱シテ認知スヘカヲサルノ隘逕ト曰ヘリ蓋シ亦畏途ナリ、行車ノ道ニアラサレハ旅客或ハ馬ニ乘リ象ニ騎シ或肩輿ニ扶ケラレサルヲ得ス、且前ニ誌セルカ如ク宿舎旅亭ノ設ナキカ故コ亦必食料帳幕ヲ携帶セサルコトヲ得ス

一タヒ此蠻族ノ手ニ落ルモノハ必絞殺セラレテ復タ免レス世ニ傳フヤグスハ人ヲ屠戮スルヲ以テ其教旨ニ適ヘルノ行事ナリトシ決シテ罪惡トナサスト豈亦怪奇ノ甚シキナラスヤ然レドモ嚮ニ英國政府ノ懲殺スル所トナリテ今ハ既ニ其類ヲ絶チタリ

現今鼎足ノ威權ヲ逞フスル印度國ニ教主ノ盡力又此宗教ニ隸屬スル諸盟會ノ單精及ヒ其他許多ノ耶穌教徒アリテ異教人民ヲ改宗歸真セシメ以テ其風俗ヲ更革善長センコトヲ務ムル茲ニ年アリ然レドモ其全局ヲ察スルニ未嘗テ尺寸ノ成績ヲ見サルモノハ抑亦故アリ、夫レ温都教ヲ廢棄スルキハ勢從テ亦其類族ヲ殄滅スルニ至ラサルヲ得ス而シテ荷モ之ヲ變動スルヲナセハ則チ大ニ民心ニ乖戾スル所アリテ頓ニ擾亂ノ禍ヲ致スコト猶ホ之ヲ龜ニトシテ錢ニ鑑スルカ如ク是乃改宗ヲ拒絕排斥スヘキノ險堡ニシテ勸掖訓誘ノ力以テ之ヲ打壞勦滅スル能ハサル所以ナリ、故ニ印度人民ノ教宗ヲ更改シテ其成績ヲ見ント欲スルモノハ惟通常普通ノ致智格物ヲ以テ民間ニ教訓スルノ良キニ若クナシ、蓋シ其地ノ教宗ハ物理學上ニ關スル所ノ正理ニ抵觸スル陋語誕言甚多シ則チ日用ノ實學ヲ講明シテ

之ヲ教育訓導スルハ正ニ其根據ヲ打破スルノ良策ナリ、一千八百四十八年ヨリ同五十六年ニ至ルマテ八年間ローラドナルハ一シ一印度國ヲ統攝シタリシカ其在職中印度國ノ改良進歩ヲ聞クニ政府ノ熱心苦慮スル所ハ唯教育ノ一點ニ在リテ許多ノ學校ヲ興シ以テ人民ヲ智テ普ク學ニ就カシメ甲谷他ノ温都校ヲ再興シテ大ニ之ヲ改良シ、又孟加拉ノ幼年者ヲシテ高等ノ教科ヲ學ハシメンカ爲メニ新ニ領司學校ヲ甲谷他ニ創立セリ、馬六甲孟買兩地ノ學校ヲ設クルモ蓋亦同時ニシテ均シク其力ヲ此事ニ盡セリ、故ニ若シ教育上ノ盟會アレハ政府必之ヲ補助シテ學校ヲ督スルコトヲカメタリ、又甲谷他孟買馬六甲ノ領國ニ於テ一定ノ學制ヲ遵守スル所ノ學校ヲ建設スヘキ方法ヲ熟議センカヌメニ別ニ數人ノ委員ヲ命ジ、且特ニ文部ノ一省ヲ政府ニ置キテ普ク諸國郡ノ教育事務ヲ提督スル所ノ司長ヲ任セリ

東印度會社ハ一千八百五十四年ニ編成セル公文ヲ以テ印度國ノ全地内苟モ教育ヲ受ケント欲スル土民ハ障礙ナシ之ヲ授教スヘキ教育ノ方法ヲ制定セリ且女子教育ノ事務モ亦大ニ政府ノ補助スル所ナリ

今ヨリ二十年前ハ東印度會社及ヒ其他ノ商人モ皆大西洋ヨリ喜望峯ヲ歴航シ五月ヲ經テ始テ印度地方ニ達セシカ、今日ニ至リテハ郵便輸送若クハ急行ノ客ハ都テ地中海ヨリ埃及國ヲ經テ紅海ニ出テ孟買ニ達スルノ捷路ヲ航セリ、然レモ商船ノ如キニ至リテハ曩日ノ線路ヲ改ムルコトヲナサス

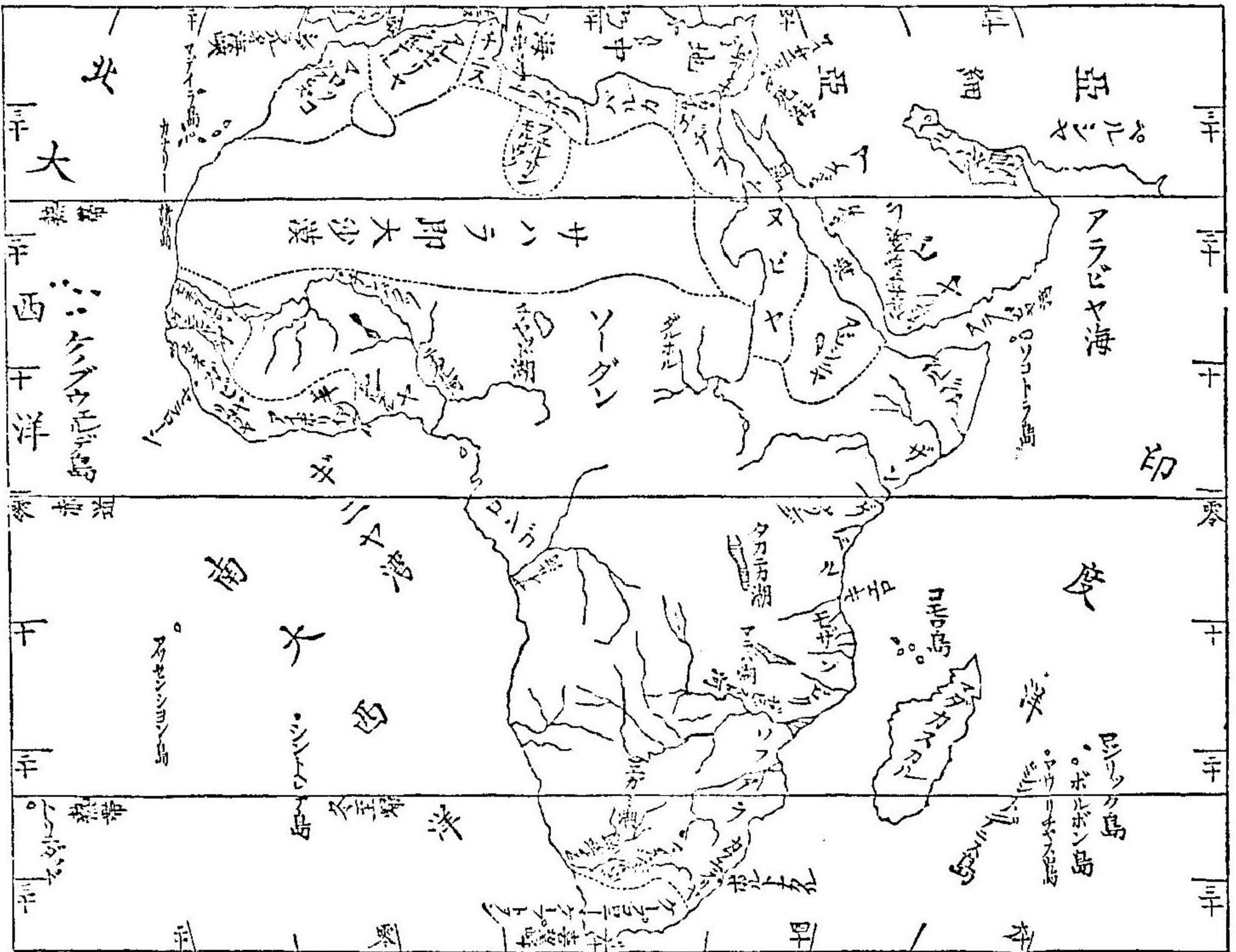
夫ノ捷路ノ由ル所ヲ詳記スルニ首ニ佛蘭斯ヲ橫行シテマルセルニ至リテ瀕船ニ駕シレシホルン、ラブルスノ海港ヲ歴テマルタニ達シ再ヒ他船ニ搭シテアレキサンドリアニ到ル否テサルモノハソノサンプトンヨリ瀕船ニ駕シ直航シテアレキサンドリアニ達シ是地ヨリ溝渚ヲ度リテ拿耳河ニ出テ舟行シテカイロニ到リ陸路蘇士嶽ニ赴キ再ヒ瀕船ニ駕シテ紅海ニ浮ヒ亞典ニ暫停シテ孟買ニ達スルナリ、

印度國ノ通貨ハ金貨甚ダ少ナシ、多ク流通スル所ノ貨幣ハルビト稱シテ英銀ニシルリシ、我ニ十四銀ナリニ對スルモノナリ、ムシロトチノ書ニ據ルハ(會社)ノ定規トスル所ノ實價即チ原位ルビノ實價ハ一シルリシ十一ペンニー一ペンニ錢ナリ、シクカ、ルビ一ハ二シルリシ半ペンニーナリ、ラック、ヲフ、ルビ一ハ十萬ルビ一ニ當ル即チ英銀一萬ポンドナリ、シ

ローブ、ラフ、ルビ、ハ一十萬ルビ、即チ百萬ポンドナリ

久保吉人 校

東印度地誌畢



亞弗利加地誌

亞弗利加地誌

鈴木良輔 譯

亞弗利加ハ大洲中ノ一コシテ、延袤ノ廣大、亞細亞ニ亞クト雖モ、人民ノ開化ハ遠ク各大洲ニ及ハズ、地位ハ東半球ニ在リテ、歐羅巴ノ南、亞細亞ノ西ニ跨リ、北緯三十七度ヨリ南緯三十四度五十分ニ達シ、西經十七度三十分ニ起リ、東經五十一度三十分ニ終ル土地ノ形狀、不等三角ニシテ、尖端南ニ突出シ、北ニ地中海アリ、東ニ蘇彝士地峽、紅海及ビ印度洋アリ、西部ハ全ク大西洋ナリ、故ニ四境幾ント海水環繞シテ、纒カニ七十二英里（以下何里トナ英國ノ里）ニシテ、海面ヨリ甚ダ高カラザル一地峽アルノミ、且ツ夫レ地峽ノ一部分ハ鹹湖及ビ卑濕ノ地ナルガ故ニ、若シ之ヲ鑿通シ、地中海ト紅海ノ間ニ航路ヲ開カント、欲セハ最テ難キコトニアラザルベシ、全國周圍ノ海岸ニハ、數處ノ灣岬駢列シテ、就中最モ顯著ナルモノハ、西濱ニアリテ、ハ幾内亞灣ナリ、其他別威德望峯及ビガルマフイノ四岬、各々分レテ、北西南東ノ四端ニ在リ、○全洲ノ南北最モ長キ處ハ、四千九百八十五里ニシテ、東西最モ闊キ處ハ、四千六百十五里ナリ、故ニ其幅員ハ、近海ノ諸島ヲ合算スレバ、大凡ソ一千二百八十五萬四千方里ニ下ラスト

地勢ノ概略

云フ
 亞弗利加ノ地勢ト地質ニ於テハ未ダ吾人ノ聞見セサル所多キヲ以テ固ヨリ之ヲ詳載スルヲ得スト雖モ既ニ今日マデ多少探訪シ得タル所ハ摩洛哥阿爾及里塞内爾比亞沿海ノ地上下兩幾内亞及朴哥羅尼亞比西尼亞尼羅ノ河畔及ヒ撒哈拉(即チ大)ノ道路等ナリ然レモ方今好事家多ク其地ヲ跋涉シ専ラ搜索ニ從事シテ日々其密查シ得ル所ハ報道スルヲ以テ將來吾人ヲシテ漸々亞弗利加ノ地誌ヲ完全ナラシメントス

一千八百四十九年南亞弗利加ノ宣教師ナルリーヴンストン氏宣教師ノ北端ヲ發シ北ニ向テ進行スルヲ數百里ニシテ南緯二十度東經二十三度ノ地ニ至リ納米ト云ヘル湖水ヲ發見シタリ爾後再ビ西濱ノ鯨魚灣ヨリ又此湖水ニ到着セリ○後二年同氏復タ北方ニ進入ノ撒皮西河(當時ハ其名ヲリ)ヲ發見セリ是レ即チ此全洲ノ中心ヲ流ルハ大河ナリ○一千八百五十二年同氏歸路北方ニ向ヒ河流ヲ溯ルヲ數百里ニシテ又其支流ナルリーハ河ニ從ヒ愈北ニシテ南緯一十一度三十分東經二十二度三十分ノ地ニ至ル是レヨリ内地ヲ經歷シ西濱ニアル葡萄

牙ノ所領昂哥拉ノ羅昂(南緯九度)ニ達スルヲ得タリ而シテ始メ出發セシ所ノ撒皮西河畔ニ歸リ再ヒ勇奮シテ其東流ニ沿ヒ南緯十八度ニ當レル東濱ニ到レリ○斯ノ如ク古來人跡ナキ地ニ於テ新ニ一道路ヲ開キ遂ニ南亞弗利加内地ノ形勢ニ就キ從來ノ臆說ヲ一變セリ○古來各地ヲ以テ潤澤ナキ瘠土トノミ想像セシガ今リイヴンストン氏ノ過ル所水給リ人足リ地トシテ豐饒ナラサルナシ故ニ若シ他日貿易ヲ開キ教化ヲ布クニ至ラハ其繁殖殆ント期スベキナリ○同氏リーハ河ヲ發シ昂哥拉ノ境ニ至ル迄北方ニ向テ進行セシトキ二大河ノ支流ヲ渡リシヲ亦少ナカラス○土人ノ說ニ據レハ此二大河ハ共ニ遠ク北流シテ後チ西部ニ屈曲シ五ニ會合シテ一大河ト爲ル即チザイル一名公額是ナリ而シテ其末流ハ大凡ソ南緯六度ニ至リテ大西洋ニ流注ス

其他ガルダフイー岬ヲ以テ東端ト爲セル半島國(即チソマラ地)モ亦近來漸次搜索スルヲ得タリ○一千八百五十四年ニ於テリウテナント(武官)ブルトン氏亞丁海港ノ名ト相對スル亞弗利加ノ海濱ナル伯爾伯拉威ヲ發シ西南ニ向テ進行スルヲ凡ソ二百里ニシテ哈拉兒(歐羅巴人ノ會テ至)ニ達セリ此ノ哈拉

兒ハ回教宗徒ノ都城ニシテ民口一萬アリ又其周圍異教ヲ奉スル牙拉人種居住セリ○此ノ都城ハ東方ノ各國ト奴隸ノ賣買ヲ開ク市場ナリ而シテ全國ノ物産ハ最上ノ加非、棉花、及ヒ護謨等富饒ナリ

ドクトルベークイ氏ガ流船「アレイヤド」號ヲ指揮シカッター名本尼(東ヨリ西ニ流レ北緯凡ソ八度ニ至テ)ニ湖ルヲ三百里餘ニシテ亞達馬瓦(蓋シ八種)ノ國ニ到リ而シテ尼日爾河口ヨリ凡ソ六百里ノ間内地ノ正シキ水路ヲ製作シ且ツ土人ト交際ヲ結ビ大ニ貿易和親ノ道ヲ開キタリシハ實ニ其勤勞ノ功績ナリ自今望ラシハカッター河ヲ以テ早晚中央亞弗利加ノ内地ニ往來スルノ航路ト爲サントヲ○又ドクトルハリス氏ハドクトル

中央亞弗利加ノ諸山ハテイブス、マウンツ(机山)ヨリ北ニ亘リ漸次ニ聳起シ終ニニウ、ウエルド(新野)スノ、ヘルグ(雪山)ニ嶺ニ連ナル其高サ七千尺ヨリ一萬尺ニ及ベリ而シテ山間往々短樹ノ繁茂セル空谷アリ或ハ廣闊ナル高野アリ

ガルトン氏曰ク撒朴哥羅尼亞ヨリ鯨魚灣ニ至ルノ間山脈連綿トシテ西濱ト平行シ頂上ヨリ東西兩邊ニ向テ斜ニ低下ス其形狀

亞弗利加地誌

ハ大地ノ内部ヨリ之ヲ見ルキハ或ハ五ニ似タリ○高原ノ北西ハカメルーンスト名クル一萬三千尺ノ高嶺アリテ之ヲ界ス其北境ノ如キハ未ダ詳ナラズト雖モ想フニ尼羅河ノ西派此ニ流通シ此高原ヲ東西ノ兩部ニ分割スルナルベシ又ニ德湖ノ南ニ方リテ一山アルハ蓋シ其北境ナルベシニ曰ク右ノ廣大ナル三角形高原ノ北ニ方リテ蘇丹即チ中央尼給里低地アリ此國名ハ塞尼亞簡比亞及ビ尼日爾三大河ノ流通スル各國ト下流内亞ノ海濱及ビ德湖周圍ノ地方ヲ合セ稱スルモノナリ○此國ノ西部ハ甚ダ高カラザル山多キ高原ニテ即チ上文三大河ノ水源ナリ而シテ内亞海濱ニ對峙セル山モ亦此高原ノ一部ナリ尼日爾ノ東ハ小山多キ國ニシテ山間ニハ卑濕且ツ肥腴ナル平地多シ又德湖ノ周圍ニ廣大ナル沙地アリテ甚ダ豐饒ナリ其大サ世界第一トス

三ニ曰ク地中海ニ濱シタル開化ノ諸地ト蘇丹トノ間ハ都テ一而ノ大沙漠ナリ之ヲ名ケテ撒哈拉ト云フ其南ハ塞尼亞河尼日爾河ノ北流及ビ德湖ニ連リ北ハ摩洛哥ヨリ阿爾及里ニ亘リテ亞太臘斯山ニ接シ又埃及ノ方ハ幾ノ地中海ニ切近セリ南北ノ廣濶平均大約一千里ニシテ大西洋ヨリ尼羅河畔ノ西境ニ

至ルマテ二千里アリ此地方ニ於テハ絶テ雨ノ降ラザル處極メテ多シ自餘ノ地方モ概シテ雨少シトス故ニ之ヲ礫礫ノ地トシ全ク無用ノ糞物ニ屬セリ且ツ夫レ各處細沙ノ積累アリテ屢々暴風ノ起ルニ際シ其沙ヲ空中ニ飄揚シ間々許多ノ旅客ヲ埋没スルコトアリ其他ハ概シテ不毛ニ屬スト雖モ亦固結セル砂、砂石、花剛石、及ビ石英石等ヲ以テ成レル堅牢ノ土地アリテ多クハ隆起シテ岡陵ト爲レリ然リト雖モ亦各地頗ル廣大ノ叢莽アリ又草地アリ或ハ數處ノ秀麗ナル沃壤アリ之ヲ稱シテ泉地ト云ヒ又塞ト云フ蓋シ其地下ニ泉水アリテ致ス所ナリ斯ノ如キ地ノ最モ多クシテ且ツ豐饒ナルハ特ニ沙漠ノ東部ノミナリ○人若シ的波里ヨリ沙漠ヲ渡リ蘇丹ニ至ラント欲スルトキハ非三ノ王國ヲ經過シテ德湖ニ達スルヲ以テ最モ平易ナル便路トナスベシ○非三ノ地ハ他處ニ比スレバ一層地中海ニ近キヲ以テ自ラ海風ノ濕氣ヲ受ルコト多キヲ以テ每歲必ズ定時ノ雨ヲ降セリ○前ニ謂フ所通路ノ東ニ當ル沙漠ノ一部ヲ利比亞沙漠ト云フ即チ泉地アリテ耕作スベキ部分ハ此地ヲ以テ最ト爲ス而シテ其西部ニ至レバ植物ヲ産スル地アレトモ僅コ山羊家羊ノ牧場ニ供スルニ過ギズ又稍々豐饒ナル部分ニ於テハテト

書

ニ東ト稱セリ然レハ我ヲ以テ第一ノ產物トナス其他果實及ビ穀類モ亦耕種セザルニアラズ即チ亞利比亞護謨ノ如キモ亦產物中ノ一種ナリ此泉地ノ大ナル部分ハ數千ノ村民之ニ居住シ衣食ノ用ニ供スルニ足レリ○洲内ノ貿易ハ五百乃至三千ノ駱駝及ビ若干ノ從僕ヲ引卒シテ沙漠ノ諸道ヲ往來スル彼ノ成隊旅商ノ業トスル所ナリ然レハ旅中水ヲ得ルコト甚ダ難シ往々水井ノ距離十日ノ路程ニ餘ル所アリ故ニ若シ一井ノ水乾涸スルキニ遭遇セハ人畜共ニ渴死ノ大患アリ○土人ハ「モールス」ニモアラズ「ベルベルス」ニモアラズ又亞利比亞人種ニモアラズ全ク特別ノ一種族ナリ

四ニ曰ク摩洛哥亞爾及里及ヒ突尼斯等群山連亘ノ地ヲ合稱シテ亞太臘斯山地ト云フ此山地北部ハ地中海ニ向テ漸次低下シ斜面ヲ成セリ此斜面ナル地ヲ特利ト名ク特利ノ地勢氣候及ビ產物ハ歐羅巴海濱ノ地ニ異ナルコトナシ而シテ其南部ハ漸次低下シテ撒哈拉ニ連接ス且ツ山脈中著シク雪際ノ上ニ秀拔スル處アリ其最高ノ巔ハ一萬五千尺ニ及フト云フ

五ニ曰ク紅海ニ濱スル地方ハ亞比西尼亞努皮亞埃及ノ三國ナリ

亞比西尼亞ハ前文記スルガ如ク廣大ナル高原ノ南境ニ位スル山國ニシテ之ト地中海トノ間ハ一般ニ尼羅河畔ノ低地ナリ低地ノ東ニハ又參差タル山地アリテ之ト紅海トノ間ヲ隔テ而シテ其西ニハ灰石及ヒ砂石ノ岡陵アリテ之ト利比亞沙漠トノ間ヲ分テリ

地質及ビ氷形

亞弗利加ノ地質ニ就キ現今觀察シ得タルハ獨リ顯著ナル地方ノミニシテ尙未ダ粗漏ヲ免レザルナリ撒哈拉沙漠ノ地質ハ上文已ニ之ヲ記載ス其他埃及ノ地質ハ又別條ニ掲出ス

ドクトルリッヂインストン氏ガ經歷シタル地方ニ於テハ矢斯ク種類一ナラス此ノ諸石中又花剛石及ビ綠石アリテ凸起ス○篤舍爾(共ニ石ノ名ナリ)砂石及ビ燧石(又吹沙石)等アリ(礦物篇ニ見ユ)砂石及ビ燧石(ト譯ス)等アリ

本洲ノ東部ニ於テ煤炭ノ上ニ砂石ノ布列スル一地方アリ○此洲ニ屬スル島嶼數許多アリト雖モ一坐ヲ除ク外ハ悉ク皆ナ小嶼ニシテ且ツ本洲ヲ離ル、コ隔遠ナリ○印度洋中ニ散布スルモノ左ノ如シ

馬達加斯加爾ハ莫三鼻給ノ海峽ヲ以テ本洲ヨリ分タル一大島ニシテ幅員二十三万方里殆ント佛國ノ幅員ニ超越ス而シテ

金石及植物ニ富ミ人口四百五十萬アリ○不爾及毛里西ノ諸島ハ共ニ肯要ノ島ト爲ス甲ハ人口拾二萬乙ハ拾八萬一千アリ島内地味肥沃ニシテ各種ノ熱帶産物ヲ生ス○格摩路阿米蘭の塞舍兒等ノ小群島ハ共ニ馬達加斯加附ノ北ニアリ○索哥德拉ハカルマゾーイ岬ノ近海ニ位ス幅員一千方里ニシテ人口四千四百アリ

○又大西洋中ニアルモノ左ノ如シ

イシヤボー及ヒ他ノ諸小島ハ本洲南西ノ海中ニ星羅ス此諸島ハ近來鳥糞(肥田ノ用ニ)搜索ノ時ニ初メテ之ヲ看出セリ○聖厄勒邦(蓋シ地火噴成)ハ周回二十八里ニシテ高サ六百尺ヨリ一千二百尺ニ至ル巖壁立一孤島ナリ○亞森森(英國ノ所)モ亦火山石ヲ以テ成レル寂寞ナル孤島ニシテ奴隸賣買ヲ巡視スル船艦ノ碇泊地ナリ○アンノボン聖多美フルナンドホ等ハ樹木繁茂シタル島嶼ニシテ幾内亞ノ海内ニアリ而シテフルナンドボハ一萬零六百尺ニ聳立スル高山アリ名ケテクラレツス嶺ト云フ○岩村威德ハ群島ニシテ亦地火ノ噴成セル所ナリ就中フオゴ嶺ノ如キハ高サ七千八百四十尺ニシテ現今仍ホ其頂上ヨリ烟氣ヲ發出ス○加拿利群島モ亦火脈ノ噴起スル

大西洋ニ注入ス○ザイネ一名及ヒコーザンノ二河ハ南緯内亞

在リ而シテ河ハ炭林哥羅尼ノ北境ニアリ東邊ニハリムボボ及ヒ撒皮西アリ但シリムボボハ德拉俄亞灣ニ流注ス然レドモ亞弗利加諸河ノ中其水源ヨリ河口ニ至ルマテ盡ク稽檢シ得タルモノハ未ダ一モアラス

湖 遮德湖ハ蘇丹即チ中央亞弗利加ニ在ル湖中ノ最大ナルモノニシテ周回凡ソ二百里深サ平均十尺ヨリ十五尺ニ至ル而其地位海面ヨリ高キヲ八百五十尺ナリ周邊絶ヘテ流出ノ路ナシト雖モ其水冷清ニシテ魚類甚ダ夥シ而シテ湖内ニ収受スル一時ノ流水ハ固ヨリ算スルニ暇アラズト雖モ大河ノ湖中ニ注入スルモノ又少シトセズ就中其魁タルモノハ南東ヨリ流レ來ルシエリー一名アス是ナリ○テムビア湖一名ザナ湖ハ亞比西尼亞ニ在リ其長サ六十五里ニシテ廣約三十里アリ位置海面ヨリ高キヲ六千尺蓋シ亞比西尼亞ハ藍尼羅河ノ流過スル國ナリ○納米湖ノ南亞弗利加ニ在ルコトハ前條巴ニ之ヲ記載セリ○亞利比亞ノ遊客ガ説ク所ト土人ノ傳説ト符合スルニ由テ南緯凡ソ五度東經凡ソ二十九度ノ内地ニハ單加尼加ト稱スル一大湖アリト信フノ確實ナルコトヲ知リ得ダリ蓋シ地沃饒ニシテ

亞弗利加地誌

所ニテ幅員三千三百方里人口二十五萬八千アリ其首ナルモノ七坐ニテ就中德内黎非嶺ハ一万二千八百八十二尺ノ高サニ聳エタリ○馬德拉ハ長サ四十六里濶サ七里高サ四千尺アル一島ナリ地質ハ火山ヨリ生スル緑石ニシテ氣候ノ和煦ナルト酒類ノ佳好ナルコトハ世人稱譽スル所ナリ人口十萬アリ○亞索利群島モ亦火山ノ噴成セル所ニシテ島中七千尺ノ高山アリ其峯ヲピコト名ク熱帶地方ノ菓物及ヒ酒類ノ産物ニ富ミ人口二十五方アリ

河及ヒ湖 亞弗利加ノ大河ハ尼羅及ヒ尼日爾ナリ而シテ尼羅河ハ之ヲ埃及ノ條下ニ詳載ス

尼日爾ハ一名若利巴ト云ヒ又科拉ト云ヒ名稱一ナラズト雖モ其實全ク一條ノ大河ニシテ經過スル地ノ易ハルニ隨ヒ其稱ヲ異ニスルノミ水源ハ幾内亞ノ公山ニ在テ北緯九度二十五分西經九度四十五分ノ處ニ發シ初メ北ニ流レ次テ北東ニ曲リ終ニ南ニ繞リテ幾内亞灣ニ流注ス其流二千五百里ニシテ船舶ノ航路四百里餘ニ及ブト雖モ河旁ニ酷烈ナル疫癘ノ氣アリト云フ又カマ一名ビニエハ其支派中ノ最大ナルモノナリト○又西邊ニアル塞尼亞及ヒ岡皮亞ノ二河ハ炭林威德ノ近傍ニ於テ

許多ノ人民居住セリ而シテ中央ヨリ呂非亞ト名クル一大河ヲ發出ス此河東流シテ桑給巴爾ノ濱ニ至リ終ニ海中ニ注ク其他南緯九度東經三十五度ノ地ニモ一湖アリ地學者ノ所謂マラヴイ一名チヤツシニシテドクトルリゲインストーン氏ガチアンシャト傳聞シタルモノ即チ是レナリ

氣候植物及ヒ動物

氣候ハ果シテ本洲ノ位置ニ背カズ北部ト至南ノ地ヲ除ク外全ク熱帶ニ屬セリ北部諸國ノ如キハ其地位コ由テ觀ルルハ熱帶ノ氣候ニ感觸スル理ナキガ如シト雖モ尙ホ未ダ之ヲ免カレザルノ地方多キハ何ゾヤ蓋シ温帶中ニ位スル故ヲ以テ氣候ノ利ヲ占有スル地ハ僅ニ亞太斯山ノ陰影ニ依リ沙漠ノ熱風ヲ避クベキ巴爾巴里ノ一部ト喜望峯ノ近邊ニ在ルニウフォルド及ヒ他ノ諸山ノ擁護ヲ受クル哈丁多國ノ一部ニ過キサルノミ○故ニ全洲中右ノ狭小ナル地方及ヒ内部ニ在テ地位ノ高キカ爲ニ緯度ノ高キ地ト等シク冷涼ナル地方トヲ除ク外ハ大約地球上ニテ至極熱燥ノ地ト謂フ可シ故ニ其炎熱ト乾澇ヲ節制スルモノハ年雨(毎年時ヲ定メテ降ル雨)海風及ヒ高度ノ地位ト三ノ者ニ止マレリ然レトモ水多キ地方ハ濕氣ト熱氣ノ混合ニ由リテ植物

ノ生産ハ甚ダ利アリト雖モ人類ノ健康ニハ極メテ害アリ
 該洲ノ植物ハ(他ノ大洲ヨリ移植ス)歐羅巴或ハ亞細亞ニ比ス
 レハ其種類ハ決シテ少シト雖モ奇異珍怪ノ品類ハ却テ數多ア
 リ蓋シ地中海邊ノ地ニ生スルモノハ歐羅巴南部ノ植物ト酷マ
 類似セリ然レハ上埃及及亞比西尼亞ニ産スル植物ニ
 ハ譚ヲ生スル聲息花括矢亞那樹咖啡、薑黃、薑、白豆蔻、ロー
 トス一名シニエーシューブ(遺ノ)及ビテリエンビウム即チ連等ア
 リ○又及村哥羅尼ノ名産ニハヒーズコーフオルピア、薑膏、神
 仙掌、開揚花、マイモサ其他荆棘アル短樹及ビ移住ノ八齋ラセ
 シ諸種ノ草木モ亦此地ニ於テ繁殖ス○其他地方ニ生スルモノ
 ハ巖然タル熱帶ノ植物ニシテ珍奇ナルモノ若干アリ即チ椰
 子、粟、パンヤン(無花果)ギガンチツツアマメンソニヤ(一名モン
 キー)、(龍木、芭蕉、木瓜多麻林度、アノナ、甘蔗、棉樹、カツサ
 包ト云フ義)大薯、地豆、瓜、鳳梨且ツ熱地ニ生ス
 ル各種ノ植物ナリ又諸島ニ於テ主トシテ耕種スルモノハ葡
 萄、橙類、瓜、加非及ビ甘蔗等ナリ
 全洲中生育スル所ノ禽獸種類ハ怪異ナルモノ頗ル多シ故ニ他
 洲ニ於テ絶テ見サルモノ又少ナカラス蓋シ四方環海ノ地勢ニ

由テ然ラシムル所ナリ就中尤モ多キハ猿猴ノ類及ビ獅、パン
 ソル、レ、パルド(兩ナカラ豹ノ類ニシテ)其他貓類野貓、野狗、
 ラツクーン(熊ニ似テ大)等アリ又種々ノ鹿(アンテ)鬣羊ノ類
 ハ南部ニ多シ而シテ氷牛、駱駝、野牛、及ビ長頸鹿、馬、花驢、クワツ
 ガ(驢、馬)象、犀、河馬、マスケッド、ボール、海豹、海狗、及ビ鯨類
 モ亦多シ
 鳥類ハ駱鳥、アスタルド(駱鳥)珠鷄、ギニヤフ、及ビ種々ノ鷄、鴨、
 火鶴、池鷄、鳩、セタレタル、鶴、杜鵑、燕、鶯(ナイチン)鶉、就中此四
 類(杜鵑)ハ夏時ノミ歐洲ニ來ルコアリ
 爬虫ハ鱷魚及ビモニトル(龍子)ノ如キ蛇類極メテ夥シ然レハ
 多クハ毒蟲ナリ又龍子、變色龍子及ビ種々ノ龜類アリ
 人口
 全洲ノ人口ヲ概算スレハ一億ヲ越エタリ而シテ土人ノ種族ハ
 人類ニ大分ノ一ニ係レリ故ニドクトルラザム氏ハ之ヲ名ケテ
 亞太蘭地ト云ヒ又他ノ人類學者ハ之ヲ埃及阿伯特稱セリ
 (人種ヲ參)而シテ其支分ニ至テハ一々枚舉スルニ邊アラスト
 雖モ今之ヲ大分シテ六部類ト爲スヲ得タリ
 一ニ曰ク日魯亞太蘭地トナリ此部類ニ屬スル人種ハ皮膚黒

色ニシテ油膩多ク頭髮棉毛ノ如ク臆類突出鼻端匾平而ノ口唇
 ノ厚キ等ヲ以テ他種ニ異ナル表徴トナス然リト雖モ是レ一部
 類ニ就テ概言スルモノナレバ表徴ノ如キハ或ハ多少實ニ過ル
 所ナキヲ保セズ然リ而シテ最モ注目スベキモノハ眞ノ黒奴ノ
 住スル區域ノ意外ニ狭小ナルコトナリ即西部ノ塞尼亞ガブーン
 兩河ノ間ト全洲ノ中央ナル蘇丹及ビ尼羅上流ノ低地等ナリ○
 全洲ニ於テ常見ル所ノモノハ漆黒ノ黒奴コアラズシテ却テ
 棕色ノ亞利比亞人及ビ埃太蘭地人ヲ多シトス蓋シ漆黒ナル種
 族ノ住スル處ハ熱帶ニ位スルニ羅河畔ノ低地ト其河口ノ三角
 洲ニ限レルモノニ似タリ
 二ニ曰ク加弗勒亞太蘭地トナリ此部類ニ屬スル人種ハ其骨格
 黒奴ノ一變セルモノニシテ臆類ノ突出スルコト稍々少シトス然
 レハ其言語ハ甚タ奇異ナルモノアリ住居スル處多クハ赤道ノ
 北ヨリ冬至線ノ南ニ達セリ
 三ニ曰ク哈丁多亞太蘭地トナリ此種族ハドクトルラザム氏ノ
 説ニ據レバ一般人類中ノ一部ニ班センヨリ寧ロ異類ノ一種類
 ト視做スノ好キニ如カズト云ヘリ皮膚黒色ニアラスシテ棕色
 ニ類シ頭髮ハ生來結束シタルカ如シ且ツ身體矮小ニシテ尻盤

骨ノ形狀常人ト異ナル所アリ又音聲ハ通常小ニシテ清ナリ居
 住スル地ハ洲内ノ南部ニ在リ而シテ同種族ノ内又哈丁多及ビサ
 イプス一名波日曼ノ二類ニ分ル
 四ニ曰ク尼羅河亞太蘭地トナリ此種族ハ尼羅上流及ビ中流
 ノ河脈ニ沿フテ住居ス其首ナルモノハ瓦爾人コゴウス人努皮
 亞人及ビハイシヤリ人ニシテ亞比西尼亞亞德爾努皮亞等ニ住
 居ス此等ハコブチツク(古昔ノ埃)セミチツクノ二種ト他ノ亞
 弗利加人種トノ漸次ニ混交シテ生スル所ナリ
 五ニ曰ク亞麻地亞太蘭地トナリ此種族ハ一般ニ伯爾伯爾人ト稱スル
 モノ是ナリ其容貌ハ黒奴ト亞利比亞人ノ間ニ屬ス言語ハ粗々
 セミチツク種ニ類ス居住スル地ハ亞太蘭地諸山、哈拉拉地方及
 ビ加拿利諸島ナリ
 六ニ曰ク以日不西亞亞太蘭地トナリ此種族ハ古昔ノ埃及人ニシテ現今
 コブツト稱スルモノ是レナリ言語容貌共ニ伯爾伯爾人及ビ努
 皮亞人ニ類似スル所アリ又或ハ亞西里亞人猶太人等ニ似タル
 所ノモノアリ
 洲内ニ於テ開化ノ見ルベキモノアルハ獨リ歐洲ノ人民居住地
 ノミナリムールス亞利比亞及ビ埃及人民等ノ如キハ稍々開化

ニ屬スト雖モ尙ホ未ダ半開ノ列ヲ出ルニ至ラズ其他土民ハ悉ク皆ナ最下等ノ野蠻人種ノミナリ

邦國及ヒ政事

此ノ全洲中ニ領地ヲ據有スル外國ハ英吉利佛蘭西葡萄牙西班牙及ビ土耳其ナリ○英ニ屬スルモノハ(一千八百六十年和)發朴哥羅巴ヲ取レリ○毛里西諸島及ビ阿米蘭前並ニ塞舍兒ノ群小島ハ(一千八百二十年佛ヨリ)聖厄勒那亞森森ノ二小島及ビ塞拉里亞並ニ發朴之ヲ取レリ○聖厄勒那亞森森ノ二小島及ビ塞拉里亞並ニ發朴海濱ノ移住地等ナリ○其佛ニ屬スルモノハ不爾奔島塞尼蘭皮亞ノ移住地及ビ一千八百年来多少費用ヲ以テ植民ヲタル阿爾及即亞即チ亞爾及耳等ナリ○葡ニ屬スルモノハ莫ニ鼻給海濱ノ移住地南幾內亞ノ海濱及朴威德島馬德拉及ビ亞索利島ナリ○西ニ屬スルモノハ加拿利島及ビ日巴拉太ノ海峽近邊ナル蘇多並ニ默里拉ノ地方(二地共ニ砲臺守兵アリ)ナリ○的波里突尼斯及ビ埃及ヲ土國ノ領スト云フモノハ蓋シ名有テ實ナキナリ○又木斯甲ノイマウム人ガ其所領ナリトシテ要求スル所ハ索哥德拉島及ビ撒地巴兒島中數處ノ地ナリ全洲ノ人民立ツル所ノ邦國及ビ其政事ニ至テハ吾輩之ヲ詳悉セズ或ハ少シク傳聞スル所アルモ未ダ以テ精確ノ誌ヲ成スニ至ラザルナリ特リ注目ス

ベキハ埃及及ヒ英ノ所領スル喜望峰ノ植民地ナリ就中埃及ノ如キハ歷史上ニ於テ有益ノ談多キノミナラズ又實ニ現今ノ政事上ニ大ナル關係アリトナスベシ

埃及

氷形地質

埃及ハ長約五百五十里廣約二百五十里アル土地ニシテ該洲ノ北東隅ニ位シ東ハ紅海ニ濱シテ蘇業士ノ地峽ニ跨リ北ハ地中海ニ面シ西ハ利比亞沙漠ニ接シ南ハ努皮亞ニ連ル○全國ノ地勢ハ尼羅第一(即チ最下)ノ急流ト平行ス幅員ノ總計拾三萬七千五百方里アリ今地勢ニ從ヒ之ヲ區別シテ二部ト爲ス甲部ハ即チ尼羅河畔ノ低地及ビ其河口ノ三角洲ニシテ廣袤僅ニ全幅員ノ十二分一ニ過ギズト雖モ毎年河水ノ溢瀦ニ依テ土地耕種ヲ善クシ其豐饒ヲ獲ルヲ實ニ驚クニ堪ヘタリ乙部ハ荒蕪ナル高原或ハ山岳等ニシテ甲部ノ左右ニ在リ全國中甲部ヲ除ク外大約此ノ如シ

過シ終ニ衆派ニ分レテ地中海ニ注入ス○此河ハ努皮亞ニ於テ二條ノ川流會合シテ成ル所ナリ(合流ノ處ヨリ地中海ニ至ルノ距離ハ直線ニシテ一千一百里)一ヲバールラビアド(白河)ト名ツク尼羅支流中ノ最大ナル長流ニシテ地勢ニ由リ之ヲ推考スルハ其源ヲ東經三十五度ニテ正シ赤道直下ニ位スルケニヤ山ニ發スルガ如ク○一ヲバールラビアド(藍河)ト曰ヒ水源亞比西尼亞ヨリ發ス○尼羅河ハ河口ヨリ上游一千里ニ當リ一交流ニ會合ス之ヲタクツセー河ト曰フ是レ亦亞比西尼亞ヨリ來ル其他尼羅河脈中僅ガニ冬時ノミ東部ノ溪澗ヨリ流注スルモノアリト雖モ常ニ其支派ト稱スルニ足ルモノ絶テ尠シニ羅河ハ努皮亞ニ於テ二處埃及ニ及ンテ各處陸續トシテ急流(即チ之ヲ瀑布ト稱スルハ蓋シ誤マレルナリ何トナレハ其水ノ流注スル一處トシテ二尺ニ過クシラ見ザレバナリ)ヲ成セリ而シテ此急流ハ平底船ヲ以テ溯ルニ難カラズ○尼羅河積ノ幅員ハ上埃及ニ於テ平均六里下埃及ニ於テ十二里アリ最モ廣濶ナル處ハ二十五里ニ至レリ而シテ數所ノ河岸ニ岡陵ノ臨接スル處アリ○羅尼河ハ河口ヨリ九十里ノ處ニ於テ羅塞他達迷也太ノ二派トナル互ニ相離ル、下漸ク木ニシテ漸ク遠ク○此二派ノ間ハ兩邊九十里ノ三角形ナル平地ニテ殆ンド希臘ノ△字印ナ三角ニ

亞弗利加地誌

似タルヲ以テ之ヲ名ケテ河口ノ三角洲ト云フ此三角洲中最高ノ位置ハ海面上百尺ニ至ルト雖モ大抵五十尺ヲ以テ平均ノ高度トナス昔時ハ尼羅ノ大支流七條アリテ悉ク此三角洲ヲ通過シテ海ニ入りシガ常時船舶ノ通航ニ便ナルモノハ僅ニ上文掲クル所ノ兩端ニ流ルニミナ餘ハミナ泥滓ヲ以テ填塞セリ○尼羅河ニ關係スル變異ノ顯著ナルコトハ毎年河畔及ビ三角洲ニ接近スル低地ニ河水ノ漲溢スルヲナリ此漲溢ニ由テ土地膏腴シ百穀豐饒ヲ得ベシ蓋シ所謂定時雨(即チ年雨)ト河源ノ山中ヨリ融スル雪氷等ノ致ス所ナリ○此定時雨ハ毎年三月ヨリ降り始ムト雖モ六月ノ末ニ至ルマテハ更ニ河流ノ増加ヲ覺エズ六月ノ末ヨリ九月ノ末ニ至ルマテ河水増加スルヲ毎日四寸ナリ是ヲ河水尤モ高キ時トナス即チ第一急流ニ在テ四十尺德伯斯ニ在テ三十六尺改羅ニ在テ二十五尺而シテ兩河口ニ在テ四尺ナリ○抑々此ノ河流ノ漲溢ハ土人ノ熱心シテ渴望スル所ナリ何トナレハ假シ河水ノ増加ヲシテ右ニ謂フ所ヨリ一二尺ノ過不及アラシメバ一ハ以テ村落ノ安危ニ關シ一ハ以テ地方ヲシテ本年ノ農事ヲ廢絶セシムルニ至ル然レト事ノ起ルハ甚々稀レナリ○尼羅河汎溢ノ時ニ當リ數旬ノ間河岸及ビ三角洲

ノ景況ハ恰モ一大湖中ニ水面ヨリ二三尺ノ隆起スル岡陵數多アリテ其上ニ城邑村落樹林草叢等ヲ點綴スルニ類似セリ故ニ彼此岡陵ノ間ヲ通行スルニ或ハ棧道ヲ築キ或ハ小舟ヲ以テス
 ○十、十一、十二ノ三ヶ月ニ至レバ河水其半ヲ減ズ是レ乃チ該地ノ農時ナリ爾後一月ヨリ漸次流落シ六月ニ至テハ水面最モ低下セリ蓋シ三月ト六月ノ間水面最モ低キ時ハ河身ノ闊サ埃及ニ於テ二千尺ヨリ四千尺ニ至リ流水ノ速方一時間ニ一里半ナリ此時ニ當リ河ノ水面地中海ノ水面ヨリ高キヲ改雜ニ於テ四十三尺第一急湍ノ下部ニ於テハ三百六十五尺ナリ○河畔ノ沙地及ビ河口ノ三角洲ハ河水漲溢ノ時中央亞弗利加ヨリ落ル水流ニ混シ來ル沙泥ノ澄積ニ成レル所ナリ故ニ其内ニ積礫碎石等絶テ無シ假令ヒアルモ甚々稀レナリ○河底ニ沙泥ノ澄積スルヲ毎年一層ナリ故ニ其厚サノ増加スルヲ昔時ヨリ之ヲ算スルニ毎百年ニ四英寸半ノ比例ヲ以テス但シ河ノ中心ニ近キ處ヲ以テ最モ厚シトス○德伯斯ヲ少シ下ル處ヨリ改雜ニ至ルノ間尼羅河ノ東岸ニ丘陵駢列スルアリ又其西方河ヲ去ルヲ三里ヨリ六里ノ間一條ノ大溝渠アリテ二百五十里河面ト平行シ且ツ彼此ノ間無數ノ溝渠アリテ互ニ相通ス○此大溝渠ノ一

支ハ三角洲ノ頂角ヨリ上遊七十里ノ處ニ當リ尼羅河西低地ノ境トナレル連山ノ溪澗ヲ通過シフアジヨム地方ニ灌溉シ終ニシリヌ湖ニ注入ス○三角洲及ビ他ノ各地ニ於テモ亦許多ノ溝渠アリ近時ニ至リ尙ホ又古溝渠ヲ再開シ且ツ新ニ掘設スルモノ亦少ナカラズ○此新開溝渠ノ中ニ就テ亞歷山得利亞ノ港口トニ羅河トノ間ヲ交通スルモノ、如キハ長サ四十八里澗サ九十尺深サ十八尺ナリ是レ等ノ溝渠尼羅河畔及ビ三角洲ニ縱横交互スル形狀ハ恰モ綱ヲ張ルニ異テラス而シテ其用タルヤ徒ニ運漕ノ便ニ供スルノミナラス又尼羅河汎溢ノ時ニ於テ其未ダ落底セザルニ際シ幾分ノ水ヲ流注シ此渠内ニ貯ヘ置キ耕種ノ時ニ臨ンテ之ヲ放テ以テ田園ニ灌溉スルノ利用アリ
 前件説ク所ハ即チ全國中低地ノ膏腴沃饒ナルモノナリ其餘東西ハ悉ク乾燥ナル曠野ニシテ山岳或ハ高原各處ニ起伏セリ○大凡ソ山岳ハ麓ヨリ直チニ三百尺餘間々或ハ二千尺ノ高サニ壁立スルアリ而シテ又此峭壁ノ麓ヨリ尼羅河畔ノ沙地ニ至ルノ間ハ大約闊サ二三里アル細長ノ荒野ナリ此荒野ハ磐石積礫及ビ飄沙ヨリ成リテ亦稍々壁立スルヲ以テ漲溢ノ時ト雖モ水ヲ被ムルヲナシ故ニ埃及ノ畜跡遺物多クハ此地ニ存在ス○高

原ノ海面ヲ抜クヲ五百尺ヨリ一千尺ニシテ處々ニ許多ノ山嶺及ビ深谷アリ而シテ深谷ノ中往々水ノ湧出スル處アリテ頗ル瀟灑ノ沙地ヲ成スト雖モアトノ外多分ノ物ヲ產生セズ○部内諸山ノ内最モ高キモノハ六千尺ナリ○都テ此等ノ高地ハ積礫碎石及ビ飄沙ヲ被リ且ツ荒野ノ中ニハ間々樹幹及ビ木片ノ化石アリ又三角洲ノ西部ニハ二三ノナトロン湖(一種ノ炭酸曹達水)アリ○紅海及ビ地中海ノ濱ニ於テ現今結成中ナル合子石ト凝結白灰石ハ沙礫珊瑚碎石等ノ混合シテ石灰ノ粘力ヲ以テ凝結シタルモノニシテ其厚サ一尺ヨリ四尺ニ至レリ○全國ノ上部ニアル神廟及ビ巨像等ハ悉ク紅沙石ヲ以テ造立セリ然レハ中部及ビ下部ノ神廟、洞穴、墓碑並ニ金字塔、獅身女面ノ像ノ如キハ悉ク皆灰石ナリ而シテ又方尖碑石棺ノ過半及ビ金字塔ノ内外ハ總テシエナイト(埃及ヨリ出ツル一種ノ石ノ名)ヲ以テ造レルモノナリ

シテ縮小ス又紙ヲ氣中ニ置クキハ三年ノ中ニ爆裂ス又墓碑ノ水漬料ハ三千年ノ間依然トシテ古色ヲ保存シ今猶ホ新キモノ、ゴトシテ而シテ麩包、獸肉、菓物及ビ穀類其他人物獸類屍骸ノ如キモ亦三千年ノ間墳墓中ニ在テ全ク其故形ヲ失ハズ○尼羅河ハ汎溢ノ後河水ノ退クニ隨ヒ田野ヨリ烟霧ヲ發生スルノ外更ニ異狀奇觀アルヲナシ此烟霧ヲ生スルヲ亦常ニ之アルニアラズ概テ晩秋ノ候早朝ニ於テ然ルノミ○天空常ニ清朗快晴ナルヲ以テ實ニ人目ヲシテ遠景ノ甚々近キヲ覺エシム○夜間ハ穩靜冷爽ニシテ露多シ○海邊ノ地ヲ除ク外都テ雨霰、雪、霞、霜、雷、電等絶テ少ナシ假令ヒ之アルモ甚々稀レナリ即チ改雜ニ於テ毎年僅カニ四五回ノ驟雨アルノミ埃及ニ於テハ一回或ハ多キモ二回ニ過ギズ霰ノ如キハ數年ノ間ニ一兩回見ルノミ故ニ地氣常ニ甚々乾燥シ大ニ塵埃ノ患アリ○全國一年ヲ分テ二季ト爲ス曰ク溫和ノ季曰ク熱暑ノ季而シテ溫和ノ季ナルモノハ十月ニ始リ三月ニ終ル此季ノ溫度ハ平均華氏ノ溫度器五六十度ノ間トス之ヲ觀本國ノ時候ニ比較スレバ夏時中至好ノ時節ニ當レリ年分十二月一月ノ兩月ヲ最モ遼塞トス故ニ時アリテハ朝夕ノ溫度三十五度ヨリ四十度ニ至リ寒氣堪ハ

氣候及ビ産物

埃及ハ氣候甚々乾燥溫暖ニシテ大ニ健康ニ適セリ惟春夏ノ候ニハ時有テ熱風ノ吹クト地中海上ヨリ濕氣ノ來ル患害アルノミ○試ミニ肉ヲ以テ外氣中ニ置クキハ未ダ腐敗セザルニ乾燥

亞弗利加地誌

難キニ至ルアリ蓋シ埃及ニ於テ氣温六十度以下ニ至ルキハ
 寒冷ヲ覺ユレバナリ二月三月ハ時氣和煦ニシテ爽快ナリ是レ
 ヲ百花將ニ開カントスル好時節トス○歐洲北部ニ在テ癆症經
 久、氣管炎、飲食不消化、便麻質私等ヲ患ル者ハ寒半年ノ間埃及
 ニ客居スレバ大ニ奇効アリ蓋シ寒半年ハ埃及ノ春季ニシテ沙
 地滿面ニ青々タル穀類ノ茂生スルヲ以テナリ○酷暑ノ候ハ四
 月ニ始リ九月ニ終ル時季ノ溫度ハ平均華氏九十度ヨリ百度ノ
 間トス而シテ埃及上部ニ在テハ屢々百度ヨリ百十度ニ至ル
 アリ○收穫ハ六月ニ至テ之ヲ終ラ爾後九月迄(即チ英國ノ秋ニ當ル)
 熱度極メテ酷烈ナルガ故ニ尼羅河水ノ及バザル處或ハ人工ノ
 灌溉ヲ受ケザル植物ハ悉ク熱地ト共ニ燒化セリ○埃及地方ノ
 病症ハ眼疾、腸炎、及ヒ瘟疫ヲ以テ最モ多シトス而シテ熱症霍
 亂、瀉痢、癩瘋腫脚、畿内亞蟲、痘瘡、中瘧、痲呆等モ亦少ナカラス
 ○埃及ノ婦女ハ十三四歳ニシテ人ノ母ト爲リ三十五歳ヨリ四
 十歳ニ至ルハ皺面ニシテ頗ル老ヒタルモノ、如シ男子モ六十
 五或ハ七十ヲ壽ヲ保ツモノ甚ダ稀ナリ
 抑々埃及ノ僱傭タル一團ノ農圃ニ水灌漑時ニ羅馬ノ穀倉ト稱
 タルニ對シテ爾後耕種ノ方法ヲ誤ルル沙漠ヨリ沙石ノ侵來スル

ト由リテ尼羅ノ河畔及ビ三角洲トモ稍々豐饒ヲ減殺セリ然
 レトモ未タ天然及ビ人工ノ灌溉トニ依テ物ヲ産スルコト少ナ
 シトモ又尼羅ノ河積ヲ距ルコト極メテ遠クノ地勢最モ低キ處
 ハ自然ノ灌溉ヲ受ケルヲ以テ小麥、大麥、マルラ(粟ノ一種)及ビ他
 ノ穀物或ハ菜蔬等ヲ生スレハ其收穫ハ毎年惟一ノ回ニ此等ハ
 十月或ハ十一月初メニ播種シ二月ヨリ六月ノ間ニ之ヲ收穫
 ス然レハ河積ニ接近ノ土地ノ高キカ爲ニ自然ニ水ノ上ラザル
 處ハ水車ヲ用井テ之ヲ灌溉スルヲ以テ黍、ダマラ、棉花、苧等ハ
 一年ノ内三回ノ登ヲ得ルコトアリ自餘埃及ノ產物ハ米、甘蔗、苧
 根、及ビ種々ノ蔬菜類ナリ而シテ穀物ト棉花ハ產物中ノ首品
 トス○全國生スル尋常ノ樹木ハ聲音花、無花果、樹桑、デイト
 ーム、芭蕉等ナリ而シテ椰子樹處々ニ孤生シ或ハ數千株ノ一
 處ニ森鬱シテ尤モ愛ス可キ陰影ヲ爲スコハ埃及各地特有ノ好
 景ト謂フベシ而シテ椰子樹及ビ他諸樹ノ此國ニ於ケルヤ猶ホ
 我が英國ニ於テ樹園アルガゴトニ而シテ眞正ノ樹林ト稱スベ
 キモノアルヲ見ズ○尋常ノ菓物ハ棗、葡萄、無花果、石榴、杏、
 ナンヂ、シトロン、レモン、ライム、芭蕉、桑、神仙掌、橄欖、瓜、アブ
 アルプラム、等ナリ此等菓物ノ成熟スルヤ一月ヨリ十二月ニ

至ル迄更ニ間斷アル時ナシ蓋シ一月某ノ種盡クレバ二月他種
 又之ニ次ケバナリ○ローチニス(蓮ノ一種)及ヒバビリス(埃及紙)
 草ハ埃及ノ名産ナリローチニスナル者ハ佳麗ナル蓮ノ一種
 ニシテ尼羅ノ水上ニ繁茂シ白色及ビ青色ノ花ヲ開ケリ其花ハ
 盃ノ如ク葉ハ大ニシテ圓シ而シテバビリスモ亦尼羅河邊ノ濕
 地ニ生スル水草ニシテ其高サ八尺ヨリ十尺ニ至ル而シテ其薄
 皮ハ古人之ヲ紙ノ用ニ供スト云フ○長頸鹿、イッキニユーメン、
 鱈魚、河馬等ノ如キ動物ハ之ヲ埃及ノ特異産ト謂フ可シ然レ
 長頸鹿ハ時トシテ出ツルコトアリ往古土人ノ神トシテ崇拜
 セシガ今時ハ人家ニ畜ハレテ小動物ヲ驅除スルノ用ト爲ルコ
 猶我カ國ノ貓ノゴトシ○鱈魚ト河馬ハ尼羅河ニ産ス然レハ第
 一急湍以下ニ於テハ河馬ヲ見ルコト稀少ナリ○鳥類ノ最モ著名
 ナルモノハ駝鳥各種ノ鵝、黃鷹、池鷄等ナリ鵝類ハ土人多ク之
 ヲ畜フ而シテ其卵ヲ解スニハ人巧ノ溫暖ヲ以テス○魚類中一
 種ノ奇ナルモノハ尼羅河ノボレテリニス一名ボテーパーン
 ト云フ之ヲ除ク外當時化石ニ於テ見ルガ如キ大魚ニ類似スル
 モノ一モアラス○埃及ニ於テ甚ダ厭フベキハ蠅、飛蠅、蚊、木虱
 及ビ虱ナリ而シテ夏季半年ニ於テハ數萬ノ蠅蟲屢々樹林菜圃

ニ集リテ大害ヲナスコトアリ又蜜蜂ハ土人ノ大ニ注意シテ養フ
 所ナリ
人民及ヒ政事
 現今埃及ノ人民二百萬アルハ許多ノ人種雜居スルヲ以テナリ
 舊來ノ埃及人種ハ今之ヲコプトト稱ス此人種中一派ノ耶蘇教
 ニ從フモノハ凡ソ拾五萬人アリ其他埃及ニ於テ最モ多キハ回
 教宗徒ナリ此徒ハ亞利比亞人トコプトノ雜種ナルベシ而シ
 テオスマンリス即チ土耳其人種モ亦甚ダ多シトス彼ノ十字戰
 (一千二百) 以來埃及ハメムル一ニマメルニト稱スル
 (五十年) 其ノ貴顯政治ノ管下ニ在テ稍々其暴政ニ苦シ
 トルコマン(土耳其)
 メリ(一千五百) 土耳其帝第一世セルム之ヲ平定シ悉クマナリ
 ユーシク及ヒベリ(土耳其) ノ所領ヲ沒收シテ直轄ト爲シバシヤ
 (土耳其ノ重職即チ副王) 一員ヲ撰擧シ帝ニ代テ統治セシメ
 (總督又ハ制台ト譯ス)
 タリ○自後國中ベリ及ヒマメリニクノ貴族輩處々ニ割據シ
 テ擾亂歐ム時ナキヲ憂ヒ當時ノ副王ホ希麥亞黎氏一ノ酒宴ヲ
 設ケ彼輩ヲ集メテ盡ク之ヲ殺戮シ(千八百) 爾後勇進シテ嚴肅
 ナル政令ヲ頒布シ且ツ歐洲ノ學術ヲ用キテ大ニ國內ノ進歩ヲ
 計レリ此事件ニ於テ同氏ノ功多キコト固ヨリ疑フベキニ非ス

亞非利加地誌

然レハ施政極メテ專斷ナルト収税ノ甚ク苛刻ナルトハ是レ亦勢ノ止ムベカラザル所ナリ○然レハ埃及農民ノ如ク今時ニ至リテ尙ホ依然トシテ貧賤ニ安スル自暴自棄ノ人民ヲ專政ノ威カヲ以テ一朝ニ開化ナラシメント欲スルコトハ極メテ難事ナリ○來希麥亞黎氏遂コ埃及副王ノ職ヲ以テ專ラ自家ノ世襲ト爲セリ而シテ其子孫ノ政ヲ行フヤ職トシテ祖先ノ法ニ由ラザルナシ○全國ノ歲入ハ凡ソ三百萬磅ニシテ輸出入ノ金額ハ總計六百萬磅ナリ此金額ノ中大約一半ハ全ク大貌利賴國トノ貿易ニ係レリ○開港場ノ首魁ナル者ハ亞勒山德黎亞(人口六六)ニシテ首府即チ改羅(人口二十)ナリ

炭林哥羅尼及ヒ那達院
カイロ
カイロ

一千六百五十二年(バルソロミユイアズ氏が亞非利加和蘭ノ東印度會社コ於テ其船隊危難ヲ避ケ或ハ休憩スル爲メニ一地ヲトシテ植民所即チ寄住所 現今ノヲ設ケシ以前ハ亞非利加南部ニ他洲ノ人民住セシ地ハ一モアラザリキ○本洲ノ土人ハ所謂哈丁多ニシテ專ラ牛羊等ヲ畜フテ以テ生ヲ營ミ昔時ニ在テハ今日吾人が目撃スル如キ卑賤ノ種族ニハアラザリシガ爾後風俗ノ醜惡ニ變換スルコトハ其例少シトセズ此地ニ移住セ

ル和蘭人ハ微頭徹尾非道殘酷ノ品行ヲ表出セリ今其一ニヲ舉ゲンニ和蘭人暴コ土人ノ所有スル最上ノ牧地ヲ掠奪セシニ因リ土人ノ怨ヲ報ユル爲メニ家畜ヲ偷ニ或ハ火ヲ放チテ夫レ怨有テ之ニ報ユルコトハ自然ノ勢ナリ然ルニ和蘭人之ヲ名トシ或ハ又名ナクシテコムマソドリス即チ兵隊ヲ遣ハシ頗ル土人ヲ殺戮ノ其家畜ヲ奪掠シ或ハ之ヲ驅逐セリ○一千六百七十二年和蘭人或ル酋長ヨリ炭林ノ一地ヲ買ヒ得ル其價トシテ玩具ニ等シキ些少ノ物ヲ與ヘシコトアリ故ニ名ハ之ヲ買フガ如シト雖モ實ハ欺キテ之ヲ取ルモノナリ○和蘭人ハ早ク此殖民地ニ於テ奴隸買賣ノ法ヲ開キ畿內亞摩達加斯加ヨリ黑奴ヲ輸入シ利ヘ土人ヲ誘フテ奴隸ノ苦域ニ陷ラシメタリ○一千七百七十年以來和蘭人が彼ノコムマソドリスヲ使役スルコト漸ク盛ンニシテ益々其法則ヲ嚴ニシテ土人ヲ驅逐シ或ハ殺傷スルコト殆ンド野獸ニ異ナラス且ツ其幼者ヲ捕ヘテ奴隸ト爲セリ而シテ和蘭人が奴隸ニ加フル刑罰ノ苛酷ナルコト甚シキニ至リテハ杖ヲ以テ身ヲ貫キ或ハ架ニ附シテ肢ヲ裂キ或ハ生ナガラ皮ヲ剥クニ至レリ蓋シ是等ノ慘刑ハミナ和蘭政府ノ許可セン所トイフ○斯ノ如キ形勢ヲ以テ哈丁多及ヒ波日曼或ハボス

エスマン(共ニ八種ノ名但シボスエスマンハ哈丁多ノ遊族ノ餘類ニシテ戰闘又ハ饑饉ノ爲メ大ニ窘迫セルモノナ)ハ共ニミナ漸次壓服或ハ剿絶セラレ其領地東部ノ内東經二十五度二十分ノ處ニ流ル、ガムトス河ニ至ルマテハ悉ク和蘭ノ農民之ヲ掠奪シ假ニ此河ヲ以テ植民地ノ境ト定メタル○此河ヨリ東及ヒ北東ノ地ハ哈丁多及ヒ黑奴ト著シク異ナリヨル一種族即チ加弗勒ノ住處ナリ○加弗勒人種又之ヲ區別シテ數類ト爲ス則チアマエシ、アマボンヂ、アマズル即チズルスママビル等ナリ但シ人種ノ名ニ「アマ」ノ字ヲ冠スルコトハ模數ノ號ナリ○各種族住地ヲ同クセザルヲ以テ自ラ其音聲ヲ異ニスト雖モ亦言語互ニ相通ス然レドモ容貌ハ亞非利加人ノ如クナラス却テ亞細亞人ニ近ク似テ亞比亞尼亞及ヒ亞刺比亞ノセマツツ種等ニ類スル所アリ而シテ其猪肉ヲ嫌フト周割ノ禮猶太人が耶蘇ノ宗門ヲ行フト其他各般ノ習俗トニ由テ之ヲ觀レハ又猶太人ナルカ如シ概シテ之ヲ言ヘハ加弗勒人ハ近傍ノ土人ヨリモ稍々氣力アリテ開化ノ度モ亦少シク進歩セリ故ニ之ヲ未開ノ人民ヲ以テ視ルコトハ尙ホ可ナリ敢テ野蠻ト稱スベカラズ○其政體ハ封建ナリ各處ニ小酋長アリテ各々數村ヲ領掌シ而シテ一君主ヲ奉戴ス此人種ノ食料トスル所ハ蔬菜

等モ耕種セザルニアラズト雖モ主トスル所ハ家畜ノ乳汁ト歐獵ノ獲物ナリ○抑々加弗勒ノ名稱ハモリス人が始メテ此人種ニ與ヘシモノニシテ不信者ト云フ義ナリ○國史類ハ絶テ無シ故ニ傳記モ亦稀少ナリ○加弗勒人カ和蘭ノ農民ト相擽撃スル難ヲ避ケ務メテ平穩ニ日ヲ度ラント計リシコトハ其證一ニシテ足ラザルナリ然レハ和蘭ノ農民等ハ既ニ哈丁多ヲ壓服セシヨリカムトス河ヲ渡リテ加弗勒人ヲ擽撃シ又其家畜ヲ掠奪スルコトニ着手セリ地方官長ハ却テ一隊ノ兵ヲ命シ加弗勒人ヲ魚河ノ外ニ逐ヒ斥ケ此河ヲ以テ植民地ノ境界ト爲セリ○一千七百九十二年オレンヂ侯ノ和蘭ヨリ逐ハレシ時英軍侯ノ爲メニ此炭林ヲ取リ得タリ○是ヨリ先キ彼ノ和蘭農民等ハ已ニ亂ヲ起シテ三色ノ旗ヲ掲ケモレーヴィアン一派ノ宣教師ヲ逐ヒ斥ケリ○當時植民地ハ四區ニ分レテ幅員ノ總計一萬二千方里アリ而シテ白替ノ人民ハ二萬アリ○是ニ於テ英ヨリ來ル地方ノ官長ハ植民地ノ境界ヲ確定シ且ツモレーヴィアン一派ノ宣教師ヲ再興セントセシカハ農民等ガ最モ厭ヒ惡ミタルハ哈丁多ヲ教育シタルノ一事ナリ○爾後亞眠ノ契約ニ因テ炭林ノ地再ヒ和蘭ニ歸セリ時ニフアンデンケムプト云ヘル宣教師アリ具サ

亞非利加地誌

ニ新令官ニ告クルコ農民等ガ土人ヲ遇スル慘酷ノ狀ヲ以テス
 其慘狀ノ如キハ殆ソト聽クモノヲシテ覺ユズ其身ヲ戰慄セシ
 ム是レニ由テ新令官ハ銳意奮發從來ノ殘忍ナル行事ヲ禁止
 セリ〇一千八百六十六年英ノ政府佛國ノ異圖アルヲ察シテ再ヒ此
 植民地ヲ取リシ以來終ニ全ク英國ノ版圖ニ屬セリ〇抑々大貌
 利頗國ガ此殖民地ヲ領セシ以還政治上ヨリ論スレバ大ニ公衆
 ノ利益ヲ害シ道徳上ヨリ見レハ甚ダ信義ニ背クコト多カリキ而
 シテ情勢ノ此ニ至レルコトハ畢竟諸有司ノ輩ガ彼ノ農民ヨリ撰
 舉シ出シタル委員ノ私論ヲ過信シタルヲ以テナリ蓋シ農民等
 ハ土人ヲ視ルコト豺狼ノ如ク或ハ之ヲ驅リ盡スベシト罵リ或ハ
 捕ヘテ奴隸ト爲スベシト言フモノアリ〇有司等ガ加弗勒人ヲ
 待遇スルコト斯ノ如クナルヲ以テ遂ニ戰鬪ノ絶ユル時ナキ結果
 ヲ來セシモ敢テ怪シムニ足ラザルベシ〇此戰亂ノ如キハ殖民
 地ニ於テ永世雪クベカラザル醜名ヲ遺シ英國ハ之ガ爲メニ幾
 百萬ノ貨財ヲ糜セリ且ツ從前和蘭人ガ邊境ノ土人ニ備フル爲
 メニ設ケタル兵制ハ英國ノ法ニ從ヒ愈々充分ノ威力ヲ以テ行
 ハレタリ此事タルヤ遂ニ本國政府ノ深ク注意スル所ト爲レリ
 故ニ開拓長官ノ斯坦來侯(今ノザル) (ペー侯) 一千八百三十三年ノ公文

ニ之ヲ論シテ曰ク現狀ニ由テ觀察スレバ此遠征ノ兵隊ハ土人
 ガ歐洲人ニ強奪セラレタル土地ニ亂入スル時之ヲ防キ或ハ之
 ヲ戒ムル爲ニ用ヰシコトモ間々アレハ多クハ和蘭及ヒ英ノ農民
 輩ノ爪牙ト爲リテ其貪慾ヲ擅コシ或ハ其私怨ヲ報スルヲ扶ク
 ルノミ甚シキニ至テハ極メテ殘暴ヲ究ムルヲ以テ世ニ注目セ
 ラレ本國政府ハ之ガ爲ニ汚辱ヲ蒙リ土人ハ爲ニ非命ニ没セリ
 又予嘗テ此殘暴ノ役ニ從ヒタル一武官ヨリ聞クアリ曰ク此
 役ヤ英國ノ兵隊營ヲ遭遇セシ戰鬪中ノ最モ殘酷ナルモノニシ
 テ國ノ汚辱ヲ極メタリ加之我が政府ト條約ヲ結ヒタル酋長ニ
 對シ往々信義ヲ破リ屢々政令ヲ變更シ朝コ飾シ夕ニ禁スルコ
 トアリ假令ヒ土人ノ損害ヲ蒙ルコトアリハ斷乎トシテ顧リミ
 ザリシニアラスヤト〇一千八百二十年ニ至リ移住ノ人民アリ
 タ員數四千ヲ増加セリ蓋シ多クハ蘇國ノ人ニシテ亞爾俄亞
 灣ノ阿爾巴尼亞ニ住居セリ〇一千八百二十八年政府新令ヲ發
 シ哈丁多人ニ許スニ歐洲人ト對等ノ權利ヲ以テセリ是レ土人
 ニ於テハ寬大至要ノ改正ト謂フベシ故ニ發令ノ日ヨリ土人ハ
 強迫ノ勞役ニ服スルコトヲ免レ他ノ人民ト等シク自己ノ財產ヲ
 所有スベキ權利ヲ得タリ次テ一千八百三十四年植民地内ノ奴

隸法ヲ廢スベキ布令ヲ發シタリ然レハ一千八百三十八年マデ
 ハ定期徒第ト唱ヘテ陽ニ奴隸ノ名ハ消絶スト雖モ其實未ダ陰
 然トシテ止マザルモノアリ當時廢シタル奴隸ノ總數ハ三萬六
 千人ニシテ其所有主ニ賠償トシテ附與セシ金額ハ一百二十五
 萬磅ナリ〇是ヨリ先キ加弗勒人ハ自己ノ所領ト思ヒタル土地
 ヲ放逐サレテ他ニ移レハ復タ逐ヒ斥ラレ遂ニ安スル所ヲ失フ
 ニ至リ剩ヘ地方官ヨリ反捕法ヲ設ケテ加弗勒人ノ第一號ノ村
 ヲ襲撃シ其家畜ヲ奪ヒ去ルヲ以テ移住ノ人民ノ嘗テ盜マレタ
 ルモノ、ミナラズ實ニ自己ノ疎漏ニ因テ失ヒタルモノマテノ
 賠償トシテ之ニ附與セシカバ土人憤怒ニ堪ヘ難ク忽チ群集シ
 テ一隊ヲ成シ遂ニ植民地ニ亂入シ(一千八百三十四年) 農民ヲ殺シ家屋
 ヲ燒キ畜類ヲ奪フ等ノ暴行至ラザル所ナシ然レハ婦人女子ハ
 ミナ之ヲ免レ去ラシム連續殆ソト一年ノ激戰ト爲リシガ加弗
 勒ノ酋長等遂ニ勢盡キテ降服シタルヲ以テ植民地ノ境界ヲケ
 イ河ニ至ルマテ擴張シタリ〇此役ヤ固ヨリ本國政府ノ許可ス
 ル所ニアラス因テ開拓長官少レナルコトハ一千八百三十五年
 ノ公書ニ激烈ナル語辭ヲ以テ植民地ノ地方官ガ土人ヲ待ツノ
 非道ナルコトヲ證實シ且ツ地方官長カ加弗勒人ヲ目シテ教化ス

ベカラザル頑愚ノ野蠻ト爲スコトノ非理ナルヲ開陳説諭セリ〇
 一千八百三十六年和蘭ノ農民等英ノ政治ニ服從セシ其保護ヲ
 棄テ、境外ニ出テ別ニ良地ヲ撰ンテ居住セント欲シ既ニ移轉
 ノ事ニ着手シ許多ノ農民先ツ那達兒ニ至リシガ後チ又過半此
 地ヲ去リ終ニキーガリー一名フアル河ノ北ニト居シ一派
 ノ共和政治國ヲ建設シタリ抑々彼輩ガ不平ヲ抱ク原因ハ大約
 奴隸ノ解放ト其價金配分ノ不公平トニ在ルノミ〇爾後チヨ
 ナ、ナヒール君ガ地方官長ノ職ニ在ルコト實ニ六年ナリ其間克
 シクグレチルコト候ノ定メタル政法ニ從ヒ且ツ酋長ヲ遇スルニ專
 ラ信實ト寬裕ヲ以テセシカバ其德洽シ邊境ニ被ユリ時平ラカ
 ニ民昌ヘタリ然レハハイレ、スミス君ガ代テ此職ニ任スル
 ニ當ルヤ再ヒ反捕法ヲ興復スルヲ以テ酋長等忽チ疑心ヲ懷キ
 一千八百四十六年復タ戰端ヲ開キシガ此時亦植民地ノ境界ヲ
 ケイ河マテ擴張キ加弗勒人ヲ境外ニ逐ヒ斥ルニ及ンテ終ニ止
 戰ス然レハ加弗勒人ハ一千八百三十六年ノ條約ニ因テ得タル
 所ノ權利ヲ失ヘリ是ニ於テ不平ト忿怒ニ加アルニハイレ、
 スミス君ガ措置ノ宜カラザルヲ以テ遂ニ一千八百五十一年
 ヲリ連續二年ノ戰爭ヲ起セリ結局ニ至リテハ本國許多ノ人ヲ

損シ財ヲ廢シ得ル所ハ却テ失フ所ヲ償フニ足ラザリキ○加弗
 勒人ノ事ニ就キ最後ノ情況(一千八百五十七年)ヲ聞クニ其中ニ一個ノ
 先知者ト唱フルモノアリテ何等ノ事ヲ説得シタルヤ衆ニ十之
 フ信用シ一週年間手ヲ空フシテ耕耘ヲ顧ミザルヲ以テ遂ニ饑
 饉ニ迫リ植民地内ニ入りテ食ヲ乞フモノ役ヲ求ムルモノ千ヲ
 以テ算フルコ至ルト云ヘリ

一千八百五十三年本國政府植民地ニ命シテ民撰議院ノ政体ヲ
 立ツルコトヲ許可セリ蓋シ此政体ニヨルトキハ則チ行政ノ權ハ
 勅撰ノ一官長專ラ之ヲ掌握シ立法ノ權ハ總テ二會館ノ協議ニ
 屬スヘシ○グリシアス人(白人ト黒奴ノ雜交)ニベシアナ人種
 ノ諸友族及ヒ移住ノ和蘭人等ノ雜居セル人民ニハ(當時
 「オレンヂ、リ、リ、ザ、アル、ソ」グレインチート稱セリ)ニ支ノ間ニ位スル土地ヲ附與シ以
 テ一個ノ獨立國ヲ立ツルコトヲ許容セリ之ヲ名ケテオレンヂノ
 獨立國ト云フ

境界 此植民地ハ南ト西ニ大洋アリ北ニ橋一名ガリイ河及
 ヒ其支流ユガリイ河アリ又東ハ東經二十五度ニ達シケイスガ
 ムマ河及ヒ其水源ヨリ北流シテガリイ河ニ連ナル一條ノ流
 水來リテ之ガ界ヲナセリ○長徑ハ東西凡ソ六百里廣約四百五

十里アリテ幅員二萬方里ヲ越ヘタリ○海濱著シク連邊シテ港
 灣甚ダ少ナシ惟其顯著ナルモノハ西濱ニ在テ聖厄勒那サル
 ダンハ、テ、ア、ブル、及ヒ、ソ、ニ、ル、ス、ノ、四、灣、ニ、シ、テ、東、濱、ニ、在、テ、ハ
 アルゴアノ一灣アルノミ然レハサルダンハ灣ヲ除ク外ハミナ
 船舶ヲ護衛スルニ足ルベキ地形ニアラズ僅ニ一時ノ碇泊處タ
 ルニ過ギザルノミ○全地ノ形勢ハ西南ニ大洋ヲ環ラシ海濱ヨ
 リ内地ニ向ヒ地位漸ク高クシテ分レテ三段ト爲レリ每段一列
 ノ山脈アリテ相互ニ平行ス第一段ノ山脈ト大洋ノ間ニ位スル
 一帶ノ地ハ闊サ平均二十里アリテ西部ハ荒蕪ナレト南部ハ頗
 ル豊饒ナリ灌溉ノ便利ヲ得ルコト實ニ植民地ニ於テ他ノ部分
 ニ冠絶セリ○第一第二ノ山嶺ハ平均高サ三千尺ヨリ四千五百
 尺アリテ山間ニ空谷アリ此空谷海岸ヨリ高キコト一千尺ニシテ
 一部ハ荒蕪一部ハ豊饒ナリ○第三ノ山嶺ハ所謂ニ「ウーフェ
 ルド(新野)及ヒスニウーベルク(雪山)ニシテ高サ一萬尺餘ニ
 聳立セリ位置植民地ノ北東ニ在テ一大山脈ヲ成シ大洲ノ南部
 一圓ノ東濱ニ對シテ平行シ終ニ亞比西尼亞ノ諸山ニ接ス○第
 二嶺ト第三嶺ノ間ニハグレート、カルロート名クル沙漠アリ
 其地位海濱ヨリ高キコト二千尺餘ニシテ殆ト濕氣ナキ瘠土ナリ

北部ニ廣大ナル斜地アリテ橋河畔ニ連レリ此河ハ植民地中第
 一ノ大河ニシテ其水源ハ東方山脈ノ一部ナルクアズラム山
 (南緯二十五度ト二)ニ發シ殆ト直西ニ流レテ大西洋ニ注人
 長流凡一千里アリ而シテ河口ニ沙灘アリテ其闊サト深サハ
 時ニ由リテ甚ダ異ナレリ蓋シ乾涸ノ時ニ於テ多分ハ歩沙スベ
 クシテ他ノ部ハ極メテ深キコトアルガ如シ○國中ニハ絶ヘテ湖
 水ナシ而シテ泉水及ビ恒ニ流ル、川モ亦概シテ少シトセズ然
 レハ加弗勒蘭ニ接スル地方ハ水ノ便利最モ宜シ
 植民地ヲ分ケテ東西ノ二部ト爲シ又之ヲ小分シテ二十二區ト
 ナス而シテ中央政府ヲ設クル都會ノ地ヲケイプ、マウソ、岬城
 ト云フ民口二萬五千アリ又阿爾巴尼地方ノグラムス、タウ
 ソハ東部中第一ノ城市ニシテ六千ノ民口アリ○植民地ノ總民
 口ハ一千八百五十三年ノ計算ニ據レバ二十二萬四千八百二十
 七口ニシテ其内白人八萬五千三百七十九口アリ○土地ハ過半牧
 畜ニ適スルノミト雖モ亦好ク耕種ニ堪フル部分モ少カラス○
 小麥、粟黍ハ充分ニ生長シ葡萄樹モ好ク繁茂ス甘蔗、茶、咖啡、麻
 棉花等モ亦斷然此地ノ主産中ニ班列シテ可ナルベシ○食料ニ
 供スベキ最上ノ動物極メテ多シ○氣候頗ル平和ニシテ好ク英

人ノ體質ニ適合ス蓋シ氣中ノ溫度ハ華氏ノ八十度ヨリ五十度
 ニ至リテ平均六十七度ナリ○炭火ニ於テ公路ノ良好ニシテ便
 利ナルコト實ニ植民地ニハ過キタリト謂フベシ蓋シ該地ノ僱役
 人ヲ驅使シテ造リシモノナリ旱魃及ビ蝗蟲ノ如キハ此地ノ患
 害ナルコト固ヨリ言フ待タザレハ概シテ之ヲ論ズレバ土地ノ繁
 昌ヲ致スニ主トシテ要スル所ハ土人ノ害ヲ防シヨリ急ナルナ
 キニ似タリ故ニ其入寇ヲ防禦センガ爲メニ築ヲ築キ前年魯西
 亞ト戰ヒシキニ備ヒタル許多ノ日耳曼兵以テ之ニ備ヘリ○一
 千八百五十三年ニハ學校ノ數百二十一ニシテ生徒ノ數ハ一萬三
 千九百五拾一人アリ且ツ專門學校ノ設立ハ一千八百二十九年
 ニ係レリ又該地發行ノ新聞紙ニハ種類三十餘アリ○現今主ト
 ノ輸出スル物品ハ羊毛、葡萄酒、銅鑛、象牙、獸皮、蘆薈等ナリ○
 一千八百四十一年羊毛輸出ノ總計斤兩一百萬封ナリシガ千八
 百五十五年ニ於テハ一千二百萬封ニ増加セリ○一千八百五十
 六年輸出諸品ノ總價ハ一百十三萬六千三百三十六磅ニシテ輸入
 諸品ノ總價ハ一百四十萬四千四百九十八磅ナリ

那達兒港

那達兒港ハ南緯凡ソ二十九度五十分ノ地位ニ在リテ炭火哥羅

尼ノ境界ヨリ北東ニ向ヒ長ク一直線ニ連續シタル海濱中ノ一浦ナリ○一千八百三十五年英人數輩住居ヲ此ニ定メシヨリ幾クナラスシテ和蘭ノ農民等多ク炭朴哥羅尼ヲ去リテ之ニ合併セリ時ニ一千八百三十六年ナリ○一千八百四十二年英國政府之ヲ取リテ其屬地ニ併セ一千八百四十九年ニ至リ又之ヲ裂キテ別ニ一屬地トナセリ○爾後和蘭ノ農民等多ク不平ヲ鳴シ同國ノ人民舉ケテ此地ヲ去リフール河ノ外ニ聚合セリ然レヒ一千八百四十八年ヨリ同五十年ニ至ルノ間大貌利頗ヨリ此ニ移住セシモノ頗ル多シ○那達兒ト炭朴哥羅尼ノ地ハ加弗刺利亞アリテ之ヲ隔テリ○加弗刺利亞海濱ニ沿フテケイスカムマウムシムシル兩河ノ間ニ夾マル○那達兒ノ植民地ハウムシムシル河(南緯三十度四十度ノ處ニ在リ)ヨリ烏德加拉河マデ二百里ノ間全ク海ニ瀕シ烏德加拉ノ北支ナル氷牛河ヲ以テ其北東ノ境界ヲ爲セリ○那達兒ハ内地ニ向テ廣大ナル一六十里ヨリ一百廿里ニ達シテ彼ノ大東嶺ノ一部ナルクアズラムハ即チダラナムベルク諸山ニ至ル其幅員一萬八千方里アリ地味肥沃ニシテ水利ノ便ナルヲ全ク炭朴ニ反對セリ冬時ハ温度五十度ヨリ六十度ニシテ夏時ハ平均七十六度ナリ氣候極メテ和平方爽ニシテ山

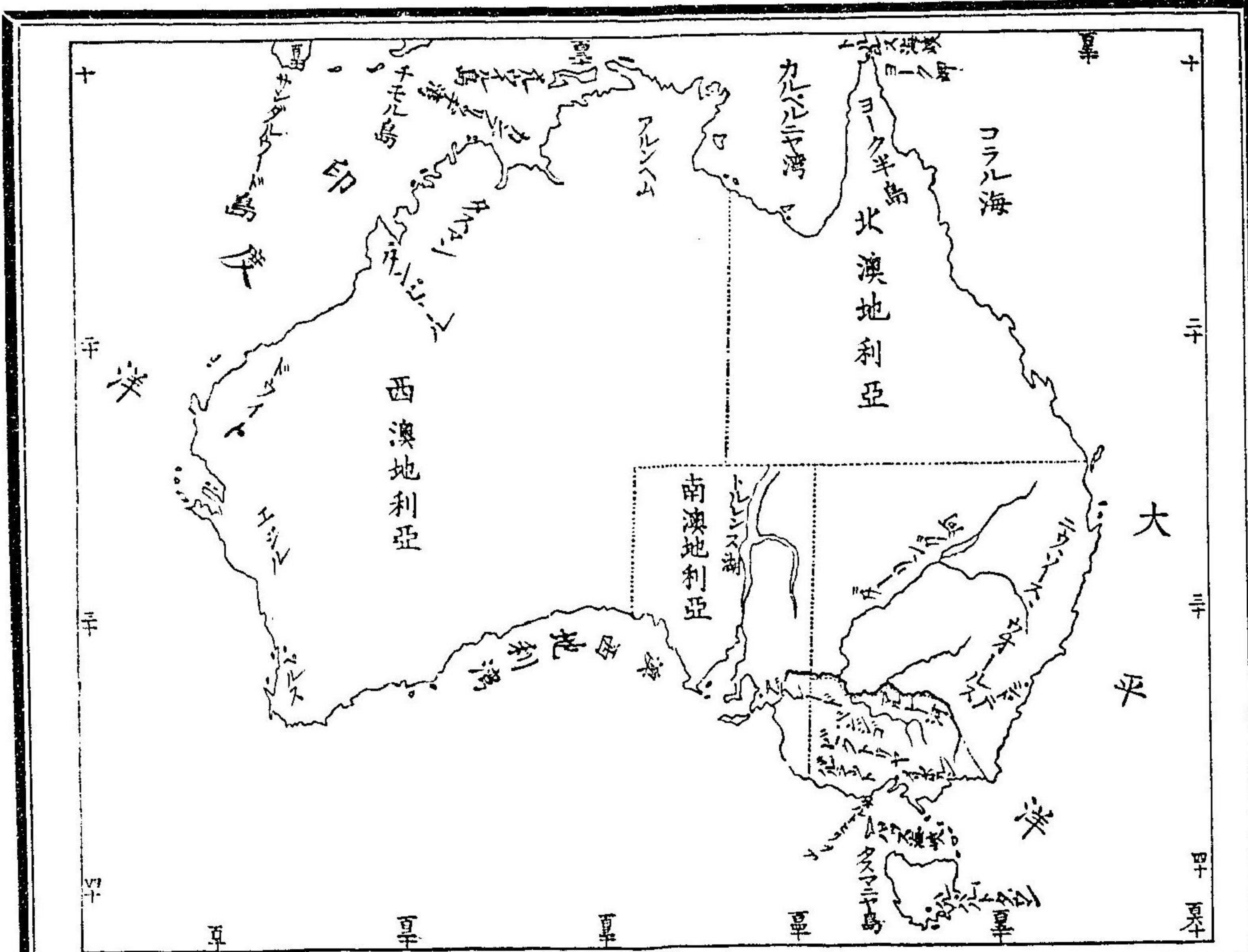
水ノ佳景酷ダ愛スヘキアリ○棉花、咖啡、砂糖、烟草、錠麻等ハ瀕海ノ地ニ繁生シ麥、黍、其他穀類ハ總テ第二段ノ斜地ニ生殖シ而シテ第三段ノ斜地ニ於テハ更ニ好ク牧畜ノ用ニ適セリ夫レ那達兒ノ地タルヤ若シ富有者ノ鼓動盡カスルアリテ棉花ヲ栽種セシメハ以テ蘭加舍爾ノ棉布製造ニ供スルニ足ルナラシ○甘蔗ノ栽種ハ既ニ充分ノ功ヲ奏セリ○土民ノ數ハ十一萬三千アリミナ蘇拉加弗刺人種ナリ性質溫良ニシテ信實アリ故ニ家僕トシテ使用スベシ又此地ニ移住スル白人ノ員數ハ七千六百二十九人ナリト云フ○首都ヲ彼得馬利其堡ト名ク其地位那達兒灣ノ海濱ナル達爾般港ヨリ五十里ノ内地ニ在リ

英領加弗刺利亞 加弗刺利亞ノ内ケイスカムマ、ケイ兩河ノ間ニ位スル部分ハ初メヨリ炭朴哥羅尼ノ管轄ニ屬セズシテ王家ノ所領タリ故ニ全地ミナ王家ノ直轄ナリト雖モ地ヲ分ツテ諸酋長ニ付托シ此ニ住セル一歐洲人ノ勸教ニ隨ヒ各其黨類ヲ統轄スルコトヲ許容セリ○南亞弗利加ノ内ニ在ル英國所轄ノ地ニシテ天然ノ利ヲ得ル多キヲ蓋シ此地ニ如クハナシ故ニ此地ノ一部ヲ世コクタウン、リセルゲ(王家ノ藏ト稱ス)ト稱ス是レ歐洲人ノ爭フテ居住スル所以ナリ而シテ彼ノ日耳曼ノ兵モ亦多ク

此地ニ在リ其首都ヲ名ケケینگズスウイリヤム、タウント曰フ

亞弗利加地誌學

大洋洲



大洋洲

此稱ハ地理學者ノ説ニ據レハ亞細亞ノ南東濱ト亞米利加ノ西濱トノ間ニ散在スル無數ノ島嶼ヲ合セテ之ヲ言フナリ此大洲ノ一方ハ摩鹿加海峽支那海及大濶海峽ヲ以テ亞細亞ヨリ分レ又他ノ一方ハ廣濶ニシテ島嶼少キ一帯ノ大洋ヲ以テ亞米利加ヨリ分ル而シテ其地位南緯五十度ヨリ北緯三十度ニ達シ東經九十六度ニ起リ他ノ半球ニ跨リテ幾ント西經百十五度ニ達ス今之ヲ天然ノ地勢ニ因リ大分シテ三部ト爲ス曰ク馬來西亞曰ク波里尼西亞是ナリ三部ノ幅員ヲ惣計スレハ四百十三萬二千方里ニシテ人口一千四百萬ヨリ一千六百萬ノ間ナリト云フ然レトモ是固ヨリ概算ニ據ルモノニシテ精確ノ數ニアラス此等諸島ノ地球上ニ散在スルヤ其境域斯ノ如ク廣漠ナリト雖モ其住民ハ全ク一種族ニ係ルカ如シ即ドクトルラザム氏ノ所謂蒙古人種中ノ大洋族是ナリ(人種篇ヲ參見スヘシ)此說固ヨリ信據スベシト雖モ亦同族中大ニ異ナル所アレハ再ヒ之ヲ區分シテ二種ト爲スモ敢テ不可ナカルヘシ

其一種ハ肌膚棕色ヨリ黃色橄欖色微棕色ニ至リ伸直ナル毛髮ヲ有ス又他ノ一種ハ煤黑色ニシテ毛髮間或ハ伸直ノモノアレ

凡大概ハ髮縮シ甚シキハ綿毛ノ如シ澳大利亞ノ土人ハ都テ此
煤黒ノ種族ニ屬シ達斯馬尼亞新畿內亞新愛蘭新希伯利斯的
新加勒德尼亞等ノ土人モ亦此種族ニ係ル其他大洋洲中ノ島民
ハ悉ク皆棕色ノ種族ナリ

馬來西亞

馬來西亞ハ亞細亞ノ南東海濱ニ近接スル群島ニテ本來ノ住
民馬來種ナルヲ以テ此名アリ世人ノ所謂東印度諸島是ナリ其
位置南緯十二度四十分ニ起リ北緯二十度ニ達シ東經九十五度
ト百三十四度ノ間ニ在リ而シテ全部ノ地形ハ無數ノ小島群集
シ大小ノ海峽亦其間ニ交互シテ頗ル錯雜ヲ極メタリ仮シ此間
ノ海コシテ他ノ諸海ト異ナル所ナカラシメハ實ニ行船ノ難所
タルベキニ其海上ノ常ニ平和ニシテ且風潮ノ恒ニ定マレルハ
又天幸ト謂フベキナリ

馬來西亞ハ全部悉ク熱帶内ニ位スルヲ以テ各處ノ氣候動植ノ
物産及人民ノ性情共ニ自カラ相同シ而シテ諸島ノ地勢都テ山
多シ就中最高キハ蘇門答臘ノ荷非爾山ニシテ其高一萬三千五
十尺ナリ又諸島中數多ノ火山アリ即呂宋瓜哇等ノ如キ是ナリ
又各島平地少クシテ叢莽並ニ不健康ナル卑濕ノ地多ク乾燥ノ

ラント○亞細亞大陸ヨリ此地ニ移テ住民ト爲レルハ支那人ヲ
最多シトス暹羅人印度人ノ如キモ亦間之アリ○宗旨ハ回教ニ
シテ馬來八種中ノ稍改進黨徒ノ間ニ行ハレ殊ニ海邊ニ於テ
盛ナリ此宗教ノ始々此國ニ入リシハ實ニ千三百年代ニアリ自
餘野蠻種族ハ皆異教ノ徒ノヨリ馬來人種中ニ在テ最開化
シタルモノハ瓜哇人ナリ此人民ハ自國ノ文學ヲ修メ又頗ル造
船冶金紡織等ノ技術ニ長セリ○政事上ニ就テ言ヘハ馬來西亞
諸島ノ中ニ多少領地ヲ有スル開明ノ國ニアリ曰ク和蘭曰ク西
班牙曰ク葡萄牙是ナリ就中蘭ハ瓜哇蘇門答臘ノ過半摩鹿加諸
島(一名香料諸島)ヲ領シ且ツ其威權ヲ普ク群島ノ南部ニ震ヒ
班ハ非利比納諸島ノ過半ヲ有ス而シテ葡ニ屬スルモノハ僅ニ
池間島中ノ一部ノミ○貌利和蘭ト戰爭ノ際瓜哇及蘇門答臘
ヲ取リメレトモ一千八百十五年兩國和成ルニ及ンテ皆之ヲ
舊ニ復セリ○一千八百二十五年ベンゴール(蘇門答臘ノ西
市街)並ニ蘇門答臘ニ在ル貌國ノ屬地ヲ以テ暹羅地方ニ在ル
和蘭ノ屬地摩鹿加ト交換セリ○摩鹿加ハ現今貌國ノ所領ニシ
テ幅員凡一千方里ノ地ナリ其都市モ亦之ヲ摩鹿加ト名ツク其
地位ハ北緯二度ト三度ノ間ニ當リ馬來半島ノ南西海濱ニ在リ

大洋洲地誌

荒地ハ絶テ無シ而シテ未耕種セサル處ニ却テ良地アレドモ概
テ大樹ノ叢林之ヲ蔽ヘリ茲ニ此諸島ヨリ主トシテ輸出スル物
品ノ目錄ヲ掲ケ以テ其産スル所ヲ示サントス則其植物ニ屬ス
ルモノハ肉荳蔻丁子桂皮胡椒咖啡米西米靛棉花糖麻烟
草樟腦ガツサテ黍護謨ガツタメルカトルメンタインビート
ル椰子蔗糖竿藤檳榔子竹麵菓麻栗樹檀香木自餘家屋及
木器ヲ造ルニ供スル木材等ナリ又其動物ニ屬スル者ハ象牙
羊毛獸皮馬毛皮眞珠燕窩(エチグルホ)ルン
ス、フイ アンブルグリース等ナリ又其金石ニ屬スルモノハ金沙
ゴールド、錫、アンチモニー、銅、鐵、煤炭、金剛石、其他石類ナリ○
馬來西亞ハ斯ノ如ク熱帶地方ノ各種物産ニ富ムカ故ニ一旦其
法制ヲ改良セハ恐ラクハ地球上第一等ノ上地トナラン○土民
ハ大概彼ノ大洋洲中ノ棕色ニシテ最氣力アル一種即馬來人種
ニ屬スト雖モ其中又種々ノ分派有テ各其稱呼ヲ異ニス即馬來
本種瓜哇人、ダイアシスマカ、サルズズール、如キ是ナ
リ其他大島ノ内部ニ住スル人民ハ容貌澳大利亞ノ黑奴ニ似テ
更ニ下等ノ種族ナリ故ニ人或ハ以爲ラク是即本來ノ土人ニシ
テ今ノ馬來人ニ驅逐セラレ殆ント盡滅ニ歸セトスルモノナ

○摩鹿加及之ト同シ海濱ノ北凡ソ三度ニ當レル伯林斯阿非威
爾斯島並ニ半島馬來ノ南ナル新嘉坡島ハ共ニ東印度會社所有ト
爲リ近來一種特別ノ政府ヲ立テリ今其管内ノ諸地ヲ合稱セテ
東海峽ト移住地トイストルン、ストレト云フ○新嘉坡ハ東印
度諸島ト亞細亞ノ南方及歐羅巴トノ間ニ在リテ貿易ヲ行フニ
便利ノ地ナルニ因リ駁々トシテ日ニ旺盛ニ趣キ今將ニ一大市
場ト爲ラントスルノ勢アリ○一千八百五十三年貌國ヨリ價六
十萬磅ノ貨物ヲ此地ニ輸入セリト云フ○婆羅北西ノ近海ナル
勒布恒ノ小島ハ一千四百四十六年貌國ノ植民地ト爲リタル此
小島ノ切要ナル所以ハ島内ニ煤山アルト近傍諸海峽ノ海賊ヲ
防キテ貿易ヲ保護ズル兵船ノ碇泊處ト爲スノ便利アレハナリ
○一千八百四十一年以來英國ノ士若迷斯不爐克君ハ婆羅本
島北西ノ一部ナルサレンク州ニ立ラレテ君主ト爲リタリ斯ノ
如キ情勢ナルヲ以テ貌國政府ノ馬來群島ニ於ケルハ和蘭及西
班牙ニ比スレハ直接ノ政權ヲ有ツト少シ○上ニ謂フ所ノ歐
洲諸國各斯ノ如キ豐饒ナル長島ヲ領セルニ其産業上亦人倫上
ニ於テ兩ナカラ興起改進黨所ノ微々トシテ見ルベキナキハ
又歎息ノ至ニアラスヤ

澳洲細説

地理學者或ハ此地名ヲ以テ今此篇ニ謂ハユル大洋洲ト幾ト同

一義ニ看做スモノナキニアラサレトモ更ニ嚴密ニ穿鑿スルト

キハ大洋洲ノ中央ナル最大ノ一島即澳洲(又新和蘭)ト其

北東及南東ヲ繞リテ帶狀ヲ爲セル群島ヲ合稱スルナリ此帶狀

群島中ノ尤ナル者ハ巴不亞(一名新幾尼亞)新統利風新統利

蘇魯門諸島新希比利諸島新加勒尼亞諸島佛爾克島新徐蘭

遮的威諸島澳克蘭諸島及ヒ班地曼蘭島一名達斯馬尼亞是ナリ

○巴不亞島ハ澳洲ノ北トルレス海峡ノ對方ニ在リ其長凡

ソ一千三百里ニシテ幅員二十八萬方里ニ出入ス此島ハ歐洲人

ノ未能ク探知セザル所ト雖モ島中ニ極高ノ山嶺アルト海邊ノ

田土豐饒ニシテ農業ノ盛ナルカ如キハ遊歴者ノ親シク目撃

スル所ナリ○土民ハ概テ澳洲人ニ似テ膚色黒シト雖モ之

ニ比スレハ更ニ氣力アリ其食ハ大抵魚ニアラサレバ則テ鱈ナリ

且ツ好テ人ヲ食フノ弊風アリ其北濱ニ於テ支那人トノ貿易頗

ル盛ナリ○自餘此帶狀ノ北部ニ當ル諸島ノ中其大巴不亞ニ次

シモノハ近來佛國ノ版圖ニ屬シタル新加勒尼亞ナリ其闊僅

ニ六十里ニ過ズト雖モ其長ハ四百里ニ及ヘリ○此等島嶼ノ内

地ニハ大抵皆高山アリ多クハ火山ニシテ現ニ熔氣ヲ噴出スル

モノアリ而シテ其稍低キ處ハ地味肥沃ニシテ犬豕及魚類ニ富

メリ土人ハ黑色ノ野蠻人種ナリ○澳洲ハ大島ニアラズ大

洲ナリ其新徐蘭達斯馬尼亞遮的威島等ト共ニ英國ノ版圖ニ

入ルヲ以テ殊ニ一層ノ注意ヲ加ヘテ誌サ、ルヘカラス

澳洲細説ニ殖民地

澳洲ハ南緯十度四十五分ヨリ三十八度四十五分ニ達シ東

經百十二度二十分ニ起リ百五十三度三十分ニ終ル其最闊キ處

凡ソ一千九百法里(スタテユイ)ニシテ最長キ處ハ二千四百里

ナリ而シテ其幅員二百六十九萬方里即全歐羅巴ノ大約四分

三ニ當ル抑支那人ノ此國ヲ知リタルハ巴不亞ニ久シカルベシト雖

モ歐洲人ノ之ヲ確知シタルハ實ニ一千六百五十年中新地搜索ノ

爲メニ秘魯ヨリ發シタル西班牙船ノ一行ニ權與ス彼ノトルレ

ス海峡ノ如キハ當時此行中ニ在リシ一船長ノ己ノ名ヲ以テ命

セシ所ナリ○一千七百七十年船長哥克氏其南東海濱ヲ發見シ

之ヲ新南威爾斯ト名ツケタリ自來海邊ハ大半探査ヲ遂ケタリ

ト雖モ内地ニ至テハ今尙人跡ナキノ地多シ

南西兩嶼(南澳洲)ノ間ナル南濱中ノ一地及北西濱ノ一地

石ノ如キハ某地方ニ於テ之ヲ見ルノミ而シテ煤山ハ新南威爾

斯ノ東濱ニ在リ鑛鐵モ亦夥シク該地ヨリ出ツ○一千八百四十

五年ノ頃南澳洲ノ植民地ニ於テ世界ニ有名ナル二三ノ上

等銅山ヲ發見セリ然レトモ自後相續キテ良好ノ金山ヲ發見セ

シニ由リ銅山ハ遂ニ廢物ニ屬セリ○澳洲ノ氣候ハ北西ノ

卑濕ナル海濱ヲ除ク外ハ都テ動モスレハ俄ニ温度ノ變更スル

アリト雖モ亦好ク人身ノ健康ニ適スルハ極メテ妙ナリ然レ

トモ全島ニ就テ概言スレハ濕氣少ク特ニ内地ノ如キハ乾燥ニ

シテ熱氣甚シ○本地ノ植物ニシテ世ニ益アルモノ數種アリ其

最貴重スヘキハオラカリヤ(一名ノルフオルク、パイソ)イウ、

カレパテニス(俗ニ之ヲ鐵)アリエーゴムハツテッドゴム檜皮

(ストリンヂ)等シタル樹トルベンダイソ樹ヲオレス、トオー

ク、スワムプオーク等(共ニコリス)サツサフラス、コルラコン

(二名コルデーヤツリ)其他護謨、拔爾撒及滿那ヲ生スル樹木

等是ナリ

英國ヨリ移住人ノ齋來セル蔬菜菓物ノ悉ク好ク蕃殖スルハ實

ニ驚クニ堪ヘタリ故ニ今此殖民地ニ於テ葡萄、橄欖、鳳梨(パイ

ナップ)ノ如キ良菓ヨリ以テグリスベリース、ストローベリー

ヲ除ク外都テ此大島ノ海濱ハ二千尺ヨリ六千尺ニ至ルノ高嶺

アリテ之ヲ圍繞ス其山脈或ハ海濱ニ近接スルアリ或ハ海濱ヨ

リ三十里乃至百里ノ平地ニ隔ツルアリ其最高クシテ長キハ東

及東南ノ部ナリ新南威爾斯ノ植民地内ニ在テハ之ヲデイグイ

ディングレンヂ(分界ノ山脈)ト謂ヒ其南部ハ別ニ之ヲ澳大利

亞亞卑斯ト謂フ此連山ノ内部ナル斜面ハ樹木稀疏ナル高原又

ハ青青タル草地ニシテ山上ヨリ落ル諸川アリテ之ヲ横貫ス而

シテ其闊大ナル草地ハ即住民ノ牧羊場タリ又其高原ハ内地ニ

向ヒ漸ク低下シテ平坦ナル卑濕ノ地或ハ乾燥不毛ニシテ沙漠

タル砂地ニ接ス而シテ上ニ謂ハユル諸川ハ皆此處ニ至テ其迹

ヲ沒ス○澳洲ノ内地ハ何邊ヨリ之ヲ看ルモ撒哈拉(亞非

ナル大沙)ニ異ナラス人ヲシテ新ニ造成セル一大洋ノ底カト

疑ハシム○一千八百四十五年甲比丹斯丟亞爾的氏此國ノ南部

ナル亞的來ヨリ進入シテ南緯二十四度三十分東經百三十八度

ノ地ニ至レリ當時ニ至ルマテ人ノ深ク内地ニ入リシハ此ヲ以

テ第一ト爲ス○東方山脈ハ中部ニ花崗石ヲ有シ自餘ノ表部ハ

都テ第一次及第三次結成ノ累層ニ屬シ第二次ノ石層ヲ缺クハ

亦奇ト謂フヘシ○地方ニ於テ隨所多クアルモノハ沙石ナリ灰

大洋洲地誌

(共ニ)等ノ凡菓ニ至ルマテ英國各種ノ植産一モアラサル所ナシ○本年此島ニ産スル動物ハ概テ皆奇異ニ屬ス惟本地産ノ犬即世上ニ所謂デインゴ及一種ノ蝙蝠トヲ除外獸類ハ都テ有蓋族即其體ニ兒蠶ヲ有スル一族ナリ就中カンガロ、ウオムバット、オボレニム等ハ尋常ノ者ニノアルグリノクス、イミューライル、フエセント、ギカンテッククレイン、プレックスワン、パウエルボルド(イミュー以下共ニ鳥名)等ノ如キハ皆太奇ニ屬ス○凡ソ他國ヨリ移セル家畜ハ此地ニ於テ悉ク能ク蕃殖ス殊ニ牛羊ヲ以テ最ト爲ス○澳大利亞中歐洲人ノ移住セル地ハ惟其南部ニ限レリ今之ヲ區分シテ四ト爲ス曰ク新南威爾斯曰ク維多利亞曰ク南澳大利亞曰ク西澳大利亞是ナリ○西澳大利亞ハ本洲ノ南西隅ニ在リテ人ノ居住スル處ハ今尙ホ東經凡ソ百十九度以東ニ及ハス他ノ三部ハ共ニ南東隅ニ在リテ互ニ相連接シ南緯二十六度ヲ以テ其北境トシ東經百三十二度ヲ以テ西境トス其南東ハ大洋之ヲ繞レリ斯ノ如ク廣大ナル地方ヲ第百四十一ノ子午線ヲ以テ分割シテ二ト爲シ其西部ヲ南澳大利亞トシ又其東部ヲ再分シテ南北二地トス北ハ即新南威爾斯ニシテ南ハ即維多利亞ナリ此二地ノ境界ハ本洲ノ南東角ナル炭哈島ニ起リ北西ニ

向ヒマルレー河ノ水源ニ至リ河ニ沿ヒテ西シ少シク北ニ向ヒ終ニ二地ノ西境ニ達ス
 新南威爾斯
 新南威爾斯ハ本洲植民地ノ根本ニシテ一千七百八十八年英國政府ノボタニー灣(南緯三十四度ニ當ル)ノ近傍ナル悉德尼濱ニ一ノ徒刑場ヲ設置セシニ起端ス○徒刑人ノ滿期或ハ救免セラレシモノ乃住民ト爲リテ土地所有ノ許可ヲ得タリ而シテ現今ノ住民ハ此等刑餘ノ人及其子孫並ニ又自主ノ移住人ヲ混合スルモノナリ○徒刑人ヲ新南威爾斯ニ遷スヲ廢止セシハ一千八百四十年ナリ而シテ當時ニ至ルマテ此ニ送ラレタルノ總數六萬七百人ニシテ其內婦女ハ僅ニ八千七百人ノミ○徒刑人ハ之ヲ自主ノ住民ニ配付シテ其奴僕ト爲サシメ若干ノ衣食料ヲ定メテ主人ヨリ之ニ給與セシムルノ法ナリ○徒刑人ヨリ本地ノ戶籍ニ入リシモノ幾許ナルヤハ之ヲ算定スルヲ得スト雖モ一千八百三十三年ノ計算ニ據レハ自主ノ男二萬三千人、女壹萬三千五百人、徒刑ノ男二萬二千人、女二千七百人ナリ而シテ自主人民中凡ソ壹萬六千人ハ皆刑餘ノ人ナリ自後一千八百五十四年ニ至テ住民ノ數二拾五萬一千三百十五人ニ及ヘリ但シ當年移住

ノモノ壹萬人ニシテ其移住ノ費用ハ大抵公費ヲ以テ辨セリト云フ○新南威爾斯ノ境域ハ長凡ソ八百里闊凡ソ六百六十里ニシテ其幅員五十萬方里ニ下ラス海濱ハ南緯二十六度ナルモレトシ灣ヨリ炭哈島ニ至リ其長九百里アリ而シテ周圍ノ連山ヨリ落下スル許多ノ河口ニ良港頗ル多シ海上ヨリ其分水界ニ至ルノ距離ハ五十里ヨリ百里ニ及ベリ○此等諸河ハ水勢甚急ニシテ斜ニ流下スルカ故ニ其底ニ深キ裂隙ヲ生スルヲ往々之アリ諸河ノ中其下流ニ於テ頗ル大船ヲ航シ小舟ノ如キハ五十里乃至二百里ノ間容易ニ通スベキモノ少シトセス就中要重ナルハシヨールハーウンパウケテビコレーハントルブルスベーンクラレンス及ヒマクシエーノ諸河ナリ○ハントル河ハ悉德尼ノ北凡ソ六十里ニ在リテ國中第一ノ豐饒ナル土地ニ向テ其河口ヲ開キアリスベーン河ハ二十里ノ間大船ヲ通シ且ツパイソ(松類)其他大樹ノ叢林アル土地ノ水氣ヲ引キ以テ棉花、砂糖、煙草、咖啡等ノ物産ヲ豐ニシ終ニモレトシ灣ニ落ツ○彼ノ悉德尼ニ對峙スル山脈ハ藍山(ブリニーマ、ウンタイン)ト稱シ其北方ヲリヴァーイフル山ト謂フ巖巖崎嶇タル無雙ノ峻山ニシテ凄然タル深谷ヲ帯ヒ以テ新南威爾斯ノ西境ヲ爲シ人ヲシテ敢テ經過スル

ヲ得サラシメタリ故ニ住民ハ全ク山脈ト海トノ間ニ圍チラレ一人トシテ山西ノ景況ヲ知ルモノナキコト此ニ久シカリレガ終ニ一千八百十三年ニ於テ夫ノ長時ノ旱魃(此國ニ於テハ每十二年必一回之)ニ遇ヒ家畜皆殆ント將ニ死ニ至ラントスルニ當リ三人ノ壯者アリ彼ノ險隘ナル境ヲ越テ山西ノ斜坡ニ廣大ノ草地ヲ發見セリ現今澳大利ヤノ大牧羊地ト謂ヘルモノ即是ナリ於是即時ニ徒刑人ヲ使役シテ人ノ通行ニ堪フベキ一線ノ道路ヲ開キ之カ爲メニ新ニ盛大ナル産業ノ興リシヲ恰モ潮ノ湧クカ如クナリシト云フ○此植民地内ナル分水界ノ西邊ヨリ發スル許多ノ流水ハ末ニ至リ皆港會シテ一條ト爲リ南澳ノ植民地内ヲ過キテ終ニ海中ニ入ル此大河脈ノ南流即本流ハ前ニ謂ハユルコレー河ニシテ新南威爾斯ト維多利亞ノ境界ヲ爲シ南澳ニ入ルコ及ヒ南ニ向テ轉流シ維多利亞湖ニ注ク此湖水ハ海水ト交通スト雖モ其間ノ水淺クシテ小舟モ之ヲ行クヲ得ス但シマレレー河ノ水量ハ四時皆大抵漲船ヲ通スルニ足ル○マルラムビシロークランダーリング等モ亦共ニ同河脈中ノ大支ナリ而シテマルラムビシローハ行航スベクランハ屢乾涸シテ絲ノ如キニ至ルコトアリ○マリマリーハ又ダーリングノ一大支

ナレトモ惟梅雨ノ候ニ於テ之ト連絡スルノミ○澳大利亞ノ河脈ハ一般ニ一種特別ノ情勢アリ則梅雨ノ候ニ當テハ大ニ汎濫シテ沼澤ヲ爲シ湖水ヲ爲シ泥地ヲ爲シ自餘ノ時ニ於テハ幾處ノ深キ澱溜水ノ間ヲ交接スル細流ト爲リ或ハ全ク乾涸スルコトアリ此ノ如ク時アリテ生スル流水ヲ名ツケテタリキ(小河ノ義)ト曰フ○斯ノ如キ地勢平坦ノ國ニハ謂ハユル地内ニ澱溜スル水ニ頼ルニ非ザレバ乾燥ノ候ニ當リ人畜ノ生ヲ保ツニ由ナシ故ニ此等天然ノ澱溜水ハ即人工ニ因テ水利ヲ起シ以テ澳大利亞ノ大患タル水ノ缺乏ヲ補フ所以ノ資本ト謂フベシ

氣候 四季ノ氣候ハ全ク貌利國ト相反ス夏季ハ温度平均七十二度ニシテ冬季五十五度ナリ○悉德尼ノ地ニハ間霜降レリ又内地ニハ雪降ルコトアリ○時トシテハ沙漠ヨリ熱風忽地ニ來リ百二十度ノ熱氣ヲ生シ植物之カ爲ニ乾枯ス○雨量ハ年々凡ソ五十英寸トス然レトモ時ニハ狂雨連日盆ヲ覆スカ如ク河水ヲシテ甚シク漲溢セシメ又時ニハ二三年間續テ雨ヲ見サルコトアリ○國中已ニ人ノ住居セル部ヲ分テ州ト爲シ其域内ヲ限リテ土地賣買ノ自由ヲ許シ自餘ノ地ハ都テ之ヲ王土ニ屬シ分割シテ幾區ト爲シ各區委員ヲ置キ區内ノ地ヲ小分シ幾牧場ト

爲シテ人民ニ貸付シ毎年幾許ノ謝金ヲ徵收シ又夫ノ別地域内ノ空地ハ之ヲ已ニ土地ヲ買フテ所有スルモノニ一定ノ約條ヲ以テ貸付スルノ法ナリ從來澳大利亞ノ各種民地ニ於ケル土地ノ處分ハ頗議論アリテ屢變更セシガ現今ノ新法ニ因リテハ全ク地方ノ立法官ニ委任スルコトニ定マリタリ○一千八百五十四年中王土ヲ賣リタル價額ハ三拾二万磅ナリ同年耕地ノ面積拾三萬一千エーカー(一エーカーハ四百三十五百六拾英尺方ニシテ凡ソ我カ一千二百二十四坪ニ當ル)ニシテ小麥七十八万六千ブシエル(一ブシエルハ凡ソ我カ二エーカーニ當ル)粟八拾四万三千ブシエル大麥三万六千ブシエル燕麥二万七千ブシエルヲ産出セリ而シテ畜類ノ總數ハ牛一百五拾万頭豚六万三千頭羊八百萬頭ナリ又輸入品ノ價額ハ五百九拾八萬一千〇六十三磅ニシテ輸出品ノ價額ハ四百〇五万百二十六磅其内七十七万三千二百〇九磅ハ黃金ノ價ナリ○該地ヨリ黃金ノ輸出ハ漸ク衰微シ一千八百五十五年ニ及ビ其最大ニ減少シテ價額二拾万〇九千二百五拾磅ト爲リタリ然レトモ一千八百五十三年ニ一千七百萬封ナリシ羊毛ノ輸出ハ一千八百五十六年ニ及ビ増加シテ一千九百萬封餘ト爲リ其價額一百三十萬〇三千〇七拾磅ニ至レリ

新南威爾斯ノ農事尙未充分ナラサルモノハ葡萄ノ耕作ナリ一千八百五十四年巴理ノ博覽會ニ埃太利亞ヨリ葡萄酒ヲ出セシカ審査官ノ報告ニ因テ歐洲ノ最上品ト同等ノ聲價ヲ得タリ同年其製造高五萬七千九百五十九ガロン(一ガロンハ凡ソ我三升七合ニ當ル)ナリシガ務メテ其製造量ヲ増加センガ爲メ先ツ葡萄ノ耕作ヲ盛大ニセントシ現今方ニ英國ヨリ其耕作ニ熱スル者ヲ雇ヘリ○首都悉德尼ハ夫ノポルトガキヤクシントト曰ヘル良港ノ海濱(南緯二十五度五十二分)ニ在リ但シ其港ノ長ハ十五里ニシテ濶ハ二里ヨリ三里ニ至ル民口ハ一千八百五十一年ニ當テ其數五萬ナリ○市中ハ礪石ヲ舖キ瓦斯燈ヲ點シ地下ニ水道ヲ引キ又許多ノ美屋ヲ建造セリ○夏時ハ温度平均七十四度冬時ハ五十五度而シテ全年ヲ以テ平均スレハ六十七度ナリ○パラマツタハ悉德尼灣頭ニ在リ○ハンブルストハ悉德尼ヨリ西北西凡ソ二百里ノ處ニ當リ極メテ豊饒ナル牧地ノ中央ニシテ阿弗爾山ノ金坑近邊ニ在リ○ポイドトリスベーンハ共ニ海港ニシテ一ハ本地ノ南ニ在リ一ハ其北ニ在リ又メイトランドハハント

ト爲リタリ而シテ其議員ハ皆人民ノ撰舉ニ係ル埃太利亞ニ在ル著名ノ植民地ハ帝王ノ權内ニ屬スル數事ヲ除キ自餘ノ治權ハ全ク之ヲ人民ニ委セリ○悉德ニニ大學校アリ其開校式ヲ行ヒタルハ一千八百五十二年ナリ又生徒ノ謝金ヲ以テ維持スル高等ノ學校數多アリ而シテ國中ノ小學校ハ都テ政府ノ費用ヲ以テ之ヲ保持ス

維多利亞
非立港ハ天然ノ良港ニシテ一千八百〇二年リウテナントマルレー氏ノ發見セシ所ナリ蓋シ非立ハ新南威爾斯ノ初任ノ知事ノ名ヲ以テ之ニ命セシナリ其次年徒刑人ヲ送テ一植民地ヲ建ント謀リシモノアレトモ其事ハ間モナク止ミ爾後一千八百二十六年復タ其再興ヲ計リタレトモ遂ニ其功ヲ見ズ○一千八百三十五年班地曼蘭ヨリバットマンハウクルノ二氏各一夥ノ移民ヲ率テ此ニ移住セリ此舉ヲ以テ此地ニ移住ノ濫觴ト爲ス當時バットマン氏ガ占居セシハ正シク現今所謂麥普尼ノ地ナリ○一千八百三十六年量地總官トーマスマルレー君此地ヲ經歷セシ時内部ノ燥地ニ對稱シテ之ヲ澳大利亞フェリックス(字義)ト名ツケシト云フ○畜類ハ此地ヨリモ先ニ開ケタル新

南威爾斯ノ植民地並ニ班地曼蘭ヨリ之ヲ齎來セリ而シテ一千八百三十七年移住ノ人四百五十名羊十四萬頭牛二千五百頭アリハットマン氏某酋長ヨリ六千エーカー(前ニ)ノ地ヲ毎年二百磅ノ貢稅ニテ買ヒ受ケメレレ官府其約ヲ解カシメ其新地ヲ収メテ帝王ノ有ト爲シ一千八百三十九年之ヲ以テ新南威爾斯ノ屬地ト爲セリ〇一千八百五十一年復タ此屬地ヲ割キテ一個ノ植民地ト爲シ副知事一員ヲ置キテ之ヲ治メシメ後五十五年ニ及ヒ新ニ憲法ヲ立テシメ人民ニ自治ノ政府ヲ設クルコトヲ許セリ〇此地ニ於テ移民増殖ノ迅速ナル古來未曾テ其例ヲ見ス蓋シ其土地秀麗ニシテ豊饒ナリト世ノ評説紛々タルカ爲ニ達斯馬尼亞及新南威爾斯ニ於テハ所謂非立港熱(人心ノ劇レ非立港ニ向)ヲ起スニ至レリ而シテ歐洲ヨリモ亦此ニ移住スルモノ續々トシテ絶エス麥普尼開基ノ後僅ニ三年ナラサルニ其港内ニ碇泊ノ船舶一日百三拾隻ニ及ベリ爾後數年ノ間尙繁盛ノ景況アリタレレ畢竟投機者流ノ所爲ニシテ着實ノ進歩ヲ爲セシニアラサルナリ然ルニ土地ノ賣買ハ忽一時ノ流行ト爲リ四拾磅ノ地券ハ四千磅ニ騰貴レ一券ヲ分テ數券ト爲シ賣リテ又買ヒ買フテ又賣ルコト恰モ狂人ノ所爲ニ異ナラス一塊ノ

麪包秤量四封コシテ其價英貨三シルリング六ペンスト爲リ羊一頭ノ價英貨三磅ニ至リ馭者ノシヤンパンヲ視ルコト猶ビ一ノ如シ當時金錢流通ノ盛ナル推シテ知ルベシ然ルニ其反動ノ禁スベカラザルハ自然ノ勢ニシテ一千八百四十三年ノ頃ニ及ヒ一般ニ金錢ノ流通壅塞シ地價ハ十分ノ一ニ下落シ三磅ノ半ハ一シルリング六ペンスト爲リタリ然レトモ不景氣モ亦一時ノ事ニシテ此尙ニ畜類ハ勿論何ニヨラス國ノ富有ハ一日ヨリ増殖シ加フルニ一千八百五十一年更ニ金山ノ發見アリシヨリ地價ノ如キハ即チ十二年前ニ復セリ且ツ十二年前ニ在テハ全ク投機者ノ熱中ニ由リ騰貴シタル虛價ナリシガ當時ハ全ク眞正ノ實價ト爲リタリ爾後其價ハ黃金ノ產出増加スルニ隨ヒ益騰貴ノ途ニ三四倍ニ至レリ〇民口ハ一千八百四十四年ニ二萬四千ナリシガ五十一年ハ八萬二千ト爲リ五拾四年ハ二拾七萬三千八百六十五ト爲レリ而シテ此三期ニ輸出品ノ價額モ亦二十五萬七千磅ヨリ一百四拾二萬三千磅ト爲リ又一千七百七拾七萬五千二百〇四磅ト爲レリ蓋シ此末期ノ價額中八百萬磅ハ全ク黃金輸出ノ價ナリ〇境界ハ前條ニ於テ之ヲ論セリ而シテ其東西最長キ處五百里南北最闊キ處三拾里ニシテ幅員ハ九萬

方里ナリ〇東部ト中部ハ處々ニ大小ノ山脈綿亘レ其間ニ平地ノ散見スルアリ又北及北西ノ地方ハマルレー河ト南緯三拾七度トノ間ニアリテ概チ一様ニ平坦ナル沙漠又ハ瘠土ニシテ滿地雜草矮樹ヲ生シ其内ニ幾處ノ鹽叢アリ而シテ鹽叢中ニ羊ノ善ク蕃殖スルコト極メテ妙ナリ其他處々一面ニ矮短ナルイウカレブタイ(樹名此樹ノ特ニ他樹ト異ナル所以ハ其葉堅ニ生シ兩面ニ日光ヲ受クルニ在リ)ヲ生スル廣濶ノ土地アリ世人之ヲ稱シテマルレースクラプト曰フ又東部ニハ新南威爾斯ノデイヴィンクレンヤ(註前ニ)ノ連峯ナル澳大利亞亞卑斯一名雪山アリ峯嶺最高ノ處七千尺其端尾ハ延テ國中ノ極南ニ達スウヰルズン岬即是ナリ此岬ヨリ達斯馬尼亞ニ至ルマテ島嶼連綿トシテ其狀恰モ一條ノ鎖鏈ヲ引クカ如シ〇非立港ノ西ニ於テ最高キハケラムビヤン山ナリ其絶頂ヲウイリヤム山ト曰フ高四千二百尺コシテ地位ハ東經凡ソ百四十二度二十分ニ在リ又ケラムビヤンノ東ニヒレニース(東經百四十三度ニ當ル)ト名ツクル花崗石山アリ而シテ又麥普尼ヨリ北北西ニ當リマセドンアレキサンドルノ二嶺アリ金坑ノ著名ナルモノ皆此處ニアリ〇維多利亞ノ地ハ概チ火山ノ跡ニシテ其山多クハ漏斗形ナリ而シテ其地味ノ甚ク肥饒ナルハ火山流石ノ

分解シテ廣ク地面ニ散布スルニ因ルナリ〇麥普尼及チーロン(蓋シ稿)ノ如ク而シテ其地味ハ小麥燕麥粟及葡萄酒ノ耕種ニ極メテ好ク適應ス〇山ハ樹木アルモノアリ又頂上ニ至ルマデ一面ニ雜草ヲ生スルモノアリテ處々一様ナラス〇灰石ハ海邊ニ花崗石ハ高山ニ又石英ト鐵石ハ概シテ山地ニ多シトス〇維多利亞ハ隣境ノ諸地ニ比スレハ頗ル水利ノ便アリ流水ノ北ニ向フモノハ皆マルレー河ニ入り南ニ向フモノハ皆大洋ニ落ツ但シ國內ノ分水界即中心ハ海濱ヨリ大約一百里ニ在リ〇マルレー河ハ水源ヲ東ニ發シ支流數多アリ其尤ナルモノハミンタミツタオーヴンス(共ニ黃金)ブローンクリーキーゴルポール(時トシテハ二百)カムパスビー及ビロッド(アレキサン)里ノ間船ヲ通ス)カムパスビー及ビロッド(ドル山ヨリ)ス)ナリ以上ノ諸支ハ旱魃ノ時ニ遇ハハ每ニ乾涸シテ線條ノ如シ其他顯著ナル大河三條アリ曰クアウオガ曰クアウオン曰クウヰムメラ是ナリ此三河ハ共ニヒレニースグラムビヤンノ兩山ニ發シ北流シテマルリースクラブ(前ニ)内ノ湖中ニ落チ別ニ復タ流出ノ口ナシ〇東ニハ雪河(東經百四十八度)ヤルラヤルラ(麥普尼府ハ此)ハルウヰンホブキンズグレタルグノ諸

河アリ皆キングウエリントンノ二湖ニ落ツ○維多利亞ノ奇
 觀ト謂フベキモノハ許多ノ鹹湖ナリ○國中已ニ人ノ占居スル
 部ハ之ヲ分割シテカウンタイート稱シ人家ナキ處ハ之ヲヂス
 トリクトト曰フ蓋チストリクトハ游牧ニ供スルノ地ニシテ麥
 普尼ノ北東ナルマルレーヂストリクト及ヒ其北西ナルロッド
 ンウキムメラ兩チストリクト等ハ其顯著ナルモノナリ○買主
 ナキ土地ハ之ヲスクワットルス(公有地ニ寄住
 スル人ヲ曰フ)ト名ツクル羊
 農(牧羊ヲ以テ業
 ト爲ル農夫)ニ貸附シ其牧所ノ羊數ニ應シテ年々拾磅
 以上ノ税金ヲ徵收ス○一區ノ牧羊地ニシテ幅員一千方里ニ及
 フモノ少シトモス間或ハ數千方里ニ亘ルモノアリ蓋シ羊ヲ牧
 フニハ一羊毎ニ少クモ二エーカー乃至四エーカーノ地ヲ要ス
 ○此特例ハ寄住者即羊農ニ利アリテ漸來者及成規ニ從テ土地
 ヲ買フ者ノ爲メニ不利ナルヲ以テ其弊害タル自然此地ニ移住
 ノ道ヲ塞クニ至レリ而シテ一千八百四十七年ノ會議ニ因リ彼
 ノ寄住者ニ借地ヲ許シ且ツ土地先買ノ權ヲ與フヘキ旨布令ア
 リシニ及ンデ益其弊害ヲ增長シ同五十一年寄住者ノ土地ヲ買
 フモノ一萬人ノ附屬スルモノ二萬人ニシテ牧所ノ馬三万
 頭牛四十萬頭羊六百萬頭ナリシガ爾後稍其數ヲ減セリト云フ

○該地ノ幅員六千方エーカーノ内凡ソ百五十万エーカーハ一
 千八百五十四年ノ末政府之ヲ賣リシニ其内四十万○四千エー
 クルハ翌五年ニ至リ買主再ヒ之ヲ每エーカー平均四磅ノ價ヲ
 以テ他人ニ讓與セリ○該地ノ首産(黄金ノ事ハ別
 ニ次款ニ論ス)ハ羊毛ナリ
 一千八百五十五年其輸出幾ント二千封ノ巨額ニ及ベリ又羊ノ
 死體ヲ賣テ得ル所ノ脂ハ其輸出同五十一年ニ於テ四千二百二
 十噸マデ増シタレトモ是レモ亦夫ノ黄金發見ノ爲メニ阻遏セ
 ラレタリ抑黄金發見ノ影響タルヤ諸事之カ爲メニ悉ク輕浮ニ
 流レ該地一般ノ景況ヲシテ實ニ一日ノ前途ヲモ期スベカラサ
 ルニ至ラシメタリ○一千八百五十四年小麥二十五萬ブシエル
 ノ收穫アリ而シテ燕麥ハ之ニ倍セリ○歲入ハ一千八百五十一年
 ニ二拾七萬九千九百七十五磅ナリシガ同五十五年ハ幾ント五
 百萬磅ニ登リ又輸出ハ同五十一年ニ一百万磅ナリシガ同五十
 五年ハ一千三百五拾萬磅ニ登レリ但シ其内一千一百万磅餘ハ
 全ク黄金ノ價ナリ而シテ同五十五年中輸入ノ總價一千二百萬
 磅ナリ○同五十四年四月ノ調査ニ據レハ總民口二十三萬三千
 ノ内市街ニ住スルモノ拾萬餘ニ從事スルモノ六萬七千耕種
 ヲ業トスルモノ五萬八千其餘ハ皆船人又ハ旅行中ニシテ而シ

テ男女ノ數ハ二ト一トノ比例ナリ爾後同五十五年大貌利頓國
 ヲリ二萬一千ノ移住人アリ(先是同五十二年移住
 人數ハ之ニ倍セリ)同時ニ他ノ
 諸國ヨリモ亦移住スルモノアリテ總計六万三千ト爲リ同年中
 又支那ヨリ一万人來リ遂ニ同五十七年ニハ總民口卅五万一千
 ト爲リタリ○宗徒ハ本國(英)ニ於テ行ハル、諸派悉皆之アリ
 而シテ各派人員ノ多少モ亦本國ト其比例ヲ同クス拜堂ノ建設
 法師ノ俸給ハ共ニ公費ヲ以テ之ヲ辦シ各派人員ノ多少ニ應シ
 テ分配ス學事教育モ亦公費ヲ以テ之ヲ扶助ス一千八百五十四
 年學校ノ數二百有餘此ニ就學スル童男兒女ノ數一萬五千而シ
 テ近來ニ至リ又一大學校ヲ設立セリ
 首府麥普尼ハ悉德尼ヲ距ルコト凡ソ六百里ニシテ和不通灣ノ
 從泊處ヨリ凡ソ九里ヲ去リヤルヤル河ノ邊ニアリ此河ニ
 湖ルニ和不通灣ヨリスルトキハ二百噸ノ大船モ能ク入ルヲ得
 ルナリ○麥普ニト維廉斯敦ノ間ハ一線ノ鐵道アリテ之ヲ連接
 ス蓋シ維廉斯敦ハ麥普ニ屬スル開港市場ナリ○此首府ハ開
 基以來年ヲ閱スルコト僅ニ二十ト過キスト雖モ已ニ八萬ノ民
 口アリ其街衢廣闊ニシテ美麗ノ家屋許多アリ就中壯觀ナルハ
 近來建築セル議事院ナリ

麥普尼ノ平均温度ハ五十七度ナリ一月ヲ以テ最温ナリトメ
 (即チ六十八度)又極寒ハ四十九度而シテ年々ノ雨量ハ三十一英寸ナ
 リ○第二ノ市府グリーロングハ非立灣南西ノ海口ニ在リテ民
 口二萬アリ○フライイトン(民口二
 千七百)及維廉斯敦(民口二
 千六百)ハ首府
 ノ接近ナル海港ノ濱ニ在リ而シテ波爾多蘭(民口
 二千)ハ之ト同名
 ノ灣上ニ在リ其他諸處ノ金山アル地方ニ於テハ繁華ノ市府現
 今方ニ築造ニ係ハル
 澳大利亞ノ黄金
 澳大利亞ニ於テ未黄金ヲ發見セザル以前大貌利頓ノアイムチ
 ニイムルキスン及該地ノグブリーニヒンクラーケ兩氏ハ早クモ
 其地質ノ加里福尼及魯西亞ナル烏拉ノ金山地方ニ似タルヲ見
 テ該地ニハ必金山アルベシト開陳セリ其後間些少ノ黄金ヲ發
 見セシコトアリシガ一時加里福尼ニ寄寓シタリシ新南威爾斯
 ノ人シエーケハルグリーヴス氏ガ金山發見ノ爲メ彼地ヲ去テ
 該地ニ歸リ悉德尼ノ西ナルパウルストヂストリクトニ於テ其
 功ヲ奏セシハ實ニ一千八百五十一年ノ春ナリ同年ノ秋又最初
 ハルララットニ於テ之ヲ發見シ後少時ニシテ又夫ノ著名ナル
 アレキヤンドル山及ベンギゴニ於テ之ヲ發見セリハルララン

トハ麥普尼ヨリ北西七十五里ニ在リアレキサンドル山及ペン
 チゴハ又其北二十五里ニ在リ其他ノ諸金山ハオウエンス及
 ゴールホルン兩河ノ邊維多利亞ノ北東ニ在リ○黄金ハ流水中
 ノ碎石ヲ淘汰シ或ハ彼ノ烟管泥ノ上ニ布列スル地層ニ穴ヲ鑿
 ツテ之ヲ採ル又石英石ヲ破碎シテ之ヲ得ルノ法アリ時ニハ石
 英ノ内部ニ純金ノ大塊ヲ包裹スルモアリ一牧夫アリ秤量約百
 封ノ金塊ヲ發見シテ之ヲ賣リ四千磅ノ價ヲ得タリ二拾封ヨリ
 四十五封ニ至ル金塊ノ如キハ數フルニ違アテス初黄金發見ノ
 時ニ當リテ國中ニ大困難ヲ醸成セリ何ヲ大困難ト謂フ蓋シ人
 皆自己ノ産業ヲ放棄シ争テ金山ニ走リシ是ナリ其一例ヲ舉シ
 ニベンチゴニ蟻集セシ者一時ニ四萬人ニ及ベリト云フ此時
 麥普尼ヨリベンチゴマテ物貨一噸ノ運賃一百磅ヨリ一百五
 十磅ニ騰貴シ又麥普ニテ一噸ノ價二十四磅ノ麪粉ヲ彼地ニ
 テハ二百磅ニ賣リタリ此際會テ金銀ノ價ヲ知ラザル無智ノ賤
 民ニシテ俄ニ大金ヲ得タルモノ及徒刑處ヨリ脱走シ來レル無
 賴ノ徒等多ク彼地ニ集リ一時ハ社會ヲ擾亂セントシタレトモ
 今ハ彼ノ熱(前コ)モ稍其勢ヲ減シ百事始テ舊ニ復シ採金營
 業ノモノハ政府ヨリ特別ノ免許ヲ受ケ營業税金トシテ毎月三

拾時令(二十時令ヲ以)ヲ納ムルコトナリシガ是亦著シク減
 少シテ僅ニ名ノミヲ存シ代テ黄金ニ課スルニ若干ノ輸出稅ヲ
 以テセリ
 一千八百五十四年新南威爾斯ヨリ輸出ノ黄金二拾三萬八千
 (十六万ヲ以テ)其價七拾七万三千二百磅ナリ而シテ其前五
 一年二年三年四年ノ輸出總計ハ百七拾五万磅ヲ其價六百
 万磅餘ナリ但シ新南威爾斯ニ於テハ黄金ノ產出漸ク減少スレ
 ドモ維多利亞ニ於テハ決シテ然ラス一千八百五十二年ヨリ六
 年ニ至ルマテ五ヶ年ノ間輸出セル黄金ノ總計ヲ平分スレハ每
 年凡ソ三百万磅ニシテ其價一千二百万磅ナリ而シテ自今尙永
 ク此產額ノ減少スベキ表徴ヲ見ズ
 南澳太利亞ハ第百三拾二第百四十一兩子午線ノ間ニ在リ沿海
 ノ地一千五百里ニ亘リ三拾万方里ノ幅員アリ該地ノ亞的來ニ
 人ノ移住セシハ一千八百三十六年ヲ以テ始トス初此地ヲ開ク
 時ハ徒刑人ノ入ルヲ禁シ而シテ土地ヲ賣リタル代價ヲ扶助金
 ト爲シテ專ラ力役者ヲ移住セシムルノ主意ナリシガ當時會該
 地ヨリモ更ニ利益多キ維多利亞ニ植民ノ舉アリ之ニ加フルニ

黄金發見ノ事アリテ人心頗ル動搖シ之カ爲メニ南澳ニ移住セ
 ントスルモノハ其方向ヲ轉シ一時大ニ衰微ヲ表ハセリ然レト
 モ一千八百五十四年ニ及ヒ民口増殖シテ九萬二千ト爲リ現今
 ニ至テハ其數十萬ヲ越エタリ該地ノ西部ハ全ク沙漠ナリ海濱
 コニ處ノ深灣アリ日ク士邊薩灣日ク三紛森灣是ナリ而シテ該
 地中最上ノ部ハ三紛森灣ト夫ノマルレー河トノ間ニ在リ此部
 ノ中央ハ山地ニシテ北ニ向ヒ遠ク本洲ノ内地ニ達シ鉄鑛及銅
 鑛ニ富ム夫ノ有名ナル不爾拉山ヨリ出ツル銅鑛ノ如キ
 ハ百分中七十五分ノ純銅ヲ含メリ年々此山ヨリ產スル銅鑛ノ
 量二万噸ニシテ每一噸ノ價二拾磅ナリ其他至ル所皆銅多シ黄
 金モ亦之アリ○地味ハ大概好ク耕種ニ適ス暑熱ノ候ニ於テハ
 流水乾涸シテ瀦溜水ト爲ルモ(澳洲一般)尙特ニ該地ノ人民水
 ノ缺乏ヲ訴ヘザル所以ハ他ナラス通常土地ノ性質ニ應シ淺深
 ヲ度テ井ヲ鑿ツトキハ氷ヲ得ルニ難カラサレハナリ○該地ノ
 境内ニマルレー河ノ流入スルコト三百里其間廣大ナル化石層
 ヲ穿通シテ一條ノ河底ヲ成シ終ニ維多利亞湖(湖)ニ落ツ維多
 利亞湖ハ海中ニ流通スト雖モ其水路淺クシテ船舶ノ航行ニ堪
 へス然レトモ此湖ヨリ上流ニ向フトキハ船舶能ク一千四百里

ノ遠ニ通スヘシ○河中魚類多シ就中マルレーコッド(魚)重量
 二十五封ヨリ七十封ニ至ルモノアリ○マルレー河下流ノ平地
 ニハ別ニ流水ナシ○南澳ノ奇觀ハ土目連斯湖ナリ其長四百里
 ニシテ前文ニ所謂山地ノ北端ヲ週リ以テ馬鞋形ヲ成セリ其末
 端ハ四形ノ澤地ト爲リ士邊薩灣ノ頭ニ接ス又其全面ヲ細視ス
 レハ湖水ト稱センヨリ寧ロ沙谷ト謂フベキ處多シ○南澳ノ氣
 候ハ全世界中第一等ニ列スベシ温度ハ較維多利亞ヨリ高ク
 温熱ノ昇降ハ四十四度ト百五度ノ間ニ在リ亞的來ノ温度ハ平
 均六十五度ニシテ雨量ハ平均二十二英寸ナリ○英國並ニ熱帶
 地方ヨリ移植セル菓物ハ共ニ能ク蕃殖ス○首府亞的來ハ土耳
 連斯河畔ニ位シ凡ソ七里ノ鉄道ヲ以テ亞的來港ニ連接ス○首
 都及其港市ノ民口ハ一千八百五十年ニ於テ一萬四千ヲ越エタ
 リ○一千八百五十四年耕地ノ幅員拾二萬〇七百エーカーニシ
 テ家畜ノ數ハ馬一萬頭牛七千四百頭羊百七拾七方頭豚一萬七
 千頭ナリ○歲入ハ一百二拾万磅輸入ハ二百万磅輸出ハ百三十
 二万三千磅ナリ○土人ノ數ハ三千四百五十人ニシテ三地(蓋
 南澳維多利亞新)ヲ合計スルモ二万ニ過キス而シテ日一日ヨ
 南維威爾斯ナリ)ヲ合計スルモ二万ニ過キス而シテ日一日ヨ
 減少スルコト甚ダ速ナリ故ニ之ヲ挽回セント百方盡カスレ

トモ更ニ騷ナク空シテ手ヲ束テ其滅スルニ任スノミ

西澳大利亞ハ其廣ヲ極言スレハ第三百三十二ノ子午線以西ノ全地ニ係リ諸氏ノ説ニ據ルモ亦第百二十九ノ子午線ヨリ及フト云フト雖モ今日マテ人ノ居住スル處即鵝河植民地(スワンリヴマン)ハ僅ニ南西ノ一隅ヲ限リ長凡ソ四百里闊凡ソ二百五十里ニ過キス而シテ一千里ヨリ一千五百尺ニ至ル有樹ノ山脈アリテ海濱ニ對峙シ其山麓ト海濱ノ間ニ闊二十里ノ平地ヲ存セリ○山脈以東ハ總テ樹木稀少ニシテ各處ノ地形一様ナラス蓋シ土地ハ大抵好ク耕種ニ適ス○河ハ其數甚タ多シト雖モ行船ノ用ニ堪フルモノ少ナシ就中顯著ナルモノハ鵝河及マルレー河ナリ○該地ハタトヒ他ノ植民地ニ早魃アルモ容易ニ其害ヲ蒙ルコトナシ又氣候平和ニシテ人身ノ健康ヲ保ツニ宜シ冬時ノ氣温平均五十八度ニシテ夏時ニ在テモ七十六度ヲ越ユス○鐵物ニハ鉛銅亞鉛ノ鑛アリ又廣大ナル煤層アリ抑鵝河ノ植民地ハ其基ヲ一千八百二十九年ニ開ケリト雖モ進歩遲慢ニシテ一千八百五十四年ニ及ビ三千人ノ徒刑人ヲ合算スレハ猶其民口ハ僅ニ一萬二千ニ過キス現今澳大利亞ニ於テ徒刑人ヲ送ル

ノ處ハ惟此一地アルノミ○一千八百五十四年ノ計算ニ據レハ耕地ノ幅員一萬二千エーカーニシテ馬四千六百頭牛二萬一千頭羊十七萬三千頭豚四千四百頭アリ○首都ヲメルスト曰フ鵝河ノ口ニアリ○輸出ハ三萬六千磅ニシテ輸入ハ十二萬八千磅ナリ

達斯馬尼亞

達斯馬尼亞即故ノ班地曼國ハ澳大利亞本地ノ南端ト相對スル孤島ニシテ其間ニハツスト名ツクル闊一百二十里ノ一海峽アリ其地位南緯四十一度ヨリ四十四度ニ達シ東經百四十四度四十分ト百四十八度二十分ノ間ニ在リ其長約二百三十里闊約二百里ニシテ幅員二千四百方里ナリ此島ハ一千六百四十二年和蘭ノ有名ナル航海士アベルヤンセンタスマン氏ガ發見セシ所ニシテ當時和蘭ノ所領東印度諸島ノ總督アントニーハンギーメンズノ名譽ヲ表センガ爲メニ之ヲ班地曼國ト名ケシナリ○一千八百〇三年リューテナントパウルス氏一行ノ隨員ヲ率ニ當時已ニ徒刑所ノ設ケアリシ新南威爾斯ノ查其遜港ヨリ來リ大觀利頓ノ爲メニ此島ヲ取リテ徒刑所ト爲セリ自後此島ハ專ラ徒刑人ノミノ居處ナリシガ一千八百十九年ニ及ヒ又自主

ノ人ヲシテ隨意ニ移住セシメタリ而シテ此島ニ徒刑人ヲ送ルコトヲ全ク廢止セシハ一千八百五十二年ナリ○澳大利亞本地ト達斯馬尼亞トハ風土山川ノ情景全ク相同カラス甲ハ地勢平坦ニシテ水利便ナラス故ニ專ラ牧畜ニ適シ乙ハ多山ニシテ稍愛蘭又ハ蘇格蘭ニ似タリ○島中ヲ通行スルニ山アリ谷アリ其間又處々ニ平地アリテ地形ノ常ニ一様ナラザルヲ見ル此等ノ平地ハ都テ甚タ肥饒ニシテ疏樹彼此ニ散立シ景色極メテ佳シ○班地曼國ハ固ヨリ之ヲ好水利ノ地ト言フヲ得スト雖モ亦新南威爾斯ニ比スレハ復ニ優レリ○島内廣闊ナル港灣許多ナルハ特異ノ天幸ト謂フヘシ蓋シ世界中該島ト廣延ヲ同クシテ斯ノ如キ港灣ヲ有スル島ハ決シテ他ニアルベカラス○島中眞ニ有用ノ地ハ全島ヲ三分シテ大約其一分ナリ而シテ再ヒ此一分ヲ四分シ其四分ノ一ヲ以テ耕地ト爲シ餘ノ三分ハ皆之ヲ牧畜ニ供ス故ニ一千エーカーノ地面中耕地ハ百エーカーニシテ牧地ハ三四百エーカーナリ○達斯馬尼亞ノ氣候ハ甚タ爽快ニシテ人身ノ健康ニ効アリ特ニ好ク大觀利頓國生産ノ人ニ適應ス○夏季ノ暑ハ曾ニ澳大利亞ノ如ク酷シカラザルノミナラス又實ニ倫動其他英國南部ノ地方ニ過クルコト稀ナリ而シテ朝夕

ノ如キハ極暑ノ時ト雖モ常ニ冷涼ニシテ快暢ヲ覺ユ然レトモ冬季ノ寒ハ澳大利亞ニ比スレハ更ニ嚴ニシテ日數モ亦長シ而シテ較高キ山上ニ於テハ一年過半往々積雪ヲ見ル但シ谷間及低地ニ於テハタトヒ積雪アルモ一二三時ニ過クルコトナシ○哈巴登ノ氣温ハ平均五十二度ナリ○島中未嘗テ氣候或ハ風土ニ因テ起ル病症アルヲ見ズ而シテ此島ノ人身ニ功アルハ觀利頓其他澳洲中ノ最健康ナル地方ト雖モ亦敢テ及フ所ニアラス○島中草木ノ種類頗ル多シ凡ソ英國及蘇蘭ニ於テ耕種スル所ノ蔬菜菓物一モ此地ニ移シテ蕃殖セザルモノナシ○氣候ハ地味ト共ニ好ク概テ各種ノ穀物ヲ耕種スルニ適ス小麦ノ如キハ殊ニ好ク繁生シ馬鈴薯モ亦大抵収獲多ク且ツ其味美ナリ若シ夫レ此島ノ氣候風土ヲ簡約ニ説ント欲セハ凡ソ此地ニ利アルベシト計リタル農事ハ一モ其目的ニ應セサルナシト言フニ如カス○一千八百二十五年ニ至ルマテ班地曼國ハ新南威爾斯植民地ノ管轄ニ屬セシカ此年ニ及ンテ獨立ノ政府ヲ立テタリ○現今此島ノ内政ハリウテナントゴウルノル(副知事)一員及行政立法ヲ兼ムル議會ニ因テ之ヲ行フ○首都ハ哈巴登ナリ其位置該島ノ南東デルウェント河ノ左岸ニ當リ河口ト海ト交接ノ處ヲ

距ル一約二十里許ノ灣頭ニ在テ景色甚佳シ其地位微シク高ク内地ニ向テ漸ク隆起シ終ニ頗ル高キ丘山ヲ成シ樹木繁茂シテ絕佳ノ趣致アリ○該地ニ公立ノ館舎數多アリ其中或ハ親利頓ニ在ルモ猶其壯觀ヲ稱スベキモノ少カラズ而シテ二萬餘ノ民口アリ○ラウンセストンハ首都ニ次テ要重ナル府ナリ其位置北南エスク兩河ノ合流即タマル河ノ上ニ於テ船ノ通スル處ニ在リタマル河ハ此府ヨリ下ルコト大約四拾里ニシテハッス海峽ニ落ツ○馬頭倉庫公立ノ館舎及日日ニ船舶ノ貨物ヲ搬載スル情況ニ由テ之ヲ觀レハ自ラ該府ノ頗ル繁華ナルヲ知ルニ足レリ○達斯馬尼亞ノ民口ハ一千八百五十一年ニ六萬八千六百〇九口アリシガ同五十二年維多利亞ニ移住セシモノアリテ六萬六千ニ減少セリ同年耕地ノ面積十一萬六千四百四十六エーレルニシテ翌五十四年小麥七十九萬ブシエル燕麥五十二萬一千ブシエル大麥十二萬六千ブシエルヲ產出セリ又馬一萬七千頭牛十萬四千頭羊一百八十萬頭豚二萬三千頭アリ○収入ノ稅額二十七萬五千磅輸入品ノ價額二百六十萬〇四千磅輸出品ノ價額一百四十三萬三千磅ナリ○礦山ハ銅鐵鉛亞鉛黃金煤炭等ヲ產ス○ハッス海峽ニハ大頭鯨多シ

新徐蘭
此植民地ハ二座ノ大島一座ノ小島及其海濱ヲ圍繞スル許多ノ屬島ヲ以テ成レリ其位置班地曼蘭ノ東大約一千二百里ニシテ南緯三十四度ヨリ四十八度ニ達シ東經百六十六度ト百七十九度ノ間ニ在リテ大親利頓ヲ去ルコト一萬六千里ナリ而シテ三島殆ント南北一列ニ排置ス○北ナル者ヲ北島又ハ新ウルストルト云ヒ中ナルモノヲ中島又ハ新マントストルト云ヒ南ナルモノヲ南島又ハ新レインストルト云フ○北島ハ長四百里闊五里ヨリ三百里ニ至ル而シテ此中島ノ間ニ哥克海峽アリ此海峽ハ闊三十里ヨリ百里ニ至リ各處一様ナラス中島ハ長五十里闊平均百二十里ナリ而シテ南島一名スチアルト島ハ中島ノ南ニ在リテ闊十五里ナルヲオウク海峽ヲ以テ界ト爲ス其形三角ニシテ長約五十里闊モ亦幾ト長ノ如シ此三島ノ幅員ヲ合計スレハ大約九萬五千里ト爲ル○土地ハ過半皆山ナリ就中多キハ火山ノ跡ニシテ今猶噴烟スルモノ亦間之アリ而シテ諸山ノ頂上ニハ大抵常ニ雪アリ○ルアパフハ既滅ノ火山ニシテ高九千尺而シテトナカリロハ現ニ噴烟ス其高八千五百尺又島中熱泉ト地震ノ多キハ以テ地下ニ火氣アルヲ證スベシ○山ハ概テ

樹林アリテ繁茂スト雖モ其間滿地ヲエルン(一見ニ)ヲ生スル處アリ或ハ草叢ニシテ樹木ナキ平地アリ又下部ノ低地ニハ麻及蘆ノ生茂シタル廣闊ノ沼澤アリ○氣候濕潤ニシテ群山ヨリ落ル所ノ水無數ノ川流ヲ爲スト雖モ其長一モ記スルニ足ルモノナク又内地航通ノ便ヲ與フルモノナシ○海濱極メテ長クシテ良港ノ多キ恐ラクハ他國ノ及ブ所ニアラス○新徐蘭ハ一千六百四十二年達斯曼氏之ヲ發見セリ自後船將哥克氏屢此處ニ來リ遂ニ一千七百七十年其海濱ヲ測量セリ○新南威爾斯ナル查其遷港ノ移民地開基以來其近海ニ於テ捕鯨ニ從事スル英米ノ船舶或ハ薪水ヲ辨シ或ハ風波ヲ避クルモノハ必新徐蘭沿海ノ諸港就中ベーオフアイランツノ良港ヲ以テ泊處ト爲ス是ニ於テ新徐蘭ノ麻ハ近來又一種ノ貿易品ト爲リタリ自來獨身ノ英人多ク其海邊ニ移住シ土人ト婚ヲ結ヒ其婦ノ權利ヲ以テ土地ヲ所有シ或ハ之ヲ買フ○一千八百十四年宣教師始テ此地ニ入リシヨリ諸酋長等之ヲ扶助シテ土地所有ノ權ヲ許セリ而シテ宣教師等ハ惟土人ニ宗教ヲ布クノミナラス又耕種ノ良方ヲ授ケ且ツ常ニ之ヲ愛護シ時々此地ニ往來シ或ハ既ニ移住セ

リ○一千八百三十三年益此目的ヲ達センカ爲メニ此地ニ寄住セル一英人即領事ヲ撰ンテ其事ヲ委任シタリシモ絶テ其功績ヲ見ス時ニ歐洲人ハ濫ニ新地ヲ開キ或ハ些少ノ斧頭手銃ヲ以テ土人ヲ騙欺シ土地所有ノ權ヲ買フ等無理ノ惡風アリシヲ以テ之ヲ禁止センガ爲メニ副知事(リウテセント)一員ヲ撰任シ一千八百四十年ニ至リ遂ニツイタンチニ於テ副知事ハ該地ノ諸酋長ト條約ヲ結了セリ此條約ニ因テ諸島ノ政權ハ親利頓ニ歸シ諸酋長所有ノ土地森林等ハ各自隨意ニ之ヲ專用スルヲ得ベシト雖モ若シ其幾分ヲ割テ賣却セント欲スルトキハ親國先ツ之ヲ買フノ權アリ是ニ於テ新徐蘭ハ正ニ親國ノ屬地ト爲リタリ因テ都府ノ地ヲワイテマタノ灣上ニ定メ之ヲ與克蘭ト名ツケリ是ヨリ先新徐蘭會社ト稱スル一社アリ詐僞ヲ以テ全島三分ノ一ニ當ル土地ヲ買取シ十二年ノ間大ニ植民ノ事業ニ盡力セリ故ニ新徐蘭ノ植民ハ該社ノ力最多キニ居ルト雖モ地ノ盛昌ヲ妨礙セシモ亦蓋シ該社ノ所爲ノ宜シカラザルニ因レリ而シテ該社ハ植民費用ノ賠償二十八萬六千磅ヲ政府ニ請求シ多年間之ヲ争ヒタレトモ政府斷乎トシテ其請求ヲ拒ミシカバ一千八百二十五年遂ニ全ク其念ヲ絶ナタリ○該社及他ノ歐

洲人屢土人自己ノ所有ナリト思惟スル土地ヲ掠取セルニ因リ
 慄慄ノ土人ノ憤怒シ一千八百四十三年ヨリ七年ニ至ルマ
 デ危險且ツ殘忍ナル戰鬪ヲ爲セシガ今ハ土人戰鬪ノ念ヲ絶テ
 專ラ産業ヲ勉メ白種ノ移民ト各般ノ工藝並ニ開化ヲ競ヘリ
 蘇格蘭ノ氣候ハ酷ク貌利頓ニ相似タリ奧克蘭ノ氣温夏時ハ平
 均六十七度冬時ハ五十二度全年ヲ平均スレハ五十九度即倫動
 ヲリ高キコト凡ソ九度トス故ニ高地ヲ除ク外霜ヲ見ルコト稀
 ナリ○驗温錶ノ昇降ハ(極寒ト酷暑ト差)之ヲ貌利頓國ニ比スレハ甚
 マ少シトス特ハ海邊ニ於テ然リ故ニ四季共ニ馬鈴薯ヲ栽種ス
 ベシ○空氣甚ク濕潤ニシテ奧克蘭ノ如キハ降雨五十英寸ニ及
 ブト云フ○氣温ノ常ニ平等ナルト空氣ノ濕潤ナルニ因リ肺病
 ヲ患フルモノ稀ナリ而シテ氣候ハ極メテ好ク人身ノ健康ニ適
 ス
 哥克氏始テ此諸島ニ來リシ頃ハ土人ニ病者及不具ノ者ナク老
 年ニ至ルマテ悉ク壯健ニシテ活潑ナルヲ見テ大ニ驚キタリシ
 ガ一朝歐洲人ト交際ヲ開キシヨリ頗ル健康ヲ害セリト云フ
 蘇格蘭ノ地味ハ其氣候ト一致セス沃土少ク瘠地多クシテ耕種
 ヲ得ルコト難シ然レトモ其沃土ニ於テハ歐洲ノ果穀其他一切

ノ植物皆好ク繁生ス就中馬鈴薯ヲ以テ最ト爲ス○國中長好ノ
 牧地多シ○該地ノ家猪ハ元來船長哥克氏ノ放チシ所ニシテ其
 始ハ至テ僅少ナリシガ今ハ群ヲ成シテ山野ヲ走りフェルンノ
 根ヲ食トス土人ノ獵リ或ハ家ニ畜フテ以テ産ト爲ス○該地
 ニ於テ甚ク多キハフェルンノ種類ナリ其大或ハ樹木ノ如キモ
 ノアリ就中多キハ往昔土人ノ食料ト爲セシ一種是ナリ○林中
 頗ル大樹アリ亞米利加其他各國ノ大樹ト雖モ敢テ及テ所ニア
 ラス是則地味沃饒ナルノ確證ナリ○最大ナルモノヲカウク樹
 ト稱ス蓋シパイノ類ナリ其高或ハ八九十尺ニ至ルモ尙枝ヲ
 生セサルモノアリ斯ノ如キモノハ其枝モ亦以テ尋常ノ樹ニ比
 スベシ幹ノ周圍極メテ大ニシテ質又鞏ナリ故ニ船舶ヲ造ルニ
 最モ妙トス自餘何等ノ用ニ供スルモ亦大抵適應セサルナシ又
 一種トダラト稱スル樹アリ其高五十尺乃至六十尺ニシテ周圍
 二十尺ニ及フ其材色赤ク質堅クシテ工作スルニ易シ且ツ巨大
 ニシテ堅韌ナルヲ以テ固ヨリ所用ノ多キハ推シテ知ルベキナ
 リアリリ一名ニユーゼーランドブロークハ極メテ堅牢ニシテ耐
 久ノ性ヲ具ス其色黯褐ニシテ之ヲ磨スレハ能ク美光ヲ發ス試
 ニ之ヲ二十年間濕潤ノ地中ニ置クニ依然トシテ朽ルコトナシ

フホルミウム、テナクス一名ニユーゼーランドブラスクスモ亦
 一種ノ良産ナリ其形狀ガアテンアイリス(杜若)ニ似テ長六尺
 乃至八尺ナル厚キ青色ノ葉ヲ生ス而シテ國內一般此草ノ繁茂
 セザル處ナシ其葉ノ纖維ハ歐洲ノ麻ト全ク同一ノ用ニ供スベ
 シ○鐵物ニハ銅、鎮、煤、炭、硫、黃等アリ而シテ黃金モ亦近來之ヲ
 發見セリ○此國固有ノ四足獸ハ唯一種ノ犬ノミ鯨魚ト海豹ハ
 嘗テ許多ナリシガ今ハ稀ニ之レアリ諸處ニ於テ高十二尺ヨリ
 十四尺ニ至ル大鳥ノ化石アルヲ見ル蓋シ其鳥種ノ全ク世上ニ
 斷絶セシハ決シテ古代ノ事ニアラサルベシ○國中著名ノ諸地
 ハ北島ニ在テハ東邊ナル奧克蘭西邊ナル新伯來謀及空林登
 (克哥海峽ノニコルスン港ニ在リテ新)
 (徐蘭會社ニ屬スル第一ノ植民地ナリ)ナリ又中島ニ在テハ納
 爾森(克哥海峽ノフアラ)千得不力(バンク半島ノ)及阿達吳(南緯三十一度五十一分東經
 度四十六度ニ當ル)等ナリ現今此等諸地ハ各一縣ト爲リメリ
 ○一千八百五十五年首都奧克蘭(南緯三十一度五十一分東經
 度四十六度ニ當ル)百七十四度四十五分ニ當ル
 居住ノ歐洲人八千口アリ○千得不力ノ植民地ハ元來英國教會
 ノ宗旨ノ爲メニ開キタル所ナレトモ今日ニ至テハ一概ニ他宗ノ
 人ヲ拒ムニアラス其都府リッタルトンハ維多利亞港ノ頭ヨリ
 少シク隔リタル平坦ノ地ニ在リ○阿達吳ハ元ト蘇國自由教會

ノ植民地ナリシガ今ハ他宗人モ亦衆多ナリ其都府但以丁ハ良
 港ノ頭ニ在リ而シテ少シク此ヲ下レハ又加爾麥港アリ○接近
 ノ田舎ハ都テ水利宜ク地味肥沃ニシテ各處ニ廣闊ナル牧場及
 樹木ノ散立スルアリ○該地(蓋シ阿達)ハ近來繁盛ノ景況アリ
 ○一千八百五十一年ノ戶籍調査ニ據レハ蘇格蘭ニ在ル白人ノ
 總數二万六千六百八十八人即男一万五千九百八十八人ナリシ
 カ自後一千八百五十四年ニ二万八千六百八十八人ト爲リ其翌
 五十五年中移住ノ者二千三百人アリ同年歲入二拾二万七千磅
 輸入八拾万○一千六百三拾九磅輸出二拾九万八千五百七拾八
 磅ナリ○一千八百五十一年耕地ノ面積二万九千エーカー馬三
 千頭牛三万四千五百五拾二頭羊二拾三方二千四百頭山羊一万
 二千頭アリ○政治ハ知事一員立法議會及民權議院ヲ以テ之ヲ
 行フ而シテ各地方長官一員ヲ置キ又地方議會ヲ設ク
 土人 土人自ラ稱シテマオリス(本地人)ト謂フ之ヲ他ノ大
 洋洲人ニ比スレハ其體格、氣力、智能等稍歐洲人ニ似テ開化ニ
 進ムルコト速ナリ且ツ果シテ聞ク所ノ如クナレバ其品性ハ極
 メテ上等ナリ特ニ平和ノ時ニ於テ然リ蓋シ土人ノ往々歐洲人
 ヲ屠殺セシハ平生其待遇ノ無狀ナルヲ怒ルニ因レリ○土人相

戰闘スルトキハ殘忍ヲ極メ又人ヲ食フノ弊習アリ○土人ノ兵
 事ニ於ケルヤ其伎倆輩ロ歐洲人ニ優ルモ決シテ之ニ讓ラス恰
 モ其本性ヲ變スルモノ、如ク然リ○此土人モ亦他ノ諸大島ノ
 土人ト一般其類分明二種ニ分ル甲種ハ棕色ニシテ乙種ハ黑色
 即ニ(黒)ナリ而シテ嘗テ耶蘇教ノ入ラザリシ時ハ乙種
 ハ甲種ニ對シテ奴隸ノ狀ヲ爲セリ又土人ノ傳説ニ據レハ甲種
 ハ他島ヨリ移住セルモノト言ヘリ○抑新徐蘭ニ於テ宣教師ノ
 功ヲ奏シタルハ他處ニ於テ嘗テ比類ナキ所ナリ土人幾ント皆
 其教ニ化シ且ツ信仰ノ厚キコト宣教師ト雖モ恐ラクハ之ニ及
 ハザルベシ加之ナラズ現今一人トシテ自國ノ文字ヲ知ラザル
 モノナシ多クハ白髮ニ及ンテ之ヲ學ベリ蓋シ英語ヲ學フハ土
 人ノ尤モ難シトスル所ナリ○土人ノ生計事業ニ於テ敢テ白人
 ニ讓ラザル所以ハ專ラ自家ノ產業ヲ持重スルニ因レリ○今土
 人ノ住居スル村落ヲ見レハ清潔ニシテ民口蕃殖シ文物モ亦隨
 テ開進ス○一千八百五十一年民口凡ツ拾二万アリ
 以上諸地ノ外大貌利顛ノ版圖ニ歸スベキ諸島左ノ如シ○其一
 奧克蘭諸島ハ新徐蘭ノ南ニ當リ相距ルコト一百八十里ニシテ
 南緯五十一度ニ位セリ其中ノ至大ナルモノハ長三拾里アリ而

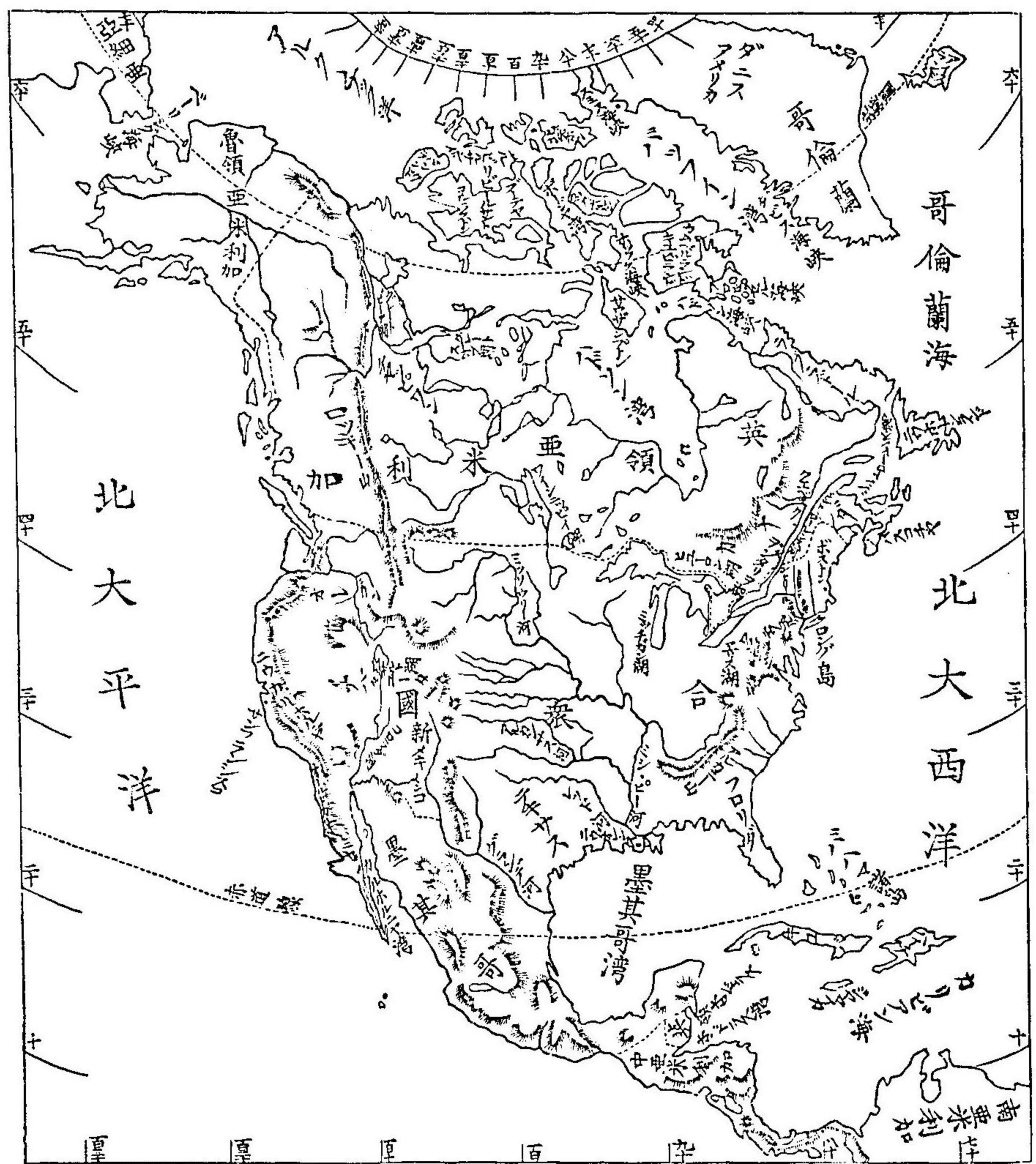
シテ氣候温和好ク人身ノ健康ニ適ス○一千八百四拾九年以來
 此諸島ハ南方捕鯨社(サウズルン、ウヰルフ)其捕鯨船ノ泊處
 ト爲スカタメニ稅ヲ英國政府ニ納メテ借ル所ナリ當時此島住
 民ハ獨新徐蘭人ノミニシテ八年前此ニ移住セリト云フ○其二
 遮特威諸島ハ新徐蘭ノ東ニ當リテ三百里ヲ去リ南緯四拾四度
 東經百七十八度ニ位ス其中ノ最大ナル遮特威本島ハ幅員三拾
 万エーカーヲ超ヘ氣候地味甚佳シ○一千八百三拾八年新徐
 蘭ノ土人八百名英船一隻ヲ奪ヒ航行シテ遮特威島ニ至リ其同
 族タル島人ヲ強服シテ奴隸ト爲シタリ○當今其人民ハ大抵耶
 蘇宗徒ニシテ耕作ヲ業トス○此等諸島ハ新徐蘭ノ政治ニ從テ
 其保護ヲ受ク○其三諸佛島ハ幅員十四方里アリテ南緯二十九
 度東經百六十八度ニ當リ悉德尼東南東凡ソ九百里ニ在リ此島
 ハ以前徒刑場ナリシカ近來ビトケールン島民ノ住處ト爲レリ
 波里尼西亞(希臘)ニ二語ヲ連合セル
 波里尼西亞トハ赤道ノ南北三十度以內ナル太平洋ノ中部ニ散
 見スル無數ノ群島ヲ指スナリ○赤道以北ノ東部ニ在テ顯著ス
 ル群島ヲ三維斯ト曰ヒ西部ナルモノヲラドローンス及カラ
 イノスト曰フ又以南ノ東部ニアルモノヲ馬耳其殺ト曰ヒ中央

ナルモノヲ所塞以的(會群島)ト曰ヒ西部ノフイヂトナヅ
 一トリスヲ合稱シテフレンドリー(友群島)ト曰フ○三維斯所
 塞以的馬耳其殺ハ共ニ火山性ニシテ崎嶇タル巖巖高ク空中ニ
 聳立ス蓋シ三維斯群島中最大ナル布哇ノ噴火口ハ海面ヲ抜ク
 コト一萬三千尺ナリ又グヒタイノ青々タル樹林ハ八十尺ノ高
 處ニ在リ他ノ諸群島ハ二三ヲ除ク外皆珊瑚蟲ノ造成スル所ニ
 シテ海面ヨリ高キコト僅ニ數尺ナリ而シテ其形狀細長ニシテ
 暗礁ヲ爲スモノアリ圓狀ニシテ湖鹽ノ外圍ヲ爲シ或ハ小島ヲ
 圍繞スルモノアリ蓋シ小島ト外圍ノ間ニハ深クシテ狭キ海峡
 アリ○全群島ノ位置熱帶以內ニ在リト雖モ較大ナル諸島ニ於
 テ氣候ノ快暢ナルト地味ノ豐饒ナルハ全ク海上空氣ノ温和ナ
 ルト上ニ所謂諸山アルニ因ルナリ○本地ノ産物ニハ新葉椰子
 蕉樹、蔗樹、蕉樹並ニ各種ノ熱帶菓物芋頭大薯(薯)ノ
 類)其他粉質ノ根類アリ又他地ヨリ移種シテ好ク蕃殖セル植
 物ニハオレンヂレモン甘蔗棉花馬鈴薯瓜胡瓜鷄子菜等ナリ
 初歐洲人ノ此諸島ヲ搜クシ時四足獸ノ種類ハ僅ニ豕犬鼠ノ
 三種ノミナレトモ鳥類ハ鳩斑鳩鷓鴣其他熱帶ノ鳥類許多アリ
 蓋シ皆家禽ニ屬ス又海濱ニハ海鳥群集シ海中ニハ百種ノ魚類

蜂類蝶類蠅海狗及鯨魚等充滿セリ而シテ較大ナル諸島ニ牛馬
 アルハ歐洲南洲ヨリ齎來シテ放チシモノナリ○土人ハ馬來種
 ニ屬スルニ似タリ而シテ他地ノ蠻民ニ比スレハ概テ頗ル教化
 シ易シトス○歐洲人ノ始テ此諸島ニ來リシ頃土人ハ專ラ偶像
 ヲ信仰スルノ徒ニシテ肉ヲ食ヒ嬰兒ヲ殺ス等ノ惡弊ニ陷溺シ
 或ハ雜物ヲ以テ鬼神ト爲シ又(某地ハ聖處ナリ踏ムベ
 ル所ナリ接スベカ)ノ邪道ニ迷ヒ又身ニ割刺スルノ風俗ナリ
 シガ四十年以來三維斯所塞以的及フレンドリー諸島ノ人民ハ
 多ク既ニ耶蘇教ニ從服シ亞米利加合衆國及貌利顛ヨリ渡來セ
 ル宣教師ニ就キ文字ヲ始トシ今日ニ有用ナル諸般ノ技藝ヲ習
 學セリ波里尼西亞ニ領地ヲ有スル外國ハ西班牙佛蘭西ノ二國
 ノミ西ハ一千六百年代ノ末以來ラドローン諸島ヲ領シ佛ハ一
 千八百四十三年以降馬耳其殺諸島ヲ有テリ

大洋洲地誌畢

北亞米利加地誌



北亞米利加地誌

大島貞益 譯

北亞米利加ハ西半球中至大ノ一洲ニシテ且ツ百事最も重要ノ位ヲ占メタル地ナリ其疆域東ハ大西洋ニ界シ南ハパナマノ細頸ニ由テ南洲ト連ナルノ外其餘ハ墨西哥灣ト太平洋トニ界シ西ハ太平洋ニ界シ北ハ北氷洋ニ界ス近コロ西北航路有無ノ論一定セシヨリ今ハグリーンランド及ヒ他ノ極圈内ノ地ヲ分テ書中別ニ一門ヲ立ツルヲ得ヘキナレトモ此書ハ始ク舊來ノ分割ニ從テ而シテ此分割ニ據リテ測算スルトキハ全洲ノ面積凡ソ八百萬方里ニ下ラス而シテ陸身ハ大抵北温带ノ中ニ在リ

地形並ニ地質

此洲ハ百物ノ形狀皆雄大ニシテ例ヘ

ハ原野沼湖河川等ノ高濶ナル他洲中會テ比類ヲ見ス今ゼ、シ
 ステム、オフ、ユコ、フルサル、セオク、ラヒ、書ノ載スル所コ從ヒ
 其大勢ヲ舉クルコト左ノ如シ○第一墨西哥灣及カリビーン海
 ト太平洋トノ中間ニ介セル狹長ノ地此地ハ山脉蜿蜒シテ其首
 尾ニ亘リ海岸ニ沿フテ卑低ノ狭地アリ内部ハ地勢往々高平ニ
 シテ卓机ノ狀ニ似タリ此地ハ即チ落機山ノ脈首ニシテガテマ
 ラニ於テハ其峰ノ最高キモノ一萬四千九百尺アリ墨西哥ニ
 於テハゴボカクペトル峯ノ高サ一萬七千七百三十五尺アリ而
 シテ墨西哥ノ高平地ハ概シテ四千尺ヨリ八千尺ノ間ニ至ル○
 第二西コ太平洋ヲ帶ヒ東ニ山脉ヲ負ヒカルホルニアノセント
 リカス岬ヨリアリアスカニ至ルノ山國此地ハ其負フ所ノ山
 脈大抵八千尺ヨリ一萬尺ノ高ニ至リ其中コロンビア河ノ近傍
 ニ於テモント、セヘルンモン、フイドモン、セントヘレン
 ス等ノ數峯ハ一萬五千尺ノ上ニアリ又モン、セント、エリー
 スハ一萬七千八百五十尺トス○第三西コ右ノ山脉ヲ控ヘ東コ
 落機山脉ヲ負フテ稍高平形ヲ爲セル所ノ土地此地南端ニハ彼
 カリホルニアノ乾燥ナル鹹土原アリ是ヨリ稍北ニシテ北緯四
 十度ヨリ四十五度ノ間ハ土地膏腴ニシテ空氣モ亦温潤ナレト

モ再ヒ四十五度ヲ踰レハ地質又寒瘠ニシテ氣候人ニ可ナラス
 ○第四西ハ落機山脉ヨリ東ハアルレガニ一山ニ至リ南ハ墨西
 哥灣ヨリ北ハ四十五度乃至五十度ニ至ル所ノミ、サウリー及
 ミシシ、ビー兩河近傍ノ廣地此地ハ右ニ舉ル所ノ兩緯度間ニ
 於テ蜿蜒トシテ走ル所ノ小山脊アリテ以テ此地方ノ水脈ヲ割
 斷シ其セントロウレンス河及ミシシ、ビー河ニ落ツルモノト
 ハドロン灣及北水海ニ落ツルモノトヲ分派ス其地味東方ハ豐
 腴ニシテ樹木繁生シ中部ハ渺茫タル草原ナレトモ亦甚タ瘠貧
 ナラス西部ハ乾燥ノ沙地ニシテ幾ント不毛ニ近シ此域内ニ亘
 ル所ノ落機山ハ北亞米利加中至大ノ山脉ニシテ其高サ八千尺
 ヨリ一萬尺ニ至リ或ハ一萬二千尺ニ至ルモノアリ而シテ北緯
 五十二度ヨリ同三度ノ間ニ於テハ時トシテ一萬六千尺ノ高ニ
 達ス又アルレカニ一山脉ハ其最高キモノモ六千四百七十六
 尺ニ過キス其支脈ニ至リテハ漸ク岐シテ漸ク低ク多クハ二三
 千尺ノ間ニアリ○第五アルレガニ一山東ノ凹凸ノ地並ニ大西
 洋ニ瀕セル海岸此地ハ樹林尙多ク曠野ヲ蔽ヒ而シテ地味ハ腴
 瘠相雜ハルト雖モ之ヲ概スルニ岩地多シ○第六北緯五十度以
 外ノ曠原此地五分ノ四ハ廣漠無人ノ境ニシテ無數ノ沼湖其間

ニ基布シ而シテ其地形氣候略シレバヤニ似タリ
 此洲ノ地層ハ合衆國加那多及ノバスコッチア并ニ墨西哥中ノ
 一分ヲ除クノ外未ダ甚ク分明ナラス然レトモ後來既ニ調査ヲ
 經ルノ地ハ其層累ノ模様ト及毎層同質ノ土ト畧其詳確ヲ知ル
 ヲ得テ大抵墨西哥落機山アルレガニ一山及北水海ノ岸邊ニハ
 花崗石シエナイト亦花崗石ノ類白斑紅石片麻石等ノ原始層ニ屬セル
 岩石ヲ見ルコト多ク其中墨西哥ニ於テハ經過層石其他層層ノ
 石ヲ以テ右ノ原始石ヲ覆ヒ落機山ハ經過層及第二層中新紅
 沙石及鹽泥ニ至ルマテノ石ヲ以テ之ヲ覆ヒアルレガニ一山モ
 亦第三層ノ石ヲ以テ上面ヲ掩覆シ而シテ其次序秩然整理シ
 テ白粉質及綠砂質ノ土石ニ上レリ但シ眞成ノ白粉壤ハ未ダ此
 地ノ近傍ニ見ス又合衆國内部ニハ多ク第三層ノ土石アリテ
 其極佛國巴勒ノ石灰石土及石羔多キト稍同シカラス又總テ
 此大洲中ニハ第三層ノ後ヨリ氷水時代ニ係ル所ノ遺跡ヲ見
 ルコト極メテ多シ是レ亞米利加大洲ノ氷上ニ出テタルハ尙ホ
 近時ニ在ルニ一証ナリ一洲内墨西哥ノ高平地以北ニハ魯領亞
 米利加ノセント、ユリアノ山ヲ除クノ外方今噴煙スル火山ヲ
 見ス但落機山脉ノ中ニハ近時ニ至ルマテ噴火セル遺跡處々ニ

多シ又合衆國ニ於テ近コト多ク獸骨ノ遺骨ヲ堀リ出シタル
 ニ其種類ハ經過層時代ノ奇怪ナルトリロバイトヨリ石炭層ノ
 フロラ及新紅沙石層ノ諸獸ノ足跡ヲ經テ近古ノマストロド
 ン及メガセリ、ユームニ至ルマテ幾種アリ其形狀時代共ニ東半球
 ニ於テ多ク見ル所ノ者ト相異ナラス
 礦物類ノ國ノ富實ヲ資クヘキモノ亦此洲甚ク多クシテ花崗石
 及其他ノ建築材ト爲スヘキモノハ各品備ハラサルナク大理石
 ハ合衆國内部ニ産シ石羔ハ合衆國及ノバスコッチアニ産シ石
 灰ハ合衆國カリホルニア墨西哥ニ産シ石炭ハ有烟無烟共ニ合
 衆國及ノバスコッチアニ産シ石腦油地溼青及冰素泉ノ炭素ヲ
 含メルモノ(亦燈油ニ用ケル)等亦多ク各地ニ産ス又金屬ハ墨
 西哥カリホルニア及兩カリリナニ金アリ中部諸州ニ銀アリ合
 衆國加那多墨西哥等ニ鐵アリ合衆國加那多及極北ノ地ニ銅ア
 リ西部諸州及上加那多ニ鉛アリ墨西哥ニ錫水銀アリ
 海岸島嶼岬角ノ多キハ北方ノ地ヲ以テ最ト爲セトモ固ヨリ之
 ヲ詳記スルヲ要セス且其地ノ形勢我曹ノ聞知スル所極メテ狹
 キヲ以テ姑ク之ヲ畧シ其餘東岸ノ島嶼ヲ舉クレハ一コハニ
 一ハウントランドナリ此島ハ幅員廣大地形平低ニシテ樹林繁

北亞米利加地誌

茂シ到處沼湖多シト雖モ其近海鱈魚ノ捕獲盛ナルヲ以テ世ニ知ラル廣袤縱三百五十里横平均百三十里トス次ニセント、ロ
 ーレンス灣内ニマンチユスチーノ一島アリト雖モ土地瘠瘠ニシテ幾ントハ烟ヲ見ス次ニハプリンス、エトウワルド島ニシテ此島ハ小山疊重シ古木陰翳トシテ處々ニ耕地アリ長サ凡百三十里横幅平均三十四里トス次ニハクレーブレット島コトシテ其全島ノ形狀歪斜出入シ面積大凡四千方里島内多ク石炭ヲ産シ漁業極メテ盛ナリト雖モ氣候ハ少シク陰濕ニシテ霧霏多シ又洲ノ西方太平洋ニ面スルノ島嶼ハバンコーベル島クイーンカ
 ルロットス、エンドセオルシノルドスノ群島コシテ其餘塞濤ノ小嶼多シ而シテ其中バンコーベルノ一島ハ近年漸ク繁盛ニ赴キタレ他ノ諸島ニ至リテハ其天度モ猶多クハ未ダ精測ヲ經ス此餘洲内半島ノ尤ナルモノハ東南ノ岸コノバスコッチヤフ
 ロリダガテマラユカクンアリ西岸コカリホニア及アリアスガアリ岬角ノ尤ナルモノハグリーントラッドノ南端ニハール
 ウール岬アリラブラードルニチドレー及チアールスノ兩角アリニコーハウンドランドニリース岬アリノバスコッチヤフ
 ーブル及カンソノ兩岬アリ合衆國ノ本陸ニ沿フテコード岬

ハツテラス岬アリフロリダノ北端ニホーブル岬アリユカダン
 ロカトチ、岬アリカリホルニアニセント、リユカス岬アリペー
 リンゴ峽ニプリンスウエールス岬アリ北極海ニ氷角及ハルロ
 ウ角アリ地峽ハ其記載スルニ足ルモノ獨リバナマノ一峽アル
 ノニ此峽ハ南北二洲ヲ連合スル所ノ細頸ニシテ國界ヲ以テ之ヲ論スレバ其地南洲ニ附屬シ新グラナダ民政國ノ一部ナリ其
 横幅ハマンチンゴ即チサンフランシス灣ノ所ニ於テ三十里ニ及
 バス其全長ハ五十里ニシテ其最高ノ地ハ海面ヲ抜クコト僅ニ
 二百五十尺ナリ近來此峽ヲ鑿開シテ航路ヲ通スルノ議屢起ル
 ト雖モ未ダ之ヲ實施スルニ及ハス方今ハチ、グレス近傍ノ
 チビー灣中アフレワル(東經八十度)ヨリバナマニ至ルマテ
 鐵道ヲ敷キ千八百五十五年開業以テ運輸ヲ通ス

水利

江灣○ハドソソ灣ハ洲ノ北方ニ向テ開キ深ク内地ニ入ルノ一
 巨浸ニシテ長サ八百里濶サ六百里アリ然レトモ灣内濶洲及島
 嶼多ク且一年内強半ハ水面凍合シテ船ヲ通セス而シテ其岸ヲ
 環クル所ノ土地概シテ不毛ノ沙磧ノミナリ灣内又別ニセーム
 灣ト名ツケテ長サ二百五十里濶サ百五十里ノ小股灣アリ又

チエストルフィールドト名ツクル港脚アリ西ニ向テ陸地ニ斗入
 スルコト二百七十里○ハドソソ灣海峽ハ長サ五百里ニシテ其至
 狹ノ處ハ濶サ八十里ニ過キズ○バツフィン灣及ダリス海峽ハ其
 鯨漁ノ盛ナルヲ以テ名アリ○ベルアイルハニユーハウントラ
 ンドト大洲ヲ分ツ所ノ海峽ナリ○ノバスコッチヤフ大陸ノ間
 ニ通スルフオンデー灣ハ長サ百八十里濶サ凡ソ三十三里アリ
 然レトモ海霧常ニ鎖シ潮流駛急ナルカ故ニ海客皆以テ危險ノ
 地トス其潮ノ高サ時ニ或ハ七十尺ニ上ルコトアリ○チエサビ
 ーキ灣ハ便好ノ譽脚ニシテ長サ二百里横幅四里ヨリ四十里ニ
 至リ狹濶極メテ一ナラス○墨西哥ノ大灣ハ前面小陸ヲ以テ之
 ヲ扞シ其周圍ノ海岸卑濕ニシテ水流多シ又灣内ノ水温度甚ダ
 高ク且フロリダノ海峽ニ沿ヒ駛劇ノ奔流幾端アリ(即チ灣流
 ト名ツクル者)○カリビーン海ハ東ニ西印度諸島アリテ之ヲ
 環ラシ島間幾條ノ航路アリテ大西洋ト相通ス○灣峽類ノ此洲
 ノ西岸ニ在ルモノハ獨リカリホルニア灣トセント、ジョアン、
 デ、フカノ海峽ノミニニカリホルニア灣ハ内地ニ入コト七百
 里ニシテ濶サ四十里ヨリ百五十里ニ至ルマテ變差アリセント
 ショアン、デ、フカノ海峽ハバンコーベル島ノ南ニアリテ今ハ

合衆國ト英屬亞米利加トノ天限ヲ爲セリ
 北亞米利加ノ湖水ハ其幅員ノ大ナル利澤ノ廣キ共ニ宇内ニ冠
 絶シ大抵北緯四十二度ヨリ同六十七度ニ至ルノ間ハ大湖巨水
 錯落トシテ全地ヲ蔽フ故ニ地理家者流ノ中ニハ此地方ヲ稱シ
 テ之ヲ湖國ト云ヘリ今其中ニ就テ巨大ナルモノヲ擧クレハ大
 凡左ノ如ク○第一シューペリヨル湖長サ四百二十里濶サ百六
 十八里面積四萬方里其水面ノ海上ニ抜クコト六百二十五尺深
 サ一千尺ニ過ク此湖水ハ他ノ尋常湖水ト同シク潮汐ノ退滿ナ
 シ水面處々ニ島嶼アリ但海岸開豁ニシテ颶風ヲ遮キルモノナ
 キヨリ航行甚タ易スカラス此湖ノ餘水ハセント、マリー河
 ニ放チ是ヨリ四十里ヲ經過シ三十二尺ヲ下ルノ後ヒューロン
 湖ニ注下ス○第二ヒューロン湖長サ二百八十里濶サ二百五十
 里面積二萬方里水深サ一千尺湖心洲嶼甚ダ多ク其中マント
 ウリンノ連島アリテ幾ントイロンクオイス湖一名セオルシア灣
 ヲ環遶シ以テ此灣ト本湖トヲ分割ス○第三ミシガン湖ハヒ
 ーロン湖ト略同高度ノ地ニアリテマキナウノ水峽ヲ以テヒ
 ーロン湖ト相通ス峽ノ濶サ凡ソ四里湖身長サ三百里濶サ大凡
 六十里面積一萬六千方里水深サ九百尺トス四岸平底敞開ニ

シテ全湖船ヲ泊スヘキノ好港ナシ○第四エリー湖ハヒョーロ
ノ湖餘水ノ注ク所コシテヒョーロンノ餘水始メセントクレイ
ル河ニ入リテ流下スルコト三十里少シク膨脹シテ淺小ノ一湖
ヲ爲シ其末デトロイト河ト爲リテ又流ル、コト三十里コシテ
遂ニ此湖ニ落ッ湖ノ長サ二百三十里濶サ四十里面積一萬方里
深サ平均百二十尺アリ水濱ハ卑低コシテ沼澤及沙多シ○第五
オンタリオ湖ハナイアガラ河ノ水ヲ受ケエリー湖餘水ノ注射
スル所コシテエリー湖ヨリ此ニ至ルマテ地勢ノ卑下スルコト
三百三十尺其中百六十五尺ハ彼ノ有名ナルナイヤガラノ瀑布
ト爲シ其餘ハ急劇ノ奔瀾トナリテ流下ス湖ノ長サ二百里濶サ
四十里面積七千二百方里平均深サ五百尺ナリ然レトモ其深サ
ハ往々測知スヘカラサルモノアリト云フ此湖ヨリ餘水ヲ千島
湖ニ注射シ其末流遂ニセント、ラウレンス河ト爲ル○此五湖
ノ外尙ホ記スヘキモノハハドソン、ベ一部内ノアサハスカ湖
ウインニハシ湖大奴湖大熊湖及中央亞米利加ノニカラグア湖
ナリ

ノ如シ○第一ミシシッピ河ハ(其本源即チミッサウリ河
ノ濫觴ヨリ算スルトキハ)全長四千三百里コシテ其中三千九
百里ハ船ヲ行ルヘク其近地ノ注水ヲ容受スルノ面積百三十萬
方里ノ夥シキニ上リ又其支川派流ヲ合スレハ船ヲ行ルヘキ里
程四萬里ニ幾シ支川ノ大ナルモノハ西ニレツド、リブルアル
カンサスアラットエルロウストーンアリ東ニテレチツシーオ
ハイオワバレイルリノイスアリ○セント、ラウレンス河ハ其
シヨール湖以下諸川ノ流域ヲ皆合スレハ其注水ヲ容受
スルノ面積六十萬方里其航路ノ全長四千里アリ然レトモ航路
ハ處々ニ於テ否塞スル所ナキコアラソ○此他大河ト稱スヘキ
ハ一コハマケンシヨールニシテ北極海ニ流入ス然レトモシニス及
シンプトンノ兩氏曾テ此河ニ航行セシニ纔ニ夏間暫時ノ間ノ
ミ船ヲ入ル、ヲ得ルト云フニハコロンビア河ニシテ此河ハ
頗ル駛急ノ巖濬ナリ三ハブラボー一名デルノルトニシテテキ
サフ州ニアリ四ハコロラトニシテカリホルニアニアリ○以上
擧クル所ノ諸川及他ノ小河ニ於テ往々高絶佳ノ飛泉アリ其
中加那多部内ノナイアガラ(百六十五尺)モントモレンシ(一
百五十尺)及合衆國部内ノカテスキル(百七十五尺)クレイト

フョール(百五十尺)ハ其最タルモノトス

氣候 植物 動物

此地境域ノ廣大ナルヲ以テ氣候ノ寒暖固ヨリ一ヲ以テ言フ可
カラス然レトモ概シテ之ヲ論スルニ西方ニ面スルノ海岸ハ其
溫度東ニ面スルノ海岸ヨリ低クシテ例ヘハ魯領ノアムチアン
セルハ其一年平均ノ溫度華氏ノ氷點上十二度ニ在レトモラフ
ラードルノナイン府ハ同緯度ノ地ニ位シテ氷點下七度ニ在リ
又此洲ノ東岸ヲ擧テ之ヲ歐洲ノ西岸ニ比スルニ寒温亦相同シ
カラズナイント瑞典ノゴッテンボルクトノ如キハ二十一度ノ
大差アリ然レトモ此差漸ク南シテ漸ク減シニユーヨルクト
チーブルスニ至テハ七度ヲ差スルニ過キヌ又フロリダヲカ
ロニ比スレハ溫度全ク同點ニ在リ

歐洲ノ西部ト亞米利加ノ東岸トニ於テ此ノ如キ寒暖ノ大差ア
ル所以ハ其源因一ニハ彼ノ灣流ニ由テ生スル者コシテ蓋シ此
灣流ノ爲メニ熱帶下ノ暖水英國及諸威地方ニ向テ流レ去リ北
極海ノ寒水之ニ代テ亞米利加ノ東岸ニ沿ヒ流下シ來ルニヨル
ナリ

草木類北地ニ産スルモノハ大ニ歐洲ノラップランドト其趣ヲ

同クシ松樹落葉松矮柳白楊及諸種ノ苔蘚類ヲ首ト爲シテ又稀
ニ牧地ト爲スヘキ草原アリ而シテ夏月ハ少シク野花ノ草間ニ
點綴スルヲ見ル加那多以下總テセント、ラウレンス河ノ流域
内ニハ松樹及樅樹多ク其大サ合衆國ノモノニ及ハスト雖モ此
地ニ至リテ始メテ米洲ノ異面目ヲ見ルカ如ク此樹間ニ雜ハリ
白栢檜檜ハスウイトヒッコリー并ニ樹名未詳野櫻及各種ノ檜樹アリ
テ其南方ニ下ルニ隨テ漸ク多ク此地又加那多百合花人參櫻蟲
草及歐洲温带ノ地ニ於テ多ク見ル所ノ諸穀物果實アリ其餘煙
草麻苧ヲ産ス合衆國ハ氣候ニ帶ニ分レテ其寒温ヲ殊ニスル
ヲ以テ其草木ノ種色多キヲ亦他ノ同廣ノ地ノ共ニ比スヘキ所
ニアラス其第一帶ノ地ハ北緯四十四度以北ニシテ樺榆赤松白
松檜檜及其他ノ檜樹各種ノ檜樹及總テ加那多ニ在ル所ノ草木
アリ其第二帶ハ四十四度ヨリ三十五度ニ至ルノ間ニシテ此地
方コハ樺皮皮ヒッコリー樺白栢サツフラス樹名ウイツチハセル
同上 山菜黃黃樺赤檜ノ類漸ク多ク蔓生花類及水草モ亦始メテ
不詳 此地ニ多シ此帶ヨリ以南二十七度ニ至ルマテハ右ノ樹木ノ外
ニ扁栢カロリナ白楊マグノリア玉樹澤生ヒッコリーロベリア
不詳及種々ノ蔓生花類水草アリ二十七度以下ハ種類漸ク變シ

ヲ熱帯ノ模樣ヲ帶フルコヨリ此ニ舉ケス別ニ西印度及南亞米
利加ノ部ニ於テ之ヲ説クヘシ前文言フ所ノ如ク總テ歐洲ノ
果園ニ養フ所ノ果物ハ悉ク北地ニ産セサルハナク其餘柘榴甜
瓜無花果葡萄橄欖巴旦杏蜜柑ノ類ハ南帶ノ中ニ産シ玉蜀黍ハ
總テマイン州以南ノ地ニ産シ煙草ハ四十度以下ニ産シ棉花ハ
三十七度以下甘蔗ハ三十二度以下ノ地ニ産シ米ハ南北カロリ
ナルイシアナ及セオルシアノ州ニ産シ小麥ハ合衆國部内之ヲ
産セサルナク燕麥裸麥ハ最モ北地ニ多シ麻苧及苦瓜ハ西方及
中部ニ多シ(下文ヲ參看スヘシ)

北洲ノ動物ハ其趣稍他ノ地ト異ナリテ其獸類ノ中ニハ亞米利
加獅子野猫グリニットン不_詳狼亞米利加狐狸水獺袋獸海狸臭獸
エルヘイン不_詳フラクリード不_詳獅牛亞米利加鹿尖角羚羊鹿赤
鹿ビルシニア鹿其他諸鹿墨西哥ノ長尾猿及北極熊黑熊灰色熊
アリ鳥類ニハ白頭鷺及他ノ鷺類各種ノ秃頭鷺墨西哥鷓加那多
鷓鳥旅客鷓ベルヒルド不_詳刺笑鳥ヒュムシング、ビルド不_詳等アリ
爬虫ニハ短喙鱗龜响尾蛇黑蛇レン不_詳等アリ魚類ハ其類最モ
多クシテ其尤ナルモノニハ鱈魚スバルト不_詳紙鱈蟹牡蠣及他ノ
貝類アリ有用ノ無血蟲ニハ蜜蜂及呀囉蟲アリ又モスキイト不_詳

多シ右ノ外總テ歐洲ノ家畜家畜類ハ之ヲ移養シテ成育セサル
モノナシ

人口 邦國

千四百九十二年始メテ此洲ヲ檢出セシ時ニ當リ其民ハ亞米利
加土蠻ノミニシテ其中血族又ハ部落ヲ以テ別ツト雖モ其異ナ
ル所ハ首トシテ價習風俗ニアリテ膚色骨格等ハ多ク差別ナシ
茲ニ姑ク其大別ヲ舉ケレハ一ハアルテックスニシテ當時墨西哥
哥ニ住シ文物頗ル開ケテ多ク工藝技術ヲ解セシ一族ノ民是ナ
リ一ハ其餘ノインヂアン人種ニシテ未タ蠢愚ノ蠻俗ヲ脱セス
專ラ漁獵ヲ以テ生ヲ營セシモノ是ナリ三ハエスキモ一部落ニ
シテ當時ヨリ今ニ至ルマテ北海ノ岸ニ野處スルモノ是ナリ然
レトモ此地檢出ノ後幾モナクシテ歐洲ノ民陸續トシテ移住シ來
リバナマ峽ヨリセント、ラウレンス灣ニ至ルマテ其沿岸ノ地
ニ居ヲトスルモノ西班牙ハ墨西哥ニ於テシ佛蘭西ハセント、
ラウレンス河及ミシシッヒ河畔ニ於テシ英國ハ東海ノ濱ニ
於テシ其餘蘇格蘭和蘭日耳曼愛倫等亦皆東海ニ殖民ノ是ヨリ
各自或ハ土蠻ノ地ヲ買ヒ或ハ之ヲ撰服シテ漸次境域ヲ擴充シ
其末方今至隆ノ合衆國其間ニ崛起シテ全土殆ント歐洲人種ノ

掌握ニ歸スルニ至リ土蠻ハ年々凋衰シテ其僅ニ殘ル所ノ遺族
及亞非利加ヨリ輸入スル所ノ黒奴ト黑白混種ノ小民トヲ合セ
今ハ悉ク合衆國ノ爲メニ服從驅役セラル、ニ至リタリ

當初各國民ヲ移ス所ノ土地爾來種々ニ變遷シテ今ハ復タ昔日
ノ形ヲ存セス其中多クハ本國ト分離シテ別ニ民政國ヲ建立シ
又或ハ其所屬ノ國ヲ異ニセシモノアリテ當時宗支ノ連係依然
トシテ今日ニ存スルモノハ幾何モアラス下ニ舉ケル所ノ小表
ハ今日諸國分立ノ現狀ヲ掲ケルモノナリ

國名	面積	人口	首府
佛領同 (セントペートル等)	三九四〇〇〇	六六、〇〇〇	新アルチア
佛領同	一一八	二〇〇	セントペー
佛領同	一、八〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	ヨルキハク
新不列顛	一、八〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	トリ
西加納多	一四七、八三二	九九九、八四七	トロント
東加納多	二〇一、九八九	八九〇、二六一	ケベック
英	二七、七〇〇	二〇〇、〇〇〇	フレドリク
亞	一八、七四六	三〇〇、〇〇〇	ハリハック
米	二、二三四	六二、三四八	チャルロッタ
利			タウン

北亞米利加地誌

總計	人口	邦國
ニユー、ウアウント	五七、〇〇〇	セントワ
パノコ、ベル島及	二一、五〇〇	ホルト、ラ
英領オレゴン	三三〇、六三四	ワシントン
亞米利加合衆國	一、〇三八、八六五	華盛頓
墨西哥合衆國	七、二〇〇、〇〇〇	墨西哥
サンサルベードル	一四、〇〇〇	コヤテ
ニカラグア	四九、〇〇〇	グラナダ
ホンドラス	七二、〇〇〇	コマヤグア
ガテマラ	八二、〇〇〇	新ガテマラ
コスタリカ	一七、〇〇〇	サン、ジョス
モスクイタ	二二、〇〇〇	ブリュエー
ホンドラス(英領殖民地)	六二、七四〇	イルツ
	一一、〇六六	ベライズ
	七、八五四、四五八	三、五、八〇四、四九八

右ハ方今現在スル所ノ邦國ニシテ以下ハ此諸國ノ風土政治民
俗工業等ヲ詳明ニ列載ス

佛領亞米利加
佛領亞米利加ハ大洲ノ西北隅及其近海諸島ヲ合スルノ稱ナリ
本國ニ佛領亞米利加會社ト名ツルモノアリテ之ヲ直管シ曾

社ノ主意ハ毛皮ヲ集メテ支那ニ販賣スルニアリ然レトモ其境
 土荒蕪ニシテ住居スヘカヲサルヲ以テ會社ノ之ヲ領スト云フ
 ハ特ニ其名アルノミニ過キヌ白哲人種ハ會社ノ代理及其婢僕
 ノ輩僅々數十人ニ限り處々ニ窓々タル堡塞ヲ作りテ其中ニ住
 居ス其首府ト稱スル所ヲ新アルチアンセルト名ツケテ(各種
 ノ人口合計一千人)シトカ島ノ西岸ニ在リ會社ノ商行及藏庫
 ハ皆此處ニ設ク其全體ノ地味ハ寒瘠荒涼ニシテ墾闢スヘカラ
 ス加フルニ境内海獺海狗海獅狐ウルフライン等アリテ以テ
 麂皮及毛皮ヲ製スヘシト雖モ其後圖ヲ爲サスヲ利ヲ貪ホリ
 之ヲ捕獲スルノ過甚ナルヲ以テ會社一ツビ昌盛ナリ貿易モ
 今ハ日ヲ追フテ衰替スルノ兆アリ

英屬亞米利加

新不列顛此ハドリン灣地方新不列顛ハ一コ之ヲハドリン灣地
 方ト稱シ其境域今ニ至ルマテ未タ明定セス初メハドリン灣
 ニ注下スル諸川ノ流域ヲ合シ總稱スルノ名ナリシカ其後千八
 百二十一年ハドリン灣會社ト西北會社トノ合併以來ハ英ノ屬
 地中其民口繁庶ノ諸部即チ王家ニ直隸スルノ殖民地 按スルニ
 多以南ノヲ除キ其餘ハ悉ク之ニ屬スル者トセリ其地ハノコ
 地ニ水草ヲ逐フノ土蠻アリ東北海岸ニエスキモイアルノミニ
 ン其餘ハ會社ノ屬員婢僕等處々ニ堡塞ヲ作りテ商行ト爲シ混種
 ノ民ト共ニ其中ニ住居ス

ヘル島ヨリ起リテセ、ウイッド湖ニ至ル迄北緯四十九度ノ線ニ
 沿フテ合衆國ト界シ是ヨリレイクレーキ河ニ沿フテシー
 ペリヨル湖ニ至リ又此湖水ヨリ東ラアライドルニ至ル迄ハセ
 ントラウレンス河ノ流域トハドリン灣ノ流域トヲ劃斷セル山
 脊ヲ以テ加納多トノ經界トス面積二百方里ヨリ三百方里
 ニ至リテ諸家ノ說一ナラス其境土ノ廣大ナルヲ以テ風土モ亦
 一定ナラスト雖モ概シテ之ヲ論スレバ土地寒瘠ニシテ住居ニ便ナ
 ラス北地ハ草木矮小ニシテ且ツ多ク生セス漸ク南方ニ下ルニ隨
 ヒ始メテ松樹繁生シ其南端ノ東西海岸ニ濱スル地ハ處々ニ松
 樹ノ茂林アリテ沼湖草原等其間ニ斷續スウインニベグ湖畔ニ
 レッドリブルト名ヅクル河アリ千八百十三年イールセルキル
 クト云ヘル人河畔ノ地ヲ闢キ民ヲ移セリヨリ其人口今ハ白哲
 人種黑白混種及土蠻ヲ合シ八千許人ニ至リタレハ獨リ此地ヲ
 除クノ外其餘ハ全土唯獸獵ノ用ニ供スヘキ荒地ニシテ水牛麂
 牛鹿熊狼狐海狸レムミングエルミン等其中ニ群居ス此地ノ殖
 益ヲ爲スヘキモノハ獨之ヲ捕ヘテ毛皮ヲ作ルニアルノミ域内
 蓋シ銅鐵鑛鉛石炭ノ類多キコト疑フ容レスト雖モ其鑛開
 運輸ノ便ヲ得サルヲ以テ之ヲ掘採スルコト能ハス其人種ハ内

地ニ水草ヲ逐フノ土蠻アリ東北海岸ニエスキモイアルノミニ
 ン其餘ハ會社ノ屬員婢僕等處々ニ堡塞ヲ作りテ商行ト爲シ混種
 ノ民ト共ニ其中ニ住居ス
 ハドリン灣會社ハ千六百七十年ニ始メテ官許ヲ得テ爾來此地
 方ノ貿易ヲ專領シ其本局ハ倫敦ニ在リテ社長一人副社長一人
 管保數人アリ亞米利加ノ事ハ會社ヨリ總理一人ヲ派遣シテ之
 ヲ管轄セシメ別ニ各地方毎ニ其首要ノ役員ヲ以テ編スル所ノ
 小會議アリ總理之ト相議シテ百事ヲ舉行スマルチン氏ノ說ニ
 從ヘハ(其ブリッ、ナシ、コロ、ノイト云ヘル書ニ出ツ)方今會社ノ
 支局百三十六所アリテ別ニ隊ヲ結ビ伴フ爲メテ獸獵ニ從事ス
 ル者及船舶運輸ノ事ニ從フ者若干アリ其使役スル所ノ人員ハ
 支局ノ管轄二十五人其商事ニ專任スル者二十七人書記百五十
 二人雇夫千二百人アリテ其餘臨時ニ土蠻ヲ雇役スル者尙多シ
 支局ハ東ラアライドルヨリ西太平洋ニ至ルマテ南ハ加納多ヨ
 リ北ハ北極海ニ至ルマテ處々ニ散在シ其要領ナルモノハド
 リン灣西ニヨルクホルトアリ同其南岸ニ沿ヒモントリールヲ
 距ルコト七百里弱ニシタムリス、ハクトリリア、ニューペリ
 ル湖上ニヨミシビコトリア、ウインニベグ湖上ニヨルウエーハ

北亞米利加地誌

ウスアリ其餘落橋山西ニモ尙本數所アリコロンビア河畔ノハ
 ノノコトブレ堡ハ其四十九度以內ニアルヲ以テオレゴン境界ノ
 論定マリシ時ヨリ合衆國ニ屬スト雖モ會社合衆國政府ト條約
 ヲ結ビ尙ホ其所有ノ權ヲ存セリ「ハンノコイブル島ハ千八百四
 十九年英王ヨリ會社ニ賜ヒ其移民ノ用ニ充ツル所ニシテ島内
 木材アリ又石炭鑛等ノ破穴アリ氣候亦稍溫和ニシテ加フルニ
 船舶往來ノ便ヲ得而シテ英國屬地ノ中最モカハホルニアノエ
 ルドラートニ近キヲ以テ他日昌盛ノ地タラントスルノ勢ア
 リ每歲英ノ本國ヨリ新不列顛ニ輸入スル所ノ貨物ハ價凡ソ五
 万五千磅アリ新不列顛ヨリ本國ニ送ル所ノ毛皮等ハ其價年々
 ノ景況ニ隨ヒ四万磅ヨリ七万磅ニ至リテ一ナラス
 會社專賣ノ特權ハ千八百三十八年ニ至リ其期盡クルヲ以テ是
 歲更ニ二十一年間ノ特許ヲ賜フ概シテ之ヲ論スルニ此會社ハ
 其事務ヲ行フ敏捷疾速ニシテ苛急ニ陷ラス米人某ノ言ニモ此
 會社ノ領セル地方ハ到處規則嚴正ニシテ節儉善ク行ハレ加フ
 ルニ其土蠻ヲ待遇スル極メテ仁愛ノ道ニ合ヘルヲ稱道セリ

加納多

加納多ハ東ラアライドル、ラウレンス灣ニ界シ西北ハドリン灣

會社ノ領地ニ界シ南ハ合衆國及ニコーブリュンズウィツキニ
 界ス此地近時ニ至ルマテハ上下ノ二州ニ分チ各其行政ノ廳衙
 アリシカ千八百四十一年本國議院ノ議ヲ以テ之ヲ合シテ一ト
 爲シ且ツレシスヲチーブカウシルノ義 立法院 及ハウス、オフ、ア
 ツセソアリーノ議院ノ二院ヲ設ケテ本國ノ上下二院ニ擬ス而
 シテ其議定スル所ノ事州牧ノ准可ヲ要スルコト恰モ本國議院
 ニ於テ其議事王ノ制可ヲ得テ始メテ行ハル、カ如シ然レトモ
 凡ソ其事務ヲ總裁スル權ハ他ノ諸殖民地ト同シク之ヲ本國政
 府ニ握リテ其殖民事務宰相之ヲ司トリ殖民事務宰相ハ又事々
 議院ノ指揮ニ從テ事ヲ處スニ加納多ノ下州即チ東加納多ト稱
 スルモノハ初メ佛國ノ殖民スル所ニシテ其民六分ノ五ハ佛人
 ノ裔ニ係リ其用キル所ノ法律モ佛國ニ近似シ且ツ其言語モ亦
 今ニ至テ多ク佛語ヲ用キル其上州即チ西加納多ハ下州ノ西南
 ニアリテ其民ハ英人ノ裔ニ係リ就中蘇格蘭ノ上下兩部ヨリ來
 ルモノ多ニ居リ其法律モ亦本國ノ法ヲ行フ
 西加納多ハ之ヲ東州ニ比スルニ山水明媚ノ勝地ニシテ其全州
 ヲ五十郡ニ分チ每郡又チウシツアニ小分ス東西二州ノ經界
 ハオツタワ河ヲ以テ限トシ其オツタワ河ニ沿ハサル地ハ大抵

山川等ノ地形ニ拘ハラス直線ヲ劃シテ之ヲ分割ス是レ獨リ此
 地ノヨナラス總テ北亞米利加ニ於テハ多ク行ハル、所ノ慣習
 ナリ上州ノ面積ハ概算六千四百方エーグル エーグルハ坪ノ
 コアニシテ其既ニ實測ヲ經テヌウシツアニ編スルモノ幾ン
 ト二千万エーグルアリ而シテ其中移住ノ民ニ賦與シ其他所用
 ノ既ニ定マルモノヲ除キ尙未定ノ間地タルモノ百五十方エー
 グルアリテ其位置ハセントラウレンス河オンタリオ湖エリー
 湖セント、クライル湖等ノ北岸ニ沿ヒ并ニ其間湖峽河川ノ近
 傍ニ沿フテヒローン湖畔ノ地ニ至ルマテ長サ七百餘里濶サ
 五十里ヨリ八十里ニ亘リ土質豐沃極メテ耕作ニ適シ新世界
 至腴ノ地ト相伍スルコト足レリ
 又西加納多ハ土地率チ平坦ニシテ其曠原ハ過半樹林鬱鬱ス
 雖モ内部ハ高地縱橫ニ連亘シテ大小河川ノ方向ヲ分チ以テ無
 數ノ水流ヲ四方ニ注下ス此地首トシテ其面貌ヲ爲スモノハ河
 川沼湖等ノ水理ニシテ地圖ニ據テ之ヲ按スルニ幾個ノ大湖處
 々ニ劈開シテ水脈互ニ相通シ延袤廣大殆ント其比ヲ見ス之ヲ
 地中ノ甜水洋ト名ツクルモ虛誕ノ稱ニアラサルカ如シ而シテ
 其中加納多ト境ヲ接スルモノハシユーヘリョルヒエーロンエ

リオンタリオノ四湖ニシテエリー湖ノ利水湖尾ヨリ發シ濶
 サ半里許ノ大河ト爲リテ流下スル間百六十五尺ノ懸崖ヲ倒下
 シナイアガラノ巨瀑ヲ爲シ此瀑布ヨリ下又數里ニシテオンタ
 リオ湖ニ入り又再ヒ發シテセントラウレンス河ト爲ル此河
 ハ宇内大河ノ一ニシテ長サ二千里ヲ流下スルノ後大西洋ニ落
 ナ其河口ノ處ニ於テハ氷ノ濶サ九十里ニ及ヒ大船ノ河上ニ向
 テ航行スヘキモノ四百里アリ其上流ニ至テハ往々劇瀾ノ巖上
 ニ奔下スルアリテ舟ヲ行ルコト能ハスト雖モ近時ハ別ニ運河
 ヲ鑿開シテ外洋ヨリ内地水脈ノ盡ル處ニ至ルマテ一直線ニ船
 路ヲ通シ今ハ氣船日ニオンタリオ湖ヨリ奔瀾ヲ駛下シメント
 リーレニ至リ歸路運河ヲ溯リテオンタリオニ復歸ス又オンタ
 リオ湖ヨリエリー湖ニ至ルノ間ニハワルランドカナールト名
 ツル巨大ノ運河アリテ大船ヲ通スヘク千八百五十六年始メ
 テ一隻ノスクーイナル船四百噸ノ小艇ヲ積ミミシガン湖ノ南端
 ナカゴヨリ運河及セントラウレンス河ヲ經テリハルフィー
 ニ航ス又エリー湖トハ下ソソ河トノ間ニモ運河アリテ船ヲ
 通スヘシハドソソハ合衆國ノ域内ニアリテ大西洋ニ落ツル所
 ノ川ナリ「オツタワ河ハセントラウレンスノ支川ニシテ其大

サセントラウレンスニ亞キ北方ヨリ來リテモントリールニ
 近クセントラウレンス河ニ合スウェルランド一名チッペリ河
 モ亦巨大ノ一川ニシテ此河ハ水流極メテ穩ニ曾テ瀑布劇瀾等
 ノ舟行ヲ妨クルモノナシセントラウレンス河ハ水流北ニ向
 フヲ以テ其航行ノ間漸ク上流ニ溯ルニ從ヒ氣候漸ク溫和ナリ
 ト云フ
 加納多ノ氣候ハ寒暑共ニ其極ニ至リ且ツ其變遷ノ急遽ナルコ
 ト英國ヨリモ甚クシ然レトモ地氣ハ極メテ人身ニ適シテ凡ソ
 旅客ノ紀行及土人ノ書牘等ヲ閱スルニ其樂國ナルヲ稱述セサ
 ルハナシ每歲春和ノ時節ハ大抵四月ノ末ニ始マリ五月ノ初メ
 ニ至リテ綠草野ニ滿チ夏月ハ寒暖計八十度乃至九十度ノ間ニ
 上下シ時トシテ或ハ百度ノ上ニ超ニ而シテ其暑中ノ度數ヲ平
 均スレハ凡ソ七十五度ニ在リ大抵四月ノ末ヨリ十月ニ至ルノ
 間ニ於テ春夏秋ノ三時節アリ十一月ヨリ後ハ寒氣漸ク催シテ
 凍霧氷雪頻ニ至リ十二月ノ半ニ至テハ積雪地ヲ蔽ヒ嚴烈寒ヲ
 覺ユルコトアリ(東部ハ殊ニ甚クシ)西部ニ於テ冬間積雪ノ深
 サ固ヨリ時節ニ因テ一ナラスト雖モ大抵數イナチヨリ五六フ
 ートニ至リ平均十八インチ乃至二フートノ間ニ在リ然レトモ

西部ハ之ヲ東方ニ比スルニ氣候尙頗ル良和ナルヲ以テ大抵新
來ノ民ハ皆本國ニ在テ曾テ聞ク所ニ比スレハ其冬寒ノ酷烈ナ
ラサルヲ喜ハサルハナシ毎年一月ノ中常ニ快晴暖和ノ天氣ヲ
得ルコト凡ソ一週間アリ然レトモ二月ニ至リ寒氣再ヒ復スル
コト常ニ少ナシトセス

東部ハ氣候殊ニ寒烈ニシテ寒暑針大抵零點ノ上二十五度ヨリ
同下二十五度ノ間ニ在リ然レトモ冬間ハ常ニ半晴ヲ得大氣清
澄風日恬靜ナルヲ以テ人甚ダ其苦ナルヲ覺ニスケベツキヨリ
モントリールニ至ルノ航路及其以上ノ河湖ハ堅氷凍合シテ舟
ヲ行ルコト能ハスト雖モ又其水面ノ堅厚ナルヲ以テ氷車ニ乘
シ水上ニ行クヲ得ヘシ且ツ加納多ノ俗冬月ハ貧賤貧富ニ論ナ
ク隣保相會シテ飲酒談話シ以テ夏月ノ倥傯ヲ慰スルノ風ヲ成
シ秋季商事ノ稍閑ナル頃ヨリ夥ヲ結ヒ伴ヲ成シテ郊外ニ騎遊
スルアリ或ハ親戚朋友相招請シテ踏舞ノ會ヲ開クアリ以テ府
邑豪華ノ宴會ヨリ田舎合モチ小集ニ至ルマテ將迎幾ント盧日
ナシ是ヲ以テ嚴冬兩三月ノ間空林葉落チテ秋錦泥ニ委シ河川
氷合シテ商船復々往來ノ劇ナルヲ天地一白滿眼閑寂ノ中ニ
在リテモ土人ハ曾テ無聊ヲ訴ヘス却テ指ヲ屈シテ氷霜ノ候生

ルヲ待テリ
土人外出スルトキハ多ク暖袍ヲ襲テ外寒ヲ防キ家居スルト
キハ室コトニ火爐ヲ置テ温氣ヲ儲フ而シテ其火爐能ク至高ノ
温ヲ吐キ且ツ終日一様ノ度ヲ保ツコト英國製スル所ノ器ノ能
ク及フ所ニアラス

凡ソ加納多中新住移殖ノ人ニ便ナルノ地ヲ論スル諸家各主張
スル所アリテ其歸ヲ一ニセス之ヲ要スルニ觀シク其地ニ至リ
テ實驗スルカ或ハ其近地ニ就テ委シク訪問スルニアラサレハ
遠ク英國ニ坐シテ可否ヲ擇マントスルモ決シテ得ヘカラス
西加納多ノ中ニ東西中ノ三區劃アリ其東區ハオックタワ及セン
ト、ラウレンス兩河ノ間并オックタワ河ノ北岸ヲ稱スル名ニシテ
其中又イースタルンオンタワヨンスタウンダールハウシーバ
シユルストミッドランドノ小區劃アリマルチン氏ノブリッチン
コロニーニ據レハ此區ノ地勢ハ概テ高平ニシテ四面水流アル
方ニ向テ傾斜シ其産スル所ノ木材ハ皆長大ニシテ種色多ク土
地ハ陰濕ニ沼澤多シト雖モ褐色粘土及黃色ノ泥沙混土多シ
居リ其味至腴ニシテ最モ小麥及諸穀類ノ播種ニ適ス又河湖極
メテ多ク其流水近傍ノ田土ヲ養ヒ内地運輸ノ便ヲ資クルノミ

ナラス又無數ノ氷車ヲ設ケテ穀粉ヲ作り獸毛ヲ梳シ布帛ヲ壓
滑シ及木材ヲ鋸斷スル等其用甚廣シ
此區内幾條ノ官道アリ其最要ノ者ハセント、ラウレンス河ニ
沿ヒモントリールヨリコルンワル及ランカストルヲ貫テキン
グストンニ至ルノ一道路ニシテ此道上兩部ノ間ニ往復スル驛車
アリ平日漁船ノ發セザルコトアルトキハ旅客貨物ヲ運搬スキ
ングストンハ西部中ノ水岸ニ沿ヘル一首府ニシテ其西コクイ
ンラトラクトト名ツクル美麗ノ曠原アリ耕作最モ盛ニ行ハ
ル
パイタウン即チ方今オックタワト名ツクル所ノ邑ハ人口八千人
ニシテオックタワ河ノ南岸ニアリ景色絶佳ノ境トス又ベルスハ
ドロシモンド中ノ中リチー河畔ニアリ繁庶ノ一村ヲ落ニシテ
オックタワ河トセント、ラウレンス河ノ中間ニ位シ百貨輻湊ス
此地方今漸ク隆盛ニ赴カントスルノ村邑尙ホ數所アリ
中區ハオックタワ湖ノ北岸ニ在リ其地味略々良好ニシテ之ヲ
他ノ地方ニ比スルニ人口頗ル庶密ナリト雖モ尙ホ大ニ新住ノ
民ヲ容ルヘキ間地ヲ存ス其水利ハライス、ハルサ、ムト、ロート及
其餘ノ諸湖アリ又オックタワ、ビーノ諸川及ヒトレント河アリテ全

地ヲ灌溉スニユニケッスルト接壤シテ其西北セオクマノ灣ニ
瀕スル所ノ地方ヲホーム、ヂスツックトト名ツケ其中西加納
多ノ首府トレントアリ(即チ往時ヨルクト名ツケシモン)
西區ハヒーローン、エリー及オンタワ、リーノ三湖ニ環繞セラレテ
半島ノ形ヲ爲シ蓋シ加納多ノ境域中ニ在テ土質至腴形勢至便
ノ地ト謂フヘシ區内コルンワルトンゴール、ロンドン及其餘ノ小
區劃アリ地勢大抵平坦ニシテ處處々僅ニ小凹凸ヲ爲スニ過キス
但ゴール及ナイアガラノ地方ニハ往々小山ノ兀立スルアリ又
高平ノ地脈アリテ蜿蜒山脊ヲ爲シ其高サ平均百尺ヨリ或ハ三
百五十尺ニ近キモノアリ地質ハ泥土質ニシテ大抵黑色ノ泥沙
混土ヲ多シト爲シ間或ハ黃色ナルモノアリ而シテ其古來掘掘
等ヲ經サル處ハ上面深ク草木ノ腐化セル沃土ヲ覆フ地下ノ層
累ハ灰色又ハ綠色ノ粘土ニシテ此粘土所々ニ於テ沙洲ト相間
ハリテ地平上ニ現ハル、トアリ此地全域内幾ント大小ノ石礫
ヲ見ス然レトモ部内廣大ノ石礫多キヲ以テ建築等ノ用ヲ缺ク
コトナシ林樹ハ其幹喬長ニシテ枝葉繁茂シ又處々ニ草原アリ
テ廣サ往々數百里ニ亘リ其間樺樹白松白楊等ノ樹ヲ粧點シ之
ヲ遠望スルニ景色幽雅ニシテ幾ント人工ヲ經ルモノ、如シ加

フルコ此地北緯四十二度ヨリ四十四度ノ間ニ位シ氣候長和ナルヲ以テ西加納多ノ人皆嘖々トシテ其好土タルヲ稱ス
 ミストルダウリコーナヤンブルス氏ノ此西區ノ事ヲ記セル書中ニ(千八百五十四年刊行亞米利加形勢記)曰ク此地方今設クル所ノ二線ノ鐵道ハ久シカラスニテニユーロク及ミシガン間貿易ノ軸心トナルコト疑ヲ容レズ然ルトキハ凡ソ四方ノ利ヲ謀リ富ヲ射ル輩益此ニ雲集スルニ至ルヘシ此地ハ從前運輸ノ便未ダ開ケサルノ時ニ在テ既ニ人ヲシテ其進歩ニ刮目セシメ近來三十年ノ間ロンドン近地ハ人口ノ增加百分ノ五百五十ニ在リロンドン一邑ヲ以テ之ヲ例スルニ其創建千八百二十七年ニ在リテ今ハ口數既ニ二萬ヨリ上リ而シテ其六千人ハ近頃三年間ノ附加スル所ナリ又邑内巨大ノ商館及製造所幾ヲ接ノ連起シ其日コ貿易スル所ノ金額幾巨ナルヲ知ラス邑外富人ノ村莊別墅ヲ構造スルモノ年ヲ逐テ益多ク農民モ亦其產物ノ年コ價ヲ加フルヲ以テ相競テ新地ヲ墾闢シ全地ノ形勢噲々ハ貨殖ノ競馬埒ノ如クコシテ觀者ヲシテ覺ニス大呼喝采セシム會テ此地ニ住セシ人ノ話ニ苟シシモ知覺アル以上ノ人ハ貨殖セキヲラント欲スト雖モ得ヘカラスト云ヒシハ寔トコ知言

ニシテ志向零定マリ少シク職事ヲ勉ムルノ人ナラシメハ此廣潤ノ地方中何クニ之クトシテ大コ産ヲ立テ家ヲ興ス可カラサルナシト
 又試ニ數事ヲ擧ケテ近來加納多全地(殊ニ西州)進歩ノ狀ヲ証スルコト千七百六十年此地ノ始メテ英國ノ有ニ歸セシキ其人口僅ニ六万人ニ過キス然ルニ千八百五十一年ニハ其數増シテ百八十四万二千人ニ至リ方今ニ至テハ少クモ二百五十万ニ降ラス又千八百四十一年小麥ノ收穫三百二十二万一千七百七十五升量ノ名我ガアリシニ同五十二年ニハ千六百万アリ尋テ五十六年ニ至テハ概算二千六百五十五万五千五百七十五升ニ至リ州内人口毎頭十ピニツセル半ニ當レリ又千八百三十八年加納多ヨリ輸出スル所ノ小麥三十万ピニツセルナリ同五十二年ニハ五百五十万ピニツセルアリ同五十六年ニハ九百四十万ノ夥シキニ上レリ
 加納多ノ鐵道一部ハ既ニ往復ヲ開キ一部ハ尙ホ建築中ニ在リ其完成ノ期ニ至ラハ全土ノ繁盛益其速ヲ加フルナルベシ方今ガラントトロンク、ライント名ツクル一線ハ大西洋ニ瀕セルマイン(合衆國コ屬ス)ノポルトランドヨリ起リテモントリ

至其長サ二百九十里ニシテ其間ケベッキニ至ルノ一支線アリ是ヨリ本線更ニセント、ラウレンス河及オンタリオ湖ノ北岸ニ沿テスキングズトマ、ト、ストラトホルドノ三邑ヲ貫キ終ニヒミトロメ湖上ノサルニアニ至テ止ム其全長合シテ凡ソ八百里アリ但其末尾七十二里ハ(千八百五十六年ニ當リ)工事未ダ了ラス然レトモトロントヨリ再ヒ西シテハミルトメ及ロンドンヲ貫キウインドンツールニ至ルノ一線アリ(大西鐵道ト稱スルモノ)ウインドンツールハ即チデトロイトト對岸ノ邑コシテトロイトハミシガン鐵路ノ線首ナリ方今加納多域内ニ在ル所ノ鐵道既ニ二千里ニ超エ其費スル所ノ資本凡ソ千八百萬ポンドナリ而シテ右記スル所ノ本線ノ外別ニ諸方ニ分派ナル所ノ支線アリ近頃モントリールニ於テセント、ラウレンスニ跨リ鐵洞橋ヲ架セントス此處河ノ濶サ二里許アリテ築費概算百二十五萬ポンドト爲シ落成ハ千八百五十九年ヲ期ス其落成ノ後ハ蓋シ宇内最大觀ノ一トナルヘシ
 加納多中ノ大邑ハケベッキモントリールキングズトンハヨハトントロント(往時ヨルクト稱センモノ)コレケベッキノ邑ハセント、ラウレンス河ノ北岸オルリーノスト相對スル所ニ

於テ險阻ナル岬角ノ極端ニ立テ遠ク之ヲ望メバ景色極メテ奇危ナリ人口ハ六凡ソ六萬人内外ニシテ邑ヲ分テ上下ノ三區ト爲シ邑内華麗ノ建築多ク就中新舊二教ノ教院新ラバル大學校病院ケベッキ銀行ウルフ及モントカラムノ遺跡等ヲ以テ其最トス邑ノ制度ハ多ク佛國ニ類似シ言語ハ英佛ヲ交ヘ用キル港内空濶ニシテ優ニ一千隻ノリニ一船ヲ容ル、ニ足リ千八百五十三年ノ間入港船舶千三百十五隻其噸數五十八万噸アリ故ニ邑人尤モ力ヲ造船ノ業ニ用キ千八百五十三年其造ル所ノ船數四十八隻コシテ價合シテ六十萬ポンド噸數四萬九千噸ニ及ヒリモントリールノ邑ハ加納多中ニ於テ戶口最多ク且ツ全加納多貿易ノ軸心ニシテ其位置ハオッタワ河ノセント、ラウレンスニ合スル所ニ於テ邑ト同名ノ島上ニ立テ此處ヲ以テ外洋航線ノ首途トス邑内家屋整潔街衢淨潔ニシテ亦宏壯華麗ノ建築ニ富ミ學校書籍館ノ類多シ港中六百噸以下ノ船ハ直ニ埠頭ニ至テ船貨ヲ揚載ス人口ハ方今七万五千ハトセントモ日ヲ逐テテ増加スルノ勢アリ
 加納多ノ人專ラ勉ムル所ノ工業ハ第一耕作ニシテ最モ多ク小麥ヲ產シ其餘ハ林木ヲ剪伐シテ且ツ之ヲ輸出シ及其伐餘ノ地

北亞米利加地誌

ヲ燒キ其得ル所ノ灰ヲ以テボッタース及ビールアス亦ボッタースノ類ヲ製スル等コシテ漁業製油及毛皮ノ貿易モ亦少ク行ハルモン
トリール及ケベッキヨハ各種ノ小製造所數所アリ又洲内往々
ヲライチル大羅紗并ニ麻布ヲ製スル所アリスウー、リブルス
ケベッキモントリールキングストンニハ多ク鑄鐵ヲ業トスル
モノアリ又キングストンニ於テハ河船海船ノ製造頗ル盛ナリ
千八百五十六年ニ於テ加納多輸出入貨物ノ價合テ千九百万
圓許アリ其中一半ハ合衆國トノ貿易ニ係リ其餘ハ幾ント皆英
國ト其屬地トニ係ル

法教○總テ本國ニ在ル所ノ教派ハ亦皆加納多ニ在リ初メハ新
教ノ徒ヲ養フ爲メ境内處々ニ僧田ト名ツクルモノヲ置キ其
所入ヲ以テ英倫教僧徒ノ給料ニ供シ傍ヲ少許ヲ分テ蘇格蘭教
ノ僧ヲ養ヒシカ今ハ田土ノ事皆州府ノ管理ニ歸セシヲ以テ僧
田ハ沒收シテ他ノ俗事ニ用キ從來其俸ヲ仰キシモノハ其終身
ノ間舊ニ依テ之ヲ給スルニ決ス東州ノ佛國舊教僧徒ハ其教ニ
歸依スルモノ、所有地ヨリ歲入十分ノ一ヲ給シテ之ヲ養ヘ
教育○加納多小學教育ノ制ハ甚タ善美ニシテ毫モ法教黨派ノ

臭氣ヲ帶ヒス其學費ハ大抵皆土地ニ課シテ之ヲ集ム千八百五
十三年州内五千四百七十九ノ小學アリ其中西加納多ニ屬スル
モノ三千二百二十七校コシテ其一切ノ學費幾ント二十万ポンド
ノ中官ヨリ補助スルモノハ僅々六万九千ポンドニ過キス且ツ
就學男女ト總人口トノ比例ハ英ノ本國ニ於テスタ人口八人半
コシテ一人ナルニ西加納多ニ於テハ其比例六人五分ノ四ニシ
テ一人ノ位ニ在リ又上等教育ノ爲メヨスルモノハ幾多ノ中學
アリ其西加納多ノミニ屬スル者ニ現ニ十校アリテ其中數校ハ
往々大學ト爲スノ目的ナリ千八百五十六年ニハ西加納多ノ學
費三十三万四千六百二ポンド五歳ヨリ十六歳間ノ學齡兒女ノ
數二十九万八千人ノ中就學ノ數二十六万三千人アリ右ノ外
又三所ノ師範學校アリ

ノハスコッチア
ノハスコッチアハ陸地一細腰ヲ以テ本洲ト相連ナレル半島ニ
シテ長サ三百里濶サハ處ニ隨テ一ナラス面積殆ント一千万
エーカー人口凡ソ三十万アリ島内處々ニ湖水アリテ殊ニ其南
端及西南海岸ニ多ク其面積ヲ合算スレハ幾ント全島ノ十分一
ヲ占ム故ニ僻遠ノ陬ト雖モ水運ノ便地ヲ距ルコト三十里以外ニ

出ルモノアラニス島内到處清麗ナル流水多シ

此地境土廣大地形變化多キヲ以テ地味自ラ一様ナルヲ得ス其
ホンデー灣ニ面スルノ一側ハ土壤豐沃ニシテ絶テ石沙ヲ見ス
此邊素ト海水ノ浸漬スル所ナリレバ其潮泥ノ堆積シテ適度ノ
高ヲ得ルニ隨ヒ杆堤ヲ築キ海水ヲ距絶セシ者ナレハ其肥美比
類ナク就中ウインドソール及トリエロノ近傍ハ又其最ナルモ
ノニシテ近來五十年ノ間會テ糞培スルコトナクシテ年々毎
エーシル三噸ノ乾草ヲ生セシモノ少ナカラス且ツ其面積往々
甚タ廣多コシテホンデー灣首ニ在ルモノ、如キハ一頃七万
エーカーニ至リコンベルランドノ一澤ノ如キハ廣濶決シテ英
國クントノロムニー澤ニ讓ラス而シテ其地味ハ復ニコロムニー
澤ノ上ヨアリ右ニ亞テ豊腴ノ土壤ト稱スヘキハ每歲春秋河
水ノ滲溢ヲ被ムル所ノ卑濕ノ地ニシテ之ヲ亞米利加ノ方言ニ
ティンタルパールト名ツク

此地礦物ヲ産スル多シト雖モ就中石炭ヲ以テ最ト爲シ其坑穴
ピクトーシドノーケーブプレトン及コンベルランド等ニ在
リ面シテピクトーノ炭層ノ如キハ廣サ一百万里ニ敷キ厚サ一
フートヨリ三十六フートニ至ル故ニノハスコッチアトケーブ

ブレトン島トノ産額ヲ合スレハ以テ亞米利加全洲ノ用ニ供ス
ヘシ其餘島内多ク至良ノ石灰石フリーストーン細沙ノ塊塊シ
テ石ト爲ルモ
ノ及石盤石ヲ産シ又磚瓦ヲ製スヘキ好地土アリ鐵礦モ亦近來
數所ニ檢出ス石羔ハ巨大ノ一塊アリテ之ヲ合衆國ニ販賣シ其
輸出中ノ一要品ナリ又其産スル所ノ磁石ハ之ヲノハスコッチ
アノ綠磁石ト名ツケテ盛ニ米洲ニ賞用セラル

氣候ハ寒暖ノ變急ニシテ加フルニ濃霧屢起ルト雖モ之ヲ概ス
ルニ他ノ近地ト同シク良和ニシテ甚タ人ニ可ナリ且ツ其島國
タルヲ以テ冬夏寒暑ノ差モ概シテ大陸上ノ甚シキカ如クナラ
ス冬間十二月二十五日ヨリ三月五日ニ至ルマテ積雪地ヲ蔽ヒ
其趣頗西加納多コシタリ此時候ノ間ハ農夫林木ヲ伐リ之ヲ拖
車ニ載セテ雪上ニ搬キ市場ニ輸スルヲ業トセリ

菓物ハ各種天然ノ野菜并コグリスベルリー名和菌毒櫻實蓬藥
等ノ外大小各種ノ梨實アリ梅子ハ英國在ル所ノ種類皆アラサ
ルナシ林檎ハ其味至美ナルモノアリ其餘尙ホ小菓實數種アリ
野菜ニハ胡瓜馬鈴薯アルナホツク名花椰菜椰菜蠶豆豌豆
リ苦瓜ハ尤モ地味ニ適シ必多穫ヲ保スルヲ以テ之ヲ種ルモノ
多シ南瓜玉蜀黍モ亦多シ其餘人參葱ハルスコッチアノ類 蕪菜糖

蒿ノ類凡ソ厄腐ニ充ツル所ノ諸菜大抵生セサルハナシ穀物ハ
 冬麥裸麥蕎麥大麥燕麥アリ林樹ハ檜櫻白樺黑樺黃樺灰色樺赤
 樺山毛櫸白松黃松白槭紅槭無葉槭等アリ
 島内絶テ兎獸ヲ見ス其在ル所ノモノハ麋馴鹿豪耳野猫水獺浣
 熊狐鼯鼠海狸豪猪栗鼠等ナリ禽鳥類ハ大抵英國ニ見ル所ノモ
 ノト異ナラス英國ニ於テ獵禽ト名ツケ射獵ヲテ食用ニ供スル
 所ノ諸鳥ハ亦皆此地ニ在リ魚類亦乏シカラスシテ殊ニ多ク鱒
 及トラウト一種ノ一種ヲ産シ又其水産ハ貝類多シ凡ソ島内産ス
 ル所ノ羽毛族中其稍人ヲ困スルモノハ獨リ夏月ニ在テ蚊及黒
 蠅ノ多キノミナリ
 此地分テ十七郡ト爲シ其三郡ハケープブレイン島ニ屬スト雖
 モ亦同政廳ノ下ニ在リ境内要衝ノ府邑ハノバスコッチア内ニ
 ハリハックスマイルマウスビクトリーコチンベルグリブルア
 ルブライストンウインランドソールアリケイアブレントン内ニシ
 ニイアリカントアリ首府ハハリハックスハ山麓ニ立テテ前ニ空
 潤ノ天然港ヲ控ヘ其半島ノ東邊ニ位スルヲ以テ船舶ノ出入ニ
 便ナリ人口ハ二万六千人ニシテ外國貿易及漁品賣買ノ軸心ト
 ス是ヲ以テ貿易昌盛邑民富有コトヲ且ツ學人識者ニ乏ラズト

雖モ但之ヲ英國ノ戶口相同クシテ人種稍劣レル諸邑ニ比スレ
 ハ却テ幾歩ヲ讓ルモノアリ之ヲ要スルニ邑内ノ事總テ本國政
 府ノ立法ニ拘制セラレテ一般ノ人氣憤作ニ乏シク是カ爲メ
 其自然ノ進歩自カラ合衆國ノ諸邑ノ駭々トシテ觀テ敗ムルカ
 如キコト能ハス是レ獨リ此邑ノミナラス凡ソ英屬ノ植民地ニ
 在テ皆免ルハコト能ハサルノ通患ナリ
 ケープブレントン島ハ景色荒涼タル深遠ノ山國ニシテ其東邊ハ
 ノバスコッチアニ接シテ即チ三郡ヲ爲シ長サ一百里闊サ凡ソ
 六十里アリ海岸ハ獠牙出入シテ無數ノ港灣ヲ爲ス物産ハ略
 ノバスコッチアニ同シト雖モ小麥ハ稍之ニ及ハス馬鈴薯及燕麥
 ハ却テ此ヨリモ多シ島内卑低ノ處ニハ多ク畜養ノ地アリ其林
 木ヲ剪リ之ヲ製關スルニ一エーケル僅ニ三ポンドヲ費ヤセハ
 則得ベシト云フ島内又頗ル礦物多シ
 ノバスコッチア人ノ産業ハ主トシテ木材ノ賣買採鱈魚ノ漁
 獵造船及農業等ナリ一境内ノ地殆ンド九百万エーカーハ尙ホ
 喬木ヲ以テ之ヲ覆フ一其輸出入貿易ハ合シテ年々凡ソ二百万
 ポンドアリ一千八百二十六年以來始メテ小學ノ制ヲ立ツ
 コープリンスウツキ

コープリンスウツキハ北米洲ノ大陸上ニ位シテ壤ヲ合
 衆國ト東加納多トニ接シ面積千八百万エーカーアリテ其過半
 ハ尙ホ深林野ヲ蔽フ然レドモ地味ハ大率豐沃ニシテ其能ク耕
 作ニ適スルノミナラス四方ニ河川水流アリテ貿易製造ノ利ヲ
 資ケ大ニ新民ノ移住スルニ便アリ且ツ氣候温和物産饒多ニシ
 テ各種ノ野獸ヲ産シ又内地ノ河湖鱒介ヲ生スル少カラス殊ニ
 海濱ノ地ハ鱒魚ハドックノ類鱒魚鱒魚等ノ捕漁最モ盛ナリトス
 故ニマックグレゴル氏ノ言ニ其産スル所ノ物料價ニ三百万人
 ナ養フコ足ルベシト云ヘリ然レトモ方今ハ人口未ダ二十一万
 千人許ニ過キス而シテ其人烟最モ庶密ナルハ首トシテセント
 ヲン河畔及湖水沿岸ノ地方トスホンドン灣ヨリセントヨ
 河ニ入ル所ノ北岸ニセントヨ
 邑アリ是レ此州内至大ノ
 邑ニシテ貿易盛ニ行ハレ人口二万二千アリ然レトモ其首府ハ
 フレデリックトニシテ此河上セントヨ
 ンヲ距ルコト九十
 里ニアリ其人口ハ四千トス
 此州ハ東ハセントラウレンス灣ニ界シテ數百里ノ海岸アリ
 又其北境ハ東加納多ト接壤シセントラウレンス河ヲ距ルコ
 ト近キヲ以テ形勢甚タ貿易ニ便ナリ又州内ヨリミナト名ツク

ル河ハ其大セントヨ
 ン河ニ亞キ亦セントラウレンス灣ニ
 注下シテ下流四十里ノ間ハ大船ヲ通スヘシ然レトモ其兩岸處
 ヲ移植人ノ茅屋ヲ見ルノミニシテ工業貿易未ダ盛ナラス住
 民專ラ材木ヲ剪伐シ及之ヲ輸出スルヲ業トスルノミ但此河上
 海口ヨリ二十里許ノ所ニチャサムト名ツクル一村アリ此處ニ
 ハ數隻ノ商船常ニ河上ニ碇泊シ村内又豪商ノ家數戸アリテ阜
 頭ヲ築キ庫ヲ建ツ又此村ヨリ上四里許ニシテコーケッスル
 アリ是レ亦殷富ノ一村ナリ千八百五十二年此州ヨリ輸出セシ
 所ノ海産價四万八千ポンドアリ然レトモ農事ハ尙極メテ微々
 ニシテ其麵包ニ用ルル粉料スラ尙外船ノ輸入ヲ仰クト云
 フ
 プリンス、エドワルド島
 此島ハ東ケープブレントン島ト西ニコープリンスウツキト
 ノ間ニ介シテセントラウレンス灣ノ中ニ立チ南ハノバスコ
 ヲチアト隔サ九里許ノ一帯水ヲ以テ相隔ツ長サ四十里横幅
 ハ其至廣ノ處ニ於テ三十四里アリ島ノ形狀海ヨリ之ヲ望メハ
 平坦廣渺ナルカ如シト雖モ陸ニ上リテ之ヲ觀レハ高下一ナラ
 ス島内河川沼湖多ク又沿岸無數ノ深灣アリテ島心ト雖モ海ヲ

距ルコト八里ニ過クルノ地ナシ地味ハ至腴ニシテ最モ小麦其
 他ノ穀類ニ適シハリスニツテ蕪菜胡蘿蔔馬鈴薯等一切ノ
 蔬菜大抵皆能ク生長ス故ニ農事ニ熱シ且兼テ魚肉鹽蓄法ニ通
 ナル人ハ此ニ移住シテ最モ可ナリト云フ氣候ハ零近隣ノ地ニ
 類似スト雖モ其冬寒東加納多ノ如ク長カラス且ツ絶テ陰霧ナ
 シ島人一百歳ノ長壽ヲ保シ其間曾テ一日ノ微疾ヲ知ラザリシ
 モノ往々多シト云フ

住民ハ蘇格蘭及愛倫人ヲ多ト爲シ間或ハ和蘭及日耳曼ヨリ來
 ルモノアリ一政事ハ總理一名アリテ之ヲ掌トリ上下議院ニ擬
 似セル小會アリテ之ヲ贊ク其議員十八名ニシテ島民ノ選舉ス
 ル所ナリ一首府ハナハロウセント名ツケテ島ノ東側ヒル
 スポロー河ノ北岸ニ在リ其位置河濱ヨリ漸ク隆起スル所ノ山
 腹ニ立テ其港ハセント、ラウレンス灣中至良ノ一港ナリ一又
 マグダレレンスト名ツケテ此島ニ附屬セル小島一群アリ多ク
 ハ漁戶ノ住スル所トス一島ノ積概測二千三百三十四エーカー住
 民六万二千人アリ然レトモ島内大抵開墾ス可カラサルノ地ナ
 ク且ツ其漁業今ハ甚々萎微ナリト雖モ能ク此等ノ遺利ヲ與ス
 モノアレハ現今十倍ノ人口ヲ養フベシト云フ

ニコーハウンドランド

此植民地ハニコーハウンドランド島アンチコスチ島及大陸上
 ラブラドルノ海岸ヲ合スルノ名ニシテニコーハウンドランド
 島ハ面積六万方里アリラブラドルト潤サ十二里ノベルアイ
 峡ヲ以テ分割ス其海岸ハ巖石峨々トシテ灣水出入シ内部モ亦
 突兀ナル瘠地ニシテ時ニ或ハ卑濕ノ平原ヲ爲シ其間河海アリ
 テ處々洞開ス樹林ハ河岸ニ沿フノ外甚々繁茂ナラス住民ハ
 瀕海ノ地ノミニ限リ殊ニ島ノ東南隅アハロント名ツケル所ノ
 小半島ニ聚集ス然レトモ其地質氣候共ニ世人ノ言フ所ノ如ク
 瘠惡ナルコアララス往々至美ノ沃壤アリテ大麥小麦燕麥馬鈴薯
 蕪菜等ヲ生シ其餘蔬菜類モ亦少カラス蓬萊和蘭毒ハ野生ノ者
 アリ且ツ空氣陰濕ニシテ霧多シト雖モ之ヲ大陸ニ比スレハ
 風土却テ人身ニ佳適ナリ島民ノ職業ハ捕魚ヲ專トシ其輸出品
 ハ乾鱈鱈魚鰵魚油鯨油海豹皮青魚鰻魚等ノ類ニシテ其年
 々ノ價額大凡一百方ポンドニ至レリ

政事ハ總理一名ノ手ニアリテ行法院立法院之ヲ輔ケ別ニ一個
 ノ會議院アリ一漁業ハラブラドルニ面スル海岸及島ノ東南ニ
 於テ大西洋ノ深水ニ突出セル彼水底岸邊ニ海濱ノ地淺ク水下
 ニ突出シ急ニ深洋

ニコーハウンドランド

最モ盛ナリ首府セントジョンズハアハロ
 故ニ土俗此名アリ

半島ノ上ニ在リ人口二萬七千八百外好譽脚アリ此邑千八百
 四十七年ニ於テ大火災ニ遇フ一セントヒール及ミクイロン
 ノ島ニハ佛人ノ小家屋數戸アリ是レ佛人ノ近海ニ漁スルニ
 當リ風波ヲ避クルカ爲メニ設ケル所ニシテ佛人ハ從來本島ノ
 東北岸及西岸ニ於テ漁獵シ且ツ其獲ル所ノ魚類ヲ此島上ニ於
 テ曝乾スルノ免許ヲ得

○

總テ英領亞米利加ノ年ヲ逐テ繁盛ニ赴キ且ツ其貿易ノ大ニ
 本國ニ益アルコトハ千八百五十年ニ當リ本國物産及其製造品
 ノ此地ニ輸入スルモノ三百二十三万五千ポンドナリシニ同五
 十四年ニ至リ増シテ六百萬ポンドニ上リシヲ以テ証スベシ且
 ツ本國ヨリ此地ニ移住スルモノノ數年々大抵三万人ニ下ラス
 此地英國保護ノ下ニ在リナカラ各其欲スル所ノ憲法ヲ立テ政
 事ヲ行ヒテ曾テ本國政府ノ爲メニ拘制セラレス蓋シ方今ノ制
 度ヲ以テ見ルトキハ其民毫モ不滿ヲ本國ニ懷クヘキノ理由ナ
 シ又偶不滿ノ事ヲ生スルモ得テ其屈ヲ伸フ可カラザルモノナ
 シ而シテ余ノ見聞スル所ヲ以テスレハ其民皆本國ノ處置ニ悅

服シ愛附ノ念甚々深キニ似タリ

實ニ此地ノ民ハ深ク福神ノ寵眷ヲ蒙ルモノニシテ其身大國
 ノ保タリナカラ曾テ一錢ヲ國庫ニ納ル、ナク本國ノ民ハ皆其
 膏血ノ幾分ヲ割テ年々政府ノ費途ニ充ツレトモ加納多以下諸
 州ノ民ハ殆ント貢租ノ何物タルヲ知ラス其僅ニ徵求ニ應スル
 モノハ幾件ノ海關稅ト及學校等ノ費用ニ供スル少許ノ賦課ト
 ニ過キス此ノ如クニシテ若シ不平ヲ唱フルコトアラハ其民ハ
 之ヲ目シテ狂漢ト謂フヘキノミ

原注前設此地英國保護以下ウ
 イルレムチヤンブル氏亞米利加
 形勢記ノ
 文ヲ引ク

グリーンランド

グリーンランドハ米洲ノ東北ニ在リテ近島アイスランドト共
 ニ陸馬國ノ所屬ナリ然レトモ此北邊ノ探測未タ届ラサルヲ以
 テ其果シテ海中ノ一島ナリヤ將タ大陸ニ連ナルノ半島ナリヤ
 之ヲ確知スルコト能ハス全土岩嶮タル一塊ノ氷島ニシテ其凝
 積スル所ノ厚氷溪谷江灣ヲ埋没シ日ニ徐々トシテ海岸ニ向テ
 動進ス故ニ海岸ノ地ハ往々高サ數百尺ノ氷壁ヲ爲スコトアリ
 殊ニ東方ノ海岸ハ此氷塊突然トシテ海上ニ懸下シ其碎片絶ニ
 ス水中ニ剥落シテ所謂冰山ナルモノヲ爲セリ然レトモ島ノ西

岸ハ(ボツヒン灣)之ヲ東方ニ比スルニ氣候少シク寛和ナルヲ以テ其峻絶ノ狀東岸ノ如ク甚マシカラス處々ニ卑坳ノ土地アリテ風波ヲ避クヘク其間稀ニ苔蘚及矮樺楊樹ヲ生スルアリ又此西岸ニハ往々生物ヲ産シ陸ニハ馴鹿北極熊犬兎狐ノ類アリ海ニハ鯨海馬海豹鰐魚及其他ノ魚類并ニ海鳥アリ故ニ少シク人跡ノ相雜ハルヲ見ルモ亦此地方ノミニシテ陸人貿易并ニ法政傳布ノ爲メニ來リ住スルモノアリテ其建設スル所ノ村落數個アリ人口ハエスキモ一八種及陸國人ヲ合シテ三四百人トス

土人ノ職業ハ鳥魚ヲ捕ヘ海豹ヲ獵スルヲ主ト爲シ近來少シク羊ヲ牧シ且馬鈴薯及蔬菜類ノ播植ヲ試ミタレトモ皆能ク生長セス

合衆國

合衆國ハ北米洲ノ中腹ニ位シテ北ハ英屬亞米利加ニ界シ東ハ同上并ニ大西洋ニ界シ南ハ墨西哥國ト墨西哥灣トニ界シ西ハ太平洋ニ界シ其天度ハ北緯二十五度ヨリ四十九度ニ至リ西經六十六度五十分ヨリ百四十二度ニ至ル全土面積三百萬方里人口ハ千八百五十年ノ調査ニ於テ二千三百餘萬人ナリ

同五十八年ノ概算ニ據レハ二千九百萬八ニ及フト云フ海岸ハ全長一萬二千六百里ニシテ其中六千八百六十里ハ大西洋ニアリ二千二百八十里ハ太平洋ニアリ三千四百六十里ハ墨西哥灣ニ在リ

合衆國ハ初メ英國ノ屬地ナリシカキ七百七十六年本國ニ叛キテ獨立ス此時境域縱ニ大西洋ヨリミシシッピ河ニ至ルニ止リミシシッピ河以西ハ悉ク佛ノ有スル所ニシテ且ツ當時フロリダハ西班牙ニ屬シテキサスハ墨西哥聯邦ニ屬セシヲ千八百三年ルイジアナヲ佛國ニ買ヒ同十九年西國米ノ貿易ヲ妨ケタルニ坐シフロリダヲ取り以テ價トナス同四十五年テキサスノ自來請スルニ因テ之ヲ連盟ノ中ニ加ヘ(是ヨリ先キ千八百三十五年テキサスハ墨西哥ニ叛テ一國ヲ建ツ)同四十六年英國トオレゴンノ條約ニ因テ又大ニ境域ヲ擴メ同四十八年墨西哥ヨリカリフォルニア及其餘ノ土地ヲ得テ以テ方今盛大ノ版圖ヲ爲スニ至レリ初メ合衆國ノ建國セシ時ハ其州數尙ニ一ノアンパシールマンサニーセツロードアイランドコンチクチキントニユーロルクニユーゼルワイペンシルバニヤデラウニールマリイランディルマニア南北カロリナセオルマア

ノ十三州ニ過キス
新ニ荒域ヲ開闢スルトキハ其民口繁庶ヲ制度立定メテ獨立ノ一州ト爲ルニ至ルマテ之ヲ總政府ノ下ニ直管シ名ツケテテリ
リトリート云フ千八百五十年人口調査ノ時ニ當リ各州及テリトリートノ面積及人口ノ表ニ擧ケル所ノ如シ

州名	白人	黄色人	奴隸	總計	方里數	每方里人口	總計
アラバマ	162,184	60,800	47,000	270,000	52,420	5.15	518,184
アラゾク	92,545	2,200	0	94,745	37,767	2.51	132,545
カリフォルニア	153,868	0	0	153,868	77,000	1.99	230,868
コロラド	5,541	0	0	5,541	103,629	0.05	10,541
コネチカット	234,353	0	0	234,353	5,543	42.10	240,353
デラウェア	131,082	0	0	131,082	2,419	54.22	133,082
フロリダ	53,903	0	0	53,903	53,903	1.00	107,903
ジョージア	203,627	0	0	203,627	59,723	3.41	263,350
イリノイ	694,633	0	0	694,633	142,957	4.86	837,590
イオン	191,871	0	0	191,871	30,483	6.29	222,354
イタリ	1,191,327	0	0	1,191,327	40,000	29.78	1,231,327
マサチューセツツ	477,273	0	0	477,273	8,000	59.66	485,273
メリーランド	238,948	0	0	238,948	9,790	24.41	248,738
ミシシッピ	179,031	0	0	179,031	46,867	3.80	225,898
ミシガン	234,353	0	0	234,353	30,000	7.81	264,353
ミネソタ	131,082	0	0	131,082	22,379	5.86	153,461
ネブラスカ	53,903	0	0	53,903	77,000	0.70	107,903
ネバダ	10,790	0	0	10,790	110,000	0.10	21,790
ニューハンプシャー	234,353	0	0	234,353	9,000	26.04	243,353
ニューヨーク	1,191,327	0	0	1,191,327	47,000	25.35	1,238,327
ペンシルバニア	1,191,327	0	0	1,191,327	45,000	26.47	1,236,327
ロードアイランド	131,082	0	0	131,082	1,500	87.45	132,582
テキサス	203,627	0	0	203,627	695,000	0.29	807,254
ヴァージニア	477,273	0	0	477,273	111,000	4.30	588,273
ワシントン	53,903	0	0	53,903	70,000	0.77	107,903
ワイオミング	10,790	0	0	10,790	223,000	0.05	21,790
ウェストバージニア	131,082	0	0	131,082	60,000	2.18	191,082
ワイオミング	10,790	0	0	10,790	223,000	0.05	21,790
合計	11,913,270	0	0	11,913,270	3,526,680	3.38	12,913,270

人口

右表中學クル所ノ如ク各種人口ノ中其最多ニ居ルモノハ歐洲人種ニシテ東方諸州及ビルシニア兩カコロリニハ英人ノ裔多ク中部ニハ日耳曼人多クシテ殊ニペンシルハニアノ四分ノ三ハ日耳曼ノ裔ナリニユーロクハ固ト和蘭ノ國ク所ナルヲ以テ其遺種殊コハドソソ河及モハウク河ノ沿岸ニ多クルイシアナハ佛人其半ニ居リ而シテ愛倫人及蘇格蘭人ハペンシルハニアビルシニヤ及兩カコロリナコ多キノミナラス凡ソ國內ノ諸大邑大抵在ラサル所ナシ黒奴ハ專ラペンシルハニア及オハイオ河以西ニ在リ西班牙人ハカリホルニア及テキサスニ在リ土蠻ノ遺族ハ今ハミシシッピ河以西ノ地ニ限リ其數千八百五十二年ノ記ニ據レハ四十万人アリト云フ

年ニ至リ其數亡慮一億萬人ノ上ニ超ユヘシ又此國口數增加ノ速ナルヲ以テ老人ノ數少者ニ比スレハ少ナク凡ソ人口ノ常則十六年以下ノ小兒ハ其總口數ノ三分ノ一ニ居ルヲ例トスレトモ獨英國ニ於テハ小兒ノ數優ニ其半ニ上レリ今左ノ官報ニ據テ増息ノ大概ヲ揭示ス

Table with 5 columns: 年度 (Year), 白人 (White), 異色人 (Colored), 奴隸 (Slaves), 總數 (Total). Rows for years 1850, 1860, 1870, 1880, 1890.

此表ヲ以テ見ルトキハ米國人口ノ增加ハ十年コトニ平均百分ノ二十三ニ在リ是ヨリ先キ西加納多ニ於テ人口十年コトニ一倍ニ超ユシコトアレトモ獨此一事ヲ除クノ外ハ他ニ復タ此ノ如キ例ヲ見スニ千八百五十二年他國人ノ合衆國ニ歸籍スルモノ三十餘萬人アリ其中二万八千人ハ英倫及蘇格蘭ヨリシ十五萬七千人ハ愛倫ヨリス

右ノ形勢ナルヲ以テ其各都府ニ於ケルノ累加モ亦類ヲ萬國ニ絶シ其數今ハ既ニ莫大ニ上リシモノアリ試ニ其二三ヲ例スルニ千八百三十年ニユーロクノ口數二十万三千七百人ナリシニ同四十年ニハ三十一万二千七百七十人ニ上リ同五十年ニハ五十一万五千五百四十七人ニ上リ同五十五年ニハ六十二万二千三百七十九人ニ上リタリヒラデルヒヤハ八百三十年十六万七千八百十八人ナリシニ同四十年ニハ二十五万八千三百七十八人ニ上リ同五十年ニハ三十四万四千五百人ニ上リタリバルチモールハ同三十年八万六千二百五十五人ナリシニ同四十年ニハ十三万四千三百七十九人ニ上リ同五十年ニハ十六万九千五百四十四人ニ上リタリニユーロクノ口數ハ同三十年四万六千三百八十八人ナリシニ同四十年ニハ十萬二千九百九十三人ニ上リ同五十年ニハ十一萬六千四百七十五人ニ上リタリボストンハ同三十年六萬三千三百九十二人ナリシニ同四十年ニハ九萬三千三百八十三人ニ上リ同五十年ニハ十一萬四千三百六十六人ニ上リ同五十年ニハ十三萬六千八百八十一人ニ上リタリペンシニナチハ同三十年二萬四千八百三十一人ナリシニ同四十年ニハ四萬六千三百三十八人ニ上リ同五十年ニハ十一萬五千四百三十六人ニ上リタ

リブルトクラインハ同三十年一萬二千四十二人ナリシニ同四十年ニハ三萬六千二百三十三人ニ上リ同四十五年ニハ五萬九千五百六十六人ニ上リ同五十年ニハ九萬六千八百三十八人ニ上リタリ又カリホルニアノ首府サンフランシスコハ千八百四十五年僅ニ百五十八人ノ居民アリシニ同五十二年同州人口調査ノ時ニ當リテハ既ニ三萬四千八百七十八人ニ至リ今ハ(千八百五十七年)又六万ヲ超ユト云フ

政事并ニ陸海軍

合衆國ノ諸州ハ初メ其植民スルニ隨ヒ各自法制ヲ設立セシモノナルニ由リ体裁皆相同シカラス然レトモ各州皆議院アリテ其員ハ州民之ヲ選ヒ州牧法官及其屬吏等ハ本國之ヲ命シ賃租ハ一切右議院ノ決ヲ經テ賦課スルコト其通制マリシカ後本國ト分立スルニ及ヒ各州又時勢ヲ酌量シテ右ノ制度ニ小變革ヲ爲シ且ツ連盟ノ上別ニ總政府ヲ立テ、之ニ一州ノ獨決ス可カラサル諸事ヲ掌シム一方各州ノ議院皆上下ノ別アリ上院ノ議員ハ其數下院ヨリ少ナン且ツ之ヲ代選スルノ法衆員選シ一時ニ於テセス特ニ其幾分ノミヲ新選シテ其餘ハ之ヲ存スルニヨリ一タヒ議員タルモノハ幾年ノ間相續テ職ニアリ下院ノ

議員ハ一年コトニ悉ク改選ス。議院ニ於テ議定スル所ノ事ハ一々其總領即州牧ノ協同ヲ得テ始メテ其州ノ法トスルヲ得。議員ハ上下ノ二院共ニ其俸給アリ大抵一日二弗ヲ通制ト爲シ且ツ此俸給ノ外別ニ旅費ヲ與フ。議員選舉ノ權ハ下民ニ在リ。州ノ制限スル所アリ例ハ其州ニ於テハ家産若干(大抵五十弗)ニ滿テサルモノハ選ニ與カルヲ得ス又或ハ某ノ租稅ニ於テ通滞ヲ生セシコトアルモノハ選ニ與カルヲ得サル等ノ類是ナリ。又各州選者其地ニ住スルノ年月ヲ定ムルノ通制アリ但年月ノ長短ニ至リテハ各其揆ヲ一ニセス短キハ六ヶ月ヨリ長キハ二年ニ至ル。法官及其餘州官ノ選舉モ州コトニ規則ヲ異ニシ或ハ下民親シク之ヲ選舉スルアリ或ハ州牧之ヲ選舉シテ后兩院ノ意見ヲ諮フモノアリ其在職ノ年月モ年數ヲ以テ定ムルモノアリ過失アルニ非サレハ職ヲ罷ハサルモノアリ。又年齡若干ニ至ルヲ期トスルモノアリ。總政府モ亦州府ト同シク民庶共治ニシテ下民自カラ行法立法ノ官吏ヲ選擇ス。行法ノ長官ハ之ヲ大統領ト曰ヒ別ニ一員ノ副總統ト共ニ四年コトニ一ニ改選ス其人ハ必生レテ合衆國ノ民タルモノヲ舉テ立法ノ事ニ上下ノ二議院アリテ之ヲ可ト

リ兩院ノ議員共ニ其旅費外年々三千弗ノ俸ヲ受ク。上院ノ議員ハ每州議員ヨリ二名ヲ限リ六年ヲ期トシテ選貢スル所ニシテ年齡少クモ三十歳ニ滿テ九年間合衆國ノ中ニ住シテ且ツ其選貢セラル、時其州ノ住民タル者ニアラサレハ能ハス。下院ノ議員ハ二年ヲ期トシテ之ヲ選ニ其人ハ年齡二十四歳ニ滿テ且ツ三年又ハ四年ノ間其選貢セラル、州ノ住民ニシテ且ツ一區内ニ於テスルト他區ニ跨カルトニ論ナク若干ノ家産アル者ニアラサレハ能ハス。一方今ハ議員ヲ選貢スルヲ得ルノ民種即チ自主ノ民ト及奴隸五分ノ三トノ總頭數ヨリ每九方五千人ニ一名ノ議員ヲ貢ス。故ニ目今下院ノ員數二百三十三名ナリ。此國下院ノ職務ハ即チ英國下院ノ掌トル所ノ者ニシテ其上院ハ又英國ノ貴族院ニ同シ而シテ凡ソ貢租ニ關スルノ建議必之ヲ下院ニ於テスルコト亦英國ノ如シ。總テ議院ノ決ハ大統領ノ捺印ヲ經サレハ國法トナスヲ得ス然レトモ其或ハ大統領ノ爲メニ斥ケタルトキ之ヲ兩院ニ下シテ再議シ其議員二分ノ二以上尙前議ヲ主張スルトキハ其事又法タルヲ得。大統領ト上下兩院トヲ合シテ之ヲ合衆國ノ國會ト名ツケ其權限ハ國憲書中ニ之ヲ明定ス例ハ國民民法教ヲ創立シ或ハ之ヲ信奉スル

ノ事ニ就テ國會法制ヲ立ツルヲ得ス又印行及言論ノ自由ヲ害シ或ハ時政ヲ議スル者ノ社ヲ結ヒ相會スルヲ妨グルヲ得ス。裁判ノ權ハ一ノ上等法術ト及國會臨時ニ設立スル所ノ地方法術トニ在リ上等法術ハ長官一名附屬ノ判事八名アリテ毎年一度華盛頓府ニ應テ開キ此處ノ外法官一名ツ、地方ヲ巡察シ各其區域ニ係ルノ訟獄ヲ審判ス。憲法ノ定ムル所ニ從ヘハ國民貴賤ノ別ナク又世爵等ノ設アラズ然レトモ之ヲ實際ニ徵スルハ國內三百二十万ノ黑人アリテ強テ壓束セテ奴隷ト爲リ且此三百二十万人ノ外別ニ異色人種ノ自由ヲ得タル者四十萬人アリテ此民今ハ奴隷ニアラスト雖モ人皆一種ノ賤民トシテ之ヲ蔑視シ其平常交際ニ於テ他ト平等ヲ得サルコト多シ又憲法中ノ一關典ト稱スヘキハ其條規中小民ノ暴行ヲ鎮抑スヘキ明條ナシ故ニ賤愚ノ民若シ國法ノ己レニ便ナラサルアレハ屢黨ヲ結テ之ヲ蔑破スルコトアリ又一己ノ怨惡ヲ以テ人ヲ傷フ等ノ事實ニ多シ。千八百五十四年ニ於テ歲入凡ソ七千三百萬弗歲出七千五百萬弗公債四千五百萬弗アリ歲入ノ中其最多キモノハ海關稅ニシテ其額六千四百萬弗アリ其之ニ亞ク者ハ官地ノ拂ヒ下ケン

テ八百萬弗アリ歲出ハ內國費四百五十萬圓外國費八百萬圓雜費千三百萬圓陸軍千五百萬圓海軍十百萬圓ナリ。千八百五十五年常備軍ノ數上士官千七十一名下士官兵卒合シテ一萬千六百五十八人アリ然レトモ政府主トシテ依賴スル所ノモノハ各州ヨリ徵募スル所ノ賦兵ニシテ其數五十五年ニ於テ二百四十万人アリ但此兵籍ノ中ニ在ルモノ皆少シク進退運動ノ法ヲ習ハサルコトアラサレトモ政府之ヲ管束スルコト甚ク難シ。國內少年子弟ヲ教練シ士官ト爲ス所ノ學校一所アリ其教練ハ博物諸學科試驗諸學科(化學等)ノ如キ試驗ヲ身學圖書學及通常ノ用法ニシテ此校ニ於テ卒業スルモノハ之ヲ陸軍ニ送リテ候補士官ト爲ス此生徒ハ嚴ニ就官ノ前後ヲ以テ登級ノ順ヲ定メ特異ノ事アルコトアラサレハ次ヲ超テ選進スルヲ許サス。同年海軍ノ數ヨリ一船十一隻フリガット十三隻スループ及ブリグ合シテ二十三隻各種ノ汽船二十隻軍器蓄積船若干隻砲熯合計二十門士官ハケヒティン六十八人コンマドル九十七人レウテナント三百二十七人外科醫六十九人ナリ。

北亞米利加地誌